

おな たか つじ く ぼ
棟高辻久保遺跡

—旧陸軍前橋飛行場跡地の調査—
(縄文時代～近代の遺跡・遺物)

一般県道前橋・足門線バイパス(西毛広域幹線道路)
建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集

第一分冊 本文・遺構図版編

2006

群馬県高崎土木事務所
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

むな たか つじ く ぼ
棟高辻久保遺跡

—旧陸軍前橋飛行場跡地の調査—
(縄文時代～近代の遺跡・遺物)

一般県道前橋・足門線バイパス(西毛広域幹線道路)
建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集

第一分冊 本文・遺構図版編

2006

群馬県高崎土木事務所
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



序

群馬県は、増大する交通量に対応するため、各地で道路の整備を進めています。その一環として、前橋市から富岡市を結ぶ西毛広域幹線道路の建設が計画されました。この道路建設に伴う発掘調査は、平成11年から5年かけて実施され、すでに2冊の報告書が刊行されています。

本報告に掲載される榎高辻久保遺跡の発掘調査は、平成12年から約3年半かけて実施されました。本遺跡周辺には、上野国分寺、山王庵寺などの著名な寺院跡や、推定上野国府の跡等があり、古代群馬の中心地であったことが知られています。発掘調査では、縄文時代から近代に至るまでの様々な資料を得ることができました。

特に昭和18（1943）年には、この地に当時の軍部

の指導で、陸軍前橋飛行場が造成されましたが、造成直前の田畑なども検出することができました。

発掘調査時に、住所が群馬県群馬郡群馬町と「群馬」が3つも重なる所在地であった遺跡も、平成18年1月23日には合併に伴い、高崎市に変更になりました。また、すでに、一部ではありますが、道路も開通して県民に供用が開始されています。

最後になりますが、群馬県県土整備局高崎土木事務所・群馬県教育委員会文化課・旧群馬町教育委員会、そして地元関係者の皆様には終始ご協力を賜りましたことに、心からの感謝の意を表します。

平成18年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 高橋 勇 夫

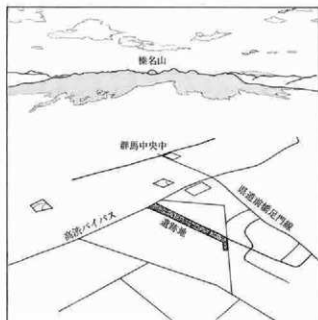




棟高辻久保遺跡は、群馬県高崎市引間町及び棟高町（発掘調査時は群馬町大字引間及び同棟高）に所在する。榛名山の東南麓に広がる相馬ヶ原扇状地の東端部近くにあり、前橋台地へと移り変わっていく場所に立地、標高は130m前後である。本遺跡地の北東には、染谷川を挟んで国史跡上野国分僧寺がある。

発掘は、一般県道前橋足門線バイパス（西毛広域幹線道路）建設に伴う調査として、平成12（2000）年4月に開始し、平成15（2003）年9月まで行われた。その結果、昭和18（1943）年に設定された陸軍前橋飛行場関連の遺構と遺物、飛行場として造成される直前の田畑が検出された。起伏のある土地を整地するために高い土地を削り、低い土地が埋められた。機械を使用しない人海戦術による作業の結果、埋められた地区には当時の田畑が良好に残されたのである。それはまた、それ以前の遺跡をも完全にバックしたことを意味した。もちろん、削られた土地に残されていた遺跡は破壊の対象となったが、それは戦争で遺跡がどのように壊されていたのかを確認する作業でもあった。

さらに発掘調査によって縄文時代～近世までの各種遺構と遺物が出土した。





敗戦直後の陸軍前橋飛行場（志村市太郎氏蔵）



前橋飛行場で訓練を行った特攻隊員最後の姿

（知覧特攻平和会館提供）



Ⅲ-1区2面の検出（北から）



米軍が撮影した前橋飛行場
（左端中央、中央に流れるのが利根川）

Ⅵ区調査状況（南から）



例 言

1. 本書は、一般県道前橋・足門線バイパス（西毛広域幹線道路）建設工事に伴う、「棟高辻久保遺跡（0区～Ⅶ区）」の埋蔵文化財発掘調査報告書である。

発掘当初は「菅谷東久保遺跡」として調査を進めてきたが、その後、遺跡名再検討の結果、「棟高辻久保遺跡」に変更することとなった。

2. 発掘調査地の所在地は、下記の通りである（調査時）。

0区～Ⅲ区 群馬郡群馬町大字引間字六石 IV～Ⅶ区 群馬郡群馬町大字棟高辻久保

3. 発掘調査は、群馬県土木部（高崎土木事務所）の委託を受け、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。発掘調査期間、発掘調査組織は下記のとおりである。

調査期間 平成12年4月1日～平成15年9月30日（なお、この間、塚田中原遺跡Ⅰ～Ⅲ区、引間松樂遺跡の一部調査を実施している。これらの報告は第4集に掲載。）面積35,116㎡（0区～Ⅶ区）。

調査組織

事務担当 小野宇三郎（12～15年度）、赤山容造（12・13年度）、吉田 豊（13年度）、住谷永市（15年度）、神保信史（14・15年度）、住谷 進（12・13年度）、萩原利通（14・15年度）、坂本敏夫（12・13年度）、大島信夫（13年度）、植原恒夫（14・15年度）、笠原秀樹（12・13年度）、小山建夫（12～14年度）、高橋房雄（14・15年度）、須田朋子（12～15年度）、吉田有光（12～15年度）、森下弘美（12～14年度）、柳岡良宏（12年度）、阿久澤玄洋（15年度）、片岡徳雄（12・13年度）、田中賢一（14・15年度）、能登 健（12・13年度）、巾 隆之（14年度）、右島和夫（15年度）、佐藤明人（12年度）、中東耕志（13・15年度）、小山友孝（14年度）
吉田恵子（12・13年度）、並木綾子（12・13年度）、今井もと子（12～15年度）、内山佳子（12～15年度）、佐藤美佐子（12～15年度）、本間久美子（12～15年度）、北原かおり（12～15年度）、狩野真子（12～15年度）、若田 誠（12～15年度）、松下次男（12～15年度）、吉田 茂（12～15年度）、蘇原正義（12・13年度）

調査担当 菊池 実（12～15年度）、橋崎修一郎（12・13年度）、石川雅俊（12年度）、小林 徹（12年度）、巾 千恵子（12年度）、岡部 豊（13年度）、廣津英一（14年度）、渡會未央（14・15年度）、石原良人（15年度）、小林 正（15年度）

4. 整理作業・報告書作成期間は下記のとおりである。

整理期間 平成15年10月1日～平成18年3月31日

整理組織

事務担当 小野宇三郎（15～17年度）、高橋勇夫（17年度）、住谷永市（15・16年度）、木村裕紀（17年度）、神保信史（15・16年度）、津金澤吉茂（17年度）、萩原利通（15年度）、矢崎俊夫（16・17年度）、植原恒夫（15年度）、丸岡道雄（16年度）、宮前結城雄（17年度）、高橋房雄（15・16年度）、竹内 宏（15～17年度）、石井 清（17年度）、須田朋子（15～17年度）、吉田有光（15～17年度）、阿久澤玄洋（15・16年度）、田中賢一（15年度）、佐藤聖行（16・17年度）、栗原幸代（16・17年度）、今泉大作（17年度）、清水秀紀（17年度）、右島和夫（16年度）、西田健彦（17年度）、中東耕志（17年度）、相原健史（15・16年度）、国定 均（16・17年度）、今井もと子（15～17年度）、内山佳子（15～17年度）、佐藤美佐子（15・16年度）、本間久美子（15～17年度）、北原かおり（15～17年度）、狩野真子（15年度）、若田 誠（15～17年度）

整理担当 菊池 実 (15～17年度)、橋崎修一郎 (16・17年度)

整理作業 茂木純子、南雲繁子、田中富子、千代谷和子、矢野純子、渡辺八千代、嶋崎しづ子、田子幸代、中越裕子、立川千栄子、大塚とし子、萩原鈴代、阿部幸恵、松岡陽子、土田三代子、光安文子、南雲素子、森下和子、丸山 勉、菅井和枝

5. 本書作成の担当者は下記のとおりである。

編 集 菊池 実/橋崎修一郎

執筆分担 序章・橋崎 発掘調査に至る経緯—中東耕志

第1章遺構・橋崎 (配石土坑を除く)、菊池 (配石土坑) / 遺物—土器・井川達雄・神谷佳明、
墨書土器—高島英之、瓦・高井佳弘、陶磁器・大西雅弘、石製品と縄文ほか・
菊池、鉄製品と銭貨ほか・橋崎

第2章遺構・橋崎 / 遺物—土器と鉄製品・橋崎、石製品・菊池

第3章遺構・菊池 (1・2面)、小林 徹 (3・4面) / 遺物—土器・小林、陶磁器・大西、
ガラスと石製品ほか・菊池、鉄製品と銭貨ほか・橋崎

第4章遺構・菊池 (1・2・2～3面)、橋崎 (3・4面) / 遺物—土器と鉄製品ほか・橋崎、
陶磁器・大西、ガラスと石製品ほか・菊池

第5章遺構・菊池 (溝を除く)、廣津英一 (溝) / 遺物—菊池 (中世遺物を除く)、廣津 (中
世遺物)

第6章遺構・菊池 (溝を除く)、廣津 (溝) / 遺物—菊池 (中世遺物を除く)、廣津 (中世遺物)

第7章遺構・菊池 (住居と溝を除く)、廣津 (住居と溝) / 遺物—土器・廣津、石製品・菊池

第8章遺構・菊池 / 遺物—菊池

第9章 (5) (6)・橋崎

0区～Ⅲ区を橋崎が、Ⅳ区～Ⅶ区までを菊池が責任編集 (原稿も含め) する予定であったが、
担当者の力量によりそれはかなわなかった。0区～Ⅲ区において現場担当者以外の助力を得
た。

遺構写真撮影 調査担当者

遺物写真撮影 佐藤元彦

保存処理 関 邦一、土橋まり子、横倉知子、小村浩一

木器実測 小池 緑、大野谷子

機械実測 富沢スミ江、伊東博子、岸 弘子、廣津真希子

6. 分析・委託 自然科学分析 (テフラ分析、プラント・オパール分析) 株式会社 古環境研究所

(樹種同定) バリノ・サーブエイ株式会社

(石材鑑定) 株式会社 バレオ・ラボ、株式会社 古環境研究所

遺構デジタルトレース 技研測量設計株式会社

地上測量・空中写真 株式会社 測研、朝日航洋株式会社、技研測量設計株式会社

7. 本遺跡の出土遺物・図面・写真などの資料は、一括して財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管。

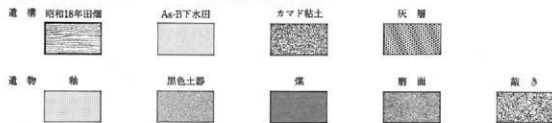
8. 遺構と遺物についての考察は第4集と当事業団発行の『研究紀要』で発表していく。

9. 発掘調査及び本書作成にあたり、下記の関係機関・関係諸氏にご教示・ご協力を賜った。(敬称略)

群馬町教育委員会、明治大学校地内遺跡調査団、常滑市民俗資料館、新井 悟、伊藤厚史、金井安子、
小宮俊久、角田真也、十兼駿武、三宅敦気、地元関係者各位、発掘作業従事者各位

凡 例

- 挿図縮尺は図版に掲載した。概要は以下の通りである。ただし、他の縮尺を用いた場合もある。
遺構 竪穴住居1/60、掘立柱建物跡1/60、土坑・ピット1/40、溝1/80、1/100、1/200、水路・排水路1/80、1/100、1/200、全体図1/300、1/400、1/500、1/800、付図1/1000
遺物 土器1/3、1/4、1/6、石器1/3、1/4、1/6、石鏃・銭貨1/1、ガラス製品1/2、1/3、その他1/3、1/6
- 本書における遺構図の北は、座標上の北である。座標系は、国家座標第IX系（旧測地系）である。
- 遺構図版中にある+印とそれに記されるアルファベットと数字の組み合わせは、国家座標に基づいて、5m毎に設定した方眼杭の名称である。そこで使われているアルファベットは国家座標のY値を、数字はX値を置き換えたものである。遺構の位置は、方眼杭の範囲で表している。
- 遺構断面実測図及び等高線に記した数値はL = mで表示し、標高値を示す。
- 遺構番号は調査時に設定したものをそのまま使用したため、欠番がある。また、整理時に欠番となったものもある。I・O・II・III区で一連番号を、VI～VII区で一連番号を付したため。たとえばI区1号住居跡とVII区1号住居跡が存在する。引用するにあたっては、各遺構番号の前に区番号を記入していただきたい。
- 住居跡の床面積は、図上でデジタルプランメーターにより住居跡の壁の内側を3回計測し、その平均値である。
- 住居跡の方位は、竈の付設された住居では、竈を持つ壁に直交する壁を主軸線とした。
- 本書で使用したスクリーントーンは、下記の通りである。



- テフラの名称は次の略称で表した。
As-A……………浅間A降下軽石層：浅間山噴出、1783（天明3）年降下
As-B……………浅間B降下軽石層：浅間山噴出、1108（天仁元）年降下
As-C……………浅間C降下軽石層：浅間山噴出、4世紀初頭降下（3世紀に遡る可能性もある）
Hr-FA……………榛名ニッ岳澁川テフラ（ニッ岳火山灰）：榛名山噴出、6世紀初頭降下
テフラの名称は、以下の文献を参考にして、表記した。
参考文献：『月刊 考古学ジャーナル 特集・火山堆積物と遺跡 I』№157 1979年
群馬県史編さん委員会 『群馬県史 通史編1 原始古代1』群馬県 1990年
新井房夫編 『火山灰考古学』古今書院 1993年
かみつけの里博物館 『第二回特別展 人が動く・土器も動く』1998年
- 遺物番号は、原則として遺構ごとに登録した。本文、挿図、観察表、写真図版と同一である。
- 土器・瓦の色調については、農林水産省農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修、新版標準土色帳（1987年）によった。
- 第一分冊の挿図は①第○図とし、第二分冊の挿図は②第○図として表記してある。

目 次

序

口 絵

例言・凡例

第一分冊 棟高辻久保遺跡 本文・遺構図版編

序章	1
1 発掘調査に至る経緯	2
2 発掘調査の経過と方法	2
3 基本土層	4
4 遺跡の地理的・歴史的環境	
(1) 地理的環境	7
(2) 歴史的環境	9
第1章 I区 検出の遺構	15
(1) 竪穴住居跡 (55軒)	17
(2) 掘立柱建物跡 (3棟)	61
(3) 土坑 (46基)・ピット (167基) ……	63
配石土坑 (1基)	75
(4) 溝 (24条)	86
第2章 O区 検出の遺構	95
(1) 竪穴住居跡 (5軒)	98
(2) 掘立柱建物跡 (1棟)	101
(3) 土坑 (39基)・ピット (75基)	101
(4) 溝 (8条)	115
第3章 II区 検出の遺構	119
(1) 2面	
水路 (3基)	125
(2) 3面	
竪穴住居跡 (2軒)	135
土坑 (13基)・ピット (6基)	135
溝 (8条)	140
As-B下水田	142
(3) 4面	
土坑 (10基)・ピット (6基)	145
溝 (6条)	150
第4章 III区 検出の遺構	153
(1) 1面	
(a) 土坑 (3基)・ピット (4基) ……	154
(b) 排水路 (4基)	155
(2) 2面	
(a) 水路 (4基)	158
(b) 排水路 (3基)	162
(c) 枕木の痕跡	165
(d) 轍跡	166
(3) 2～3面	
(a) 排水路 (7基)・土坑 (1基) ……	168
(b) As-B下水田	173
(4) 4面	
掘立柱建物跡 (1棟)	175
竪穴状遺構 (1軒)	175
土坑 (2基)・ピット (3基)	176
溝 (8条)	177

第5章 VII区 検出の遺構	181
(1) 竪穴住居跡 (25軒)	183
(2) 土坑 (52基)・ピット (109基)	202
(3) 溝 (35条)	215
(4) 溜池 (2基)・石組み暗渠 (2基)・ 配石遺構 (1基)	236

第6章 VI区 検出の遺構	242
(1) 竪穴住居跡 (74軒)	244
(2) 掘立柱建物跡 (1棟)	303
(3) 土坑 (80基)・ピット (250基)	304
(4) 溝 (25条)	335
(5) 2面	351

第9章 自然科学分析	434
(1) 棟高辻久保遺跡の土層とテフラ	434
(2) 棟高辻久保遺跡におけるプラント・オパール分析	437
(3) 棟高辻久保遺跡出土木製品の樹種	440
(4) 棟高辻久保遺跡の火山灰分析	445
(5) 棟高辻久保遺跡出土人骨	448
(6) 棟高辻久保遺跡出土獣骨	451

第7章 V区 検出の遺構	352
(1) 竪穴住居跡 (65軒)	355
(2) 掘立柱建物跡 (2棟)・土坑 (49基)・ ピット (118基)	399
(3) 溝 (11条)	418

第8章 IV区 検出の遺構	425
(1) 1面・ピット (5基)	426
(2) 1面・排水路 (3基)	426
(3) 2面・水路 (2基)、2～3面 (水路 7基)	428

付図1 遺跡全体図

第二分冊 棟高辻久保遺跡 遺物図版編

第三分冊 棟高辻久保遺跡 写真図版編

挿 図 目 次

- 第 1 図 遺跡位置図
- 第 2 図 基本土層
- 第 3 図 調査区域図
- 第 4 図 周辺地質図
- 第 5 図 周辺遺跡分布図

Ⅰ 区

- 第 6 図 Ⅰ 区全体図
- 第 7 図 西壁セクション
- 第 8 図 1・3号住居跡
- 第 9 図 2号住居跡
- 第 10 図 4号住居跡
- 第 11 図 5・6号住居跡
- 第 12 図 7号住居跡
- 第 13 図 7号住居跡掘り方
- 第 14 図 8・14・15号住居跡
- 第 15 図 9・17号住居跡
- 第 16 図 10-13号住居跡
- 第 17 図 18号住居跡
- 第 18 図 19号住居跡
- 第 19 図 20号住居跡・カマド
- 第 20 図 21号住居跡
- 第 21 図 22号住居跡・掘り方
- 第 22 図 23・24号住居跡・掘り方
- 第 23 図 25・26号住居跡
- 第 24 図 25・26号住居跡掘り方
- 第 25 図 27-29号住居跡
- 第 26 図 31号住居跡
- 第 27 図 32号住居跡
- 第 28 図 33・34号住居跡
- 第 29 図 35・36号住居跡
- 第 30 図 37号住居跡
- 第 31 図 38号住居跡
- 第 32 図 39号住居跡
- 第 33 図 39号住居跡カマド遺物出土状況
- 第 34 図 40号住居跡
- 第 35 図 39・40号住居跡掘り方
- 第 36 図 41号住居跡
- 第 37 図 42・43号住居跡
- 第 38 図 44号住居跡
- 第 39 図 44号住居跡掘り方
- 第 40 図 45・46号住居跡
- 第 41 図 47-50号住居跡
- 第 42 図 50・51号住居跡
- 第 43 図 47-51号住居跡掘り方
- 第 44 図 54・56号住居跡
- 第 45 図 55号住居跡
- 第 46 図 57号住居跡
- 第 47 図 58号住居跡
- 第 48 図 59号住居跡
- 第 49 図 1・2号孤立柱建物跡
- 第 50 図 3号孤立柱建物跡
- 第 51 図 1～3・5・6号土坑、6号ビット
- 第 52 図 7～9・14・15号土坑
- 第 53 図 10-13号土坑
- 第 54 図 16-22号土坑
- 第 55 図 23・24・27-29・43号土坑、44・150号ビット

- 第 56 図 41・44・54・56・57・60号土坑、153号ビット
- 第 57 図 53・55・61・62号土坑、157号ビット
- 第 58 図 63-67・69号土坑、152・154・156号ビット
- 第 59 図 68・70・71号土坑
- 第 60 図 配石土坑
- 第 61 図 3～5・7～14・30・34・35・37～39号ビット
- 第 62 図 15-21・23-29・36号ビット
- 第 63 図 40-43・45-49・50 a、b・51・135-140号ビット
- 第 64 図 52-69・84号ビット
- 第 65 図 76・80-83・85・87-93・129・130号ビット
- 第 66 図 94-96・98・99・101-107・109・110・194号ビット
- 第 67 図 111・112・116-123・131-133・164・172・173号ビット
- 第 68 図 134・141・142・149・151・155・158-163・168・184・185・199号ビット
- 第 69 図 165-167・169-171・174-183号ビット
- 第 70 図 186-193・195-196号ビット
- 第 71 図 1・3号溝
- 第 72 図 2号溝
- 第 73 図 4・5・7・8号溝
- 第 74 図 6号溝
- 第 75 図 9・12・27号溝
- 第 76 図 11・35号-37号溝
- 第 77 図 28-30・38-40号溝
- 第 78 図 34A・B号溝
- 第 79 図 41・42号溝

Ⅱ 区

- 第 80 図 Ⅱ 区全体図
- 第 81 図 南壁セクション
- 第 82 図 60・61号住居跡
- 第 83 図 62号住居跡
- 第 84 図 63号住居跡
- 第 85 図 64号住居跡
- 第 86 図 4号孤立柱建物跡
- 第 87 図 76・77号土坑、215・216・234・254号ビット
- 第 88 図 72-75・84号土坑、200-204・209-212号ビット
- 第 89 図 78・79号土坑、205-208・213・214・217-220号ビット
- 第 90 図 228-231・255号ビット
- 第 91 図 80号土坑、221-227号ビット
- 第 92 図 81・82号土坑、235・236号ビット

- 第 93 図 232・233・237-239・241・242号ビット
- 第 94 図 240・243-249号ビット
- 第 95 図 83号土坑、250-253号ビット
- 第 96 図 85-90号土坑、256-258号ビット
- 第 97 図 91-97・99・100号土坑
- 第 98 図 98・101・102号土坑、259-262・268・271号ビット
- 第 99 図 103-105・108・109号土坑、272・273号ビット
- 第100 図 106・107・110号土坑、263-267・269・270号・274号ビット
- 第101 図 32・43・48・49号溝
- 第102 図 44-46号溝
- 第103 図 47号溝

Ⅲ 区

- 第104 図 Ⅲ 区全体図
- 第105 図 Ⅱ 区全体図
- 第106 図 北壁・東壁セクション
- 第107 図 南壁・西壁セクション
- 第108 図 石敷き
- 第109 図 1号水路遺物分布図
- 第110 図 1号水路
- 第111 図 昭和18年田畑遺物出土状況
- 第112 図 昭和18年田畑焼土範圍
- 第113 図 2号水路
- 第114 図 3号水路
- 第115 図 Ⅲ 区全体図
- 第116 図 52号住居跡
- 第117 図 53号住居跡
- 第118 図 25・26・30号土坑、100号ビット
- 第119 図 31-39号土坑、124・125号ビット
- 第120 図 40号土坑、126-128号ビット
- 第121 図 17・19・21号溝
- 第122 図 13-16・18号溝
- 第123 図 A5-B下水田
- 第124 図 1-6号水口
- 第125 図 4 面全体図
- 第126 図 42・45-49号土坑
- 第127 図 50-52・59号土坑
- 第128 図 143-148号ビット
- 第129 図 22-24・33号溝
- 第130 図 25・26号溝
- 第131 図 Ⅲ 区全体図
- 第132 図 1-3号土坑、1-4号ビット
- 第133 図 1・2号排水路
- 第134 図 3号(樹)水路、2・4号排水路
- 第135 図 Ⅱ 区全体図
- 第136 図 2号水路

第137区 3号水路
 第138区 4号水路
 第139区 4・5号水路
 第140区 5号排水路
 第141区 6号排水路
 第142区 7号排水路
 第143区 枕木遺跡
 第144区 昭和18年陸道に覆る雑跡
 第145区 3画(西部)全体団・北壁セクション
 第146区 8号排水路
 第147区 9号排水路
 第148区 12・13号排水路
 第149区 10号排水路
 第150区 11号排水路
 第151区 14号排水路
 第152区 1号土坑
 第153区 As-B下水田(Ⅲ-1区)
 第154区 4画全体団
 第155区 1号掘立柱建物跡
 第156区 掘立柱遺構
 第157区 2・3号土坑、1号〜3号ビット
 第158区 1〜3号溝
 第159区 4・5号溝
 第160区 6号溝
 第161区 8号溝
 第162区 7号溝

VII区

第163区 全体団(VII-2区)
 第164区 全体団(VII-1区)
 第165区 1号住居跡
 第166区 2・3号住居跡
 第167区 4・5号住居跡
 第168区 6号住居跡、73号ビット
 第169区 7・8・9号住居跡
 第170区 10号住居跡
 第171区 11号住居跡
 第172区 12号住居跡
 第173区 13・18号住居跡、50号土坑
 第174区 14号住居跡
 第175区 15号住居跡
 第176区 16・17号住居跡
 第177区 19・24・40号住居跡
 第178区 20号住居跡、52号土坑
 第179区 22号住居跡、54号土坑
 第180区 23号住居跡
 第181区 36・37号住居跡
 第182区 2〜7号土坑、10・11・13〜25・42号ビット
 第183区 11〜15・17〜21号土坑、53・69号ビット
 第184区 22〜25・27〜38号土坑
 第185区 40〜46・48・51・53・59号土坑
 第186区 1〜9・12・26〜41・43〜45・47号ビット
 第187区 46・48〜52・54〜68・70〜72・74・75号ビット
 第188区 81〜96・101号ビット
 第189区 97〜100・102〜107・119〜123号ビット
 第190区 1号溝、1号土坑

第191区 2・5号溝
 第192区 3号溝
 第193区 4号溝
 第194区 6・7号溝
 第195区 8〜10号溝
 第196区 11・12・14号溝
 第197区 13号溝
 第198区 15号溝
 第199区 16〜18号溝
 第200区 19号溝
 第201区 20・21・27号溝、39号土坑
 第202区 22・23号溝
 第203区 24号溝
 第204区 25号溝
 第205区 26号溝
 第206区 28・29号溝
 第207区 31〜34号溝
 第208区 35・38号溝
 第209区 1号溜池
 第210区 石堀み暗渠
 第211区 16号土坑、石堀暗渠
 第212区 2号溜池(1)
 第213区 2号溜池(2)
 第214区 配石遺構

VIII区

第215区 全体団
 第216区 25号住居跡カマド
 第217区 25号住居跡
 第218区 26号住居跡
 第219区 27号住居跡・掘り方
 第220区 28号住居跡
 第221区 29号住居跡
 第222区 30・51・52号住居跡
 第223区 31号住居跡
 第224区 31号住居跡掘り方
 第225区 32号住居跡
 第226区 33号住居跡・掘り方
 第227区 34号住居跡
 第228区 35号住居跡
 第229区 38号住居跡
 第230区 39号住居跡
 第231区 41・42号住居跡
 第232区 43・44号住居跡
 第233区 45号住居跡
 第234区 46号住居跡
 第235区 47号住居跡
 第236区 48号住居跡
 第237区 49・62号住居跡
 第238区 50・59号住居跡
 第239区 53号住居跡
 第240区 54・56号住居跡・55号住居跡カマド
 第241区 57・58号住居跡
 第242区 60・61・68号住居跡
 第243区 63号住居跡
 第244区 64号住居跡
 第245区 65・68号住居跡
 第246区 67・98号住居跡
 第247区 69号住居跡
 第248区 70号住居跡
 第249区 71・78号住居跡

第250区 72・73・74号住居跡
 第251区 75号住居跡
 第252区 79号住居跡
 第253区 79号住居跡遺物分布団
 第254区 80号住居跡
 第255区 81号住居跡
 第256区 82号住居跡
 第257区 84・85号住居跡
 第258区 86号住居跡・カマド・掘り方
 第259区 87号住居跡
 第260区 88・89号住居跡
 第261区 90号住居跡
 第262区 91号住居跡・掘り方
 第263区 91号住居跡出土遺物分布団
 第264区 92・95号住居跡
 第265区 93・94号住居跡
 第266区 96号住居跡
 第267区 97・99・100号住居跡
 第268区 101号住居跡
 第269区 102号住居跡・掘り方
 第270区 103・104号住居跡
 第271区 1号掘立柱建物跡
 第272区 55〜58号土坑
 第273区 60〜68号土坑
 第274区 69〜79号土坑
 第275区 80〜85・88・89号土坑、236・254号ビット
 第276区 87・90〜97号土坑
 第277区 98〜108号土坑
 第278区 109〜115号土坑
 第279区 116〜123号土坑
 第280区 124〜131・133〜135号土坑、290・301・341〜343号ビット
 第281区 124〜135・147〜149・258・259号ビット
 第282区 136〜142・206〜208・243・244号ビット
 第283区 143・145・146・150〜157・161・251〜253号ビット
 第284区 158〜160・162〜166・179・250号ビット
 第285区 167〜175・178・242・245号ビット
 第286区 176・177・180〜185・188・200〜203号ビット
 第287区 186・187・189〜199・204号ビット
 第288区 205・209〜223・237号ビット
 第289区 224〜235・238〜240号ビット
 第290区 246〜249・255〜257・260〜263・267・268号ビット
 第291区 269〜280号ビット
 第292区 281〜285・291〜296号ビット
 第293区 297〜300・302〜309・333・363号ビット
 第294区 310〜322・326〜328・338〜340・373〜375号ビット
 第295区 323〜325・329〜332・334〜337・344〜351号ビット
 第296区 352〜362・365〜372・376号ビット
 第297区 34号溝(1)
 第298区 34号溝(2)
 第299区 36・37号溝
 第300区 39号溝
 第301区 42〜44号溝

第302区 39・42・56号溝
第303区 40号溝
第304区 45・47号溝
第305区 49～51号溝
第306区 52～54号溝
第307区 57号溝
第308区 60号溝
第309区 2面全体団 (VI-1区)

V区

第310区 遺構全体団
第311区 1面全体団
第312区 2面全体団
第313区 105号住居跡
第314区 106号住居跡
第315区 107・110・111号住居跡
第316区 108号住居跡
第317区 109号住居跡
第318区 112・128号住居跡
第319区 113号住居跡
第320区 114・116号住居跡
第321区 115・138号住居跡
第322区 117・119号住居跡
第323区 118号住居跡
第324区 120・121・127号住居跡
第325区 122号住居跡
第326区 123・124・125号住居跡
第327区 126号住居跡
第328区 129・130号住居跡
第329区 131・133・134号住居跡
第330区 135号住居跡
第331区 136号住居跡
第332区 137号住居跡
第333区 139号住居跡
第334区 140号住居跡
第335区 141号住居跡
第336区 142・152・156号住居跡
第337区 143号住居跡
第338区 144号住居跡
第339区 146・147号住居跡
第340区 148号住居跡
第341区 149号住居跡
第342区 150号住居跡
第343区 151号住居跡
第344区 154号住居跡
第345区 155号住居跡
第346区 157号住居跡
第347区 158号住居跡
第348区 159・160号住居跡
第349区 161号住居跡
第350区 162号住居跡
第351区 163号住居跡
第352区 164・174号住居跡
第353区 165号住居跡
第354区 166号住居跡
第355区 167・170・171号住居跡
第356区 172・173号住居跡
第357区 2号独立柱建物跡
第358区 3号独立柱建物跡 (1)
第359区 3号独立柱建物跡 (2)
第360区 137・138・143～145号土坑、377・
390号ビット

第361区 146～155号土坑、386・391・397・
398号ビット
第362区 156～164・168・174号土坑、411・
421・426・446号ビット
第363区 176～187号土坑、99号溝
第364区 188～199号土坑、480号ビット
第365区 378～385・387・389・396・399～
401号ビット
第366区 392・393・404～410・412～414号
ビット
第367区 415～420・422～425・427～430・
463号ビット
第368区 431～445号ビット
第369区 447・448・451～457・459～462号
ビット
第370区 464～471・479・481・483～485号
ビット
第371区 472～478・482・486～492号ビット
第372区 493～497号ビット
第373区 62・63号溝
第374区 64号溝
第375区 65・67号溝
第376区 66号溝
第377区 70号溝
第378区 72号溝
第379区 68・71号溝

IV区

第380区 1面全体団
第381区 1～5号ビット
第382区 1・2号排水路
第383区 2面全体団
第384区 飛行場造成土
第385区 6号水路・コンクリート水路
第386区 2～3面全体団
第387区 7・10～12・14号水路
第388区 3・10～16号水路



序章

浦島定久探蹟跡

陸軍前橋飛行場跡



1. 発掘調査に至る経緯

本事業地は、群馬県高崎市引間町及び棟高町（発掘調査時は、群馬県群馬郡群馬町大字引間及び大字棟高）地内に位置する。一般県道前橋足門線は、前橋・高崎県央地域の一部であるとともに、前橋市と群馬町（現、高崎市）を連絡する幹線道路である。本事業地である群馬町（現高崎市）は、前橋市及び高崎市のベッドタウンとして人口増加が著しく、路線も朝夕の交通渋滞が慢性化しているため、一般県道前橋足門線バイパス（西毛広域幹線道路）として、整備することとなった。

高崎土木事務所からの依頼により、群馬県教育委員会文化財保護課（平成14年度から同文化課）が、平成11年度及び平成13年度に、工事前の試掘調査を実施した。その結果、竪穴住居跡・溝跡等の遺構、及び土師器・須恵器等の遺物が確認され、遺構密度に濃淡の差はあるが、ほぼ全域から遺構及び遺物が確認されたため、全面調査が必要との判断がなされた。また、昭和18（1943）年～翌年にかけて建設された前橋飛行場跡地及び昭和18年当時の田畑の調査についても、上の面から順に調査することで合意がなされた。この試掘結果を受けて、高崎土木事務所と文化財保護課とで発掘調査の調整を行い、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、平成12（2000）年4月～同15（2003）年9月まで行われ、昭和18（1943）年飛行場造成面や奈良・平安時代の竪穴住居跡をはじめ、多くの遺構・遺物の調査が行われた。また、平成15（2003）年10月から整理作業を実施している。

2. 発掘調査の経過と方法

（1）発掘調査の経過

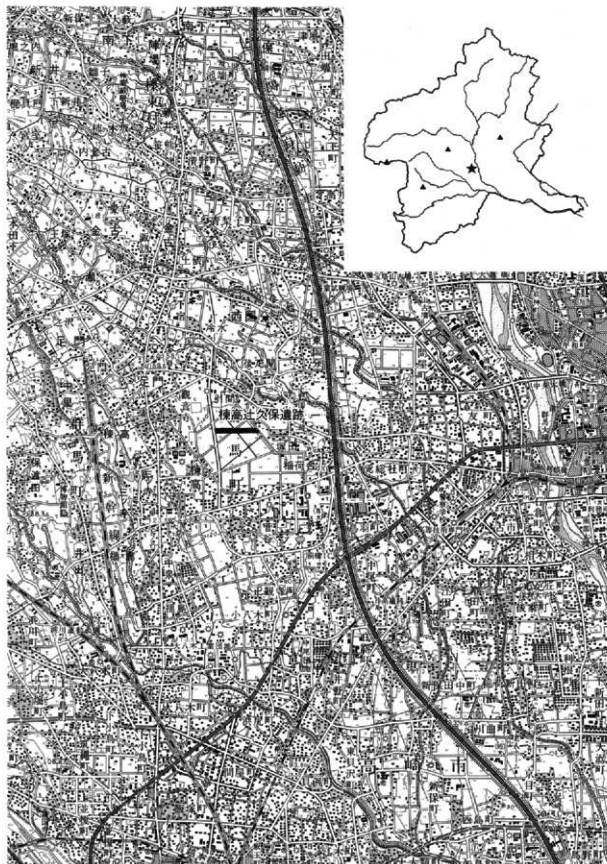
棟高辻久保遺跡は、群馬県高崎市引間町及び棟高町（発掘調査時は、群馬県群馬郡群馬町大字引間及び大字棟高）に所在する。

発掘調査は、一般県道前橋足門線バイパス（西毛広域幹線道路）建設に伴う調査として、平成12（2000）年4月1日に開始し、平成15（2003）年9月30日まで行われた。すでに、発掘調査区域は道路が完成し、一般県民への供用が開始されている。当遺跡の発掘調査時の遺跡名は、菅谷東久保遺跡であるが、その後、遺跡名検討の結果、棟高辻久保遺跡に変更した。

調査日誌抄録

平成12（2000）年

- 4/1 担当者の榎崎修一郎が転入。
- 4/7 平成12年度の遺跡担当者会議。担当者は、菊池 実・榎崎修一郎・石川雅俊・巾千恵子（順託）の4名。
- 4/17 平成12年度の発掘調査開始
- 4/26 プレハブ設置完了
- 4/26 I区の発掘調査開始
- 5/12 高崎土木事務所・県文化財保護課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で開催。発掘調査は、上の面から順に行い、飛行場造成面及び昭和18年田畑の調査も実施することで合意。
- 6/8 II区の発掘調査開始
- 6/22 II区1面の空撮・空測実施
- 7/14 II区2面の空撮・空測実施
- 8/3 II区の石敷遺構の写真実測実施
- 9/1 担当者の小林 徹が転入
- 9/7 I区3面の空撮・空測実施
- 9/29 II区3面の空撮・空測実施
- 10/12 II区1号水路の写真実測実施
- 10/23 II区4面の空撮・空測実施
- 10/24 II区の発掘調査終了
- 10/26 III区の発掘調査開始
- 11/10 棟東中学校の生徒3名が戦場体験に参加
- 11/14 III区1面の空撮・空測実施
- 11/16 III区1面の空撮・空測実施
- 11/20 担当者の小林 徹が下滝天水遺跡へ転出
- 11/22 I区の発掘調査終了



第1図 遺跡位置図(国土地理院1:50,000「前橋」・「標名山」使用)

11/30 担当者の中千恵子（嘱託）が任期満了に伴い退職

12/21 Ⅲ区2面の空撮・空測実施

平成13（2001）年

1/5 作業員13名が応援のため下滝天水遺跡へ異動

1/11 Ⅳ区の発掘調査開始

1/21 元総社西川遺跡（当時、参道Ⅱ遺跡）にて合同で現地説明会実施。

2/19 Ⅲ区水路地上測量実施

3/6 Ⅲ区3面の空撮・空測実施

3/8 Ⅲ区3面の空撮・空測実施

3/16 Ⅲ区4面の空撮・空測実施。Ⅲ区の発掘調査終了

3/23 平成12年度の発掘調査終了。3月末まで、重機による埋め戻しを実施。

4/1 担当者の石川雅俊、本部へ異動。担当者の岡部 豊が転入。

4/6 平成13年度の遺跡担当者会議。担当者は、菊池 実・植崎修一郎・岡部 豊の3名。

4/9 平成13年度の発掘調査開始

4/10 高崎土木事務所・県文化財保護課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で実施。今年度の年度途中で、優先的に塚田中原遺跡の発掘調査を3ヶ月間程度実施することが決定。

4/18 Ⅳ区1面の空撮・空測実施

5/11 高崎土木事務所・県文化財保護課立ち会いの元で、塚田中原遺跡の用地確認を行う。

5/18 Ⅳ区2面の空撮・空測実施

6/5 Ⅳ区2・3面中間の空撮・空測実施

6/13 Ⅳ区3面の空撮・空測実施

6/18 Ⅳ区の発掘調査終了

[7月～10月、塚田中原遺跡発掘調査]

11/2 Ⅶ区の発掘調査開始

11/9 Ⅶ区の発掘調査開始

12/5 Ⅶ区空撮・空測実施

12/21 Ⅶ区遺構確認面の空撮・空測実施

平成14（2002）年

1/10 Ⅶ区1面の空撮・空測実施

2/7 Ⅶ区2面の空撮・空測実施

2/20 高崎土木事務所・県文化財保護課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で実施。平成14年度以降の発掘調査の方針を決定。

3/7 Ⅶ区空撮・空測実施

3/9 現地説明会実施。434名が来跡。

3/22 平成13年度の発掘調査終了。3月末まで、重機による埋め戻しを実施。

4/1 担当者の植崎修一郎・岡部 豊がハッ場ダム調査事務所へ異動。担当者の廣津英一・渡會未央が転入。

4/8 平成14年度の遺跡担当者会議。担当者は、菊池 実・廣津英一・渡會未央の3名。

4/15 平成14年度の発掘調査開始

5/22 Ⅶ区の発掘調査終了

6/7 Ⅶ区空撮・空測実施

8/7 Ⅶ区発掘調査開始。Ⅶ区空撮・空測実施。

8/9 Ⅶ区空撮・空測実施

8/30 Ⅶ区空撮・空測実施

9/4 Ⅶ区空撮・空測実施

9/12 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で実施。平成14年度の下半期の発掘調査の方針を決定。

10/25 Ⅶ区発掘調査終了

11/5 0区の第1次発掘調査開始

11/11 0区空撮・空測実施

11/12 0区第1次発掘調査終了

12/5 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で実施

[11月～12月、引間六石・引間松葉遺跡発掘調査]

平成15（2003）年

[1月～4月、引間松葉遺跡・引間六石・塚田村東遺跡発掘調査]

3/20 平成14年度の発掘調査終了。3月末まで、重機による埋め戻しを実施。

4/1 担当者の廣津英一が、ハッ場ダム調査事務所へ異動。担当者に石原良人・小林 正が転入。

4/3 平成15年度の遺跡担当者会議。担当者は、菊池 実・石原良人・渡會未央・小林 正の4名。

4/11 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で行った

4/14 平成15年度の発掘調査開始

5/7 高崎土木事務所・県文化課との打ち合わせ会議を発掘調査事務所で行った

5/27 0区の第2次発掘調査開始

6/6 0区の空撮・空測実施

6/10 0区の第2次発掘調査終了

[6月～10月、引開六石・塚田村東・塚田的場・塚田中原遺跡発掘調査]

(2) 調査区の設定

調査区は、東側から西側にかけて、0区～Ⅷ区まで8区を設定した。調査区では、水田耕作が行われており、耕地整理が行われた結果、農道が北西から南東及び北東から南西にかけて格子状に通っていた。そこで、基本的に北西から南東の農道を基準として、調査区を設定した。

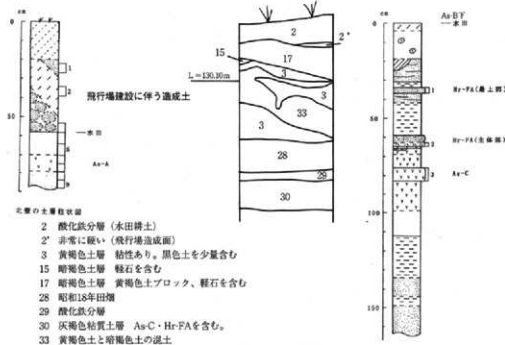
3. 基本土層

標高辻久保遺跡は、標名山東南麓に広がる相馬ヶ

原原状地の先端近くに立地する。従って、土層は、標名山の影響を大きく受けている他に、浅間山噴出物の堆積も見られる。すなわち、標名山噴火の際の、6世紀前半の降下火山灰Hr-FA及び6世紀後半の降下火山軽石Hr-FPと浅間山噴火の際の、4世紀前半の降下軽石As-C・1108年の降下軽石As-B・1783年の降下軽石As-Aである。当遺跡の立地する地域は、水田及び畑が広がる地域であり、圃場整備が実施されている。さらに、昭和18(1943)年に飛行場建設のために当時の昭和18年の田畑を埋めた飛行場造成土層が認められる。この昭和18年の飛行場造成の際に、周辺の微高地を削って埋土に転用した痕跡も認められている。

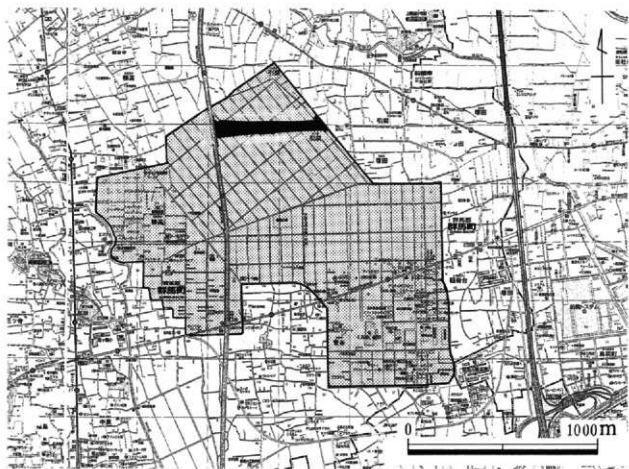
土層の詳細は、第9章自然科学分析の(1)土層とテフラ(4)火山灰分析に掲載されているので、参照されたい。

最上層は現耕作土で、その下に現耕作土に伴う酸化鉄分層・飛行場造成土・昭和18(1943)年当時の田畑の耕土・昭和18年当時の田畑に伴う酸化鉄分層・暗褐色土層(As-Bを含む)・暗褐色土層(As-C・Hr-FAを含む)・灰褐色土層(As-Bを多量に含む)・As-B下水田耕土・As-B下水田に伴う酸化鉄分層と続く。

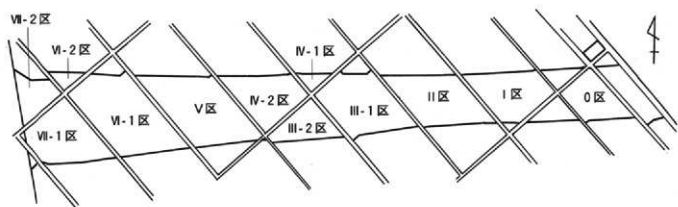


第2図 基本土層

標高(標高)の土層断面



※アミ部分は旧陸軍前橋飛行場跡



第3図 調査区域図

4. 遺跡の地理的・歴史的環境

(1) 地理的環境

遺跡の立地

榑高辻久保遺跡は、群馬県高崎市引間町及び榑高町（調査時は、群馬郡榑馬町大字引間及び同大字榑高）に所在する。本遺跡は、前橋市の中心部から約4.5km西に位置する。一般県道前橋足門線は、南東から北西に通る。また、約1.3km東には関越自動車道が南北に通る。本遺跡の北には、染谷川を挟んで国史跡上野国分僧寺跡がある。遺跡地からは、榑名山・赤城山・妙義山の毛三山などを見渡すことができる。本遺跡の標高は、130m前後である。

地理的環境

本遺跡地は、榑名山の東南麓に広がる相馬ヶ原扇状地の東端部近くにあり、傾斜は緩く前橋台地へと移り変わっていく場所に立地する。本遺跡でも、もっとも東に位置する0区の標高が一番高く、Ⅵ区の南端が最も低い。

相馬ヶ原扇状地は、榑名山南東麓の水沢と白川との間に広がる。その分布は、標高600m付近を扇頂として、標高110m付近にまで達している。これは行政区域で言えば、北は渋川市南部から始まり、北群馬郡榑東村、吉岡町、群馬郡箕郷町北東部、そして榑馬町にまで至る。扇状地を構成する堆積物は、層厚40m以上の相馬ヶ原扇状地地層層からなるとされ（森山、1971）、これは榑名山の活動に伴う噴出物及び山体崩壊によると考えられている。

榑名山は那須火山帯の最南端にあたる第四期複合成層火山で、海拔1449m（掃部ヶ岳）ある。現在では基底の直径約22kmに達する円形の大形火山であるが、その形成は5期に分類される（大島、1986）。第1期は主成層火山体の形成期、第2期は主成層火山帯の爆発的崩壊・再構築期、第3期は側噴火期、第4期は火砕流噴出・カルデラ形成期、第5期は溶岩円頂丘期となっている。特に相馬ヶ原扇状地に関わりあるものとして、第4期の火砕流噴出による堆

積物と山体崩壊に伴う堆積物があり、第5期では、陣馬岩層なだれによる堆積とその上の総社砂層（早田、1990）が挙げられる。これらによる相馬ヶ原扇状地の形成は、約1.7万年前に始まり、縄文時代前期の約5千年前まで続いた。陣馬岩層なだれによる堆積の上層には、浅間板鼻黄色軽石が堆積しており、その年代から約1.4万年前には、扇状地の大部分が形成されていたことになる。一方、新しい堆積物である総社砂層は、前橋台地から相馬ヶ原扇状地にかけて広く分布し、浅間総社軽石層より上位に位置することから、約1万年前以降に始まったと考えられている。そして、その上位には縄文時代前期以降の遺跡が分布している。そのことから、総社砂層の堆積が終了した年代は、まだ確実ではないが、約5千年前と考えられている。

本遺跡に隣接する元総社西川・塚田中原遺跡では、総社砂層の上位からAs-Knらしきテフラ、As-C、Hr-FA、As-B、As-Aが検出されている。

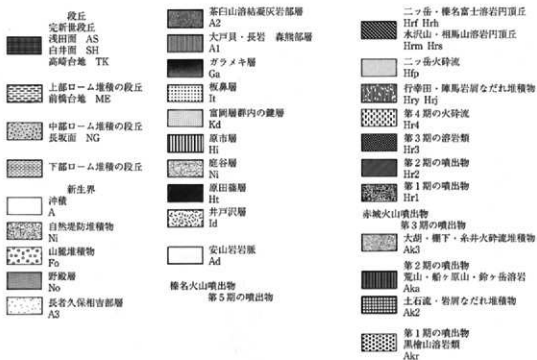
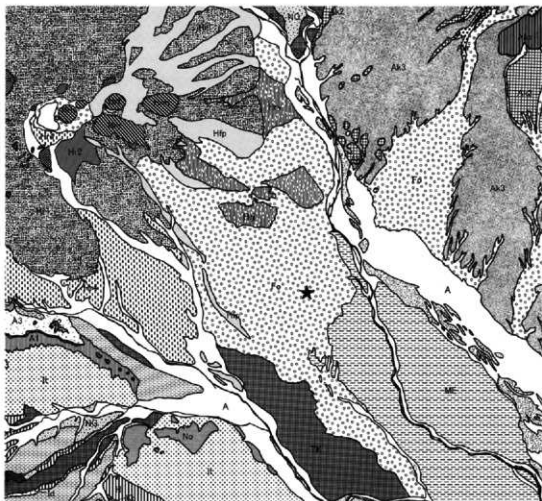
参考文献

- 大島 浩 1986「榑火山」『日本の地質3. 関東地方』共立出版
梶形芳夫 2001「原始古代の榑馬町」『群馬県誌通史編上』群馬町史編纂委員会
群馬県地質図作成委員会 1999「群馬県10万分の1地質図解説書」内外地図株式会社
早田 勉 1990「群馬県の自然と風土」『群馬県史通史編1. 原始古代1』群馬県史編纂委員会
森山昭雄 1971「榑名山東・南麓の地形：特に軽石流の地形について」『地理学報告』35・37合併号
矢口裕之・新井雅之 1996「Ⅱ-2. 地理的環境」『元総社寺田遺跡Ⅲ（本編）——一般河川牛池川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

(2) 歴史的環境

地理的環境において触れたように、本遺跡地は、相馬ヶ原扇状地に立地している。その扇状地の堆積が終了し、安定したのが約5千年前とされる。そのため、周辺で遺跡が見られるようになるのは縄文時代前期後半以降であり、それ以前の遺跡は確認できていない。

ここでは、時代毎に略述し、周辺の土地利用の変



第4図 周辺地質図(群馬県10万分の1地質図 1999より作成) 1/200,000

遷を概観したい。

縄文時代

縄文時代前期後半から、遺跡が見られるようになる。しかし前期では、遺構を伴う遺跡は限られている。上野国分僧寺・尼寺中間地域では諸磯C式期の竪穴住居跡が1軒あるのみである。集落なども含めて、集落の増加が見られるのは、中期の加曾利E式期である。上野国分僧寺・尼寺中間地域で竪穴住居や土坑が多数確認されているほか、北原遺跡、産業道路東遺跡などで遺構が確認されている。後期になると遺跡はやや減少するようである。産業道路西遺跡で遺構が確認されているほか、上野国分僧寺・尼寺中間地域・西国分II遺跡・諏訪西遺跡などで遺物が出土している。晩期では、鳥羽遺跡や上野国分僧寺・尼寺中間地域で遺構と遺物が確認されている。

塚田村東遺跡や元総社西川・塚田中原遺跡などでも前期から後期に属する遺物が出土しているが、遺構は確認できていない。本遺跡では、I区から中期後半の配石土坑1基が検出されている。

弥生時代

当該期の遺構や遺物の数は少ない。前期末に属する遺物が西三社免遺跡で出土している。中期では、上野国分僧寺・尼寺中間地域遺跡や北原遺跡で遺物が出土している。遺構が確認できるようになるのは、後期以降である。上野国分僧寺・尼寺中間地域や下東西遺跡で、集落が確認されている。また、元総社西川遺跡では弥生時代末から古墳時代初頭にかけてに位置付けられる土坑や竪穴住居跡が確認されている。本遺跡では、VI区から後期に属する竪穴住居跡が2軒検出された。

古墳時代

古墳時代になると周辺地域における遺跡の数が増加してくる。本遺跡周辺には遠見山古墳、王山古墳、総社二子山古墳、愛宕山古墳、宝塔山古墳、蛇穴山古墳などからなる総社古墳群があり、やや離れた南

西には井出二子山古墳、八幡塚古墳、薬師塚古墳などからなる保渡田古墳群がある。しかし、本遺跡地近辺には大型の古墳はなく、集落が広がっている。弥生時代後期から集落が営まれている上野国分僧寺・尼寺中間地域では、断絶はあるが、前期から集落が確認されている。他に鳥羽遺跡、西三社免遺跡、小池遺跡、元総社西川遺跡、塚田中原遺跡、稲荷塚道東遺跡などで竪穴住居跡など前期の集落が確認されている。

中期になると、三ツ寺遺跡周辺で遺跡の密度が急速に高まる。しかし、本遺跡周辺ではそのような極端な変化はない。鳥羽遺跡、西三社免遺跡、小池遺跡、後正岡遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域、稲荷塚道東遺跡などで中期の集落が営まれている。また、北谷遺跡では、三ツ寺I遺跡のような豪族居館が確認されている。

後期も引き続き各所で集落が営まれている。本遺跡地において、継続的に土地利用がなされるようになるのが、この時期からである。鳥羽遺跡、上野国分僧寺・尼寺中間地域、後正岡遺跡、小池遺跡、西国分遺跡、諏訪西遺跡、冷水村東遺跡、元総社西川遺跡などで集落など遺構が確認できる。また、元総社西川・塚田中原遺跡では、Hr-FA下の畠跡が確認されている。本遺跡でも、V区及びVI区から前・後期の竪穴住居跡が、またVI区からHr-FA下の畠跡が検出されている。

奈良・平安時代

周辺では古墳時代に引き続き、集落などの遺跡が増加するようになる。

特に前橋市元総社町に置かれたと考えられる国府や群馬町から前橋市にかけての地域に置かれた国分僧寺・国分尼寺により、このあたりは上野国の中心地として栄えるようになっていく。前橋市西部から群馬町東部にかけての地域で、集落が濃い密度で分布している。上野国分僧寺・尼寺中間地域、鳥羽遺跡、国分境遺跡、北原遺跡などを代表として、周辺はほぼ集落で埋め尽くされているといっても過言で

はない。本遺跡や近隣の元総社西川・塚田中原遺跡、塚田村東遺跡でもこの時代が中心である。しかし、これらの集落は10世紀までで、それ以降は不明瞭となっていく。10世紀から、関東地方一円で、堅穴住居から平地住居や掘立柱建物に移行するためと推定されている。平地住居は、発掘調査で検出するのがほぼ不可能であり、掘立柱建物は遺構の年代決定が困難であるからである。

平安時代には、939（天慶2）年に平将門が上野国府を占領し新皇宣言をしたり、1108（天仁元）年には浅間山が噴火し、As-Bと呼ばれる軽石を降下させたりと混乱が起きたことが予測される。本遺跡でも、As-Bに覆われた水田が検出されている。

中世

鎌倉時代に属する遺構や遺物は明らかではない。しかし、時代は下がるが室町時代でも土坑墓や大溝など遺構が確認できることから、古代に引き続き土地利用が続けられていたことが推測できる。国分境Ⅲ遺跡、西国分六ヶ割遺跡、元総社西川・塚田中原遺跡などで、中世に属する遺構や遺物が確認されている。古代から続く重要地域であったためか、城跡も多い。15世紀に上野国守護代長尾氏が、国衙内に蒼海城を築くが、その他金尾城跡など、周辺にはいくつかの城跡が確認されている。上野国衙に関する遺構がきちんと確認できないのは、蒼海城を築いたことによる破壊が、その理由として考えられている。

その後、16世紀に入るとしだいに長野氏が勢力を伸ばすようになる。上野国分僧寺・尼寺中間地域や鳥羽遺跡では、長尾・長野両氏に関する遺構が確認されている。しかし、この時代になると、北条、武田、上杉といった有力戦国大名が上野国を奪い合うようになる。長野氏は武田信玄によって滅ぼされ、その後、武田氏は織田信長によって滅ぼされるなど、戦国時代の上野国は政治的に不安定な状態が続いた。本遺跡では、戦国時代の様相を表すような資料は出土していない。しかしながら、土坑墓・火葬跡や溝跡など、中世に属すると考えられる遺構が検出

されている。

近世及び近代

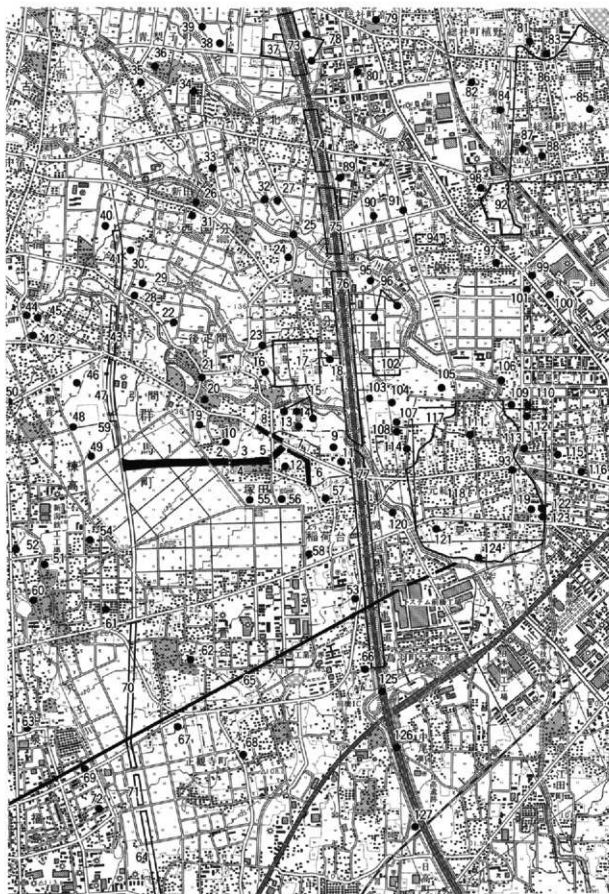
徳川家康が北条氏滅亡後に関東に入ると安定した状態となった。江戸幕府が間かれると、譜代大名や旗本領などとなり、天狗岩用水の開削や、新田開発が行われた。

この時代も文献資料はあっても、遺跡は多くない。上野国分寺・尼寺中間地域では寺院跡と推定される溝・土坑墓が、元総社西川遺跡では大溝が、小池遺跡では土坑墓が確認されるなどしている。塚田村東Ⅳ遺跡でも、畠跡や土坑墓が検出されており、郊外の土地利用の一端が伺える。

本遺跡では、昭和18（1943）年から翌年にかけて建設された前橋飛行場の造成土及び、昭和18年当時の田畑が当時のままの状態で見出されている。塚田村東Ⅳ遺跡及び引開松葉遺跡Ⅱ区では、この前橋飛行場に伴う遺構と考えられる対空高射機観望座の土坑2基や追撃砲砲弾が検出されている。

参考文献

- 『元総社西川遺跡』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001
- 『元総社西川・塚田中原遺跡』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003
- 『塚田村東Ⅳ遺跡・塚田中原遺跡（0区）・引開松葉遺跡（Ⅲ区）』（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005
- 『群馬県史 通史編1、原始古代1』群馬県史編纂委員会 1990
- 『群馬町誌 通史編上 原始古代・中世・近世編』群馬町誌編纂委員会 2001
- 『群馬町誌 資料編1、原始古代・中世編』群馬町誌編纂委員会 1998
- 『前橋市史1・2』前橋市史編さん委員会 1971・1973



第5図 周辺遺跡分布図（国土地理院 1：25,000「前橋」使用）

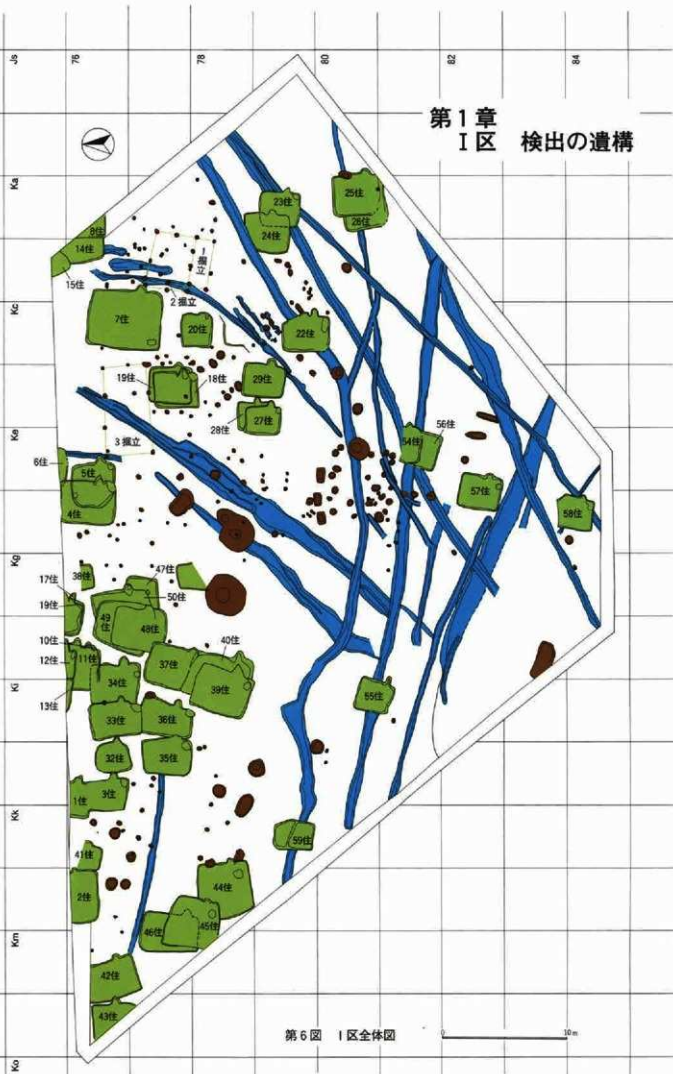
周辺遺跡一覧表

NO	遺跡名	時代	主な文献
1	榑高辻久保遺跡	縄文～近現代	本報告書
2	引間六石遺跡	奈良・平安～中・近世	本報告書
3	引間松雲遺跡Ⅰ・Ⅱ区	平安～中・近世・近代	本報告書
4	塚田の場遺跡	平安～中・近世・近代	本報告書
5	塚田中原遺跡Ⅰ～Ⅲ区	平安～近代	本報告書
6	塚田村東Ⅰ遺跡	古墳・奈良平安～近代	『塚田村東Ⅰ遺跡・塚田中原遺跡・引間松雲遺跡』県庁文書集団 2005
7	塚田中原遺跡0区	古墳～中近世	『塚田村東Ⅰ遺跡・塚田中原遺跡・引間松雲遺跡』県庁文書集団 2005
8	引間松雲遺跡Ⅲ区	奈良～近代	『塚田村東Ⅰ遺跡・塚田中原遺跡・引間松雲遺跡』県庁文書集団 2005
9	塚田中原遺跡	古墳～近世	『国府南部遺跡群Ⅰ・Ⅱ』群馬町教育委員会 2000
10	引間松雲・塚田の場遺跡	古墳～近世	『国府南部遺跡群Ⅰ・Ⅱ』群馬町教育委員会 2000
11	塚田村東遺跡	平安	『塚田村東遺跡調査概報』群馬町教育委員会 1986
12	塚田村東Ⅱ遺跡	奈良・平安	『国府南部遺跡群Ⅳ』群馬町教育委員会 2002
13	元総社西川・塚田中原遺跡	古墳～中世	『元総社西川・塚田中原遺跡』県庁文書集団 2003
14	元総社西川遺跡	古墳～中世	『元総社西川遺跡』県庁文書集団 2001
15	上野国分寺参道遺跡	古墳～平安	『上野国分寺参道遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1997
16	引間宇字盆	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
17	上野国分寺	奈良～	『史跡上野国分寺跡発掘調査報告書』群馬町教育委員会 198913少
18	上野国分二寺中間地域	奈良・平安	『上野国分二寺跡・上野国分二寺中間地域』県庁文書集団、県教委 1993
19	引間宇花園、三社免	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
20	引間宇花園	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
21	後正岡寺願教園、引間宇古屋敷	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
22	後正岡遺跡	古墳～平安	『後正岡遺跡(Ⅰ)～(Ⅲ)』群馬町教育委員会 1985～1988
23	引間古屋敷Ⅱ遺跡	平安	『町内遺跡Ⅹ』群馬町教育委員会 2003
24	西国分寺遺跡群、東国分寺遺跡	縄文	思台報2502
25	国分境Ⅲ遺跡	古墳～平安・中世	『国分境Ⅲ遺跡』群馬町教育委員会 1993
26	西国分Ⅰ遺跡	縄文・弥生・古墳～中世	『西国分Ⅰ遺跡』群馬町教育委員会 1989
27	西国分Ⅱ遺跡	縄文・弥生・古墳～中世	『西国分Ⅱ遺跡』群馬町教育委員会 1990
28	北谷遺跡	古墳	『平成13年度調査遺跡発表会』県庁文書集団 2001
29	引間城址	中世	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
30	冷水村東Ⅱ遺跡、北谷遺跡	古墳	『町内遺跡Ⅳ』群馬町教育委員会 2001
31	西国分六ノ割遺跡	古墳後～中世	『西国分六ノ割遺跡』群馬町教育委員会 1997
32	北原宇下屋敷・ボツタイ	縄文・古墳	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
33	西国分宇向原	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
34	野野谷遺跡	縄文・平安	『野野谷遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1989
35	梅原遺跡	奈良・平安	『清里南部遺跡群Ⅱ』前橋市教育委員会 1981
36	松ノ木遺跡	平安・近世	『清里南部遺跡群Ⅲ』前橋市教育委員会 1981
37	下東西清水上遺跡	縄文～中・近世	『下東西清水上遺跡』県庁文書集団 1998
38	青梨子岩跡	中世	山崎 一『群馬県古城歴史の研究』上巻 群馬県文化事業振興会 1971
39	中嶋遺跡	奈良・平安・中世	『中嶋遺跡発掘調査概報』前橋市教育委員会 1980
40	冷水宇牛池遺跡	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
41	冷水村東遺跡	古墳～中世	『冷水村東遺跡、西国分新田遺跡、金古十三町遺跡』県庁文書集団 1998
42	北渡保保古墳	古墳後	『群馬県遺跡台帳』(西毛編) 群馬町教育委員会 1972
43	諏訪西遺跡	古墳～平安・近世	『諏訪西遺跡』群馬町教育委員会 1965
44	榑高北渡保保b号古墳	古墳	『町内遺跡Ⅰ』群馬町教育委員会 1983 『町内遺跡Ⅲ』群馬町教育委員会 2000
45	榑高北渡保保c号古墳	古墳	『町内遺跡Ⅰ』群馬町教育委員会 1983
46	榑高南渡保保Ⅱ遺跡	古墳～平安	『町内遺跡Ⅴ』群馬町教育委員会 2003
47	小池遺跡	古墳～平安・近世	『小池遺跡』群馬町教育委員会 1992
48	榑高辻ノ内Ⅱ遺跡	古墳	『町内遺跡Ⅳ』群馬町教育委員会 2001
49	榑高辻ノ内Ⅲ遺跡	古墳～平安	『町内遺跡Ⅴ』群馬町教育委員会 2003
50	榑高平石遺跡	古墳	『町内遺跡Ⅱ』群馬町教育委員会 1994
51	榑高南八幡新道遺跡	古墳～平安か	『町内遺跡Ⅵ』群馬町教育委員会 2000
52	榑高南八幡新道Ⅱ遺跡	古墳～平安か	『町内遺跡Ⅶ』群馬町教育委員会 2000
53	稻荷台東金尾塚遺跡	平安	『町内遺跡Ⅷ』群馬町教育委員会 2000
54	榑高宇字北	縄文	『群馬町誌』資料編Ⅰ 群馬町誌編纂委員会 1998
55	塚田村南Ⅱ遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	『国府南部遺跡群Ⅴ』群馬町教育委員会 2003

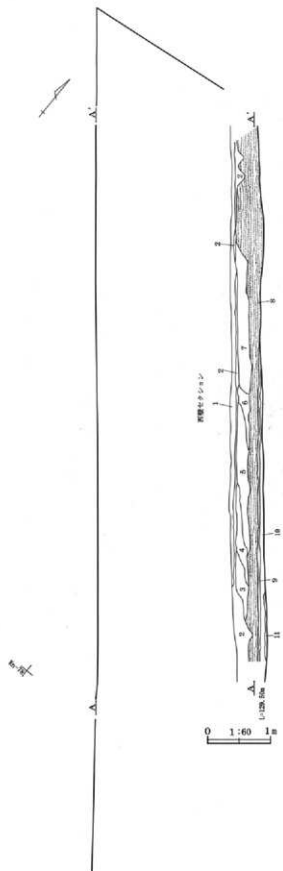
56	塚田村前遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	「国寺南部遺跡群Ⅴ」群馬町教育委員会 2003 「国分南部遺跡群Ⅴ」群馬町教育委員会 2002
57	塚田村東Ⅱ・稲荷台村北遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	「国寺南部遺跡群Ⅲ」群馬町教育委員会 2001
58	稲荷台村南遺跡	縄文・奈良・平安・中・近世	「国寺南部遺跡群Ⅲ」群馬町教育委員会 2001
59	西三社免遺跡	古墳中～平安	「西三社免遺跡」群馬町教育委員会 1990
60	三ツ寺字ノ内橋街道	縄文	「群馬県遺跡台帳」(西毛編) 群馬県教育委員会 1972
61	榑高字東三郎三街遺跡	縄文・奈良・平安・中世 以降	「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1998 「榑高東三郎三街遺跡」県縄文事業団 2005
62	菅谷城跡	中世	山崎 一「群馬県古墳墓址の研究」下巻 群馬県文化事業振興会 1972 「群馬町誌」資料編1 群馬町誌編纂委員会 1998
63	中泉中筋遺跡	古代	「中泉中筋遺跡」群馬町縄文調査報告 第60集町内遺跡区
64	小八木志志貝戸	縄文・古墳～平安	「小八木志志貝戸遺跡群1～4」県縄文事業団 1999～2002
65	那定東山道	奈良・平安	「那定東山道」群馬町教育委員会 1986
66	金尾城(中尾城)	中世	「前橋市史」1 前橋市教育委員会 1971
67	菅谷遺跡	弥生・平安	「菅谷遺跡発掘調査報告」群馬町教育委員会 1980
68	正観寺遺跡群	弥生	「正観寺遺跡群1～Ⅳ」高崎市教育委員会 1979～1982
69	福島橋口V遺跡	弥生・古墳後	「町内遺跡区」群馬町教育委員会 2001
70	菅谷石塚遺跡	古墳	「小八木志志貝戸遺跡群1・2」県縄文事業団 1999・2001 「菅谷石塚遺跡」県縄文事業団 2003
71	正観寺西原	古代	「小八木志志貝戸遺跡群1・2」県縄文事業団 1999・2001
72	諸口遺跡	弥生・古墳	「諸口遺跡Ⅲ」群馬町教育委員会 1985
73	下東西遺跡	縄文前～中世	「下東西遺跡」県縄文事業団 1987
74	北原遺跡	縄文・弥生・古墳後～平安	「北原遺跡」群馬町教育委員会 1986
75	因分城遺跡	古墳後～平安	「因分城遺跡」県縄文事業団 1990
76	上野因分寺・尼寺中間地域	縄文～中・近世	「上野因分寺・尼寺中間地域1～8」県縄文事業団 1987～1992
77	鳥羽遺跡	古墳～中近世	「鳥羽遺跡」県縄文事業団 1986・1988・1990・1992
78	清風南部遺跡群(下東西遺跡)	古墳・奈良・平安	「清風南部遺跡群Ⅲ」前橋市教育委員会 1986
79	高井橋ノ木遺跡	縄文・中世	「高井橋ノ木遺跡」大友町西毛線跡調査会 1999
80	柿木遺跡	縄文～中・近世	「柿木遺跡」前橋市教育委員会 1984
81	稲荷山古墳(総社町総社)	古墳	「稲荷山古墳」前橋市教育委員会 1988
82	総社二子山古墳	古墳後	「群馬総社古墳群」観光資源保護財団 1977
83	大小路山古墳	古墳	「柿木遺跡」前橋市教育委員会 1984
84	愛宕山古墳	古墳	「群馬総社古墳群」観光資源保護財団 1977
85	蓮見山古墳	古墳	「平成6年度町内遺跡発掘調査報告書」前橋市教育委員会 1995
86	総社城跡	近世	山崎 一「群馬県古墳墓址の研究」上巻 群馬県文化事業振興会 1971
87	宝塔山古墳	古墳後	「群馬県史」資料編3 群馬県教育委員会 1981
88	総穴山古墳	古墳中	「群馬総社古墳群」観光資源保護財団 1977
89	北原一町堀遺跡	奈良・平安	「町内遺跡区」群馬町教育委員会 2001
90	因分城Ⅴ遺跡	古墳～平安	「因分城Ⅴ遺跡」群馬町教育委員会 1998
91	因分城Ⅱ遺跡	古墳・奈良	「因分城Ⅱ遺跡」前橋市教育委員会 1992
92	大屋敷遺跡群	縄文・古墳前～中世	「大屋敷遺跡1～Ⅴ」前橋市縄文文化財発掘調査団 1993～1996
93	大友屋敷Ⅲ遺跡	縄文・古墳～中・近世	「大友屋敷Ⅲ遺跡」前橋市教育委員会・前橋市縄文文化財発掘調査団 1987
94	山王楽寺	白鳳～平安	「山王楽寺発掘調査概報1～8」前橋市教育委員会 1976～1982
95	東四分高井道東Ⅱ遺跡	古墳～平安	「町内遺跡区」群馬町教育委員会 2001
96	上野因分尼寺跡北辺遺跡	奈良・平安	「上野因分尼寺跡北辺遺跡」群馬町教育委員会 2002
97	昌楽寺廻内遺跡・Ⅱ遺跡	奈良・平安	「昌楽寺廻内Ⅱ遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 1988
98	村東遺跡	古墳～平安	「村東遺跡」前橋市教育委員会・前橋市縄文文化財発掘調査団 1988
99	藤原道東遺跡	縄文前～中	「前橋市史」前橋市教育委員会 1971
100	稲荷塚道東遺跡	古墳～中世	「稲荷塚道東遺跡」県縄文事業団 2003
101	藤原道西遺跡	縄文前～中	「前橋市史」前橋市教育委員会 1971
102	上野因分尼寺	奈良・平安	「上野因分尼寺跡調査報告書」群馬県教育委員会 1969・1970
103	元総社小見遺跡	縄文・古墳～平安	「元総社小見遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2001
104	元総社小見Ⅱ遺跡	縄文・古墳～中世	「元総社小見Ⅱ遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2003
105	元総社小見Ⅰ内遺跡	弥生・古墳～近世	「元総社小見Ⅰ内遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2002
106	総社甲稲荷塚大道西遺跡、 総社甲稲荷塚大道西Ⅱ・Ⅲ	古墳～平安	「総社甲稲荷塚大道西遺跡、総社甲稲荷塚北Ⅱ遺跡、総社甲稲荷塚大道西Ⅱ遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2002 「総社甲稲荷塚大道西Ⅲ遺跡、総社甲稲荷塚北Ⅲ遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2003
107	元総社草作V遺跡	古墳～中世	「元総社小見Ⅱ遺跡、元総社草作V遺跡」前橋市縄文文化財発掘調査団 2003

108	元総社小見宮遺跡	縄文・古墳～中世	『元総社小見宮遺跡・元総社草作V遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
109	総社開泉明神北遺跡・総社開泉明神北Ⅱ・Ⅲ遺跡	古墳・平安～中世	『総社開泉明神北遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2000 『総社甲稲御塚大道西遺跡・総社開泉明神北Ⅱ遺跡・総社甲稲御塚大道西Ⅱ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2002 『総社甲稲御塚大道西Ⅲ遺跡・総社開泉明神北Ⅲ遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2003
110	開泉橋遺跡	奈良・平安	『開泉橋遺跡』前橋市教育委員会 1963
111	元総社宅地遺跡	古墳～平安	『元総社宅地遺跡・上野園分尼寺寺域確認調査Ⅱ』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 2001
112	開泉橋南遺跡	古墳～奈良・平安	『開泉橋南遺跡』前橋市教育委員会 1966
113	屋敷遺跡	古墳～中・近世	『屋敷遺跡』前橋市教育委員会 1967
114	草作遺跡	縄文～中・近世	『草作遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1965
115	環越Ⅱ遺跡	奈良・平安	『環越Ⅱ遺跡』前橋市教育委員会・前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1968
116	環越遺跡	奈良・平安	『環越遺跡』山武考古学研究所 1968
117	上野園御鎌定域	奈良～	『開泉橋南遺跡』前橋市教育委員会 1963
118	若海城遺跡	中世	山崎 一『群馬県古城遺址の研究』上巻 群馬県文化事業振興会 1971
119	元総社小学校校庭遺跡	奈良・平安	『前橋市史』第1巻 前橋市教育委員会 1971
120	弥助遺跡	古墳～奈良・平安	『弥助遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1990
121	桑谷川古墳	古墳	
122	元総社寺田遺跡	縄文～中・近世	『元総社寺田遺跡Ⅰ～Ⅲ』群馬文事業団 1993・1994・1996
123	寺田遺跡	奈良・平安	『寺田遺跡』前橋市埋蔵文化財発掘調査団 1967
124	早造遺跡	奈良～中世	『平成6年度 市内遺跡発掘調査報告書』前橋市教育委員会 1995
125	中尾遺跡	古墳～中世	『中尾遺跡』群馬文事業団 1963・1964
126	吹屋遺跡	縄文～中世	『元鳥名B・吹屋遺跡』群馬文事業団 1962
127	日高遺跡	弥生～平安	『日高遺跡』群馬文事業団 1962 ほか

第1章
I区 検出の遺構



第6図 I区全体図



西壁 A-A'

- 1 湧水田
- 2 酸化鉄分層
- 3 暗褐色土層
やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、
黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 黒褐色土層
やや硬く締まる。灰褐色土ブロックを多量に、
As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層
やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、
黄褐色炭化物粒子を含む。
- 6 黒褐色土層
やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色ブロッ
クを含む。
- 7 灰褐色土層
やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、
炭化物粒子を含む。
- 8 昭和18年田層
- 9 酸化鉄分層
- 10 灰褐色土層
- 11 暗褐色粘質土層
やや硬く締まり粘性あり。

第7図 西壁セクション

(1) 竪穴住居跡

1号住居跡 (①第8図2第1回、P.L.3・64)

- 位置** KJ-76・Kk-76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺2.9m、短辺1.6m以上の大きさ。住居の北側は調査区域外であるため全容は伺えない。
- 方位** N-95° - E
- 覆土** 覆土は、3層に分かれた。
- 壁高** 住居跡確認面より、約30cm~40cmで床面に達する。
- 床面** ほほ平坦である。面積は、約4.2㎡。
- 竈** 東壁に位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約110cm。両袖に袖石が残存。
- 床下土坑** 床下土坑が3基検出された。
- 遺物** 床面・竈・覆土から、須恵器埴2点・須恵器羽釜4点・土師器甕1点が検出された。
- 時期** 9世紀後半であると推定される。
- 重複** 南側で3号住居と重複している。新旧関係は、1号住居の方が新しい。

3号住居跡 (①第8図2第4回、P.L.3・5・64・65)

- 位置** KJ-76・Kk-76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約3.0m、短辺約2.4mの大きさ。住居北側は1号住居と重複するため、全容は伺えない。検出状況から、隅丸長方形であると推定される。
- 方位** N-93° 30' - E
- 床面** ほほ平坦である。面積は、約7.46㎡。
- 竈** 東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約55cm、両袖方向約80cm。両袖に袖石が残存。
- 土坑** 床下土坑が5基検出された。
- 貯蔵穴** 貯蔵穴が竈の右袖脇に1基検出された。
- 遺物** 床面・竈・貯蔵穴・土坑から、土師器埴1点・須恵器埴2点・須恵器埴3点・土師器甕1点・土師器台付甕1点・須恵器羽釜1点が検出された。
- 時期** 9世紀後半であると推定される。
- 重複** 北側で1号住居と重複している。新旧関係は、3号住居の方が古い。

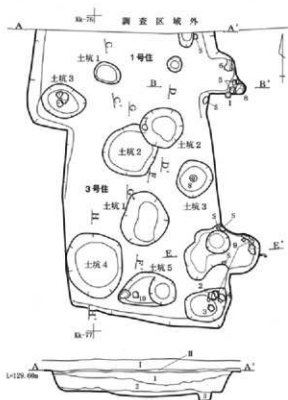
2号住居跡 (①第9図2第2・3回、P.L.4・64)

- 位置** KI-76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺4.3m、短辺2.1mの大きさ。住居の北側は調査区域外であるため、全容は伺えない。
- 方位** N-86° - E
- 覆土** 覆土は、7層に分かれた。
- 壁高** 住居跡確認面より、約35cm~45cmで床面に達する。
- 床面** ほほ平坦である。面積は、約8.6㎡。
- 竈** 東壁に位置する。現状での規模は、煙道約30cm、両袖方向約60cm。
- 柱穴** ビット3・4は柱穴であると推定される。
- 遺物** 床面・竈・覆土から、土師器埴4点・須恵器埴4点・須恵器蓋1点・須恵器小壺1点・土師器甕2点・土師器台付甕2点が検出された。
- 時期** 8世紀後半であると推定される。
- 重複** 重複は、認められなかった。

4号住居跡 (①第10図2第5・6回、P.L.6・7・65)

- 位置** Ke・Kf-75・76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約4.4m、短辺約3.5mの規模である。北側はわずかに一部調査区域外にかかっている。
- 方位** N-93° - E
- 床面** ほほ平坦である。面積は、約13.87㎡。
- 周溝** 周溝が住居の西壁沿い及び南壁沿い西側から東側の中央付近まで検出。
- 竈** 東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約75cm。両袖に袖石が残存。
- 柱穴** ビットが3基のみ検出され、柱穴は認められなかった。
- 土坑** 住居内土坑が2基検出された。この内、土坑2は貯蔵穴の可能性がある。
- 遺物** 床面・土坑・ビット・覆土から、須恵器埴2点・須恵器埴3点・灰釉陶器埴1点・灰釉陶器皿1点・須恵器羽釜1点が検出された。
- 時期** 10世紀前半であると推定される。
- 重複** 5号及び6号住居と重複している。新旧関係は、4号住居の方が新しい。

第1章 1区 検出の遺構



1号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 3 灰土層
- 4 暗褐色土層 軟らかい。焼土、炭化物を多量に含む。
- 5 黄褐色土層 軟らかくて締まりあり。
- 6 灰層
- 7 暗褐色土層 軟らかい。灰を含む。

1号住居内土坑1 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。

1号住居内土坑2 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子を含む。

1号住居跡北壁 A-A'

- I 親水田
- II 酸化鉄分層
- 1 黒褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。上層よりもAs-C・Hr-FA少なく、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。



3号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 焼土ブロックを多く含む。土器片多い。
- 2-a 暗褐色土層 締まりあり。焼土ブロックを主体。カマドの残骸か。
- 3 灰層
- 4 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。
- 5 灰層

3号住居内土坑2 G-G'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物を含む。
- 2 茶褐色土層 やや硬く締まる。

3号住居内土坑4 H-H'

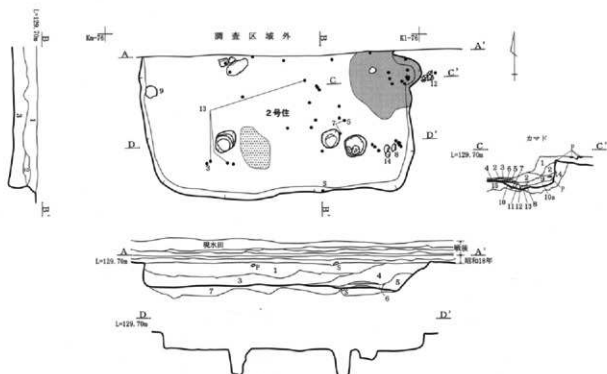
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAをほとんど含まない。

3号住居内土坑1 F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAと焼土粒子を含む。
- 3 茶褐色土層 やや硬く締まる。1、2層に比べてやや明るい色調。焼土粒子を少量含む。

0 1:60 1m

第8図 1号住居跡・3号住居跡

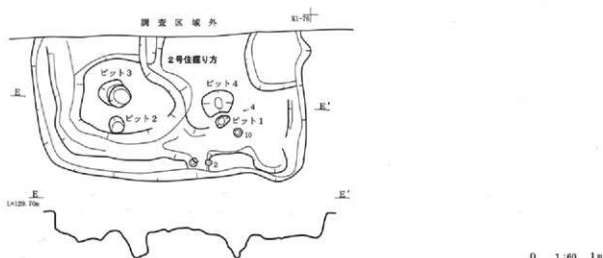


2号住居跡 A-A' B-B'

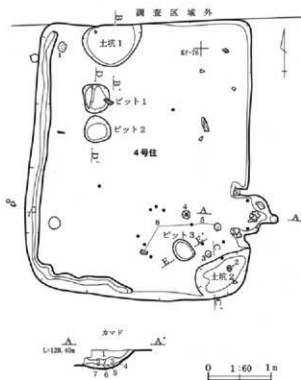
- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。軽石を含まない。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、炭化物、黄褐色土ブロックを含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかく非常に粘性あり。焼土灰を多量に含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く粘り粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 灰層
- 4 暗褐色土層 粘性あり。焼土粒子を多量に、灰も含む。
- 5 灰層
- 6 暗褐色土層 4層に似る。
- 7 灰層
- 8 黄褐色土層 締まりあり。暗褐色土、焼土粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 締まりなし。炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 やや締まりあり。焼土粒子を含む。
- 10-a 10層より焼土の流入が多い。
- 11 黒褐色土層 焼土を含む。
- 12 黄褐色土層 8層に似る。
- 13 暗褐色土層 締まりあり。焼土粒子を含む。
- 14 暗褐色土層 焼土を多量に、炭化物を含む。
- 15 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、焼土粒子を含む。



第9図 2号住居跡・掘り方



4号住居跡カマド A-A'

- 1 暗褐色土層 砂質土ブロックを多く、焼土粒子と炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子を多量に、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 焼土粒子を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 灰を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 3層に似る。
- 7 暗褐色土層 灰を多量に含む。

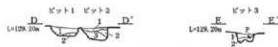


土坑1 B-B'

- 1 暗褐色土層 締まりあり。炭化物、焼土、As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 1層に比べて炭化物は含まない。軽石を少量含む。
- 3 暗褐色土層 粘性あり。

土坑2 C-C'

- 1 黒灰色土層 炭化物を多量に含む。
- 2 明褐色土層 粘性あり。炭化物を少量含む。



ピット1・2 D-D'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 粘性あり。
- 3 暗褐色土層 粘性あり。軽石を含む。

ピット3 E-E'

- 1 黒色粘質土層 やや粘性あり。灰層がかなり取り取く堆積。焼土を含む。
- 2 暗褐色土層 粘性はない。

第10図 4号住居跡

5号住居跡 (①第11回2第7・8回、P.L.6・8・65)

位置 Ke・Kf-76グリッド内で検出された。

形状 長辺及び短辺共に約3.5mの隅丸方形状。

方位 N-90° - E

床面 ほほ平坦である。面積は、約10.12m²。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約70cm、両袖方向約60cm。

土坑 床下土坑2基が検出された。

貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面・竈・貯蔵穴・覆土より、須恵器坏1点・須恵器塊1点・土師器甕1点・土師器台付甕1点・須恵器転用紡錘車1点が検出された。

時期 時期は9世紀後半であると推定される。

重複 4号及び6号住居と重複するが、5号住居の方が古い。

6号住居跡 (①第11回2第9回、P.L.6・9・66)

位置 Ke・Kf-75・76グリッド内で検出された。

形状 住居の北側が調査区域外であり、わずかな部分しか検出できなかったため、不明である。

方位 不明である。

覆土 覆土は、17層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約70cm~75cmで床面に達する。

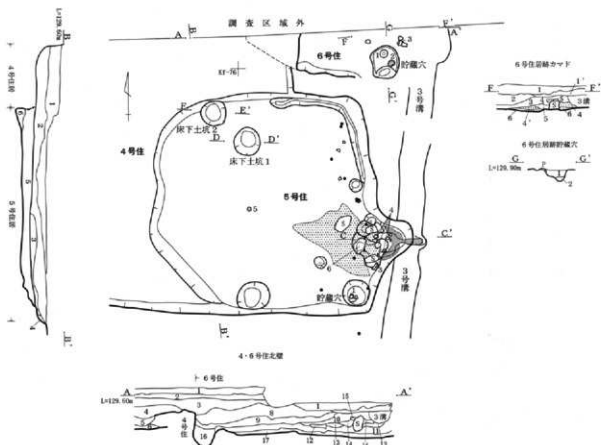
床面 ほほ平坦である。面積は、約1.66m²。

貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面及び貯蔵穴より、須恵器坏1点・須恵器塊1点・須恵器羽釜1点が検出された。

時期 時期は10世紀前半であると推定される。

重複 4号及び5号住居と重複するが、6号住居の方が新しい。



4・6号住居跡北壁 A-A'

- 1 凝結作土層
- 2 黄褐色土層
- 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- ※4・5・6層は、4号住居跡硬土
- 4 暗褐色土層 締まりなし。3層よりAs-C・Hr-FAは、少量。
- 5 暗褐色土層 4層よりAs-C・Hr-FAは少なく、焼土、炭化物を含む。
- 6 明褐色土層 掘り方層土。粘性あり。
- 7 耕作土層 1層より硬く締まる。

4・5号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量、炭化物粒子、焼土粒子を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。炭化物を多量に、焼土粒子を含む。
- 4 茶褐色土層 壁の崩落。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

5号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 締まりなし。焼土ブロックは1層に比べ少ない。
- 3 暗褐色土層 締まりなし。焼土を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 焼土ブロック、炭化物、灰を多量に含む。
- 5 灰層
- 6 茶褐色土層 締まりなし。焼土はほとんど含まない。
- 7 焼土層

- 8 暗褐色土層 3層に似る。焼土を含む。
- 9 暗褐色土層 焼土、炭化物を含む。
- 10 暗褐色土層 9層に似る。炭化物を多量に含む。
- 11 暗褐色土層 硬く締まる。焼土、炭化物を含む。
- 12 暗褐色土層 締まりなし。炭層が交互に入る。
- 13 黒褐色土層 炭化物と灰の層で粘性を帯びる。
- 14 黒褐色土層 炭化物を少量含む。
- 15 暗褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。
- 16 暗褐色土層 全体締まりなし。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 17 黄褐色土層 粘性を帯びる。掘り方層土。



5号住居跡床下土坑1 D-D'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 灰褐色土層 全体に締まりなし。灰を少量含む。

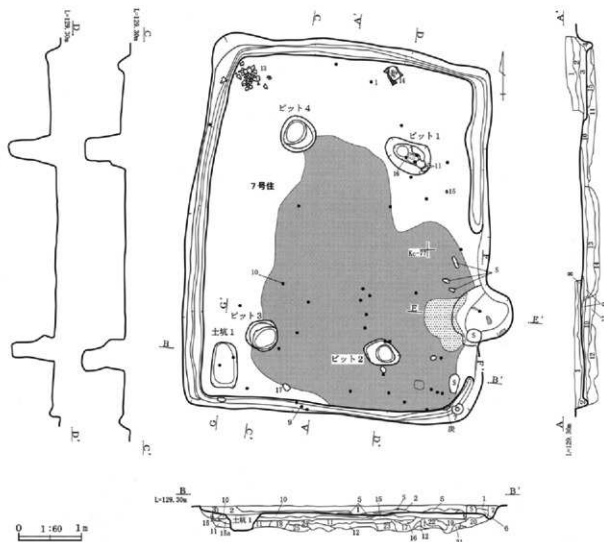
5号住居跡床下土坑2 E-E'

- 1 灰褐色土層 全体に締まりなし。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。

0 1:60 1m

第11図 5号住居跡・6号住居跡

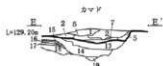
第1章 I区 検出の遺構



7号住居跡 A-A' B-B'

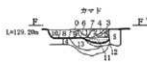
- | | |
|---|---|
| <p>1 暗褐色土層 砂質。焼土粒子、黄色砂質土粒子、
As-C・Hr-FAを含む。</p> <p>2 暗褐色土層 砂質。黄色砂質土粒子を含む。</p> <p>3 暗褐色土層 砂質。黄色砂質土粒子、焼土粒子、
As-C・Hr-FAを少量含む。</p> <p>4 黒褐色土層 砂質だが、粘性のある土を含む。
黄色砂質土粒子を少量含む。</p> <p>5 暗赤褐色土層 砂質。焼土粒子を含む。</p> <p>6 黒褐色土層 粘性少しあり。焼土粒子、黄色砂質土粒子を含む。</p> <p>7 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄色砂質土粒子を含む。</p> <p>8 暗褐色土層 焼土、炭化物を多量に、灰、黄褐色土ブロックを含む。</p> <p>9 赤褐色土層 焼土を多量に、灰黄褐色土を含む。</p> <p>10 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土、炭化物を含む。</p> <p>11 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。</p> | <p>12 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒子を含む。</p> <p>13 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、炭化物粒子、焼土粒子、白色粒子を含む。</p> <p>14 黄褐色土層 粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。</p> <p>15 茶褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。</p> <p>15-a 特に茶褐色土ブロック多い。</p> <p>16 灰褐色土層 多量の焼土粒子と灰を含む。</p> <p>17 黄褐色土層 締まる。ブロック主体。</p> <p>18 黄褐色土層 17層に似る。</p> <p>19 灰黄褐色土層 やや締まりなし。黄褐色土ブロックを含む。</p> <p>20 暗褐色土層 16層に似る。</p> <p>21 黒色土層 締まりなし。</p> <p>22 黒褐色土層 やや締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。</p> <p>23 黒褐色土層 粘性あり。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。</p> <p>24 暗褐色土層 粘性あり締まる。黄褐色土ブロックを少量含む。</p> <p>25 黒褐色土層 黄褐色土ブロックを含む。</p> |
|---|---|

第12図 7号住居跡



カマド E-E' F-F'

- 0 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子を含む。
 1 暗褐色土層 砂質、やや締まりあり。As-C・Hr-FA、
 焼土粒子、黄色砂質土粒子を少量含む。
 2 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、黄色砂質土、
 炭化物粒子を少量含む。
 3 暗褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、
 炭化物粒子を少量含む。
 4 褐色土層 粘質、締まりあり。
 5 暗褐色土層 締まりなし。灰、焼土粒子、炭化物粒子、
 黄色砂質土粒子を少量含む。
 6 灰黄褐色土層 締まりなし。灰、焼土粒子を含む。
 7 橙色土層 焼土ブロック主体の層。
 8 暗褐色土層 粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、
 黄色砂質土粒子を含む。



- 9 褐色土層 粘性あり。焼土粒子、As-C・Hr-FA、
 黄色砂質土粒子を含む。
 10 暗褐色土層 やや締まる。黄色砂質土粒子を含む。
 11 灰層
 12 暗褐色土層 焼土を含む。
 13 茶褐色土層 焼土を多量に、炭化物を少量含む。
 14 赤褐色土層 焼土を多量に、灰を含む。
 15 灰層
 16 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを含む。
 17 灰層
 18 茶褐色土層 焼土、灰を含む。
 19 暗褐色土層 焼土、炭化物を含む。



土坑 1 G-G'

- 1 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子、
 黄褐色土粒子を少量含む。
 2 暗褐色土層 やや締まる。1層より焼土粒子、
 炭化物粒子を多量に含む。
 3 暗褐色土層 締まりなし。黄褐色砂質土粒子を含む。
 4 暗褐色土層 締まりなし。
 5 黄褐色土層 やや締まる。
 6 黄褐色粘質土層 締まりあり。焼土粒子を含む。
 7 暗褐色土層 締まりなし。

7号住居跡 (①第12・13図②第10・11図、P.L. 9
 ~11・66・67)

位置 Kh・Kc-76・77グリッド内で検出。
 形状 長辺約5.9m、短辺約4.8mの規模
 で、隅丸長方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、25層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約20cm~45cm
 で床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積
 は、約26.11㎡である。

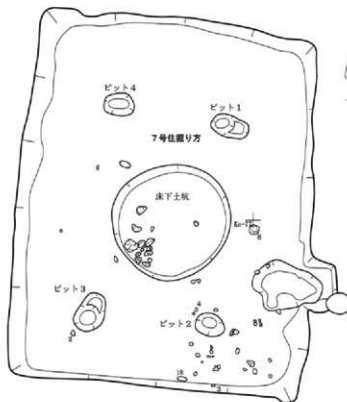
竈 竈は東壁のやや南よりに位置す
 る。現状での規模は、煙道約50cm、両袖
 方向約90cmである。

柱穴 ビット1~4は、柱穴であると推
 定される。

土坑 土坑1が住居の南西隅で検出。床
 下土坑1基が住居中央で検出。

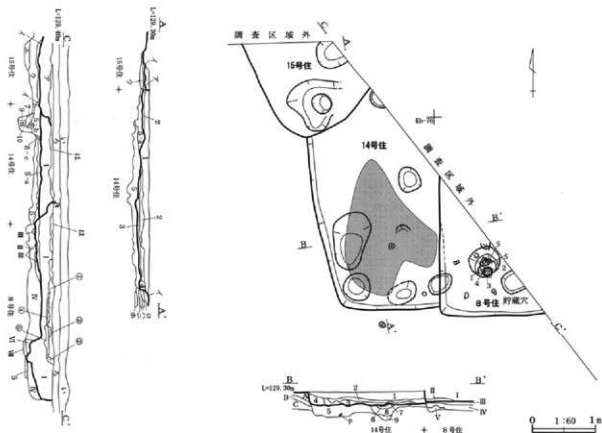
遺物 床面・土坑・柱穴・覆土より、土
 師器及び須恵器の坏・須恵器埴及び蓋・土
 師器及び須恵器の甕が検出された。

時期 時期は8世紀前半と推定される。



第13図 7号住居跡掘り方

第1章 I区 検出の遺構



B・14・15号住居跡 A-A' B-B' C-C'
 い 現耕作土
 ろ 床土
 は 園地整備埋土

8号住居跡

- ① 1層に似る。As・Bを含む。
- ② 1層に似る。As・C・Hr-FAを含む。
- ③ ②層に似る。
- ④ 灰層
- ⑤ 1層に似るが、焼土粒子、炭化物粒子を多く含む。
- I 暗褐色土層 1層に似る。炭化物粒子、灰を含む。
- II 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多く含む、硬く締まる(8号住床面)。
- III 黒褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多く含む。
- IV 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。As・C・Hr-FAを少量含む。
- V 黒褐色土層 粘質。
- VI 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- VII 暗褐色土層 粘質。焼土粒子を少量含む。

住居外

- I 暗褐色土層 焼土、As・C・Hr-FAを少量含む。
- ロ 暗褐色土層 焼土、As・C・Hr-FAを少量含む。
- ハ 黒褐色土層 粘質土。As・C・Hr-FAを少量含む。
- ニ 暗褐色土層 砂質。As・C・Hr-FAを少量含む。
- ホ 暗褐色土層 砂質。
- ア 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を多量に含む。
- B 灰褐色土層 砂質。As・C・Hr-FAを少量含む。
- C 暗褐色土層 粘性強い。

14号住居跡

- 1 暗褐色土層 As・C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 締まりなし。黄褐色砂質土ブロック、As・C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 締まりあり。焼土粒子を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 締まりなし。As・C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 締まりあり。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 5-a 暗褐色土層 5層に黄褐色土粒子を多量に含む。床。
- 5-b 5-aよりも黄褐色土ブロック大きい。
- 5-c 黄褐色土粒子を主体。
- 6 黒褐色土層 粘性あり。
- 7 黄褐色土層 砂質土。
- 8 暗褐色土層 黄褐色土粒子、As・C・Hr-FA、黄褐色砂質土を少量含む。
- 9 暗褐色土層 粘性あり。焼土粒子、黄褐色砂質土粒子を少量含む。
- 10 暗褐色土層 9層に似る。

15号住居跡

- A 暗褐色土層 1層に似るが、As・C・Hr-FAの混入が少ない、非常に締まる。
- イ 暗褐色土層 黄褐色土粒子を多量に含む。15号住床面。
- ウ 暗褐色土層 黄褐色砂質土ブロックを含む。As・C・Hr-FAを少量含む。15号住埋り方。
- エ 暗褐色土層 粘性強い。灰白色粘質土粒子を含む。

第14図 8号住居跡・14号住居跡・15号住居跡

8号住居跡 (①第14回2第12・13回、P.L.11・12・67)

- 位置** Ka-76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約1.85m、短辺約1.65mの規模である。北側が調査区域外であるため、住居の全容は不明。
- 方位** N-90° -W (西壁方位)
- 覆土** 覆土は、17層 (①層～⑤層、I層～VII層)に分かれた。
- 壁高** 住居確認面より、約30cm～50cmで床面に達する。
- 床面** やや凹凸がある。検出された面積は、約1.68㎡である。
- 竈** 住居が重複しており、検出されなかった。
- 貯蔵穴** 貯蔵穴が1基検出された。
- 遺物** 床面より、須恵器坏2点・須恵器埴2点が検出された。
- 時期** 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。
- 重複** 14号住居と重複している。新旧関係は、8号住居の方が新しい。

14号住居跡 (①第14回2第19回、P.L.12・69)

- 位置** Ka-76、Kb-75・76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約2.8m、短辺約1.6mの規模である。北東部は調査区域外であり、北側は15号住居と、また東南部は8号住居と重複しているため、詳細は不明である。
- 方位** N-16° -W (西壁軸)
- 覆土** 覆土は、13層に分かれた。
- 壁高** 住居確認面より、約25cm～30cmで床面に達する。
- 床面** やや凹凸がある。検出された面積は、約5.26㎡である。
- 竈** 住居が重複しており、検出されなかった。
- 柱穴** 検出されなかった。
- 遺物** 覆土より、土師器坏1点が検出された。
- 時期** 出土遺物より、8世紀後半であると推定される。
- 重複** 8号及び15号住居と重複している。新旧関係は、14号住居の方が古い。

15号住居跡 (①第14回、P.L.12)

- 位置** Kb-75・76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約1.6m、短辺約1.45mの規模である。北側及び東側が調査区域外であるため、詳細は不明である。
- 方位** N-33° -W (西壁軸)
- 覆土** 覆土は、4層に分かれた。
- 壁高** 住居確認面より、約25cm～40cmで床面に達する。
- 床面** やや凹凸がある。検出された面積は、約2.1㎡である。
- 竈** 住居が重複しており、検出されなかった。
- 柱穴** ビット1基のみ検出され、柱穴は認められなかった。
- 土坑** 検出されなかった。
- 時期** 時期を特定できる遺物が出土していないため、住居の時期は不明である。
- 重複** 14号住居と重複している。新旧関係は、15号住居の方が新しい。

9号住居跡 (①第15回2第14・15回、P.L.12・13・67)

- 位置** Kg・Kh-75・76グリッド内で検出された。
- 形状** 長辺約2.4m、短辺約1.15mの規模である。住居北側は調査区域外であるため、全容は伺えない。
- 方位** N-90° -E
- 覆土** 覆土は、6層に分かれた。
- 壁高** 住居確認面より、約15cm～20cmで床面に達する。
- 床面** ほぼ平坦である。検出された面積は、約3.5㎡である。
- 竈** 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約50cm、竈南側方向約30cm。
- 遺物** 床面・竈・土坑・覆土より、須恵器坏2点・須恵器埴5点・須恵器皿1点・土師器台付甕1点・須恵器羽釜1点が検出された。
- 時期** 出土遺物より、時期は10世紀後半であると推定される。
- 重複** 17号住居と重複している。新旧関係は、9号住居の方が新しい。

第1章 I区 検出の遺構



- 9・17号住居跡 A-A'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
 - 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子を含む。
 - 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を多量に、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 - 4 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
 - 5 灰層
 - 6 暗褐色土層 軟らかい。灰を多量に含む。
 - 7 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロック、炭化物粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。

17号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。上層より焼土、炭化物粒子を多く含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 焼土主体の層。

17号住居内土坑1 C-C'

- 1 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、黄褐色土粒子、灰を少量含む。
- 2 灰層
- 3 暗褐色土層 締まりなし。灰をまばらに含む。

第15図 9号住居跡・17号住居跡

17号住居跡 (①第15図②第16図、P.L.13・16・68)

位置 Kg・Kh-75・76グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.4m、短辺約1.15mの規模である。

北側は調査区域外であり、9号住居の下から検出されたため、全容は不明である。

方位 N-100° - E

覆土 覆土は、1層に分かれた(1層~6層は9号住居跡、7層が17号住居跡)。

壁高 住居確認面より、約10cm~20cmで床面に達する。

床面 はほぼ平坦である。検出された面積は、約2.86㎡である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約80cm、両袖方向約50cm。

柱穴 検出されなかった。

土坑 竈の南側に土坑1が1基検出された。位置から、貯蔵穴である可能性が高い。

貯蔵穴 竈の南側に土坑1が検出されているが、位置から貯蔵穴である可能性が高い。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器皿1点・須恵器埴1点・土師器壺2点・須恵器壺1点が検出された。

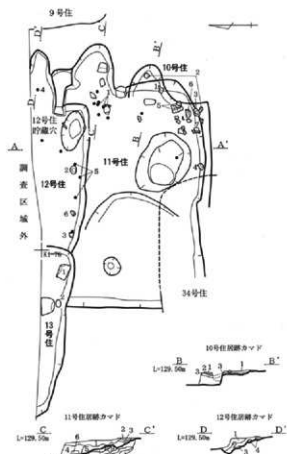
時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 9号住居と重複している。新旧関係は、17号住居の方が古い。

10号住居跡 (①第16図②第17図、P.L.14・68)

位置 Kh-76グリッド内で検出された。

(1) 竪穴住居跡

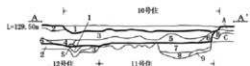


10号住居跡カマド B-B'

- 1 暗褐色土層 縮まりあり。焼土粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 灰層 縮まりなし。
- 3 暗褐色土層 縮まりあり。

12号住居跡カマド D-D'

- 1 黄褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 縮まりなし。焼土粒子を多量に、灰を少量含む。
- 3 黄褐色土層 縮まる。暗褐色土を含む。
- 4 焼土層



10-11-12号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 縮まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。10号住居層土。
 - 2 暗褐色土層 1層よりも明るく、軽石、黄褐色土ブロックの混入が少ない。
 - 3 暗褐色土層 1・2層よりも黒みが強い。As-C・Hr-FAを1・2層よりも少なく混入。黄褐色土ブロックを少量含む。
 - 4 暗褐色土層 縮まりなし。炭化物粒子を含む。
 - 5 暗褐色土層 縮まりなし。大きめの黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを少量含む。
 - 6 黒色土層 縮まりなし。黄褐色土粒子を少量含む。11号住居層土。
 - 7 暗褐色土層 やや硬く縮まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 8 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
 - 9 黄褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- ※A・B・C層は、11号住居掘り方層土
 A 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
 B 黒褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
 C 暗褐色土層 粘性強い。As-Cを少量含むか？

12号住居跡 A-A'

- 1 黒褐色土層 軟らかい。焼土、灰を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く縮まる。焼土ブロック、炭化物粒子を含む。

11号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 縮まりありなし。As-C・Hr-FAを少量、焼土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや縮まりあり。焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 縮まりなし。焼土を含む。
- 4 暗褐色土層 焼土粒子は非常に少ない。
- 5 暗褐色土層 縮まりなし。焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒を少量含む。
- 7 暗褐色土層 やや縮まる。焼土ブロック、焼土を多量に含む。
- 8 焼土層
- 9 赤褐色土層 やや硬く縮まる。焼土ブロック粒子を多量に、炭化物粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかい。多量の炭化物、灰を含む。
- 11 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子、灰を少量含む。
- 12 暗褐色土層 軟らかい。
- 13 暗褐色土層 やや硬く縮まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 14 暗褐色土層 軟らかい。

0 1:60 1m

第16図 10号住居跡・11号住居跡・12号住居跡・13号住居跡

形状 掘り方で10号住居が確認されたが、11号住居と重複しているため全容は不明である。大きさは、東西壁で約1.6m・南北壁で約1.3m。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、1層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より、約5cm~15cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙

道約60cm、両軸方向約70cmで、支脚1点検出。

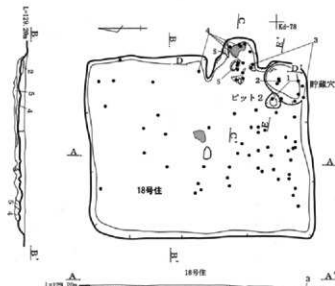
遺物 床面・覆土より、須恵器坏2点・須恵器埴2点・土師器甕2点・土師器台付甕1点・支脚1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半と推定。重複 11号・12号・13号住居と重複している。新旧関係は、10号住居の方が新しい。

第1章 I区 検出の遺構

11号住居跡 (①第16図②第18図、P.L.14・15・66)

位置 Kh・Ki-76グリッド内で検出された。
形状 長辺約3.5m、短辺約1.9mの規模である。
北側が12号住居及び13号住居と重複しているため、全容は不明である。
方位 N-90°-E
覆土 覆土は、12層(2層~9層、A層~C層)に分かれた。
壁高 住居確認面より、約15cm~20cmで床面に達する。



18号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 砂質。締まりなし。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄色砂質土ブロックを含む。炭化物粒子を極少量含む。
- 2 暗褐色土層 締まりなし。1層より焼土粒子を多く含む。
- 3 暗褐色土層 粘性少しあり。1層に似るが、黒みを帯びる。
- 4 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 3層に似る。粘性高い。

18号住居跡カマド C-C' D-D'

- 1 暗褐色土層 砂質。締まりなし。焼土粒子、黄色砂質土ブロック、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 暗褐色土層 砂質。締まりなし。焼土粒子、白色粘質土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。締まりなし。焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 砂質。締まりあり。As-C・Hr-FA、黄色土粒子、焼土粒子を極少量含む。
- 5 暗褐色土層 砂質。締まりなし。炭化物を含む。
- 6 暗褐色土層 やや締まりあり。粘性少しあり。黄色土粒子を極少量含む。
- 6-a 暗褐色土層 やや締まる。
- 6 暗褐色土層 6層に白色粘質土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 締まりなし。6層に似るが焼土の混入が少ない。
- 8 暗褐色土層 粘質。締まりあり。焼土粒子、白色粘質土粒子、黄色砂質土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 砂質。締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約6.11㎡である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約75cm、両袖方向約80cm。南側の袖石が残存。

柱穴 ビットが1基検出されたが、柱穴は検出されなかった。

貯蔵穴 検出されなかった。

遺物 床面・竈より、土器器坏1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は8世紀前半であると推定される。



貯蔵穴・ピット2 E-E'

- 1 黒褐色土層 ビット2層土。黄色砂質土粒子。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 褐灰色土層 貯蔵穴覆土。As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子を少量含む。



カマド

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

1:129.20m

0 1:60 1m

第17図 18号住居跡

重複 10号・12号・13号住居と重複している。新旧関係は、11号住居の方が古い。

12号住居跡 (①第16回②第16回, P.L.14・15・69)

位置 Kh-75・76グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.4m、短辺約0.9mの規模である。北側は調査区域外であり、西側は13号住居と重複しているため、詳細は不明である。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、3層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm～15cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約1.80㎡である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約90cm、両袖方向約40cmである。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 竈の南側に1基検出された。

遺物 床面・竈・貯蔵穴より、土師器杯1点・須恵器壺1点・須恵器蓋2点・土師器甕1点が検出。

時期 出土遺物より、時期は8世紀後半であると推定される。

重複 11号及び13号住居と重複している。新旧関係は、12号住居の方が11号住居より新しく13号住居よりも古い。

13号住居跡 (①第16回②第19回, P.L.14・69)

位置 Kh・Ki-76グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.5m、短辺約0.5mの規模である。北側は調査区域外であり、東壁と南壁の一部が検出されたのみであるため詳細は不明である。

方位 不明

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約0.74㎡である。

内部施設 竈・柱穴・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 白石2点が検出された。

時期 時期を特定できる遺物が出土していないため、住居の時期は不明である。

重複 11号・12号住居と重複している。新旧関係

は、13号住居の方が、11号住居や12号住居よりも古い。

18号住居跡 (①第17回②第20回, P.L.16・17・69)

位置 Kd-77・78グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.55m、短辺約2.85mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、5層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm～15cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦で、検出面積は、約9.18㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約45cm、両袖方向約70cmである。

柱穴 ビットが1基検出された。

貯蔵穴 竈の南側に貯蔵穴1基が検出された。

遺物 竈・貯蔵穴・覆土より、須恵器壺1点・土師器台付甕1点・土師器甕2点・砥石1点が検出。

時期 出土遺物より、時期は9世紀前半と推定。

重複 19号住居と重複している。新旧関係は、18号住居の方が新しい。

19号住居跡 (①第18回②第21・22回, P.L.17・18・69・70)

位置 Kd-77・78グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.45m、短辺約2.9mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、4層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約30cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦で、検出面積は、約9.28㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約80cm。両側の袖石が残存する。

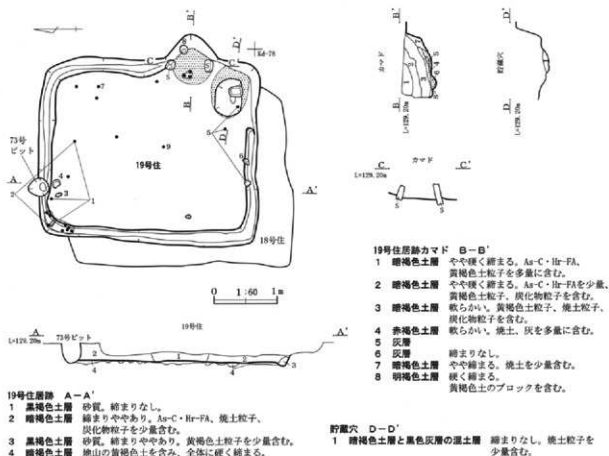
貯蔵穴 竈の南側に貯蔵穴1基が検出された。

遺物 床面より、土師器杯5点・須恵器壺2点・須恵器甕2点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は8世紀後半であると推定される。

重複 18号住居と重複している。新旧関係は、19号住居の方が古い。

第1章 1区 検出の遺構



第18図 19号住居跡

20号住居跡 (①第19回②第23・24回、P.L.19・70)

位置 Kc-77・78グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.6m、短辺約2.5mの規模である。

形状は、隅丸方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、3層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦で、検出面積は、約5.65㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約30cm、両袖方向約65cm。南側の袖石が残存。

遺物 床面・覆土より、須恵器埴輪3点・土師器甕1点・磁石1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 重複は、認められなかった。

21号住居跡 (①第20回、P.L.19)

位置 Kc-78グリッド内で検出された。

形状 長辺約1.8m、短辺約1.5mの規模である。

北壁と西壁の一部のみ検出されており、東側及び南側は溝により切られているため詳細は不明である。

方位 N-0°-W (西壁)

覆土 覆土は、4層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約1.28㎡である。

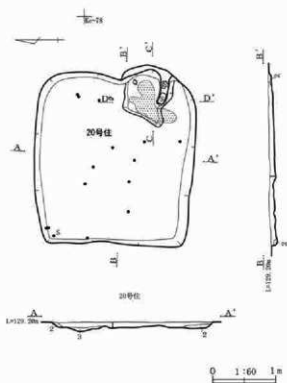
内部施設 竈・柱穴・貯蔵穴・土坑等の内部施設は、検出されなかった。

遺物 検出されなかった。

時期 時期を特定できる遺物が検出されなかったため、住居の時期は不明である。

重複 重複は、認められなかった。

(1) 竪穴住居跡



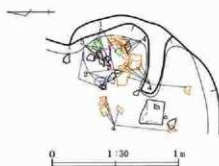
20号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 砂質。締まりなし。As-C・Hr-FA、
焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 砂質。締まりなし。As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。締まりなし。As-C・Hr-FAを含む。



- カマド C-C' D-D'
- 1 暗褐色土層 砂質。締まりなし。As-C・Hr-FA、
焼土粒子を含む。
 - 1-a 1層に似る。砂質。締まりなし。
焼土粒子、白色粘質土粒子、
炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 砂質。締まりなし。焼土ブロックを
含む。
 - 3 暗褐色土層 締まりなし。灰層。
 - 4 棕色土層 焼土ブロック。
 - 5 暗褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FAを含む。
 - 6 黒褐色土層 粘質。締まる。黄褐色土粒子を含む。

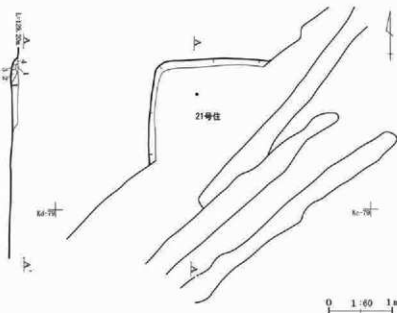
カマド遺物出土状況



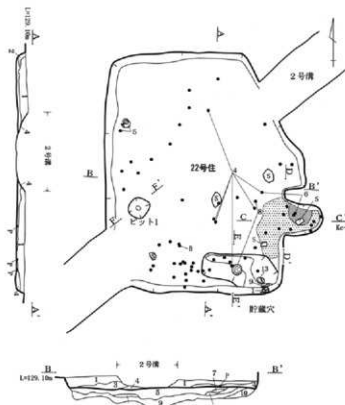
第19図 20号住居跡・カマド

21号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、
炭化物粒子、
黄色砂質土粒子を含む。
- 2 黒褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、
黄色砂質土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。
- 4 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを極少量含む。
砂質。
As-C・Hr-FAを含む。

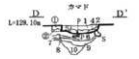


第20図 21号住居跡



22号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 3 暗褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。
- 4 黒褐色土層 粘質。締まりなし。黄色砂質土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 6 暗褐色土層 粘質。
- 7 暗褐色土層 軟らかい。
- 8 黒褐色土層 下層に灰層が厚く堆積。焼土ブロックも含む。
- 9 黒褐色土層 硬く締まる。
- 10 明褐色土層 硬く締まる。



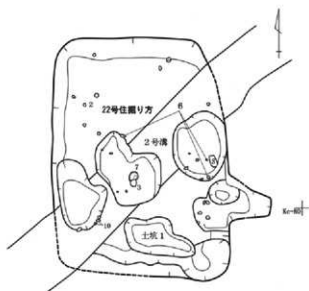
カマド C-C' D-D'

- 1 暗褐色土層 粘性あり、やや締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄色砂質土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、灰を含む。
- 3 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子を含む。
- 4 橙色土層 締まりあり。焼土主体の層。
- 5 暗褐色土層 かなり締まる。焼土粒子、As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。袖。
- 6 赤褐色土層 焼土ブロック、灰を多量に含む。
- 7 焼土層
- 8 黒色土層 軟らかい。灰、焼土を含む。
- 9 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土ブロックを少量含む。
- 10 暗褐色土層 硬く締まる。
- 11 暗褐色土層 9層に似るが、焼土を含まない。
- ① 住居覆土1層
- ② 住居覆土2層



貯蔵穴 E-E'

- 1 灰褐色土層 砂質。焼土粒子、炭化物粒子、黄色砂質土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、灰、黄色砂質土粒子を含む。
- 3 灰褐色土層 粘性あり。
- 4 灰黄褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 5 黒褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。



第21図 22号住居跡・掘り方

22号住居跡 (①第21図②第25・26図、P.L.20・70)

位置 Kc-79・80グリッド内で検出された。
 形状 長辺約3.8m、短辺約2.9mの規模である。
 形状は、隅丸長方形を呈する。
 方位 N-90° -E
 覆土 覆土は、10層に分かれた。
 壁高 住居確認面より、約10cm~15cmで床面に達する。
 床面 はほぼ平坦である。検出された面積は、約9.45㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約70cm、両袖方向約60cm。

柱穴 ビットが1基検出されたが、柱穴は検出されなかった。

貯蔵穴 竈の南側に貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面・床下土坑・覆土より須恵器坏3点・須恵器埴6点・須恵器蓋2点・土師器甕1点が検出。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 住居の北東から南西に走行する2号溝と重複している。新旧関係は、22号住居の方が古い。

23号住居跡 (①第22図②第27図、P.L.21・70・71)

位置 Ka-79グリッド内で検出された。
 形状 長辺約3.3m、短辺約2.8mの規模である。
 形状は、隅丸長方形を呈する。
 方位 N-93° -E
 覆土 覆土は、2層に分かれた。
 壁高 住居確認面より、約15cmで床面に達する。
 床面 はほぼ平坦で、検出面積は、約8.5㎡である。
 竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約60cm。

遺物 床面・覆土より、須恵器坏3点・須恵器埴3点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 24号住居及び1号溝と重複している。新旧関係は、23号住居の方が24号住居及び1号溝よりも古い。

24号住居跡 (①第22図②第28・29図、P.L.21・71)

位置 Ka・Kb-78・79グリッド内で検出された。
 形状 長辺約3.6m、短辺約3.0mの規模である。
 形状は、隅丸長方形を呈する。
 方位 N-90° -E
 覆土 覆土は、10層に分かれた。
 壁高 住居確認面より、約5cm~15cmで床面に達する。
 床面 はほぼ平坦で、検出面積は、約9.9㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約70cm。

遺物 床面・覆土より、須恵器坏4点・須恵器埴7点・土師器甕3点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半~10世紀前半であると推定される。

重複 23号住居及び2号溝と重複している。新旧関係は、24号住居の方が23号住居よりも新しく、2号溝の方が24号住居よりも新しい。

25号住居跡 (①第23・24図②第30図、P.L.22・23・71)

位置 Ka-80・81グリッド内で検出された。
 形状 長辺約3.8m、短辺約3.2mの規模である。
 南東隅は調査区域外であり、南壁は26号住居と重複しており全容は伺えない。
 方位 N-90° -E
 覆土 覆土は、9層に分かれた。
 壁高 住居確認面より、約20cm~30cmで床面に達する。
 床面 はほぼ平坦で、検出面積は、約11.9㎡。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約70cm。

柱穴 検出されなかった。

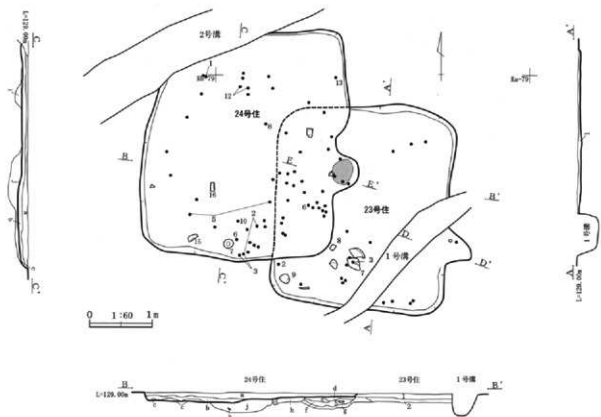
貯蔵穴 床下土坑1基が住居中央で検出された。

遺物 床面・覆土より、土師器坏4点が検出。

時期 出土遺物より、時期は8世紀後半と推定。

重複 26号住居及び3号土坑と重複している。新旧関係は、25号住居の方が26号住居よりも新しく、3号土坑の方が25号住居よりも新しい。

第1章 1区 検出の遺構



23-24号住居跡 A-A' B-B' C-C'

- 1 暗褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- a 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- b 暗褐色土層 やや締まりあり。As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子を少量含む。
- c 黒褐色土層 締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- d 灰褐色土層 灰、As-C・Hr-FAを含む。
- e 暗褐色土層 焼土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。

- f 暗褐色土層 焼土ブロック、灰を含む。
- g 暗褐色土層 粘質、焼土粒子を含む。
- h 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- i 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。
- j 暗褐色土層 軟らかい。焼土ブロック、As-C・Hr-FAを多量に含む。

23号住居跡カマド



24号住居跡カマド

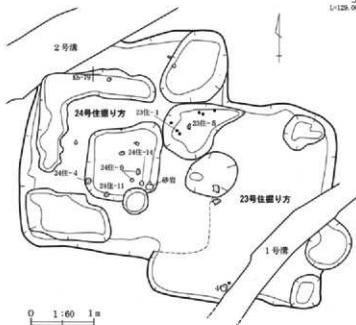


23号住居跡カマド D-D'

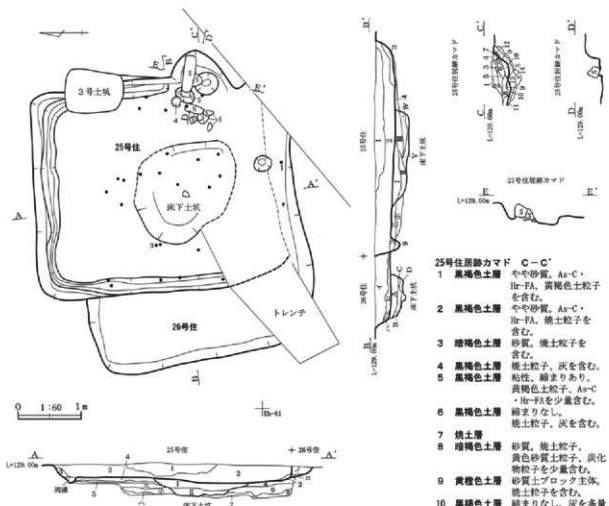
- 1 黒褐色土層 砂質、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 5 灰黄褐色土層 粘性、締まりあり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 6 黒褐色土層 締まりなし。焼土粒子を少量含む。
- 7 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 8 灰褐色土層 締まりなし。灰を多量に含む。
- 9 暗褐色粘質土層 焼土を少量含む。

24号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 黒褐色土層 灰を多量に、焼土ブロックを少量含む。
- 3 焼土層
- 4 明褐色土層 焼土粒子を含む。
- 5 黒褐色土層 締まりなし。灰を多量に、焼土ブロックを少量含む。



第22図 23号住居跡・24号住居跡・掘り方



25号住居跡 A-A' B-B'

- 1 黒褐色土層 砂質。焼土粒子、As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 砂質。やや締まる。黄色砂質土粒子、As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 3 黒褐色土層 粘性ややあり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 6 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土ブロック、灰を多量に含む。
- 7 暗褐色土層 6層より焼土は少なく、As-C・Hr-FAを含まない。
- 8 暗褐色土層 粘性あり。焼土は含まない。
- 9 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FAを少量含む。

26号住居跡 A-A' B-B'

- イ 暗褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子を少量含む。
- ロ 黒褐色土層 締まりなし。黄色砂質土粒子を少量含む。
- ハ 黒褐色土層 締まりなし。黄色砂質土粒子を少量含む。
- ニ 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
- ホ 暗褐色土層 硬い。二層よりAs-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- ヘ 暗褐色土層 粘性あり。二層より礫石は少ない。

25号住居跡カマド C-C'

- 1 黒褐色土層 やや砂質。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黒褐色土層 やや砂質。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。焼土粒子を含む。
- 4 黒褐色土層 焼土粒子、灰を含む。
- 5 黒褐色土層 粘性。締まりあり。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。締まりなし。
- 6 黒褐色土層 焼土粒子、灰を含む。
- 7 焼土層
- 8 暗褐色土層 砂質。焼土粒子、黄色砂質土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 9 黄褐色土層 砂質ブロック主体。焼土粒子を含む。締まりなし。灰を多量に、焼土粒子を含む。
- 10 黒褐色土層 締まりあり。焼土粒子を含む。
- 11 暗褐色土層 締まりあり。焼土粒子を含む。
- 12 赤褐色土層 焼土粒子を多量に含む。
- 13 暗褐色土層 締まりなし。灰と焼土粒子を含む。
- 14 暗褐色土層 焼土粒子を少量含む。

25号住居跡灰下土坑 A-A' B-B'

- I 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- II 暗褐色土層 As-C・Hr-FAは、I層に比べ少量になる。
- III 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を多量に含む。
- IV 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- V 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子を少量含む。

26号住居跡灰下土坑 B-B'

- A 暗褐色土層 III層と同じ。
- B 暗褐色土層 III層に似る。
- C 暗褐色土層 焼土粒子を多量に含む。
- D 暗褐色土層 V層に似る。

第23図 25号住居跡・26号住居跡

26号住居跡 (①第23・24回②第31回、P.L.23・71)

位置 Ka-80・81グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.7m、短辺約2.5mの規模である。東側が25号住居と重複しているため、全容は伺えない。

方位 N-11°-W (西壁軸)

覆土 覆土は、6層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約25cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約3.7m²である。

竈 掘り方検出時に、南東隅に検出された。

柱穴 検出されなかった。

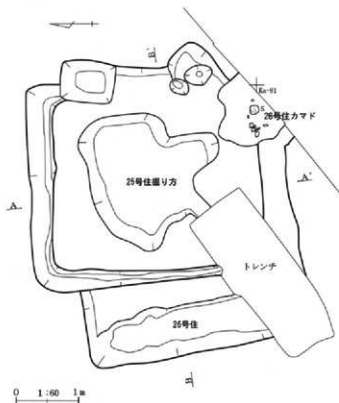
貯蔵穴 検出されなかった。

土坑 検出されなかった。

遺物 床面より、土師器環1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は8世紀前半であると推定される。

重複 25号住居と重複している。新旧関係は、26号住居の方が古い。



第24図 25-26号住居跡掘り方

27号住居跡 (①第25回②第32・33回、P.L.24・71・72)

位置 Kd・Ke-79・80グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.8m、短辺約2.3mの規模である。形状は、隅丸方形状を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、10層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約15cm~20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約5.6m²である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約60cm。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 竈の南側に、貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面・竈・覆土より、土師器環1点・須恵器埴7点・土師器台付甕2点・土師器甕1点・須恵器羽釜3点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 28号住居と重複している。新旧関係は、27号住居の方が新しい。

28号住居跡 (①第25回②第34回、P.L.24・25・72)

位置 Kd・Ke-79・80グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.2m、短辺約2.2mの規模である。南側及び西側が27号住居と重複しているため、全容は伺えない。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、2層(11層、12層)に分かれた。

壁高 確認面より、約5cm~15cmで床面に達する。

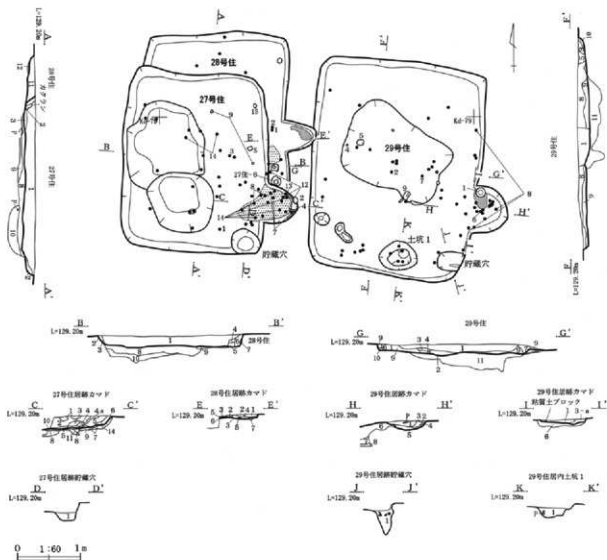
床面 ほほ平坦で、検出面積は約1.79m²である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約50cm。

遺物 床面・竈より、須恵器環1点・須恵器埴2点が検出された。

時期 出土遺物より時期は10世紀前半と推定。

重複 27号・29号住居と重複している。28号住居の新旧関係は、27号より古く29号より新しい。



27-28号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、灰白色粘質ブロックを含む。焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 かなり砂質。黄色砂質土粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土層 As-C、黄褐色土粒子を含む。
- 4 黒褐色土層 やや締まりあり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 やや締まりあり。黄褐色土粒子を含む。
- 6 黒褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 7 黒褐色土層 粘性強く、締まりあり。黄褐色土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 9 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 10 黒褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土のブロックを含む。
- 11 暗褐色土層 締まりなし。1層より灰色み強い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 12 黒褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。

27号住居跡貯蔵穴 D-D'

- 1 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、灰白色粘質ブロックを含む。焼土粒子を少量含む。

27号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 締まりややあり。黄色砂質土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 暗褐色土層 砂質。黄色砂質土粒子、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。締まりあり。焼土粒子を含む。
- 4 褐色土層 焼土ブロック。
- 4-a 暗褐色土層 締まりなし。黄色砂質土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 締まりなし。焼土ブロック、黄色砂質土粒子を含む。
- 6 暗褐色砂質土層 締まりなし。焼土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 締まりなし。灰を含む。
- 8 暗褐色土層 焼土粒子を少量含む。
- 9 焼土層
- 10 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 11 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。

28号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 砂質。黄色砂質土粒子、As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 黄色砂質土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 砂質。As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 焼土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 5 灰層
- 6 暗褐色土層 締まりなし。
- 7 焼土層

第25図 27号住居跡・28号住居跡・29号住居跡

第1章 I区 検出の遺構

29号住居跡 F-F' G-G'

- 1 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。
- 2 黒褐色土層 砂質、As-C・Hr-FAを含む。
- 3 黒褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 黒褐色土層 砂質、As-C・Hr-FAを極少量含む。
- 5 黒褐色土層 粘性ややあり、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 8 暗褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 9 黒褐色土層 砂質、As-C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を含む。
- 10 黒褐色土層 やや粘性あり、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を含む。

29号住居跡 (①第25図②第35・36図、P.L.24・26・72)

位置 Kc・Kd-78・79グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.4m、短辺約2.7mの規模である。

形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-95°-E

覆土 覆土は、11層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm~20cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約8.1m²である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約55cm、両袖方向約75cm。

土坑 住居内土坑が1基検出された。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器環2点・須恵器碗4点・土師器壺2点・須恵器甕1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 西壁の一部で、28号住居の竈と重複している。新旧関係は、29号住居の方が古い。

31号住居跡 (①第26図②第37図、P.L.26・72)

位置 Kg-77・78グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.3m、短辺約1.9mの規模である。

南側及び南東部をトレンチで切られており、全容は伺えない。

方位 N-0°-W (西壁軸)

覆土 覆土は、7層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm~10cmで床面に達する。

29号住居跡カメラド H-H' I-I'

- 1 黒褐色土層 砂質、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 褐色土層 焼土ブロック主体の層。暗褐色土を含む。
- 3 暗褐色土層 砂質、締まりなし。焼土粒子を含む。
- 3-a 暗褐色土層 3層と同じ。焼土粒子を含む。
- 4 黒褐色土層 灰、暗褐色土、焼土粒子を少量含む。
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層
- 7 暗褐色土層
- 8 黒色土層

29号住居跡貯蔵穴 J-J'

- 1 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

29号住居内土坑 K-K'

- 1 暗褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、焼土ブロック、炭化物を含む。

床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約3.73m²である。

竈 竈部分は、トレンチで切られており一部しか残存していないが、東壁に位置する。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 検出されなかった。

遺物 床面より、土師器環1点・須恵器環1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 重複は認められなかった。

32号住居跡 (①第27図②第38図、PL.27・72)

位置 Ki・Kj-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.8m、短辺約2.4mの規模である。

形状は隅丸方形を呈する。

方位 N-85°-E

覆土 覆土は、8層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm~10cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦で、検出面積は、約5.8m²である。

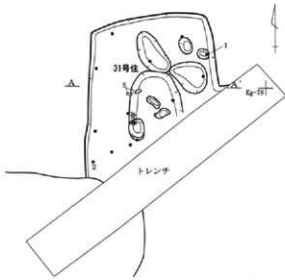
竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約70cm。

遺物 覆土より、土師器環1点・石蔵1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 竈部分が、33号住居の西壁と重複している。新旧関係は、32号住居の方が古い。

(1) 竪穴住居跡

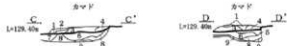
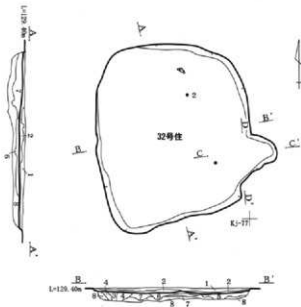


31号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子、灰を少量含む。
- 2 褐色土層 締まりなし。焼土を多量に含む。
- 3 黒褐色土層 締まりなし。灰を含む。
- 4 暗褐色土層 やや締まる。焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。As・C・Hr-FAを少量含む。
- 6 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まる。

0 1:60 1m

第26図 31号住居跡



32号住居跡 A-A' B-B'

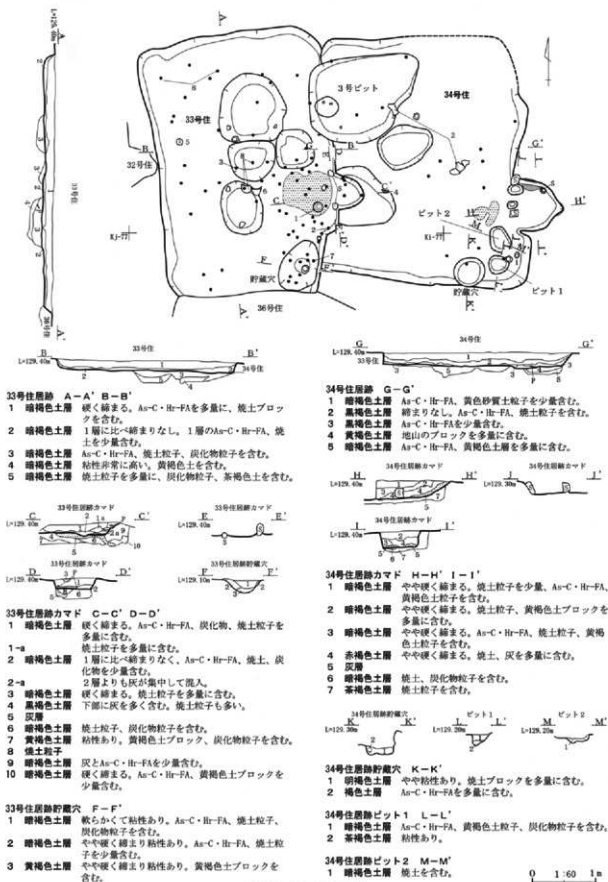
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As・C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 1層に比べ粘性を失す。
- 3 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、焼土粒子を多量に含む。
- 4 褐色土層 黄色粒子を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 5 黒褐色土層 白色粒子、黄色粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 白色粒子を多量に、黄色粒子を少量含む。
- 7 褐色土層 黄色粒子、褐色粒子を多量に含む。
- 8 褐色土層 As・C・Hr-FAを少量含む。
- 9 褐色土層 粘性ややあり。黄色粒子、褐色粒子を含む。

カマド C-C' D-D'

- 1 赤褐色土層 軟らかい。焼土を多量に、炭化物を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。灰白色粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子、灰白色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、灰白色土粒子を含む。
- 5 黒褐色土層 As・C・Hr-FAを多量に含む。
- 6 黒褐色土層 焼土粒子を多量に、白色粒子、黄色粒子を少量含む。
- 7 黒褐色土層 焼土粒子、As・C・Hr-FAを多量に含む。
- 8 暗褐色土層 黄色粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 粘性強い。黄色粒子を少量含む。

0 1:60 1m

第27図 32号住居跡・掘り方



第28図 33-34号住居跡

33号住居跡 (①第28回2第39・40回、P.L.28・29・72・73)

位置 Ki-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.1m、短辺約2.9mの規模である。南側を36号住居に切られているが、残存状況から、隅丸長方形であると推定される。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、5層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm～20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約10.56㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約45cm、両袖方向約60cm。両袖に袖石が残存する。

貯蔵穴 竈の南側に、貯蔵穴1基が検出された。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器坏2点・須恵器埴3点・土師器甕2点・須恵器甕1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀前半であると推定される。

重複 32号住居・34号住居・36号住居・3号ピットと重複している。新旧関係は、33号住居は32号住居及び3号ピットよりも古く、34号住居よりも新しい。

34号住居跡 (①第28回2第41・42回、P.L.29・30・73)

位置 Kh・Ki-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.3m、短辺約3.3mの規模である。住居の西側は、33号住居と重複しているため全容は伺えない。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、5層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約11.35㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約80cm、両袖方向約80cm。両袖の袖石が残存する。

貯蔵穴 竈の南側に、貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面・覆土より、土師器坏1点・須恵器甕1点・灰釉陶器埴1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀前半であると推定される。

重複 住居の西壁が、33号住居と重複している。新旧関係は、34号住居の方が古い。

35号住居跡 (①第28回2第43・44回、P.L.31・73)

位置 Ki・Kj-77グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.0m、短辺約3.0mの規模である。住居の西側が33号住居と重複しているため、全容は伺えない。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、主に5層(1・2層、ア・イ層、A層)に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm～15cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約10.59㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約85cm。

貯蔵穴 竈の南側に、貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器坏3点・須恵器埴4点・灰釉陶器埴2点・土師器甕1点・須恵器羽釜2点・灰釉陶器転用甕1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 竈の一部が、36号住居の西壁と重複している。新旧関係は、35号住居の方が新しい。

36号住居跡 (①第29回2第45回、P.L.32・74)

位置 Ki-77グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.0m、短辺約2.3mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-97° - W (西壁軸)

覆土 覆土は、4層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約15cm～20cmで床面に達する。

第1章 1区 検出の遺構

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約10.16㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約60cm、両袖方向約65cmである。

柱穴 住居の北東隅から、4号ビットが1基検出されたが、柱穴ではないと推定される。

貯蔵穴 竈の南側から、貯蔵穴が1基検出された。

遺物 床面より、灰釉陶器埴1点・石織1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 北側で33号住居と、西側で35号住居と重複している。新旧関係は、36号住居は33号住居よりも新しく、35号住居よりも古い。

37号住居跡 (①第30図②第46図、P.L.33・74)

位置 Kh-77・78、Ki-77グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.6m、短辺約3.4mの規模である。形状は隅丸方形を呈する。

方位 N-116° - E

覆土 覆土は、5層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm～20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約10.85㎡である。

竈 竈は東壁の南東隅に位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約90cm。

土坑 床下土坑が3基検出された。

遺物 床面・竈・土坑より、須恵器埴1点・須恵器埴3点・灰釉陶器埴2点・須恵器羽釜2点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 南側が40号住居と重複している。新旧関係は、37号住居の方が新しい。

38号住居跡 (①第31図②第47図、P.L.34・74)

位置 Kg-76グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.0m、短辺約1.1mの規模である。北側が湧水路で壊されており全容は何もない。

方位 N-13° - W (西壁軸)

覆土 覆土は、3層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm～15cmで床面に達する。

床面 やや凹凸があり、検出面積は、約1.85㎡。

柱穴 西壁と東壁にビットが各1基検出されたが、柱穴になるかどうかは不明である。

貯蔵穴 床下土坑1基が検出された。

遺物 床面より、須恵器埴1点・土師器甕1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は8世紀代と推定。

重複 住居の北側で湧水路と重複する。新旧関係は、38号住居の方が古い。

39号住居跡 (①第32・33・35図②第48～50図、P.L.35～37・74・75)

位置 Kh-78、Ki-77・78グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.5m、短辺約3.3mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-105° - E

覆土 覆土は、17層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦で、検出面積は、約14.86㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約90cm、両袖方向約50cmである。

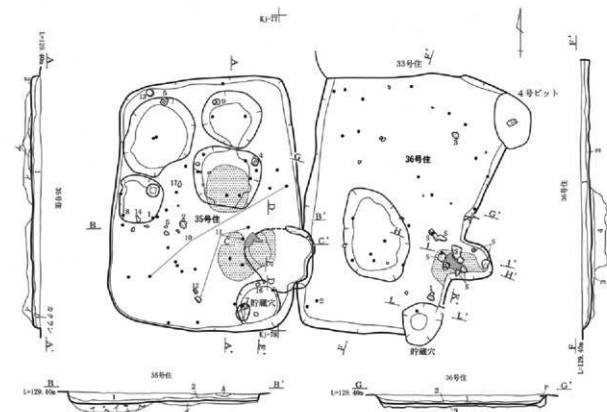
土坑 住居内土坑1基が検出された。

貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。貯蔵穴は、竈の南側に位置している。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器埴3点・須恵器埴8点・須恵器皿1点・灰釉陶器埴2点・灰釉陶器皿1点・須恵器羽釜8点・須恵器鉢1点・緑釉陶器埴1点・緑釉陶器皿1点・須恵器大甕1点が検出された。

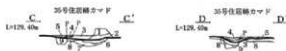
時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 40号住居と重複している。新旧関係は、39号住居の方が新しい。



35号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子、黄白色粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 1層に比べ締まりなし。
- 7 暗褐色土層 やや砂質。1層に比べ焼土粒子があまり含まれない。
- イ 暗褐色土層 良く締まり、粘性ややあり。As・C・Hr-FA、焼土粒子、黄白色粒子、褐色粒子を多量に含む。
- A 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。



35号住居跡カマド C-C' D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 灰層
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬い。焼土粒子を多量に含む。
- 7 暗褐色土層 粘性あり。As・C・Hr-FAを少量含む。
- 8 暗褐色土層 7層に限る。焼土粒子を含む。
- 9 灰褐色土層 灰を含む。

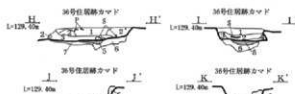
35号住居跡貯蔵穴 E-E'

- 1 暗褐色土層 締まりなし。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 2 褐色土層 粘性あり。焼土粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。

L=129.40m

36号住居跡 F-F' G-G'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかく締まり粘性あり。
- 3 茶褐色土層 As・C・Hr-FA、炭化物、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、茶褐色粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。



36号住居跡カマド H-H' I-I'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。2層に限る。焼土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 茶褐色土層 As・C・Hr-FA、炭化物、焼土粒子を含む。

36号住居跡貯蔵穴

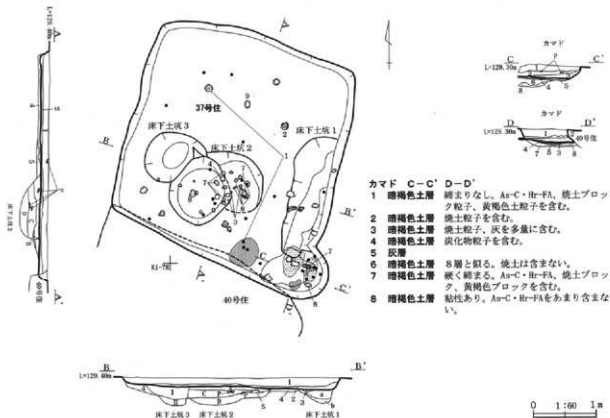
- 1 暗褐色土層 やや粘性あり。As・C・Hr-FA、炭化物粒子を多量、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 黄褐色土層 硬く締まり粘性あり。

L=129.40m

第29図 35-36号住居跡

0 1:60 1m

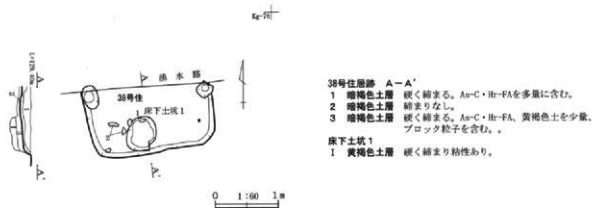
第1章 I区 検出の遺構



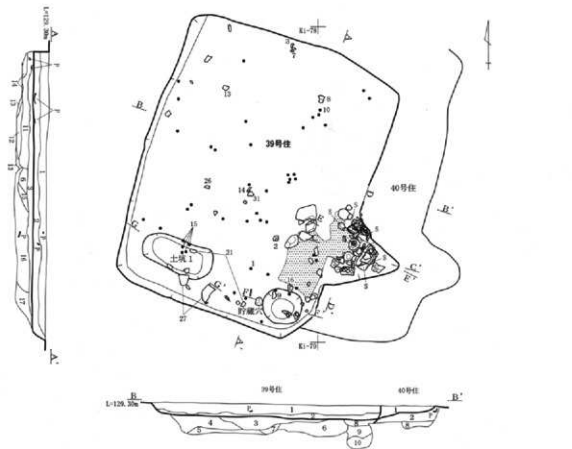
- 37号住居跡 A-A' B-B'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子、焼土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 硬く締まる。焼土ブロックを多量に含む。
 - 暗褐色土層 3層に似る。細かい焼土ブロック粒子を含む。
 - 暗褐色土層 硬く締まる。
- 床下土坑 1 A-A' B-B'
- 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
 - 暗褐色土層 粘性あり。

- 床下土坑 2 A-A' B-B'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子を少量含む。
 - 灰褐色土層 灰色の層でAs-C・Hr-FAを含まない。
 - 暗褐色土層 A層に比べ灰、焼土を多量に含む。
 - 暗褐色土層 粘性あり。灰を含む。
- 床下土坑 3 A-A' B-B'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
 - 暗褐色土層 粘性あり。

第30図 37号住居跡



第31図 38号住居跡



39号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。陥り灰
- 4 暗褐色土層 3層よりもやや暗い色調。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物を多量に、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、灰、焼土粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 8 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 10 黄褐色土層 軟らかく、地山ブロックを多量に含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 13 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。
- 14 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 15 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロック、炭化物、焼土粒子を多量に含む。
- 16 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物、焼土粒子を含む。
- 17 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。

40号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 焼土粒子を少量、黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。



39号住居跡野蔵穴 F-F'

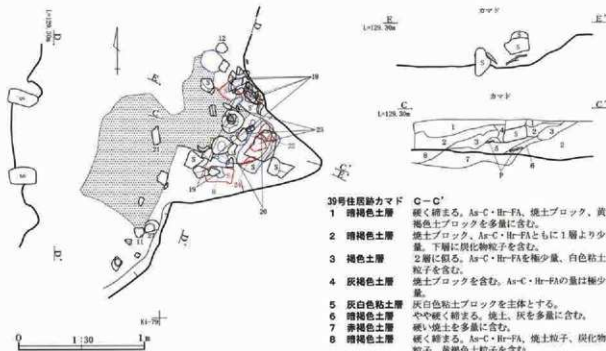
- 1 黒褐色土層 粘性あり。黄褐色砂質土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。

39号住居内土坑 1 G-G'

- 1 黒褐色土層 やや粘性あり。焼土粒子を少量、炭化物を含む。
- 2 黒褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
- 4 黒褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 粘性、締まりあり。黄褐色土粒子を含む。
- 6 黒褐色土層 粘性、締まりあり。黄褐色土粒子を含む。
- 7 黄褐色土層 粘性、締まりあり。



第32図 39号住居跡



第33図 39号住居カマド遺物出土状況

39号住居跡カマド

- | | |
|--|--|
| <p>1 暗褐色土層
2 暗褐色土層
3 褐色土層
4 灰褐色土層
5 灰白色粘土層
6 暗褐色土層
7 赤褐色土層
8 暗褐色土層</p> | <p>C-C'
硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土ブロック、黄褐色土ブロックを多量に含む。
焼土ブロック、Ar-C・Hr-FAともに1層より少量。下層に炭化物粒子を含む。
2層に似る。As-C・Hr-FAを極少量、白色粘土粒子を含む。
焼土ブロックを含む。As-C・Hr-FAの量は極少量。
灰白色粘土ブロックを主体とする。やや硬く締まる。焼土、灰を多量に含む。
硬い焼土を多量に含む。
硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。</p> |
|--|--|

40号住居跡 (①第34・35図2第51・52図、P.L.37~39・75・76)

位置 Kh・Ki-78グリッド内で検出された。
形状 長辺約4.8m、短辺約4.5mの規模である。
北側は37号住居と、住居の大半は39号住居と重複しているため全容は伺えない。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、3層に分かれた。

床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約5.69㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約60cm、両袖方向約100cmである。

遺物 床面・竈・貯蔵穴・覆土より、土師器埴1点・須恵器坏1点・須恵器埴1点・灰釉陶器埴2点・灰釉陶器皿1点・須恵器蓋1点・土師器甕6点・須恵器甕1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀前半であると推定される。

重複 37号住居及び39号住居と重複している。新旧関係は、40号住居は37号住居及び、39号住居よりも古い。

41号住居跡 (①第36図2第53図、P.L.39・76)

位置 Kk・Kl-76グリッド内で検出された。
形状 長辺約2.0m、短辺約1.4mの規模である。
北側が調査区域外であるため全容は伺えない。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、13層(1層~5層、3層~7層)に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm~20cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約2.28㎡である。

竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約25cm、両袖方向約55cmである。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 検出されなかった。

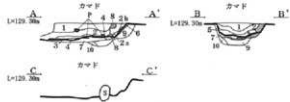
土坑 検出されなかった。

遺物 床面・覆土より、土師器坏1点・こも礫石1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は8世紀後半であると推定される。

重複 重複は認められなかった。

(1) 竪穴住居跡



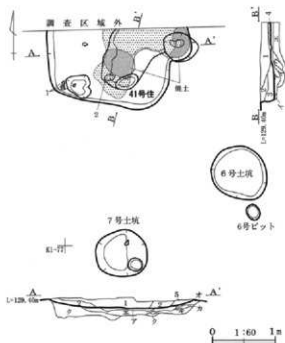
40号住居跡カマド A-A' B-B'

- | | |
|-----------|---|
| 1 暗褐色土層 | 黄褐色土ブロック、灰白色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 黄褐色土ブロック、灰白色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。土層よりも軟らかい。 |
| 2-a 暗褐色土層 | 締まりなし。焼土粒子を多量に含む。 |
| 2-b 暗褐色土層 | 焼土を含む。 |
| 3 灰白色土層 | 軟らかい。 |
| 4 灰層 | 焼土粒子、暗褐色土を少量含む。 |
| 5 赤褐色土層 | 軟らかい。焼土、灰を多量に含む。 |
| 6 黒褐色粘質土層 | 締まりなし。橙色土粒子を含む。 |
| 7 赤褐色土層 | 締まりなし。焼土ブロック、灰を多く含む。 |
| 8 焼土層 | |
| 9 暗褐色土層 | A-C・H-F-A、黄褐色土を含む。 |
| 10 茶褐色土層 | 黄褐色土を含む。 |

第34図 40号住居跡



第35図 39-40号住居掘り方



第36図 41号住居跡

41号住居跡 A-A' 日-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く細まり粘性あり。As-C・Iir-FA、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く細まり粘性あり。As-C・Iir-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4 灰層 灰を多量に、As-C・Iir-FA、炭を含む。
- 5 赤褐色土層 焼土を多量に、As-C・Iir-FAを多量に含む。
- ア 黒褐色土層 粘性あり。地山(黄灰褐色粘質土)ブロックを多量に含む。
- ウ 暗褐色土層 地山ブロック、As-C・Iir-FAを少量含む。
- エ 黒褐色土層 地山ブロック、As-C・Iir-FAを多量に含む。
- オ 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。
- カ 黒褐色土層 エ層に似るが、As-C・Iir-FAを多量に含む。
- キ 黒褐色土層 As-C・Iir-FAを多量に含む。
- ク 暗褐色土層 全体に非常に硬い。地山ブロック、As-C・Iir-FAを少量含む。

42号住居跡 (①第37図②第54図、P.L.40・41・76)

位置 Km・Kn-76、Km-77グリッド内で検出。
形状 長辺約3.6m、短辺約3.0mの規模である。
北側が調査区域外であるため、全容は不明であるが
残存状況から隅丸長方形形状であると推定される。

方位 N-76° - E

覆土 覆土は、6層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm~20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦で、検出面積は、約11.57㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約90cm。両側の袖石が残存する。

柱穴 検出されなかった。

土坑 住居内土坑1基・床下土坑1基が検出。

遺物 床面・竈より、土師器坏1点・須恵器坏1点・土師器甕3点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀前半であると推定される。

重複 43号住居及び7号溝と重複している。新旧関係は、42号住居の方が古い。

43号住居跡 (①第37図、P.L.40・41)

位置 Kn-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.4m、短辺約2.7mの規模である。
住居の南西部は、調査区域外であるため全容を伺うことはできない。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、7層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cm~20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約4.84㎡である。

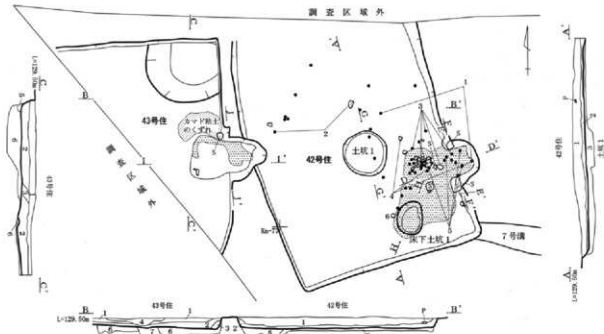
竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約70cm。

土坑 床下土坑が1基検出された。

遺物 検出されなかった。

時期 時期を特定する遺物が出土していないため、時期は不明である。しかしながら、42号住居と竈の一部が重複しており、新旧関係は43号住居の方が新しいので、時期は9世紀前半以降であろう。

重複 竈の一部が、42号住居の西壁と重複している。新旧関係は、43号住居の方が新しい。



43号住居跡 B-B' C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土を含む。
- 3 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色ブロックを含む。
- 4 黄褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色ブロックを多量に、炭化物粒子を少量含む。
- 5 黒褐色砂質土層 締まりなし。
- 6 黒褐色土層 やや締まりあり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 7 淡黄褐色土層 締まりあり。ブロック主体、6層隔じる。



43号住居跡カマド I-I' J-J'

- 1 暗褐色砂質土層 締まりなし。黄色砂質土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 粘性。締まりあり。黄色砂質土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 粘性。締まりあり。
- 4 暗褐色砂質土層 締まりあり。黄色砂質土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 締まりあり。焼土粒子を含む。
- 6 灰褐色土層 締まりなし。灰、炭化物を含む。
- 7 赤褐色土層 焼土ブロックを多量に含む。
- 8 黒褐色土層 締まりあり。黄色土ブロックを含む。
- 9 黄褐色土層 締まりあり。黄色土粒子を含む。カマド袖。
- イ 貼り床 締まりあり。黄色ロームと暗褐色土の混土层。焼土粒子、灰を含む。

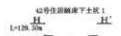
42号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 5 黒褐色土層 締まりあり。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 6 黒褐色土層 締まりあり。黄褐色土粒子を極少量含む。



42号住居跡カマド D-D' E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に含む。
- 2 赤褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロック粒子、灰を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
- 4 灰層 焼土を含む。
- 4a 暗褐色土層 暗褐色土に灰層混じる。灰、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 締まりあり。焼土粒子、As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。



42号住居跡内土坑1 G-G'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を含む。住居フタ土2層に似る。
- 2 暗褐色土層 粘性あり。締まりあり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。

42号住居跡床下土坑 H-H'

- 1 黒灰褐色土層 やや粘性あり。焼土ブロックを多量に含む。
- 2 褐色土層 粘性強く締まり弱い。



第37図 42・43号住居跡

44号住居跡 (①第38・39回②第55～57回、P.L.42・43・77・78)

位置 Kk・Kl-78グリッド内で検出された。
形状 長辺約4.4m、短辺約4.2mの規模である。形状は、隅丸方形を呈する。
方位 N-90° - E
覆土 覆土は、19層（1層～14層、a・b層、ア～ウ層）に分かれた。
壁高 住居確認面より、約10cm～20cmで床面に達する。
床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約15.44㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約60cm。両袖の袖石が残存する。

貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。貯蔵穴は、竈の西南側に位置する。

土坑 床下土坑が1基検出された。

遺物 床面・竈・土坑・覆土より、土師器坏5点・土師器鉢1点・須恵器坏1点・須恵器蓋1点・土師器甕7点・土師器台付甕2点・瓦2点・砥石1点・こも縄石3点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀代であると推定される。

重複 北西隅で45号住居と、また東壁で13号土坑と重複している。新旧関係は、44号住居の方が45号住居及び13号土坑よりも古い。

45号住居跡 (①第40回②第58・59回、P.L.44・45・78)

位置 Kl・Km-77・78グリッド内で検出された。
形状 長辺約4.3m、短辺約3.9mの規模である。形状は隅丸方形を呈する。
方位 N-90° - E
覆土 覆土は、8層（1～3層、カ～ケ層、シ層）に分かれた。
壁高 住居確認面より、約5cm～10cmで床面に達する。
床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約15.03㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約80cmである。両側の袖石が残存する。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器坏3点・灰軸陶器埴2点・須恵器羽釜3点・台石1点が検出された。
時期 出土遺物より、時期は10世紀後半であると推定される。

重複 44号住居及び46号住居と重複している。新旧関係は、45号住居の方が、44号住居及び46号住居よりも新しい。

46号住居跡 (①第40回②第60回、P.L.44・45・78)

位置 Kl・Km-77・78グリッド内で検出された。
形状 長辺4.7m、短辺3.0mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、11層（1層、ア～キ層、コ～シ層）に分かれた。

壁高 住居確認面より、約5cm～10cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、約13.54㎡である。

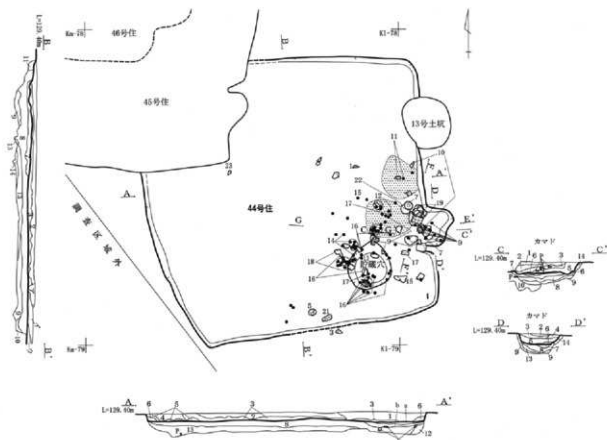
竈 竈は東壁の南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約50cm、両袖方向約80cmである。

柱穴 ビットが2基検出されたが、柱穴である可能性が高い。

遺物 床面・竈より、砥石1点・こも縄石1点が検出された。

時期 時期を特定できる遺物が検出されなかったため、時期は不明である。しかしながら、45号住居と重複しており、新旧関係は46号住居の方が古いいため、45号住居の時期である10世紀後半よりも古いということになる。

重複 45号住居と重複している。新旧関係は、46号住居の方が古い。



44号住居跡 A-A'

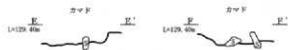
- 1 暗褐色土層** 粘性、締まりややあり。As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色砂質土層** やや締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土層** 粘性、締まりややあり。As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を少量含む。
- 4 黒褐色砂質土層** 締まりなし。
- 5 黒褐色土層** 粘性、締まりややあり。As・C・Hr-FAを含む。
- 6 黒褐色土層** 粘性強い。黄褐色ブロックを含む。
- 7 暗褐色土層** As・C・Hr-FAを少量含む。
- 8 暗灰褐色土層** やや砂質、よく締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子、褐色粒子等を多量に含む。
- 9 暗灰褐色土層** 粘性ややあり、硬く締まる。
- 10 暗灰褐色土層** 8層に似るが混入物やや少ない。
- 11 暗黄褐色土層** 締まり弱い、混入物ほとんどなし。
- 12 暗黄褐色土層** 締まりあり。地山ブロックが主体。
- 13 黒褐色粘質土層** 8層に似るが色調やや暗く、黄色味おびる。
- 14 黒褐色土層** As・C・Hr-FA、褐色粒子を含む。
- a 灰層** 粘性非常に強く、締まりややあり。地山ブロックを含む。
- b 灰褐色土層** As・C・Hr-FA、焼土ブロックを含む。
- ア 暗褐色土層** As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を少量含む。
- イ 暗褐色土層** As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子を少量含む。
- ウ 暗褐色土層** As・C・Hr-FAを少量含む。

カマド C-C'

- 1 茶褐色土層** やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層** やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層** 軟らかい。炭化物粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層** やや硬く締まる。
- 5 暗褐色土層** 4層に似る。焼土粒子を多量に含む。
- 6 暗褐色土層** 黒色灰を多く含む。第1の使用面。
- 7 褐色土層** 硬く締まる。貼り床、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層** 締まりあまりなし。焼土粒子、黒色灰を多量に含む。
- 9 暗褐色土層** 締まりあり。貼り床、焼土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層** 締まりあまりなし。焼土粒子を含む。
- 11 暗褐色土層** 粘性あり。As・C・Hr-FAを少量含む。
- 12 焼土層** As・C・Hr-FAを少量含む。
- 13 黒色灰層** 第2の使用面。
- 14 暗褐色土層** 硬く締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子を含む。

カマド D-D'

- 1 暗褐色土層** 粘性、締まりややあり。As・C・Hr-FA、黄色砂質土粒子、焼土粒子を含む。

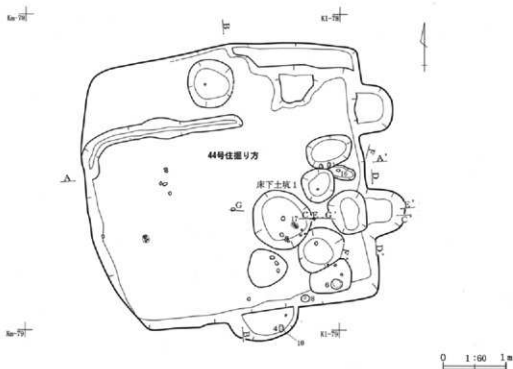


床下土坑 1 G-G'

- 1 暗褐色土層** 締まりなし。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子、灰を少量含む。

0 1:100 1m

第38図 44号住居跡



第39図 44号住居掘り方

47号住居跡 (①第41・43図2第61図、P.L.46・78)

位置 Kq-76・77グリッド内で検出された。
形状 長辺約2.8m、短辺約2.3mの規模である。住居の北側及び西側は、48号・49号・50号住居と重複しているため全容は伺えない。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、3層(12層~14層)に分かれた。
壁高 住居確認面より、約25cmで床面に達する。
床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約2.92㎡である。

内部施設 内部施設である、竈・柱穴・土坑・貯蔵穴は検出されなかった。

遺物 須恵器埴1点・須恵器羽釜1点が検出された。

時期 時期を特定できる遺物が検出されなかったため、時期は不明である。しかしながら、50号住居と重複しており、新旧関係は47号住居の方が古いため、50号住居の時期である9世紀後半よりも古いと推定される。9世紀前半か?

重複 48号住居・49号住居・50号住居と重複している。新旧関係は、47号住居の方が古い。

48号住居跡 (①第41・43図2第62~64図、P.L.46・47・78・79)

位置 Kq・Kh-76・77グリッド内で検出された。
形状 長辺約4.3m、短辺約3.2mの規模である。形状は、隅丸長方形を呈する。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、13層(1層~10層、15、17、18層)に分かれた。

壁高 住居確認面より、約20cm~30cmで床面に達する。

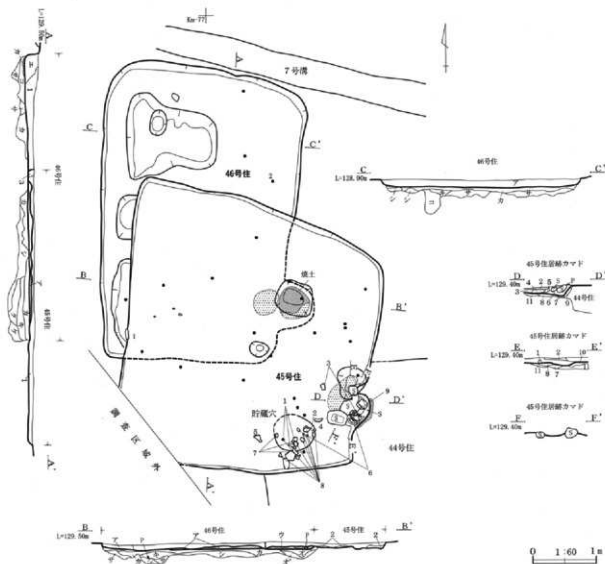
床面 ほほ平坦で、検出面積は、約13.12㎡。

竈 竈は、東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約35cm、両袖方向約90cmである。南側の袖石が残存する。

遺物 床面・覆土より、須恵器坏2点・須恵器埴2点・灰釉陶器埴1点・須恵器羽釜2点・瓦6点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 37号・47号・49号・50号住居と重複する。新旧関係は、48号住居が37号住居よりも古く、47号・49号・50号住居よりも新しい。



45-46号住居跡 A-A' B-B' C-C'

- 1 暗褐色砂質土層 やや締まる。As・C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 2 黒褐色土層 締まりなし。As・C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。
 3 暗褐色土層 締まりあり。As・C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を含む。
 ア 黒褐色土層 やや締まり粘性あり。As・C・Hr-FAを含む。
 イ 褐色焼土層 土器片を少量含む。
 ウ 黒褐色粘質土層 やや締まりなし。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
 エ 黒褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を含む。

- オ 暗褐色土層 粘性ややあり。焼土ブロック、灰を多量に含む。
 オ' は焼土ブロック、灰がオ層より少ない。しまりはオ層よりある。
 カ 暗褐色土層 良く締まり粘性あまりなし。白色粒子、黄色粒子、橙色粒子を多量に含む。
 キウ 暗褐色土層 カ層に似るが混入物の量がやや少ない。
 ケ 暗褐色土層 混入物はほとんど無い。粘質土と砂質土の混じり。カーク層よりも色調暗い。黄白色ブロックを少量含む。
 コ 暗褐色土層 良く締まり粘性ややあり。黄白色ブロックを多量に含む。
 サ 暗褐色土層 コ層に似るが粘性が非常に高い。
 シ 暗黄白色土層 粘性強い。地山土が主体。暗褐色土ブロックを含む。

45号住居跡カマド D-D' E-E'

- 1 明黄褐色土層 砂岩。カマド焼石残存か。
 2 暗褐色土層と灰白砂岩粒子の混合層。締まりなし。
 3 暗褐色土層 灰白色砂岩粒子主体。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 4 暗褐色土層 灰白色砂岩粒子を含む。
 5 褐色土層 砂岩ブロックが壊れたものか。
 6 暗褐色土層 やや締まる。焼土ブロックを含む。

- 7 黒灰色土層 締まりなし。黒色灰層とつながる。
 8 暗赤灰色土層 焼土ブロック主体。上部にうすく黒色灰層。
 9 明赤灰色土層 焼土
 10 黒褐色土層 やや締まる。白色粒子、橙色粒子を少量含む。
 11 暗褐色土層 やや締まる。黄色粒子、橙色粒子を少量含む。

第40図 45号住居跡-46号住居跡

49号住居跡 (①第41・43図2第65図、P.L.46・79)

位置 Kg・Kh-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.3m、短辺約4.0mの規模である。住居全面で、48号住居と重複しているため全容は伺えない。

方位 N-76° - E

覆土 明瞭に分層できなかった。

壁高 住居確認面より、約20cmで床面に達する。

床面 はほぼ平坦である。検出された面積は、約5.88㎡である。

遺物 床面・覆土より、須恵器坏1点・灰軸陶器長頸壺1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。

重複 48号住居及び50号住居と重複している。新旧関係は、49号住居は、48号住居よりも古く50号住居よりも新しい。

50号住居跡 (①第41・43図2第66図、P.L.46・80)

位置 Kg-76・77グリッド内で検出された。

形状 長辺約4.4m、短辺約2.0mの規模である。住居の西側は、48号住居及び49号住居と重複しているため、全容を伺うことはできない。

方位 N-90° - E

覆土 覆土は、3層(10、11、16層)に分かれた。

壁高 住居確認面より、約20cmで床面に達する。

床面 はほぼ平坦である。検出された面積は、約3.97㎡である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約60cm、両袖方向約100cmである。

柱穴 ビットが7基検出されたが、2基は柱穴であると推定される。

床下土坑 床下土坑が1基検出された。

遺物 床面・覆土より、須恵器坏1点・灰軸陶器壺1点・土師器壺1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 47号住居・48号住居・49号住居と重複して

いる。新旧関係は、50号住居は47号住居よりも新しく、48号住居及び49号住居よりも古い。

51号住居跡 (①第42・43図2第67・68図、P.L.46・80)

位置 Kg・Kh-77グリッド内で検出された。

形状 竈のみ検出されているため、住居の全容を伺うことはできない。

方位 N-90° - E

竈 竈は東側に位置する。現状での規模は、煙道約105cm、両袖方向約85cmである。

遺物 床面・柱穴・覆土より、須恵器壺2点・灰軸陶器壺1点・緑軸陶器1点・須恵器瓶・須恵器羽釜1点・瓦1点・砥石1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀代であると推定される。

重複 50号住居と重複している。新旧関係は、51号住居の方が古い。

54号住居跡 (①第44図2第69図、P.L.47・80)

位置 Ke-81グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.5m、短辺約3.0mの規模である。形状は隅丸方形状である。住居の北側が27号溝と重複しているため全容は伺えない。

方位 N-95° - E

壁高 住居確認面より、約5cm～30cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。検出された面積は、56号住居と合わせて約8.93㎡である。

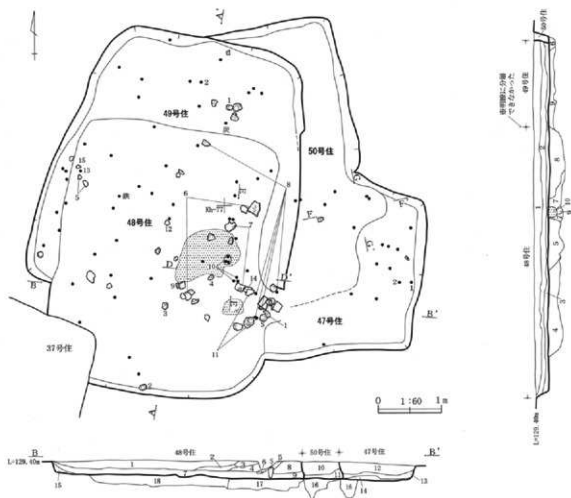
竈 竈は東壁に位置する。現状での規模は、煙道約40cm、両袖方向約50cmである。

土坑 床下土坑が1基検出された。

遺物 床面・竈・覆土より、須恵器壺4点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 56号住居及び27号溝と重複している。新旧関係は、54号住居は56号住居よりも新しく、27号溝よりも古い。



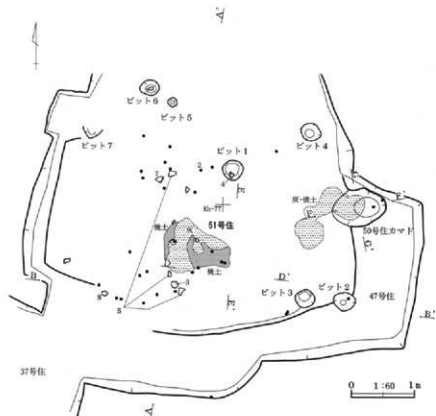
48~50号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。上層よりAs-C・Hr-FAが少ない。他は同じ。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAをほとんど含まない。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 5 黄褐色土層 地山ブロックを多量に含む。炭化物粒子を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、灰を含む。
- 7 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に、焼土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 焼土ブロック、炭化物を多量に含む。
- 9 黄褐色土層 地山ブロックを多量に含む。
- 10 灰層

47~50号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土を多量に含む。
- 6 焼土層
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 ※8, 9層(10, 11層にくらべてやや黒色味あり) やや硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 12 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 13 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 14 暗褐色土層 やや硬く締まる。上層の粒子をほとんど含まない。
- 15 暗褐色土層 やや硬く締まる。
- 16 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
- 17 暗褐色土層 硬く粘性がある。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 18 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を多量に含む。

第41圖 47~50号住居跡



第42図 50号住居跡・51号住居跡



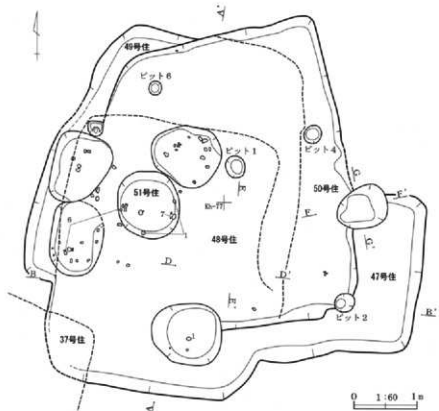
48-51号住居跡カマド D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色粒子を多量に含む。(48号住床面?)
- 2 灰層
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色粒子を含む。



48-51号住居跡カマド E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色粒子を多量に含む。(48号住床面?)
- 2 灰層
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、灰白色土粒子を少量含む、炭化物粒子を少量含む。



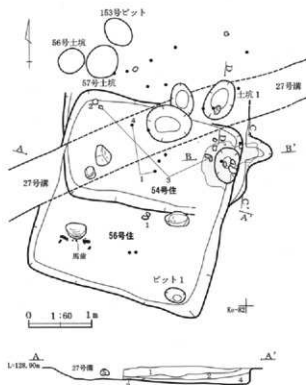
第43図 47~51号住居跡掘り方



50号住居跡カマド F-F' G-G'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。焼土灰を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。焼土灰、炭化物粒子を多量に含む。
- 3 灰層
- 4 茶褐色土層 やや硬い。焼土炭化物粒子、黄褐色粒子を含む。
- 5 焼土層
- 6 焼土層
- 7 灰層
- 8 黄褐色土層 地山のブロックを多量に含む、掘り方覆土。
- 9 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子、焼土粒子を含む。

(1) 竪穴住居跡



- 54号住居跡カマド B-B' C-C'
- 1 暗褐色土層 締まり弱い。焼土粒子、白色粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 2 暗褐色土層 よく締まる。焼土粒子、白色粒子、炭化物粒子を多量に含む。
 - 3 黒褐色土層 締まり弱い。焼土粒子、白色粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 4 炭層 (黒色)
 - 5 黒褐色土層 粘性、締まりややあり。炭化物を多く含む。
 - 6 軽石混じりの黒色土 (地山)
 - 7 黒褐色土層 灰、焼土ブロック、焼土粒子を含む。
 - イ 暗褐色土層 As・C・Hr-FA粒子を多量に、炭化物を少量含む。



- 54号住居内土坑1 D-D'
- 1 黒褐色土層 締まり弱く、粘性なし。As・C・Hr-FAを含む。
 - 2 暗褐色土層 締まり弱く、粘性ややあり。混入物物になし。

- 56号住居跡 A-A'
- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色粒子を多量に含む。
 - 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物を多量に、黄褐色粒子を含む。
 - 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色粒子、白色粒子を多量に含む。
 - 4 茶褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色粒子を含む。

第44図 54号住居跡・56号住居跡

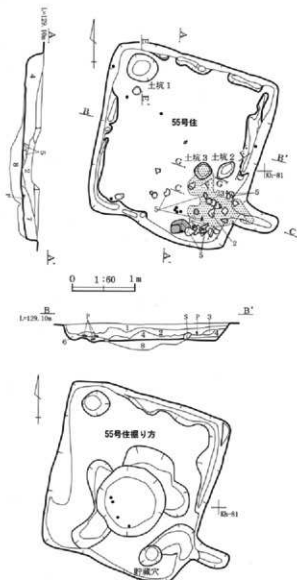
55号住居跡 (①第44図②第70図、P.L.48・49・80)

- 位置 Ki-80・81グリッド内で検出された。
- 形状 長辺約2.8m、短辺約2.6mの規模である。形状は、隅丸方形を呈する。
- 方位 N-108° - E
- 覆土 覆土は、8層に分かれた。
- 壁高 住居確認面より、約25cm~30cmで床面に達する。
- 床面 ほぼ平坦で、検出面積は、約6.31m²。
- 竈 竈は東壁の南よりに位置する。現状での規模は、煙道約60cm、両袖方向約40cmである。
- 土坑 住居内土坑が3基検出された。
- 遺物 床面・竈・覆土より、須恵器埴1点・灰釉陶器皿1点・須恵器甕1点・土師器甕1点・須恵器羽釜1点が検出された。
- 時期 出土遺物より、時期は10世紀前半であると推定される。
- 重複 重複は認められなかった。

56号住居跡 (①第44図②第71図、P.L.50・81)

- 位置 Ke-81グリッド内で検出された。
- 形状 長辺約2.9m、短辺約2.0mの規模である。住居の北側は、54号住居と重複しているため全容を伺うことはできない。
- 方位 N-90° - E
- 覆土 覆土は、4層に分かれた。
- 壁高 住居確認面より、約15cm~20cmで床面に達する。
- 床面 ほぼ平坦である。検出された面積は、54号住居と合わせて約8.93m²である。
- 内部施設 竈・土坑・貯蔵穴は検出されなかった。
- 遺物 床面より、須恵器埴1点及び馬歯が検出された。
- 時期 出土遺物より、時期は8世紀前半であると推定される。
- 重複 54号住居と重複している。新旧関係は、56号住居の方が古い。

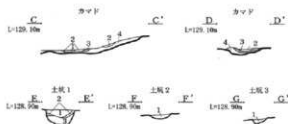
第1章 I区 検出の遺構



第45図 55号住居跡

57号住居跡 (①第46図②第72図、P.L.51・81)

位置 Ke・Kf-82グリッド内で検出された。
形状 長辺約3.3m、短辺約2.7mの規模である。
形状は、隅丸長方形を呈する。
方位 N-90°-E
覆土 覆土は、15層に分かれた。
壁高 住居確認面より、約20cm~30cmで床面に達する。
床面 はほぼ平坦である。検出された面積は、約8.06㎡である。



55号住居跡 A-A' B-B'

- 1 黒褐色砂質土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色砂質土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 黒褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 粘性、締まりあり。As-C・Hr-FA、焼土ブロック、焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 5 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子を含む。
- 6 褐色土層 締まりなし。焼土ブロック、焼土粒子、黄色土粒子を含む。
- 7 黒褐色土層 締まりあり。焼土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。
- 8 黒褐色粘質土層 硬く粘性が高い。黄褐色土粒子を多量に含む。

カマド C-C' D-D'

- 1 黄灰褐色土層 粘性、締まりややあり。黄灰褐色土粒子、暗褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 黒色灰層 締まりなし。焼土粒子を含む。
- 3 焼土層
- 4 暗褐色土層 粘性が高い。炭化物粒子、焼土粒子を含む。

土坑1 E-E'

- 1 黒褐色砂質土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を含む。
- 2 黒褐色粘質土層 黄褐色砂質土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 硬く粘性が高い。黄褐色土ブロックを含む。

土坑2 F-F'

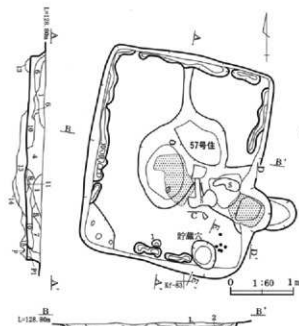
- 1 暗褐色粘質土層 焼土粒子、黒色炭化物、黄色土粒子を含む。

土坑3 G-G'

- 1 暗褐色粘質土層 焼土粒子、黒色炭化物、黄色土粒子を含む。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道約70cm、両袖方向約70cmである。
柱穴 ビットが1基検出されたが、柱穴ではない。
貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。貯蔵穴は、竈の南側に位置する。
遺物 床面より、須恵器坏1点が検出された。
時期 出土遺物より、時期は8世紀前半であると推定される。
重複 重複は認められなかった。

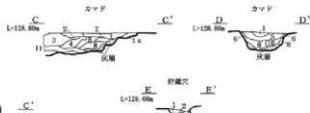
(1) 竪穴住居跡



- 57号住居跡 A-A' B-B'
- 1 黒褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
 - 2 黄灰色土層 やや砂質。As-C・Hr-FAを含む。
 - 3 黒褐色土層 やや締まる。赤黒の粘質ブロック、灰白色粘質土ブロックを含む。
 - 4 暗褐色土層 やや砂質。締まり強い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 5 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、赤黒の粘質土を含む。
 - 6 黄灰色土層 2層に似る。赤黒粘質土を少量含む。
 - 7 暗褐色土層 やや締まる。5層に6層の土を少量含む。
 - 8 黒褐色砂質土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、黄色土粒子を含む。
 - 9 暗褐色砂質土層 締まりなし。As-C・Hr-FAを含む。
 - 10 黒褐色土層 粘性ややあり。締まりなし。As-C・Hr-FA、灰黄褐色粘質土ブロック、黄褐色土粒子を含む。

第46図 57号住居跡

- 11 黒褐色土層 黒色灰層を含む。
- 12 黒褐色土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、浅黄色土ブロック、褐色土粒子を含む。
- 13 暗褐色粘質土層 締まりあり。砂、黄褐色土粒子を含む。
- 14 灰白色砂質土層 締まりなし。
- 15 暗褐色土層 やや締まる。13層に似るが、下部地山灰白色砂質土ブロックを含む。



カマド C-C' D-D'

- 1 a 薄灰色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。
- 1 黒褐色土層 粘性あり、やや締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 2 褐色土層 粘性、締まりあり。As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色砂質土層 締まりなし。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、褐色土粒子を含む。
- 5 褐色土層 粘性、締まりあり。As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 6 黒褐色砂質土層 As-C・Hr-FA、褐色土粒子を少量含む。
- 7 黒褐色砂質土層 締まりなし。焼土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 締まりなし。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 9 黒褐色土層 締まりなし。黒色灰を多量に含む。
- 10 暗褐色土層 締まりなし。砂、黄色土粒子を含む。
- 11 暗褐色土層 粘性、締まりあり。黄色土粒子、赤黒粘質土を含む。

貯蔵穴 E-E'

- 1 暗褐色土層 粘性あり、締まりなし。砂、焼土粒子を少量含む。
- 2 黒色灰層 締まりなし。
- 3 暗褐色土層 粘性あり、締まりなし。砂、焼土粒子を少量含む。

58号住居跡 (①第47図2第73図, P.L.52・53・81)

位置 Kf-83・84グリッド内で検出された。

形状 長辺約2.8m、短辺約2.6mの規模である。形状は隅丸長方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、3層に分かれた。

壁高 住居確認面より、約10cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。検出された面積は、約6.82m²である。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状で

の規模は、煙道約40cm、両袖方向約60cm。両側に袖石が残存する。

柱穴 検出されなかった。

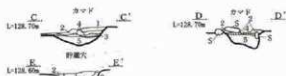
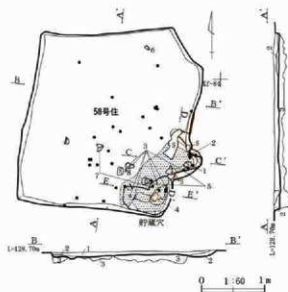
貯蔵穴 貯蔵穴が1基検出された。貯蔵穴は、竈の南側に位置する。

遺物 床面・竈・土坑より、須恵器坏1点・須恵器埴5点・須恵器羽釜1点が検出された。

時期 出土遺物より、時期は10世紀代であると推定される。

重複 重複は認められなかった。

第1章 I区 検出の遺構



- 58号住居跡 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 2 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。
 - 3 暗褐色砂質土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、焼土を含む。

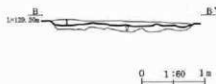
- カマド C-C' D-D'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土、炭化物粒子を含む。軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 灰を多量に含む。
 - 3 暗褐色土層 灰を多量に含む。
 - 4 灰層
 - 5 暗褐色砂質土層 締まりあり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。

- 貯蔵穴 E-E'
- 1 暗褐色土層 締まりなし。黒色灰を多量に、焼土粒子、炭化物を含む。
 - 2 暗褐色砂質土層 締まりなし。

第47図 58号住居跡



- 59号住居跡 A-A' B-B'
- 1 暗褐色粘質土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。
 - 3 褐色土層 締まり、粘性あり。黄色粘質ブロックを含む。
 - 4 褐色粘質土層 締まりあり。褐色粘質土主体で、暗褐色土層と層状をなして増積。



第48図 59号住居跡

59号住居跡 (①第48図②第74図、P.L.53・81)

上層は、耕作により攪乱を受けているため、掘り方のみの検出作業を行ったため、詳細は不明である。

位置 Kk-79グリッド内で検出された。

形状 長辺約3.2m、短辺約2.2mの規模である。

形状は隅丸長方形を呈する。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、主に4層に分かれた。

床面 やや凹凸がある。検出された面積は、約5.89m²である。

竈 検出されなかった。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 検出されなかった。

遺物 床面・覆土より、須恵器埴1点・土師器甕1点が検出された。

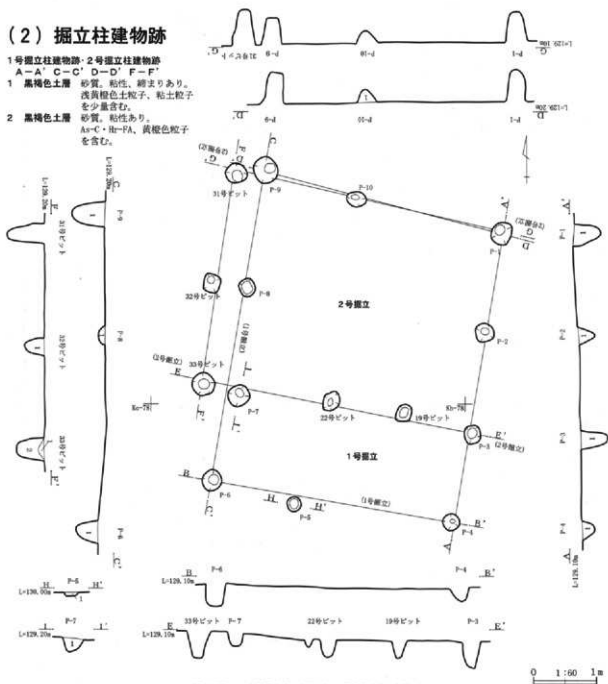
時期 出土遺物より、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 2号溝が住居内中央部を東西に走行しており、重複している。新旧関係は、59号住居の方が古い。

(2) 掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡・2号掘立柱建物跡

A-A' C-C' D-D' F-F'

1 黒褐色土層 砂質、粘性、締まりあり。
淡黄褐色土粒子、粘土粒子
を少量含む。2 黒褐色土層 砂質、粘性あり。
As-C・Hr-FA、黄褐色粒子
を含む。

第49図 1号掘立柱建物跡・2号掘立柱建物跡

1号・2号掘立柱建物跡 (第49図)

I区では、3棟の掘立柱建物跡を検出した。掘立柱建物跡は、調査区の東側に偏在している。I区の平安時代の竪穴住居との重複はほとんど認められなかった。1・2号掘立柱建物跡は、Ka・Kb-77・78グリッド内で検出されている。

1号掘立柱建物跡

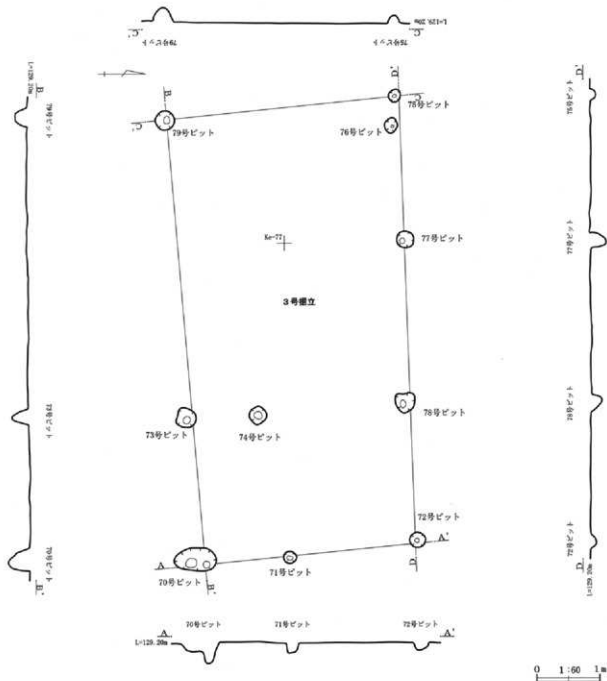
2号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明

である。規模は2間×3間であり、大きさは約4m×約5mである。柱穴は、不整形円形である。遺物は検出されなかった。

2号掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡と重複するが、新旧関係は不明である。規模は2間×2間であり、大きさは約3.5m×約4.5mである。柱穴は、不整形円形である。遺物は検出されなかった。

第1章 I区 検出の遺構



第50図 3号掘立柱建物跡

3号掘立柱建物跡 (①第50図)

Kd・Ke-76・77グリッド内で検出されている。1号及び2号掘立柱建物跡の西側に位置する。規模は1間×3間であり、大きさは約3.8m×約7.0mである。3号掘立柱建物跡は、ほぼ東西方向に長い。柱穴の形状は、不整形である。遺物は、検出されなかった。73号ピットが19号住居の北壁と重複するが、

新旧関係は3号掘立柱建物跡の方が新しい。この19号住居の使用年代は、出土遺物から8世紀代と推定されているので、3号掘立柱建物跡の年代は、少なくとも8世紀代よりは新しいことになる。

(3) 土坑・ピット

土坑 (①第51～59図②第75～82図, PL.54～58)

I区で、土坑が48基検出された。分布は、調査区の東側・西側の順に多く、中央部及び南部に少ない傾向がある。48基の土坑の内、約1/2にあたる27基の土坑から、土師器及び須恵器等の遺物が検出されている。この内、配石土坑は、縄文時代の土坑である。その他の土坑は、覆土によりAs-C及びHr-FAを含む古代以降(6世紀中葉以降)の土坑と、As-Bを含む中世以降(平安時代末以降)の土坑とに大きく分かれる。

これらの土坑の中で、土坑墓と明確に判定できるものは無かった。また、火葬跡も検出されなかった。

土坑の内、1号・10号・14号・55号の4基は、形状から井戸であると推定される。なお、1号・2号土坑は2号溝と、55号土坑は34号溝と重複しているが、時代が異なるために関係は無かったと推定さ

れる。また、55号土坑は53号土坑と重複しているが、その性質は不明である。

ピット (①第51・55～58・61～70図②第85図, PL.56・57・59・60・83)

I区で、ピットが167基検出された。分布は、土坑と同じ傾向があり、調査区の東側・西側の順に多く、中央部及び南部に少ない。この167基のピットの内、約1/3にあたる51基のピットから土師器及び須恵器等の遺物が検出されている。

ピットの覆土も、土坑と同様にAs-C及びHr-FAを含む古代以降(6世紀中葉以降)のピットと、As-Bを含む中世以降(平安時代末以降)のピットとに大きく分かれる。

これら、ピットの性質は不明であり、特定できたものは、1号・2号・3号の3棟の掘立柱建物跡(別項参照)のみであった。

土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×高さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺物図版	遺物図版	写真図版
1	Ke-80	円形	175×160×(150)	土師器片8・須恵器片6・灰釉陶器片1	井戸?	第51図	第75図	54・81
2	Kd-80	円形	96×90×58	土師器片3・須恵器片2		51		54
3	Jt・Ka-80	楕円形	104×56×50			51		54
5	Kf-77	不整形	220×130×40	土師器片11・須恵器片7・灰釉陶器片1		51		54
6	Kk-76	ほぼ円形	90×82×6	土師器片18・須恵器片3		51		54
7	Kk-76・77	ほぼ円形	82×74×16	土師器片1		52		54
8	Kl-76・77	ほぼ円形	75×74×12	土師器片4・須恵器片3		52		54
9	Kl-76	楕円形	100×90×15	土師器片15・須恵器片22		52		54
10	Kg-78	ほぼ円形	293×289×193	土師器片214・須恵器片50・灰釉陶器片18・縄文土器片1	井戸?	53	76～79	55・81・82
11	Kj-78	ほぼ円形	108×103×24			53		55
12	Ke-78	ほぼ円形	78×78×10	土師器片2		53		55
13	Kk-78	楕円形	79×65×18			53		55
14	Kj-78・79	楕円形	136×125×160	土師器片19・須恵器片3		52	80	55・82
15	Kj・Kk-78	長楕円形	190×96×15	土師器片13・須恵器片6・縄文土器片21		52		55
16	Kd-80	円形	86×86×20	土師器片3・須恵器片1		54		55
17	Kh-83	長方形	300×130×43	土師器片1・須恵器片1・瓦1		54		56
18	Ke-78	ほぼ円形	68×64×19	土師器片4		54		56
19	Kc・Kd-78	楕円形	70×58×10			54		56
20	Kd-78	楕円形	58×46×5			54		56
21	Kd-78	円形	48×46×6			54		56
22	Kd-78	楕円形	83×55×7			54		56
23	Kc-79	不整形	60×23×8		40溝の一部?	55		56
24	Kc-79	楕円形	86×32×19	土師器片23・須恵器片13・縄文土器片1		55		56
27	Kf-80	長方形	96×65×74			55		57
28	Kf-79・80	長方形	100×58×30	土師器片6・須恵器片3		55		57
29	Ke-80	長方形	118×68×70	土師器片11		55		57
41	Kk-78	不整形	(118)×(80)×15	土師器片2・須恵器片2・灰釉陶器片4・陶器片1・縄文土器片1		56		58

第1章 I区 検出の遺構

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
43	Kc-79	円形	48×45×48	土師器片10・須恵器片11		第55図	第80図	58・82
44	Kb-80	ほぼ円形	88×73×20			56		
53	Kf-78	ほぼ円形	133×(135)×106	土師器片38・須恵器片24・灰釉陶器片4・縄文土器片1		57	81	58・83
54	Kf-81	楕円形	68×60×12			56		58
55	Kf-78	ほぼ円形	273×268×176	土師器片32・須恵器片89・灰釉陶器片9・縄文土器片3		57	82	58・83
56	Ke-81	円形	44×42×13			56		47
57	Ke-81	ほぼ円形	50×46×40	土師器片1		56		47
60	Kf-80	円形	58×50×45	土師器片3・須恵器片11		56		
61	Kf-80・81	楕円形	82×67×44	土師器片2		57		
62	Kf-81	楕円形	50×38×15			57		
63	Kf-80	不整形	80×48×49			58		
64	Ke・Kf-80・81	不整形	68×40×9			58		
65	Ke-81	楕円形	41×30×25			58		
66	Kf-81	楕円形?	(60)×(50)×6			58		
67	Kf-81	楕円形	57×50×4			58		
68	Ke-82	円形	57×56×5			59		58
69	Kf-84	円形	68×64×21	土師器片2		58		
70	Ke-82	楕円形	160×50×17	土師器片1		59		58
71	Kd-82	長楕円形	185×45×7			59		58

ビット一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
3	Kf-76	楕円形	35×29×25	土師器片2・須恵器片1	33住重複	第61図		30
4	Kf-77	楕円形	88×59×25	土師器片5・須恵器片1	36住重複	61		29
5	Kk-77	円形	35×32×15	土師器片2・須恵器片2		61		59
6	Kk-76	ほぼ円形	25×20×8	土師器片3・須恵器片		51		59
7	Kk-76	ほぼ円形	49×48×21	土師器片2		61		59
8	Kj・Kk-78	方形	26×25×17			61		59
9	Kk-76	方形	32×28×21	須恵器片2		61		59
10	Kf-78	ほぼ円形	23×19×27			61		59
11	Ke-77	楕円形	60×42×35	須恵器片		61		59
12	Kk-78	円形	30×28×21	土師器片3		61		59
13	Ka-78	方形	20×19×22			61		
14	Ka-78	楕円形	46×32×20	土師器片1		61		
15	Ka-78	円形	25×25×25			62		
16	Ka-78	楕円形	20×7×6		15・18ビット列	62		
17	Ka-77	楕円形	25×18×12			62		
18	Ka-77	隅丸方形	26×22×30		15・16ビット列	62		
19	Kb-78	隅丸方形	27×24×25		20・21・29ビット列	62		
20	Kb-77	ほぼ円形	22×21×41	土師器片1		19・21・29ビット列		62
21	Kb-77	隅丸方形	26×26×30		15・16・25・27ビット列	62		
23	Kb-77	楕円形	25×19×26		26ビット列	62		
24	Kb-77	隅丸方形	26×22×17			62		
25	Kb-77	ほぼ円形	14×12×12		21・27ビット列	62		
26	Kb-77	楕円形	21×20×24			62		
27	Kb-77	隅丸方形	16×16×15		21・25ビット列	62		
28	Ka-77	円形	12×12×22			62		
29	Kb-77	円形	25×24×31	土師器片2		19・20・21ビット列		62
30	Kb-77	円形	26×25×18			61		
34	Ka-78	楕円形	20×14×11	土師器片1		61		
35	Kb-78	円形	34×31×13			61		
36	Kb-77	楕円形	20×14×11	土師器片3		62		
37	Kb-77	楕円形	31×23×14			61		9
38	Kb-76	円形	22×21×18			61		9
39	Kb-76	ほぼ円形	21×18×5			61		9
40	Kb-79	楕円形	55×28×9			63		
41	Kb-79	不整形	48×30×8	土師器片10	42ビット重複	63		59
42	Kb-79	ほぼ円形	22×20×5	土師器片3・須恵器片1	41ビット重複	63		59
43	Kb-79	円形	28×26×13			63		
44	Kc-79	隅丸方形	28×24×13			55		
45	Kc-80	円形	30×25×22	土師器片1・須恵器片1		63		
46	Kc-79	円形	54×52×32	須恵器片2		63		20
47	Kd-79	楕円形	51×38×39	土師器片3・須恵器片2		63		24
48	Kd-78	ほぼ円形	33×32×9			63		56
49	Kd-78	楕円形	30×28×31	土師器片1		63		56

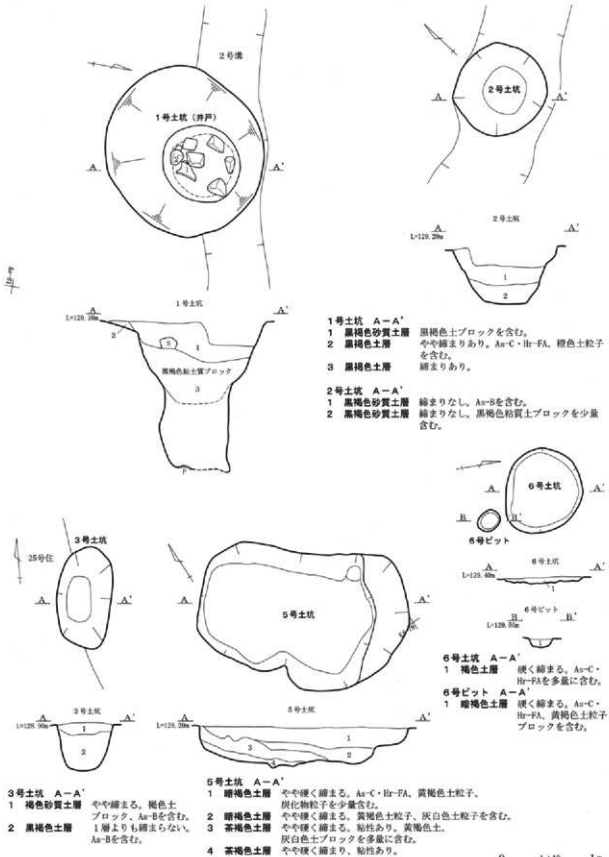
(3) 土坑・ピット

番号	位置	形状	長径×短径×深5(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
50a	Kb-77	円形	32×32×50	土師器片1		第63図		
50b	Kc-78	円形	29×28×15			63		
51	Kc-77	楕円形	31×26×28	土師器片1		63		19・83
52	Kc-77	円形	33×33×20			64		18
53	Kc-77	楕円形	29×25×15			64		18
54	Kc-77	ほぼ円形	29×26×14			64		18
55	Kc-77	ほぼ円形	22×22×14			64		18
56	Kc-77	楕円形	33×24×13			64		18
57	Kc-77	ほぼ円形	14×10×8			64		18
58	Kc・Kd-78	楕円形	38×30×23	土師器片5・須恵器片1		64		18
59	Kc-78	円形	20×19×17			64		19
60	Kd-78	楕丸方形	34×30×25			64		
61	Kd-78	楕円形	23×18×11	土師器片1		64		18
62	Kd-78	楕丸方形	23×16×15			64		
63	Ke-78	円形	30×26×34			64		57
64	Ke-78	楕丸方形	31×28×22			64		57
65	Kd-77	円形	28×26×21	土師器片1		64		
66	Kd-77・78	楕円形	29×25×22	土師器片1		64		18
67	Kd-77	ほぼ円形	32×33×20	土師器片3・須恵器片1		64		18
68	Kd-77	楕丸方形	32×30×19	土師器片1・須恵器片1		64		18
69	Kd-77	楕丸方形	22×21×10			64		18
70	Ke-76	楕円形	25×20×3			65		
76	Ke-77	楕丸方形	36×35×19	土師器片2		65		
81	Ke-79	楕円形	40×28×9			65		57
82	Ke-79	楕丸方形	18×16×9			65		57
83	Ke-79	ほぼ円形	28×24×12			65		57
84	Ke-78	方形	19×18×7			64		57
85	Ke-77	円形	25×22×19			65		
87	Kf-77	円形	24×24×21			65		
88	Kf-77	円形	20×20×12	須恵器片2		65		
89	Ke・Kf-78	円形	28×28×13			65		
90	Kj-78	円形	43×42×40			65		57
91	Ke-79	長方形	29×22×28			65		57
92	Ke-79	円形	25×24×32			65		57
93	Ke-79	楕円形	25×18×4			65		57
94	Kf-79	楕丸方形	20×19×24			66		57
95	Kf-79	楕丸方形	17×15×5			66		57
96	Kf-79	楕丸方形	21×20×25			66		57
98	Kf-79	楕丸方形	20×20×24			66		57
99	Kf-79	楕丸方形	18×18×30	土師器片1		66		57
101	Kf-79	楕円形	62×45×15			66		57
102	Kf-80	ほぼ円形	58×52×40			66		57
103	Ke・Kf-80	円形	50×50×28			66		57
104	Ke-80	円形	50×50×42	土師器片2		66		57
105	Ke-80	楕円形	65×52×43	土師器片1		66		57
106	Ke-80	円形	58×52×45			66		57
107	Ke-80	円形	50×46×33	土師器片1・須恵器片		66		57
109	Kj-78	楕円形	28×24×15	須恵器片1		66		31
110	Kj-78	楕円形	42×33×20			66		31
111	Kj-77	円形	34×32×15	須恵器片1		67		31
112	Kk-77	円形	36×30×16	土師器片3		67		
116	Kg-78	楕丸方形	19×18×27			67		
117	Kg-77	楕丸方形	24×23×28	土師器片2		67		46
118	Kf-77	楕円形	35×27×16			67		
119	Ke-77・78	ほぼ円形	28×26×29			67		
120	Ke-76	円形	20×20×18			67		
121	Kj-80	楕丸方形	25×21×13	土師器片・須恵器片1		67		
122	Kj-80	円形	22×21×16	土師器片4・須恵器片2		67		
123	Ka-80・81	楕円形	30×25×16			67		
129	Ke-79	楕円形	30×18×26			65		
130	Ke・Kf-79	楕円形	38×24×17			65		57
131	Kf-79	方形	18×16×21			67		
132	Kf-79	方形	18×17×12			67		
133	Kf-78	方形	17×17×25	土師器片11・須恵器片12		67		
134	Kf-78	楕丸方形	16×15×20			68		

第1章 I区 検出の遺構

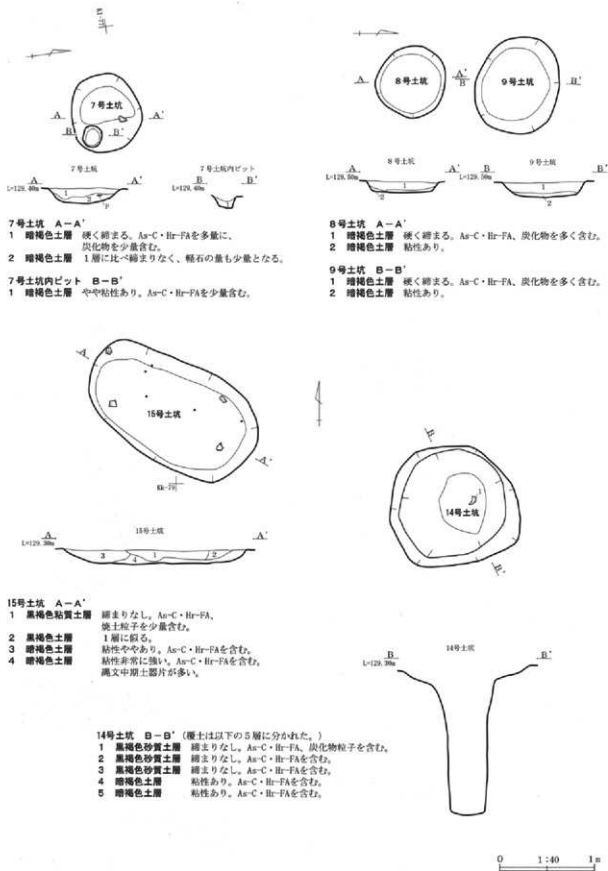
番号	位置	形状	長さ×幅×高さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
135	Kb-79	ほぼ円形	27×22×13			第63図		
136	Kb-79	ほぼ円形	18×14×8			63		
137	Kb-79	ほぼ円形	34×26×15			63		
138	Kb-79	ほぼ円形	26×21×16			63		
139	Kb-79	ほぼ円形	28×26×13			63		
140	Kb-79	楕円形	54×35×13	須恵器片1		63		
141	Kb-76・77	円形	21×21×14			68		
142	Kb-76	長方形	25×18×12			68		
149	Kc-78・79	ほぼ円形	23×20×35			68		
150	Kc-79	ほぼ円形	43×38×15			55		
151	Kf-79	楕円形	60×42×18	土師器片2・須恵器片1		68		
152	Ke-81	ほぼ円形	38×32×6			58		
153	Ke-81	楕円形	58×43×17			56		47
154	Kf-80	円形	25×24×10			58		
155	Ke-80	円形	38×35×11			68		
156	Kf-80	楕円形	35×17×16			58		
157	Kf-81	円形	22×21×16			57		
158	Kf-81	円形	24×22×11	須恵器片		68		
159	Kf-81	円形	22×19×14			68		
160	Kf-81	楕丸長方形	28×16×10			68		
161	Kf-81	楕円形	36×27×20			68		
162	Kg-81	ほぼ円形	22×19×8			68		
163	Kf-81	楕円形	30×25×36			68		49
164	Kf-77	楕円形	22×19×15			67	50	
165	Kf-76	楕丸方形	20×20×14			69	50	
166	Kf-76	円形	15×15×20			69	60	
167	Kf-76	円形	23×23×22	土師器片1・須恵器片1		69	60	
168	Kg-76	楕丸方形	25×20×21	土師器片3		68	60	
169	Kf-76	楕丸方形	29×26×25			69	60	
170	Kf-76	円形	42×35×40			69	60	
171	Kj-77	楕丸方形	38×25×25			69	59	
172	Kj-77	円形	29×28×30			67	59	
173	Kj-77	円形	23×23×13			67	59	
174	Kj-78	楕丸方形	23×20×32			69	59	
175	Kk-76	円形	40×36×28			69	60	
176	Kk-77	楕円形	39×24×8	土師器片2		69	60	
177	Kl-76	楕円形	30×20×21			69	60	
178	Km-76	楕丸方形	18×16×31			69	60	
179	Km-76	楕丸方形	21×18×21			69	60	
180	Kk-78	ほぼ円形	42×36×20	土師器片1・須恵器片3		69	60	
181	Kf-77	円形	32×31×24			69	60	
182	Kg-77	円形	28×22×22			69	60	
183	Kf-76	円形	24×21×24			69	60	
184	Kg-76	円形	22×21×16	土師器片2		68	60	
185	Kg-76	円形	26×26×15	須恵器片1		68	60	
186	Kg-76	円形	26×26×26	須恵器片1		70	60	
187	Kg-77	円形	32×31×32	須恵器片1		70	60	
188	Kh-77	円形	25×25×25			70	60	
189	Kh-78	円形	30×26×26			70	60	
190	Kf-80・81	円形	31×30×8			70		
191	Kf-81	不整形	54×35×50			70		
192	Kf-81	楕円形	50×46×50			70		
193	Ke-80	楕丸方形	48×42×37	須恵器片1		70		
194	Kf-80	楕円形	44×32×35			66		
195	Kf-80	楕円形	45×32×32			70		
196	Kd-82	ほぼ円形	36×32×9			70		60
197	Kf・Kg-82	不整形	38×29×36			70		
198	Kg-84	楕円形	35×25×31			70		
199	Kf-79	方形	20×18×25			68		57

(3) 土坑・ピット



第51図 1~3・5・6号土坑、6号ピット

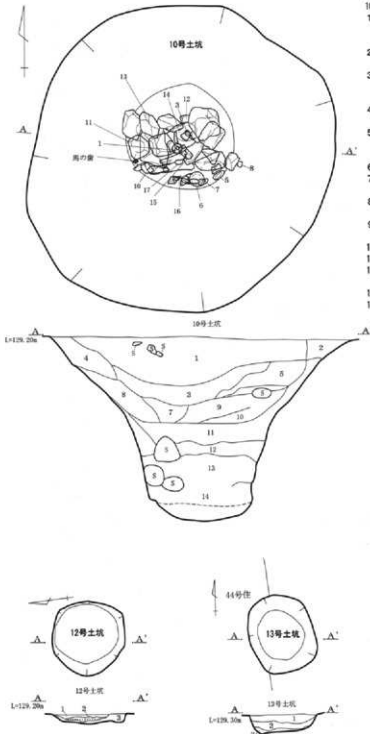
第1章 I区 検出の遺構



第52図 7～9・14・15号土坑

0 1:40 1m

(3) 土坑・ピット



- 10号土坑 A-A'
- 暗褐色土層 やや粘性あり。黄褐色砂質土粒子、As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 やや締まり粘性あり。黄褐色砂質土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 - 黒褐色砂質土層 粘性ややあり。黄褐色砂質土粒子、As-C・Hr-FAを少量。炭化物粒子を含む。周骨出土。
 - 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 やや締まりなし。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。
 - 黒褐色砂質土層 黄褐色土粒子を少量含む。
 - 黒褐色砂質土層 粘性ややあり。As-C・Hr-FAを少量含む。
 - 暗褐色土層 粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 やや砂質。As-C・Hr-FA、黄褐色砂質土粒子を少量含む。
 - 黒褐色砂質土層 締まりなし。
 - 暗褐色土層 炭化物粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 黄褐色ブロック多量に。炭化物を少量含む。
 - 暗褐色粘質土層 黄褐色土粒子を含む。
 - 黒褐色粘質土層

- 11号土坑 A-A'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に。炭化物粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 やや硬く締まる。上層より混入物少ない。
 - 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。
 - 茶暗褐色土層 硬い。黄褐色土粒子を含む。

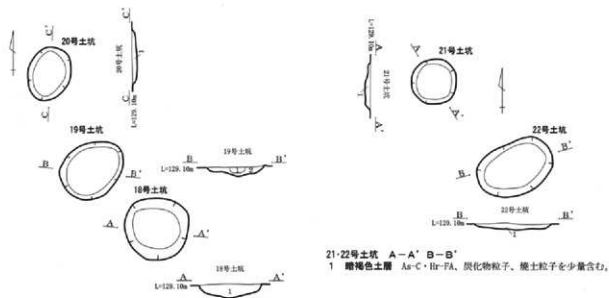
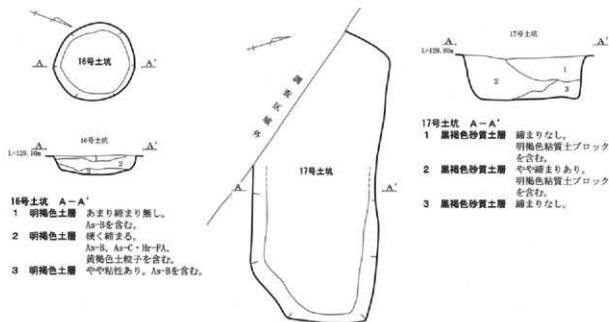
- 12号土坑 A-A'
- 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
 - 炭化物層
 - 茶褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。

- 13号土坑 A-A'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。

0 1:40 1m

第53図 10~13号土坑

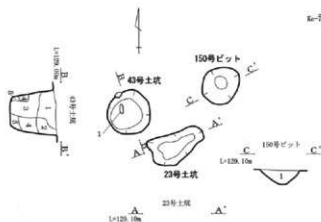
第1章 I区 検出の遺構



0 1:40 1m

第54図 16~22号土坑

(3) 土坑・ピット



23号土坑 A-A'
1 黄灰色土層 砂混じり。

43号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子を多量含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土粒子を全く含まない。
- 4 暗褐色土層 締まりあり。赤黒粘質土ブロック主体の層。
- 5 暗褐色土層 締まりあり。赤黒粘質土ブロック主体の層。

150号ピット C-C'

- 1 暗褐色土層 やや締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。



24号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

44号ピット B-B'

- 1 暗褐色砂質土層 As-C・Hr-FAを含む。

27号土坑 A-A'

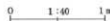
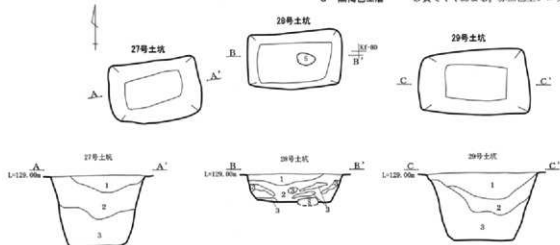
- 1 黒褐色土層 灰黄褐色粘質土ブロック、As-B、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 黒褐色粘質土層 やや締まりなし。灰黄褐色土を少量含む。
- 3 黒褐色粘質土層 2層よりも黒み強く、締まりなし。

28号土坑 B-B'

- 1 黒褐色砂質土層 締まりあり。赤黒色土ブロックを含む。
- 2 黒褐色砂質土層 締まりあり。
- 3 赤黒色土層

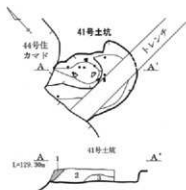
29号土坑 C-C'

- 1 黒褐色土層 締まりあり。赤黒色土ブロック、灰黄褐色土ブロックの混合層。
- 2 黒褐色粘質土層 やや締まりあり。赤黒色土ブロックを含む。
- 3 黒褐色土層 砂質でやや締まる。赤黒色土ブロックを含む。



第55図 23・24・27～29・43号土坑・44・150号ピット

第1章 I区 検出の遺構



41号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 締まりあり。As-C・Hr-FA、炭土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 1層に似るが、炭化物なし。
- 3 暗褐色土層 締まりややあり。1層に似る。粘性強い。



54号土坑 A-A'

- 1 暗褐色粘質土層 As-C・Hr-FA、炭土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を極少量含む。硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 黒褐色土層 層としては確認できないが、灰白色粘質土が貼り付けたようにある。



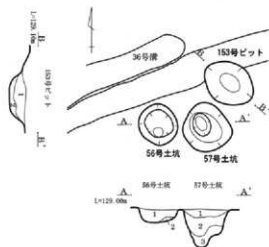
60号土坑 A-A'

- 1 暗灰褐色土層 粘性と締まりややあり。微分広がる。細かい砂質、白色粒子を含む。
- 2 暗灰褐色土層 粘性あり。褐色粒子わずかに混じる。
- 3 黒褐色土層 粘性非常に強い。混入物特になし。



44号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。



56号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 締まり弱い。粘性ややあり。褐色粒子を含む。
- 2 黒褐色土層 粘性あり。褐色粒子を含む。

57号土坑 A-A'

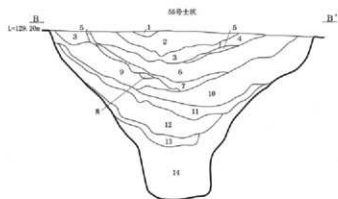
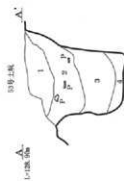
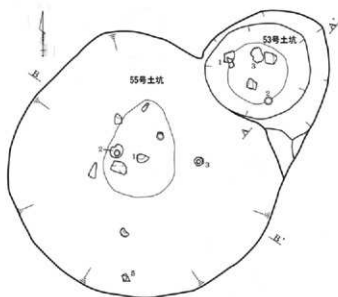
- 1 暗灰褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 粘性ややあり。褐色粒子をわずかに含む。
- 3 暗褐色土層 粘性強い。混入物特になし。

153号ピット B-B'

- 1 暗灰褐色土層 As-C・Hr-FA、褐色粒子、橙白色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗灰褐色土層 1層と基本的には同じ。混入物の割合が少ない。

0 1:40 1m

第56図 41-44-54-56-57-60号土坑、153号ピット



53号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層に比べ軽石、黄褐色土粒子は極端に少なくなり、下層に行くにつれ粘性を増す。
- 3 黒褐色粘質土層 締まりなし。黄褐色土粒子を極少量含む。
- 4 灰褐色粘質土層 締まりなし。褐色粘質土ブロックを少量含む。

55号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりやや明るい色調。黄褐色土ブロック、中黒粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、炭化物粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土と炭化物の混土層 3層より明るい色調。As-C・Hr-FA、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 粘性が非常にある。
- 7 暗褐色土層 炭化物を含む。
- 8 黒褐色粘質土層 粘性が非常にある。
- 9 暗褐色土層 灰褐色(砂岩を大量に含む。)
- 10 暗褐色土粘質土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 11 灰褐色粘質土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 12 茶褐色粘質土層
- 13 灰褐色砂質土層
- 14 灰褐色土粘質土層

61号土坑 A-A'

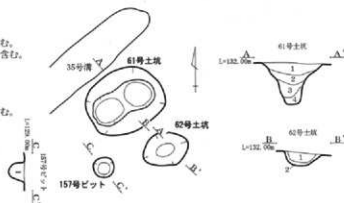
- 1 暗灰色砂層 やや締まる。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 粘性ややあり。黄白色ブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土層 粘性ややあり。黄白色ブロックを多量に含む。
- 4 暗褐色土層 粘性強い。混入物特になし。

62号土坑 B-B'

- 1 暗灰色砂層 やや締まる。As-Bを含む。
- 2 暗褐色土層 粘性ややあり。黄白色ブロックを少量含む。

157号ピット C-C'

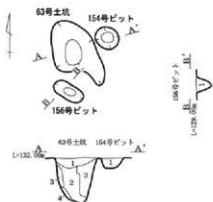
- 1 黒褐色土層 やや締まり、粘性あり。白色粒子混じる。



0 1:40 1m

第57図 53・55・61・62号土坑、157号ピット

第1章 I区 検出の遺構



63号土坑 A-A'

- 1 暗灰色土層 粘性なし。As・C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗灰色土層 粘性強い。混入物特になし。
- 3 暗灰褐色土層 粘性強い。全体に鉄分沈着で変色。
- 4 暗灰褐色土層 粘性非常に強い。黄白色塊を含む。

154号ピット A-A'

- 1 暗灰色砂層 粘性なし。As・Bを含む。

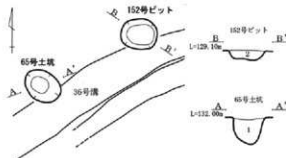
156号ピット B-B'

- 1 黒褐色土層 As・C・Hr-FA。褐色粒子をわずかに含む。



64号土坑 A-A'

- 1 黒灰色土層 粘性あり。褐色粒子を少量含む。

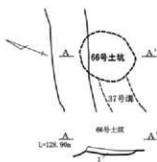


65号土坑 A-A'

- 1 暗灰褐色土層 粘性と締まりややあり。鉄分広がる。細かい砂質、白色粒子を含む。

152号ピット B-B'

- 1 暗灰褐色土層 As・C・Hr-FA。褐色粒子、黄白色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗灰褐色土層 1層と基本的に同じ。混入物の割合が少ない。



66号土坑 A-A'

- 1 黒灰褐色土層 締まりなし。灰、炭化物ブロックを含む。



67号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 灰白色ブロックを含む。

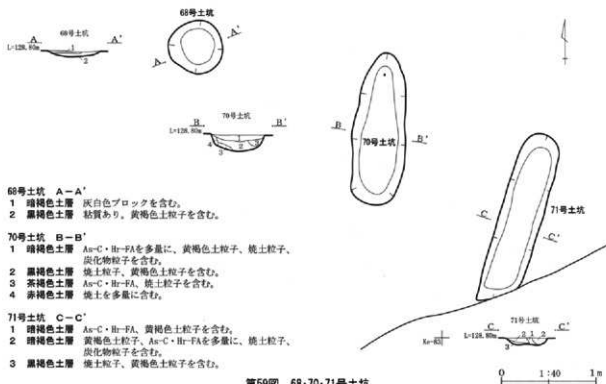


68号土坑 A-A'

- 1 灰色土層 あまり粘性はない。白色粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 As・B。褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 灰褐色土層 As・Bを含む。

0 1:40 1m

第58図 63~67・69号土坑、152・154・156号ピット



68号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 灰白色ブロックを含む。
- 2 黒褐色土層 粘質あり、黄褐色土粒子を含む。

70号土坑 B-B'

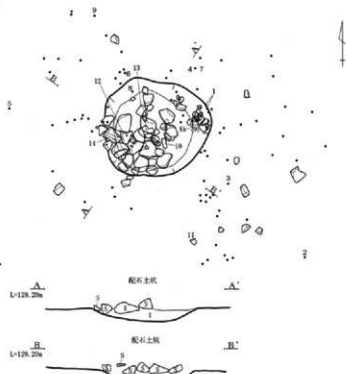
- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 黒褐色土層 焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 茶褐色土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を含む。
- 4 赤褐色土層 焼土を多量に含む。

71号土坑 C-C'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 黒褐色土層 焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。

第59図 68-70-71号土坑

番号	位置	形状	長さ×短径×高さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
68号土坑	Kj-79・80	楕円形	112×100×15	縄文土器片・石器		第60図	第83・84図	83



配石土坑 A-A'

- 1 黄灰褐色土層 粘まりなし。黄色土粒子を含む。

第80図 配石土坑

配石土坑 (①第60図2第83・84図、P.L.59・83)

位置 Kj・Kk-78・79グリッドにかけ検出。

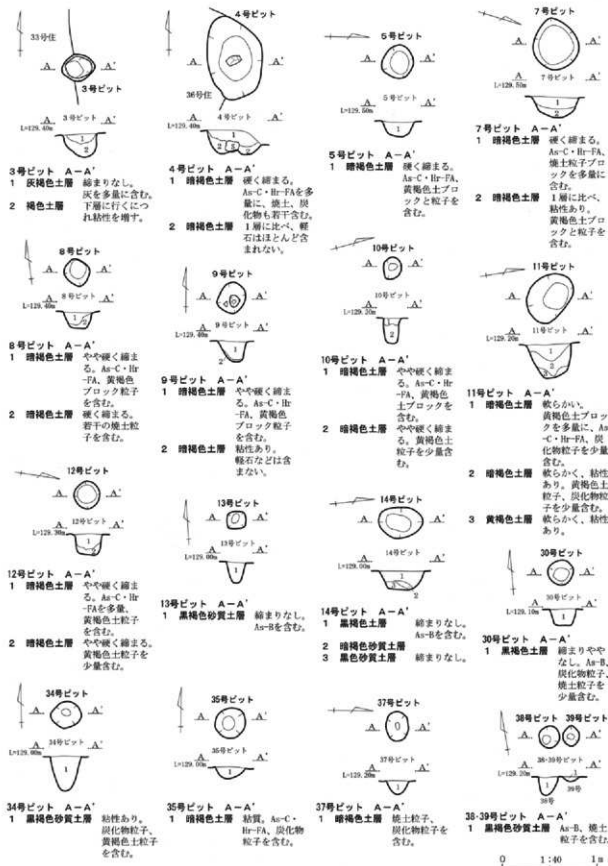
形状 長径112cm、短径100cmの楕円形を呈する。

深さ 確認面より約15cmで底面に達する。底面はややすり鉢状を呈する。覆土 1層を確認できた。黄灰褐色土層で、きめ細かな土でサラサラしている。

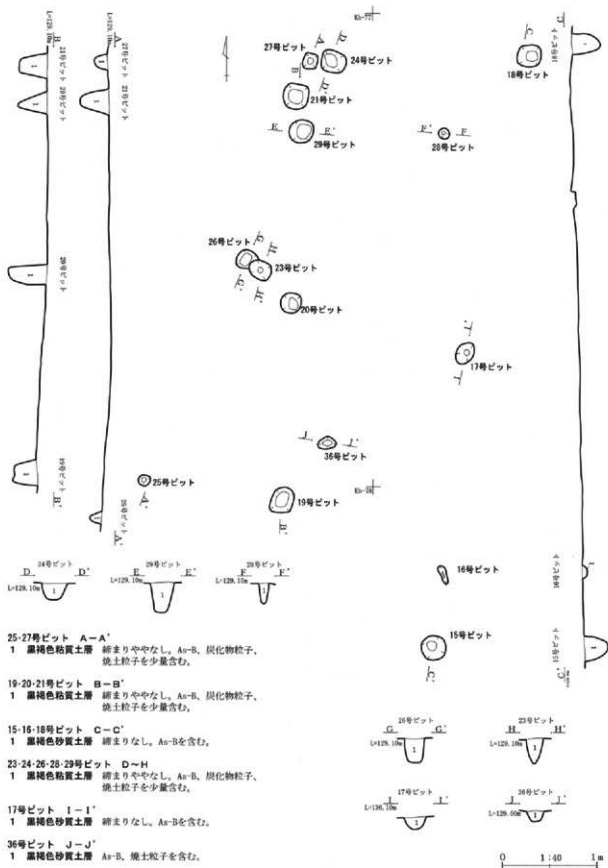
遺物 土坑周辺から縄文中期土器片や礫が出土している。土坑上面からは、多孔石・打製石斧などの石器と礫が多数出土した。

時期 縄文時代中期後半。検出された遺構群の中で、最古に属するものである。

第1章 I区 検出の遺構

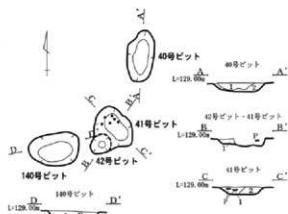


第61図 3~5・7~14・30・34・35・37~39号ピット



第62図 15~21-23~29-36号ピット

第1章 I区 検出の遺構



40号ピット A-A'
1 暗褐色土層 やや締まる。焼土粒子、白色粘質土粒子を含む。
2 黒褐色土層 やや締まる。焼土粒子を含む。

41号ピット C-C'
1 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物を少量含む。土器片を含む。
2 暗褐色砂質土層 強く締まる。炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。

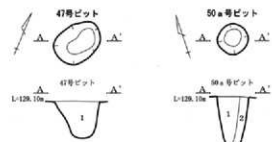
42号ピット B-B'
1 暗褐色砂質土層 締まりなし。As-C・Hr-FAを含む。

140号ピット D-D'
1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色粒子を多量含む。



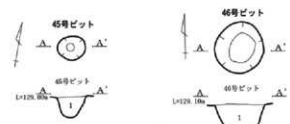
43号ピット B-B'
1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
2 暗褐色土層 粘性あり。軽石を少量含む。

48号ピット A-A'
1 黒褐色砂質土層 As-Bを含む。



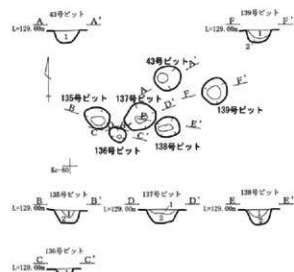
47号ピット A-A'
1 暗褐色砂質土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。

50a号ピット A-A'
1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
2 茶褐色土層 軟らかい。



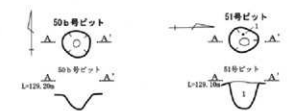
45号ピット A-A'
1 黒褐色土層 As-B、黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。

46号ピット A-A'
1 暗褐色砂質土層 As-C・Hr-FA、焼土粒子を少量含む。

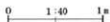


43号ピット A-A'
1 暗褐色砂質土層 締まりあり。As-B、焼土粒子を少量含む。

135-136-137-138-139号ピット B-F
1 暗褐色土層 As-Bを含む。
2 暗褐色土層 やや粘性あり。As-C・Hr-FAを多量に含む。

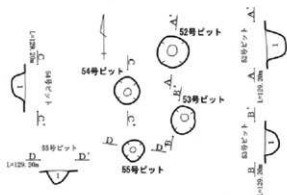


51号ピット A-A'
1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。



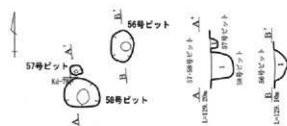
第63図 40~43・45~49・50 a・b・51・135~140号ピット

(3) 土坑・ピット



52-53-54-55号ピット A~D

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。

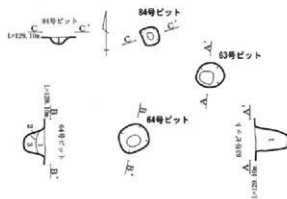


56号ピット B~B'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子、炭化物粒子を少量含む。

57-58号ピット A~A'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。



63号ピット A-A'

1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、As-Bを含む。全体的にサラサラしている。

64号ピット B-B'

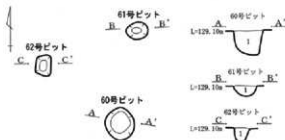
1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
2 暗褐色土層 軟らかい。
3 茶褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に含む。

84号ピット C-C'

1 黒褐色砂質土層 As-Bを含む。

59号ピット A-A'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。



60号ピット A-A'

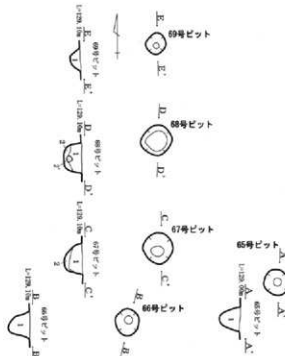
1 暗褐色土層 Hr-FA、As-C、炭土粒子を含む。

61号ピット B-B'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。

62号ピット C-C'

1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。



65号ピット A-A'

1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、As-Bを含む。全体的にサラサラしている。

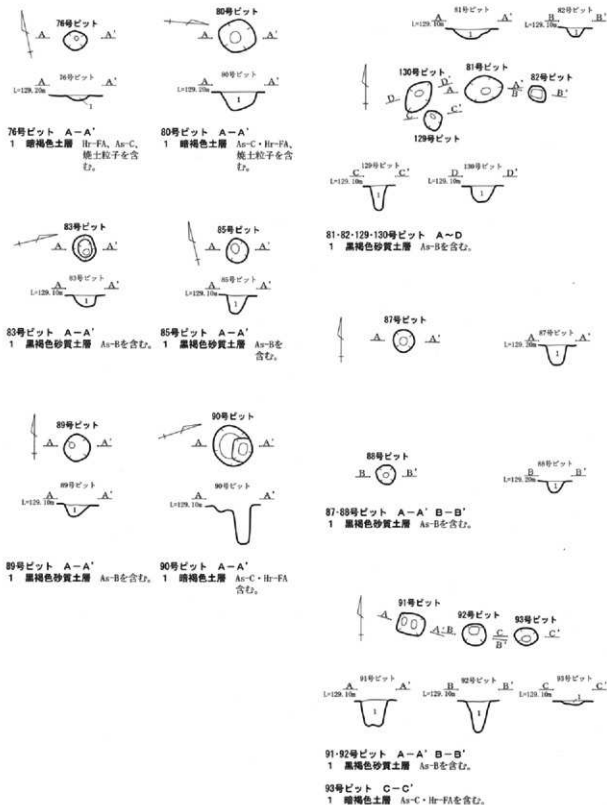
66-67-68-69号ピット B-E

1 暗褐色土層 Hr-FA、As-C、浅黄褐色土粒子、炭土粒子を少量含む。
2 暗褐色土層 粘質土ブロック主体。
2' 暗褐色粘質土層 粘質土ブロック。

第64図 52~69-84号ピット

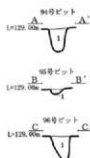
0 1:40 1m

第1章 I区 検出の遺構



第65図 76-80~83-85-87~93-129-130号ビット

(3) 土坑・ピット

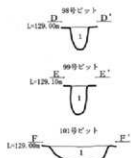
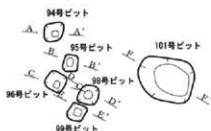


94-95-96-98-99号ピット A~E

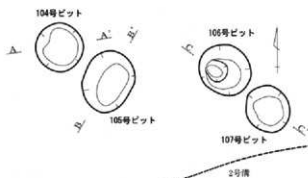
1 黒褐色砂質土層 As-Bを含む。

101号ピット F-F'

1 黒褐色砂質土層 As-B、赤黒粘質土ブロックを少量含む。



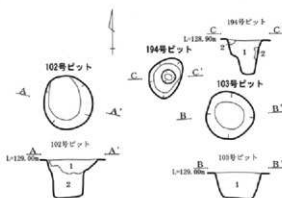
KJ-90



104-105-106-107号ピット A~D

1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土を少量含む。

2 黒褐色土層 締まりなし、黄褐色土ブロックを含む。



102-103号ピット A-A' B-B'

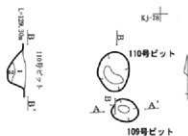
1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土を少量含む。

2 黒褐色土層 締まりなし、黄褐色土ブロックを含む。

104号ピット C-C'

1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

2 茶褐色土層 As-C・Hr-FAを少量含む。



109号ピット



109-110号ピット A-A' B-B'

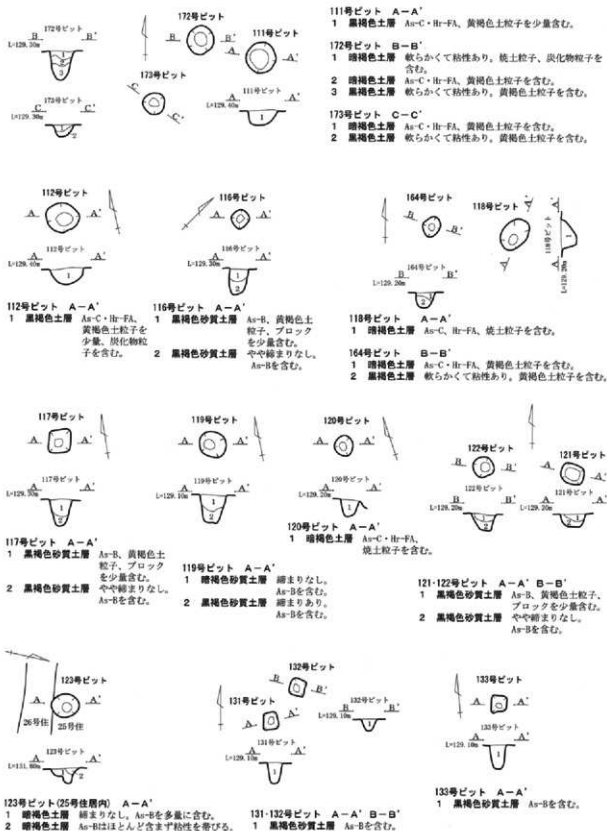
1 黒褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。

2 1層に赤黒粘質土少量含む。

0 1:40 1m

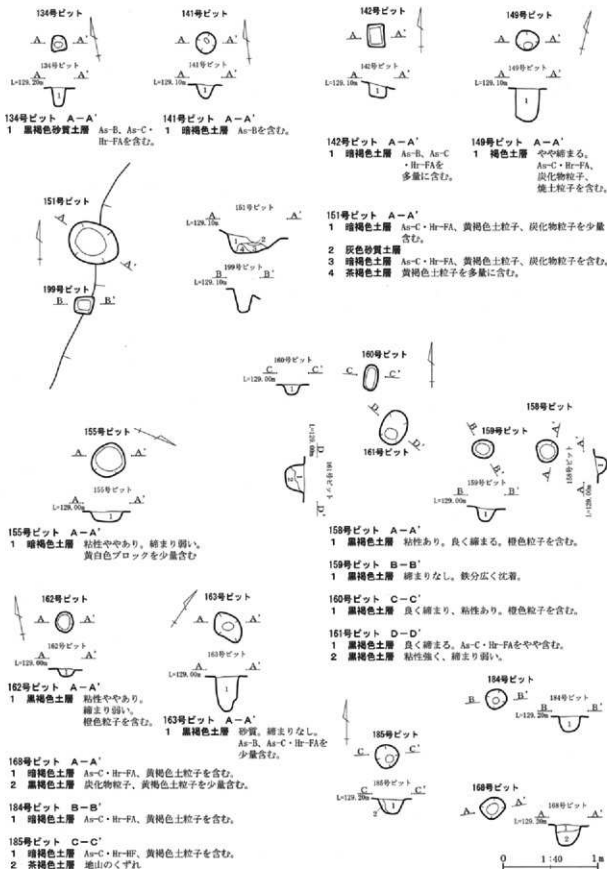
第66図 94~96-98-99-101~107-109-110-194号ピット

第1章 I区 検出の遺構



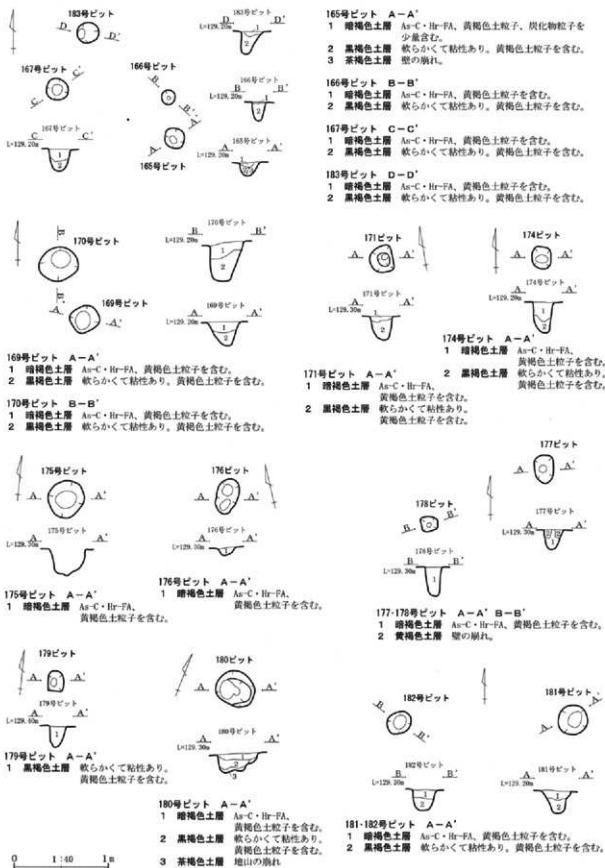
第67図 111・112・116～123・131～133・164・172・173号ビット

(3) 土坑・ピット



第68図 134-141-142-149-151-155-158~163-168-184-185-199号ピット

第1章 I区 検出の遺構



第69図 165~167・169~171・174~183号ビット

(3) 土坑・ピット



- 186号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子, 炭化物粒子を含む。
 - 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。



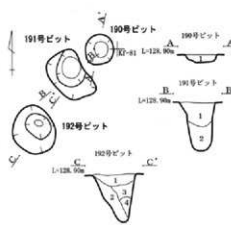
- 187号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。
 - 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。



- 188号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。
 - 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。



- 189号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
 - 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。



- 190号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。

- 191号ピット B-B'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかく灰白色ブロックを含む。

- 192号ピット C-C'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。軟らかく灰白色ブロックを含む。
 - 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土粒子を多量, 炭化物粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 壁の崩れ。硬く粘性が非常に有る。
 - 灰褐色土層



- 193号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかく灰白色ブロックを含む。
 - 茶褐色土層 As-C・Hr-FAを少量含む。



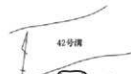
- 195号ピット A-A'
- 暗褐色土層 As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかく灰白色ブロックを含む。



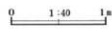
- 196号ピット A-A'
- 黒褐色土層 粘性, やや締まりあり。As-C・Hr-FAを含む。



- 197号ピット A-A'
- 暗褐色土層 やや締まり弱い。As-C・Hr-FA, 黄褐色土粒子を少量含む。
 - 暗褐色土層 やや締まり弱い。黄褐色土粒子を少量含む。



- 198号ピット A-A'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰褐色土ブロック, 黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色粘質土層 黄褐色土粒子を含む。
 - 灰褐色土層 軟らかく非常に粘性がある。灰褐色土ブロック, 黄褐色土粒子を含む。



第70図 186~193・195~198号ピット

(4) 溝 (①第71~79図②第86~87図、PL51~63・84)

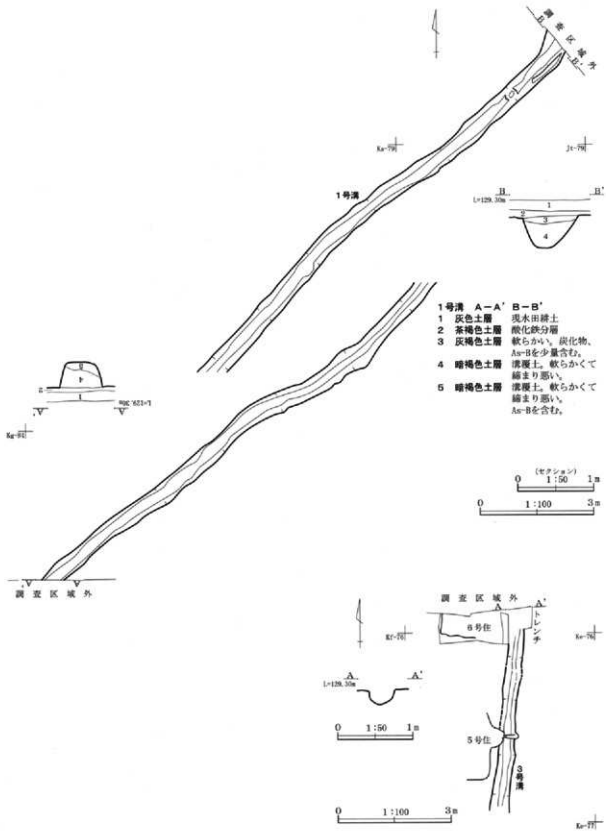
I区で、溝は25条検出された。溝の分布は、調査区の東側及び南側に多く、北側及び西側に少ない傾向がある。また、溝の走行方向は、北東~南西が多く、その他、西~東が多い。溝の掘削時期の決定は、困難であるが、1号溝は遺物の出土状況から近代の掘削であると推定される。溝の覆土は、土坑及びピットと同様に、As-C及びHr-FAを含む古代以降(6世紀中葉以降)のものと、As-Bを含む中世以降(平安時代末以降)のものやどちらも含むものがある。溝からの出土遺物である土師器及び須恵器は、

8世紀~10世紀代のものが出土しているが、流れ込みによるものと考えられ、掘削時期の特定は困難である。溝と住居との重複も多数認められており、1号溝と23号住居、2号溝と22・59号住居、3号溝と5・6号住居、5号溝と25・26号住居、6号溝と54・55・56号住居、7号溝と35・42号住居、27号溝と23・24・54・56号住居、38号溝と14号住居、41号溝と29号住居等がある。しかしながら、新旧関係は、これら平安時代の住居よりも溝の方が新しいため、古代以降に掘削された溝は少なく、ほとんどが中世以降に掘削されたものと推定される。

溝一覧表

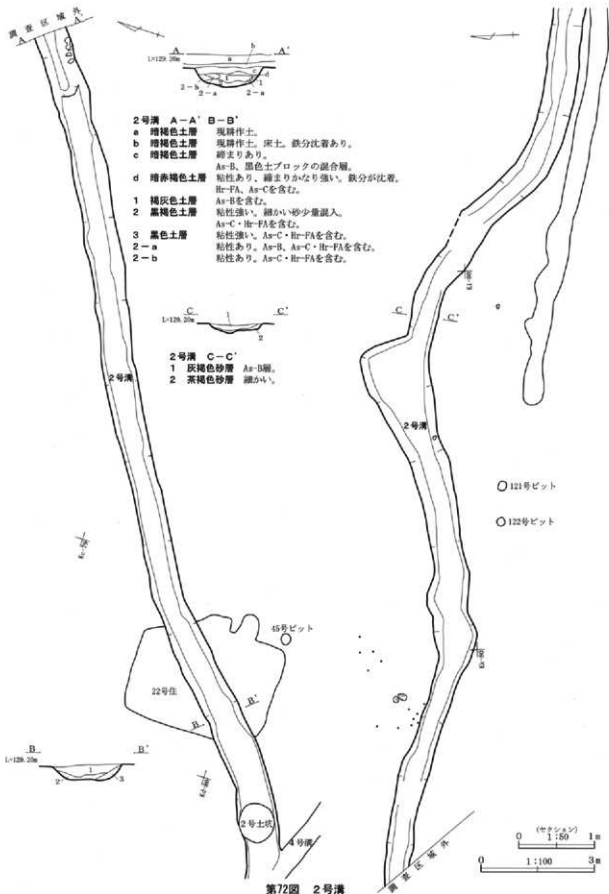
番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Jt-Kf-78-84	(66.0)×0.5~0.7×0.32~0.42	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦		第71図	第86図	61・84
2	Jt-kl-77~79	(64.5)×0.7~1.8×0.28~0.3	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦		72		62
3	Ke-75・76	(4.8)×0.4~0.45×0.2	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦		71	87	84
4	Kb-kd-80・81	(8.8)×0.5×0.1	須恵器片		73		
5	Jt-Ke-80・81	(29.0)×0.2~0.6×0.12	土師器片・須恵器片		73		
6	Kb-Kk-81・81	(46.0)×0.6~1.05×0.4	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦		74	87	62
7	Kj-km-77	(13.2)×0.4~0.5×0.1			73		
8	Kd-ki-83・82	(25.6)×0.32~1.5×0.1	須恵器片		73	87	84
9	Ke-84・83	6.5×0.2~0.35×0.04~0.4			75		
11	Kf-kh-81	(8.2)×0.42~0.75×-			76		
12	Kf-kj-82・81	24.0×0.35~0.7×0.1~0.18			75	87	84
27	Jt-kg-78~82	42.0×0.65~1.0×0.55	土師器片・須恵器片		75	87	63
28	Kb-kc-78・79	4.8×0.25~0.4×0.02			77		
29	Kc-78・79	3.9×0.3~0.38×0.08	土師器片・須恵器片		77		
30	Kb-Kd-78~79	18.0×0.2~0.58×0.08	土師器片・須恵器片		77		
34A	Ke-Kn-77~80	(23.0)×0.4~1.5×0.45	土師器片・須恵器片		78		63
34B	Kd-kg-76~81	(35.0)×1.0~2.0×0.3~0.5			78		63
35	Kf-80・81	2.0×0.4×0.1			76		63
36	Ke-Kf-81	8.0×0.27~0.42×0.15	土師器片・須恵器片・瓦		76		63
37	Kf-81	2.0×0.2~0.32×0.04			76		63
38	Kb-76	1.8×0.46~0.62×0.04			77		
39	Kb-76・77	5.1×1.0~0.6×0.14			77		
40	Kc-79	2.0×0.2~0.4×0.1			77		
41	Kd-79・80	(6.7)×0.28~0.5×0.08			79		
42	Ka-kh-81~84	(3.8)×0.65~1.9×0.3~0.4	土師器片・須恵器片		79		63

(4) 溝



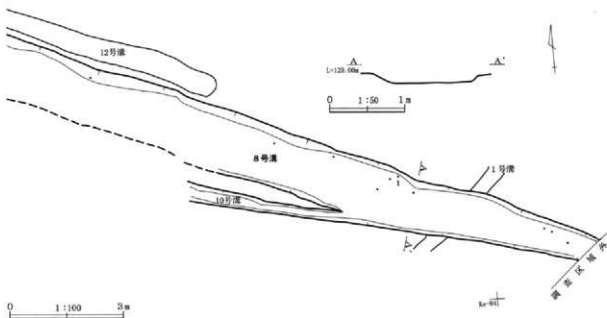
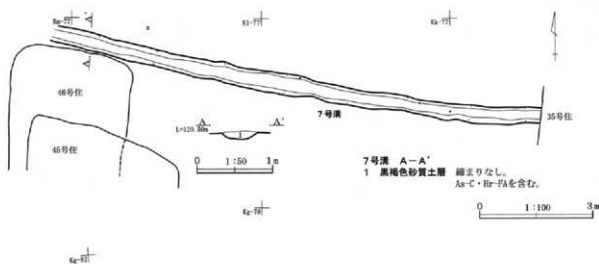
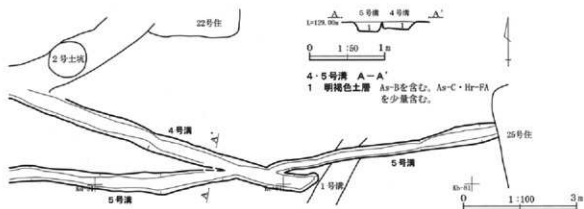
第71图 1・3号溝

第1章 I区 検出の遺構

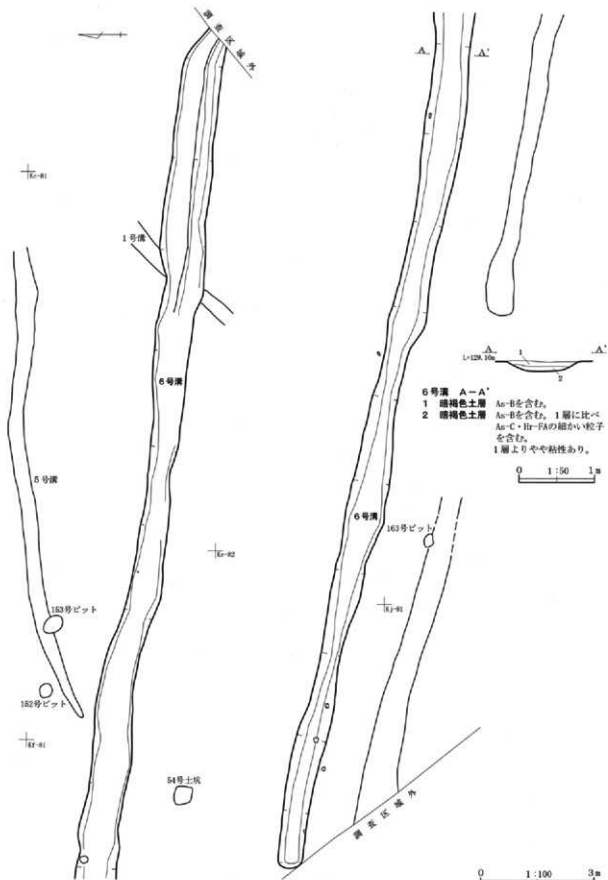


第72図 2号溝

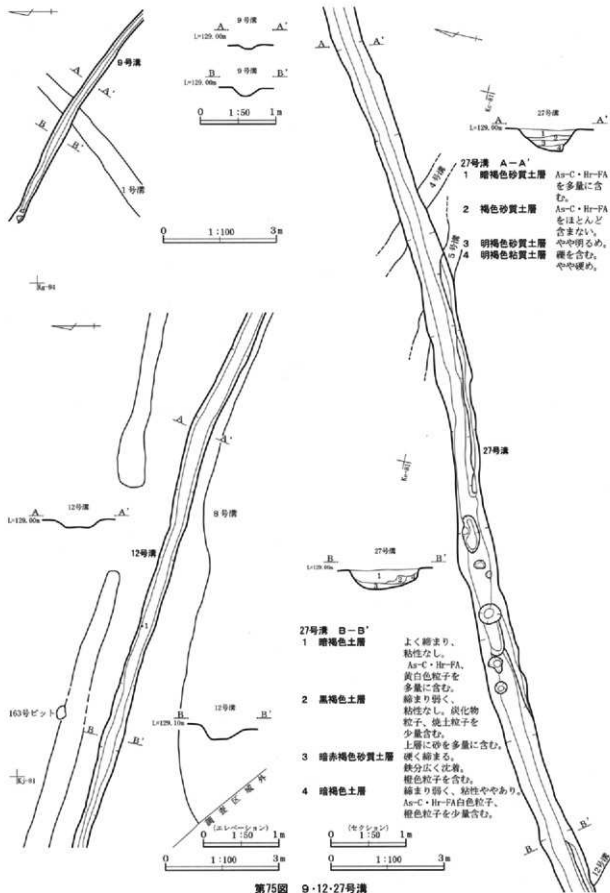
(4) 溝



第73図 4・5・7・8号溝

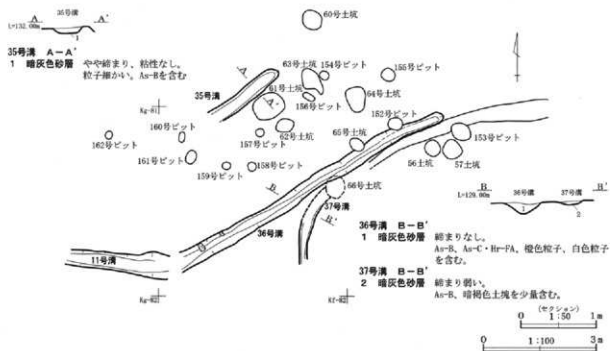


第74図 6号溝

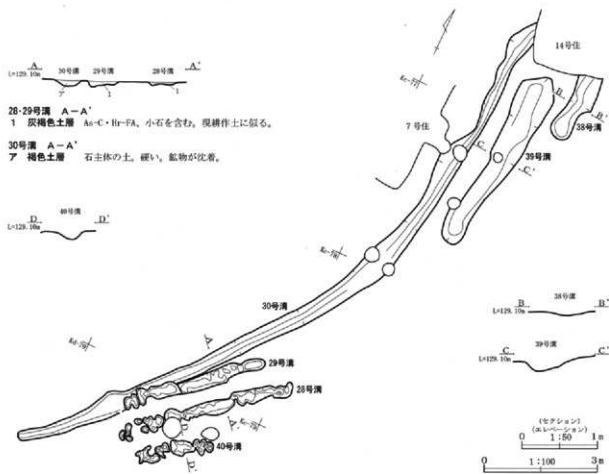


第75図 9・12・27号溝

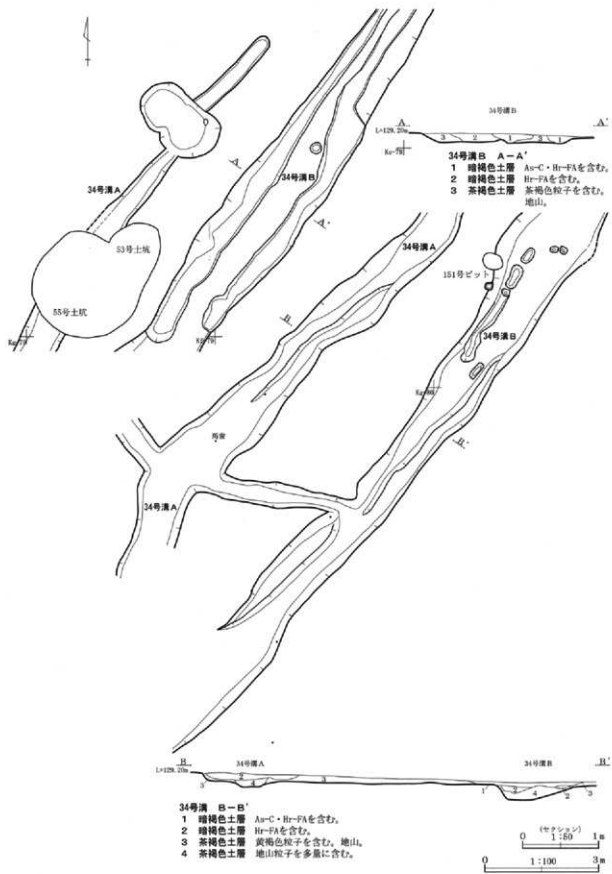
第1章 I区 検出の遺構



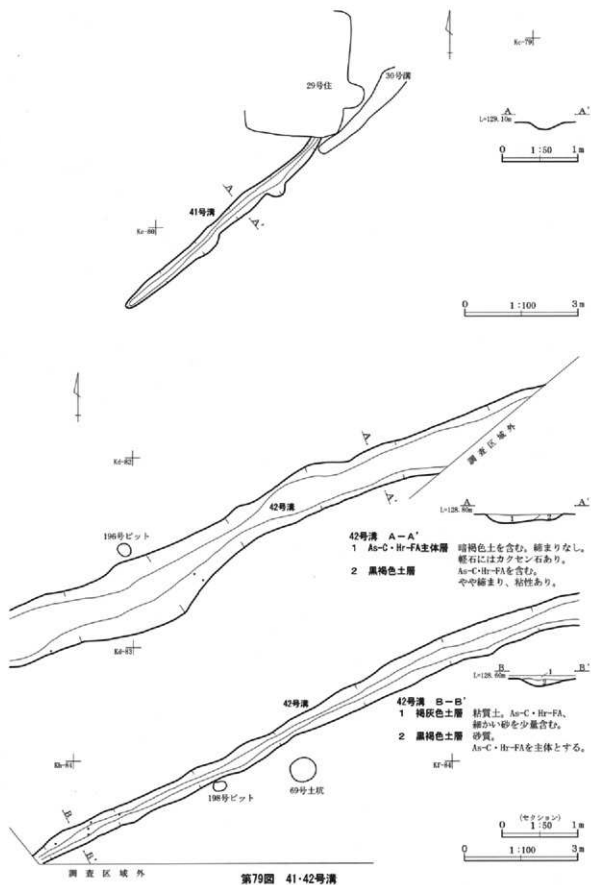
第76図 11・35～37号溝



第77図 28～30・38～40号溝



第78図 34A・B号溝





第2章
0区 検出の遺構

第80図 ○区全体図

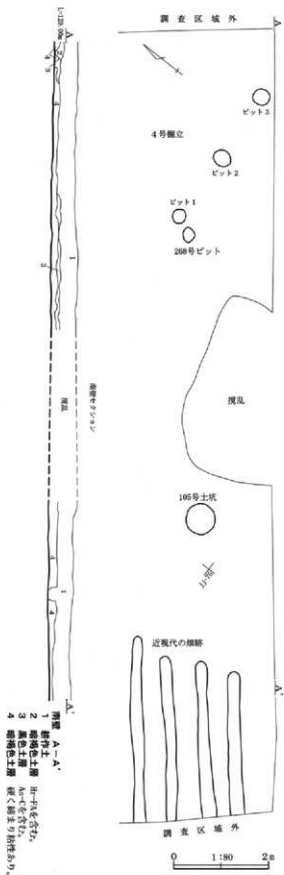
0 1:400 10m

(1) 竪穴住居跡

南壁セクション

約13.5mの南壁セクションの内、中心部の約3.5mは擾乱をうけているため、不明である。層位は、1層の耕作土・2層の暗褐色土層・3層の黒色土層・4層の暗褐色土層の4層に分かれた。

1層は、近現代の耕作土であり、厚さは約30cm～40cmである。2層の暗褐色土層は、南壁セクションの中でも東側に一部堆積しているのみである。6世紀初頭に噴火した榛名山ニッ岳の降下火山灰であるHr-FAを含む層であり、厚さは10cm～20cmである。3層の黒色土層は、南壁セクションの中でも東側半分は1層と4層との間に厚さ5cm～10cmで薄く堆積する。4世紀前半に噴火した浅間山の降下軽石であるAs-Cを含む層である。4層の暗褐色土層は、最下層に位置し、厚さ約10cm～20cmで堆積している。



第81図 南壁セクション

(1) 竪穴住居跡

60号住居跡 (①第82図②第89図、P.L. 89-100)

位置 Kb-84・Kc-84グリッド内で検出された。

形状 長辺2.5m、短辺1.9m以上の大きさであるが、住居の南側は調査区域外であるため全容は伺えない。検出状況からは、隅丸形状と推定される。

方位 N-90°-E

覆土 覆土は、4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より、約10cm~20cmで床面

に達する。

床面 は平坦である。面積は、約4.2㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道が約50cm。北側の袖石が残存。

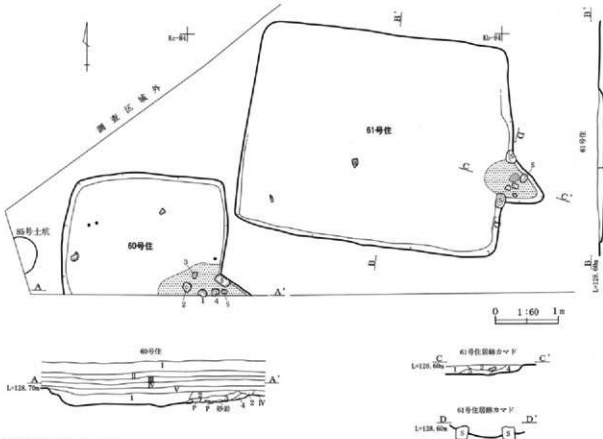
柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 検出されなかった。

遺物 覆土や床面から須恵器4点が検出された。

時期 出土遺物から、10世紀前半であると推定される。

重複 重複は、認められなかった。



60号住居跡断面 A-A'

- I 水田層土
- II 酸化鉄分層
- III 暗褐色土層 硬い。As-C・Hr-FA、黄褐色粒子を含む。
- IV 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色粒子を含む。
- V 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子、灰白色土粒子、焼土粒子を含む。
- VI 暗褐色土層 軟らかい。As-Cを含む。
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。炭化物粒子、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロック、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。炭化物粒子、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 4 褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土を多量に、灰を含む。

61号住居跡断面 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。

61号住居跡カマド断面 C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 褐色土層 軟らかい。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子を多量に、黄褐色土粒子を含む。

第82図 60号住居跡・61号住居跡

61号住居跡 (①第82回、P.L.89)

位置 Ka・Kb-84グリッド内で検出された。60号住居の北東に位置する。

形状 長辺4.2m、短辺3.2mの隅丸長方形である。

方位 N-103° - E

覆土 覆土は、1層に分かれた。

壁高 住居の上部はかなり削平されており、住居跡確認面より、約5cm~10cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は、約13.3㎡。

竈 竈は東壁のやや南寄りに位置する。現状での規模は、煙道が約55cm、両袖方向は約90cm。両袖の袖石が残存。

時期 時期を特定できる遺物は検出されなかったが、60号住居よりやや新しいと推定される。

重複 重複は、認められなかった。

62号住居跡 (①第83回、P.L.89)

位置 Ji-82グリッド内で検出された。

形状 長辺2.9m、短辺1.9m以上の大きさ。但し、住居北東部分は調査区域外であるため、全容は伺えない。検出状況からは隅丸方形か隅丸長方形であると推定される。

方位 N-44° - W [西壁方位]

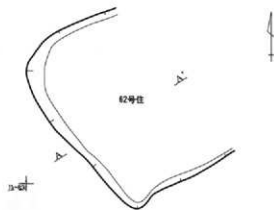
覆土 覆土は、2層に分かれた。

壁高 住居の上部はかなり削平されており、住居跡確認面より、約5cm~15cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。面積は、約6㎡。

時期 時期を特定できる遺物は検出されなかったため、時期は不明である。

重複 重複は、認められなかった。



62号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・It-FA、黄褐色土粒子を含む。
2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを含む。



第83回 62号住居跡

63号住居跡 (①第84回②第90回、P.L.90・100)

位置 Ir・Is-91・92グリッド内で検出された。

形状 長辺2.4m、短辺2.1mの規模である。但し、南西部及び南東部は調査区域外であるので、全容は伺えない。

方位 N-90° - E

覆土 上部が削平されており、覆土は不明である。

壁高 住居の上部はかなり削平されており、住居跡確認面より、わずかに約2cm~5cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は、約5.4㎡である。

竈 竈は、北東壁に位置する。現状での規模は、

煙道が約20cm、両袖方向が約50cm。

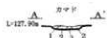
柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 竈の右袖下に深さ10cm~13cmのくぼみが検出されたが、南側が調査区域外であるため、全容は伺えない。恐らく、貯蔵穴であると推定される。

遺物 こも編石が1点検出された。

時期 時期を特定できる遺物は検出されなかったため、時期は不明である。

重複 住居の重複は認められなかったが、住居の北西部から103号土坑が検出された。新旧関係は、103号土坑の方が新しい。



カマド A-A'

- | | |
|---------|--------------------------|
| 1 褐色土層 | やや硬い、黄褐色土ブロック、焼土ブロックを含む。 |
| 2 灰褐色土層 | 灰を多量に、焼土ブロックを含む。 |
| 3 褐色土層 | 焼土、灰を含む。 |



第84図 63号住居跡

64号住居跡 (①第85図②第91図、P.L.90・100)

位置 Ir-85・86グリッド内で検出された。

形状 竈のみ検出されたため、住居の規模及び形状は不明である。

方位 竈のみ検出されたため、主軸方位は不明である。

覆土 竈のみ検出されたため、住居内覆土は不明である。

壁高 竈のみ検出されたため、壁高は不明である。

床面 竈のみ検出されたため、床面の状況は不明である。ほぼ竈のみの面積は、約1.3m²である。

竈 北東に位置する。現状での規模は、挿道が

約70cm、両軸方向が約90cmである。

柱穴 検出されなかった。

貯蔵穴 竈右袖下に貯蔵穴が1基検出された。貯蔵穴の規模は、長径約38cm、短径約33cm、深さ約25cmである。

遺物 竈及び貯蔵穴より、須恵器環・須恵器壺・土師器甕が検出された。

時期 竈及び貯蔵穴から出土した遺物では、時期は9世紀後半であると推定される。

重複 住居の重複は、認められなかったが、竈の南西部から46号溝が検出された。新旧関係は、46号溝の方が新しい。



カマド A-A'

- | | |
|---------|------------------------|
| 1 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。焼土、灰を含む。 |
| 2 焼土層 | |
| 3 灰層 | |
| 4 焼土層 | |
| 5 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。 |
| 6 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰を少量含む。 |

貯蔵穴 B-B'

- | | |
|---------|----------------------|
| 1 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。焼土粒子を少量含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性高い。炭化物を含む。 |

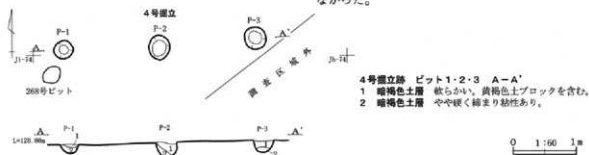


第85図 64号住居跡

(2) 掘立柱建物跡 (①第86図、PL90)

0区からは、調査区の北側から4号掘立柱建物跡1棟のみが検出された。しかしながら、柱穴群は、調査区域外にかかっているため、1列のみしか検出しておらず、その全容を伺うことはできない。

検出された柱穴群は、ほぼ東西に3基(2間)並んだ状態である。恐らく、相対するもう1列は、南側の調査区域外に存在するものと推定される。柱穴の形状は、3基とも円形である。柱間は、柱穴の間で計測すると、約150cmである。遺物は検出されなかった。



第86図 4号掘立柱建物跡

(3) 土坑・ピット

土坑 (①第87～89・91・92・95～100図②第92～94図、PL91～94・100・101)

0区から、土坑が39基検出された。土坑は、調査区の西側に集中して検出されている。この内、12基の土坑から遺物が検出されている。これらの土坑の時代は、出土遺物より、主に9世紀～11世紀の平安時代に属すると推定される。

土坑が集中して検出された場所は2ヶ所認められた。Jt-84・Ka-84グリッド内の、72号～75号・78号・84号土坑は、重複はしていない状態で検出されている。これらの内、72号・78号土坑の2基から遺物が検出されており、時代は、平安時代に属すると推定される。また、Jo-80・81グリッド内の、91号～96号・99号・100号土坑は、一部重複した状態で集中して検出されている。これらの内、95号・96号・99号土坑の3基から遺物が検出されており、時代は、平安時代に属すると推定される。

その他の土坑は、単独で存在する。97号・102号・104号・107号・110号土坑の5基の土坑は、規模が大型である。

97号土坑及び102号土坑は不整形土坑であるが、

時代は出土遺物よりそれぞれ、11世紀前半及び10世紀後半の遺物が検出されている。104号土坑からは土師器・須恵器等多数の遺物が検出されており、須恵器の埴の時代は9世紀後半に比定されている。107号土坑は、形状及び深さから、井戸であると推定される。時代は、中近世であろう。110号土坑からは、猪かブタの遊離菌1本が検出されているが、遺構の性格は不明である。

ピット (①第87～96・98～100図②第94図、PL90・91・95～97・101)

0区から、ピットが75基検出された。ピットは、土坑と同様に調査区の西側に集中して検出されている。ピットの覆土のほとんどが暗褐色土層であり、2層を主として、1層～4層に分かれる。また、覆土にはAs-C及びHr-FAを含んでおり、時代は主に平安時代であると推定される。75基のピットの内、6基のピットから遺物の土師器及び須恵器が検出されている。209号ピットで検出された須恵器の坏は、時代が9世紀前半に比定されている。

第2章 0区 検出の遺構

0区

土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
72	Ka-84	楕円形	60×46×45	土師器片2・須恵器片2・灰輪陶器片1		第88図		91
73	Ka-84	ほぼ円形	46×40×6			88		91
74	Ka・Jr-84	ほぼ円形	50×45×28			88		91
75	Jr-84	ほぼ円形	75×68×5		209ビット重複	88		91
76	Jr-83	楕円形	60×40×19			87		91
77	Jr-83	楕円形	58×40×15			87		91
78	Jr-84	楕円形	60×38×33	須恵器片1		89		91
79	Js-84	不整形	60×42×48	須恵器片1		89		91
80	Js-84	半円形	38×(22)×42			91		91
81	Js-82	ほぼ円形	56×(50)×8		81・82土坑重複	92		91
82	Js-82	ほぼ円形	63×(50)×8			92		91
83	Jr-84	楕円形?	90×(58)×20	土師器片3・須恵器片1		95		92
84	Ka-84		65×30×14			88		92
85	Kc-84	楕円形?	60×30×43			96		92
86	Jr-78	楕円形	73×43×8			96		92
87	Jr-78	不整形	93×35×13			96		92
88	Jr-75	円形	63×61×18			96		92
89	Jp-75	楕円形	65×49×25			96		92
90	Jo・Jp-76	楕円形	88×73×13			96		92
91	Jo-81	円形	75×72×12			97		93
92	Jo-81	不整形	60×(30)×6		93・96号土坑重複	97		93
93	Jo-81	円形	68×62×15	土師器片・須恵器片	92号土坑重複	97	第92図	93・100
94	Jo-80	円形	58×55×10			97		93
95	Jo-80	円形	90×80×10	須恵器片2		97		93
96	Jo-80・81	ほぼ円形	87×85×10	土師器片4・須恵器片5	91・92号土坑重複	97		93
97	Jr-84	不整形	206×140×49	土師器片2・須恵器片2・陶磁器片1		97	92	93・100
98	Jr-83	円形	78×75×28			98		93
99	Jo-81	楕円形	98×60×13	土師器片1・須恵器片4		97		93
100	Jo-81	円形	46×43×25			97	93	93・101
101	Jr-82	円形	72×68×10	土師器片2		98	93	93・101
102	Is-91	不整形	333×242×38	土師器片32・須恵器片12・瓦片1		98	93	93・101
103	Is-91・92		68×28×28			99		93
104	Ir-85	楕円形	270×250×15	土師器片28・須恵器片16・瓦1		99	93	94・101
105	Jr-74	円形	67×60×92			99		94
106	Je-80	ほぼ円形	80×80×46	土師器片1		100		94
107	Je-79・80	ほぼ円形	148×140×194		井戸?	100		94
108	Id-81	ほぼ円形	83×78×78			99	94	94・101
109	Ic-89	楕円形	95×86×30			99		94
110	Jr-79	円形	120×120×15			100		94

ビット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
200	Ka-84	円形	29×29×48	須恵器片1		第88図		91
201	Ka-84	不整形	38×25×15			88		91
202	Ka-84	楕円形	28×24×8			88		91
203	Ka-84	楕円形	58×21×5			88		91
204	Ka-84	円形	32×30×28	土師器片3・須恵器片		88		91
205	Jr-84	円形	30×30×22			89		95
206	Jr-84	円形	30×30×18			89		95
207	Jr-83・84	ほぼ円形	27×25×19			89		95
208	Jr-83	楕円形	20×15×10			89		95
209	Jr-84	ほぼ円形	30×(30)×4		75号土坑と重複	88	第94図	91・101
210	Ka-84	楕円形	38×30×8	須恵器片1	211ビットと重複	88		91
211	Ka-84	長方形	65×26×9		210・222ビットと重複	88		91
212	Jr・Ka-84	楕円形	35×31×8		211ビットと重複	88		91
213	Jr-83	円形	30×30×12			89		95
214	Jr-83	不整形	20×18×10			89		95
215	Ka-82	楕円形	24×20×5			87		95
216	Ka-82	楕円形	33×21×8			87		95
217	Jr-83	ほぼ円形	36×32×12			89		95
218	Jr-83	円形	26×26×20			89		95
219	Jr-84	不整形	43×35×16			89		95

(3) 土坑・ピット

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
220	Jr-84	楕円形	28×20×12			第89図		91
221	Jr-84	円形	22×22×14			91		91
222	Jr-84	円形	30×18×21			91		91
223	Jr-84	隅丸方形	29×28×18			91		91
224	Jr-84	隅丸方形	21×19×24			91		91
225	Jr-84	隅丸方形	21×19×25			91		91
226	Jr-84	隅丸方形	29×29×29			91		95
227	Jr-84	隅丸方形	34×29×53			91		95
228	Jr-83	隅丸方形	36×32×23			90		95
229	Jr-83	隅丸方形	35×32×20			90		95
230	Jr-83・84	隅丸方形	38×30×20			90		95
231	Jr-83	楕円形	26×21×15			90		95
232	Jr-83	円形	25×22×15			93		95
233	Jr-83	楕円形	30×25×15			93		91
234	Jr-82・83	楕円形	40×33×17			87		95
235	Jr・Jr-82	楕円形	25×24×12			92		95
236	Jr-82	ほぼ円形	39×38×8			92		95
237	Jr-82	ほぼ円形	30×26×20			93		91
238	Jr-82・83	楕円形	25×18×15			93		91
239	Jr・Jr-83	ほぼ円形	28×25×16			93		96
240	Jr-83	楕円形	28×25×21			94		96
241	Jr-83	隅丸方形	25×22×17			93		96
242	Jr-83	隅丸方形	22×22×15			93		96
243	Jr-83	隅丸方形	20×20×12			94		96
244	Jr-83	隅丸方形	28×28×20			94		96
245	Jr-83	隅丸方形	28×25×16			94		96
246	Jr-83	円形	31×29×17			94		96
247	Jr-83	円形	28×26×25			94		96
248	Jr-83	隅丸方形	22×21×16			94		96
249	Jr-84	隅丸方形	32×31×15			94		96
250	Jr-84	隅丸方形	28×28×16			95		96
251	Jr-84	隅丸方形	31×30×22	須恵器片 1		95		96
252	Jr-84	隅丸方形	22×22×5			95		96
253	Jr-84	隅丸方形	28×25×20			95		96
254	Ka-83	ほぼ円形	25×23×20			87		95
255	Jr-83	ほぼ円形	22×22×12			90		96
256	Jr-78	隅丸長方形	48×40×14	土師器片 1・須恵器片 1		96		96
257	Jr-78	方形	36×36×11			96		96
258	Jr-75	円形	45×42×13			96		96
259	Jr-79		28×(15)×13			98		96
260	Jr-79	円形	58×58×8			98		96
261	Jr-77	楕円形	35×28×14			98		96
262	Jr-80	円形	30×20×9			98		96
263	Is・Is-90・91	楕円形	25×22×29			100		97
264	Is-91	楕円形	24×20×6			100		97
265	Is-90・91	楕円形	30×25×30			100		97
266	Is-90・91	隅丸方形	28×23×15	土師器片 1		100		97
267	Is-90	隅丸方形	24×20×21			100		97
268	Jr-74	隅丸方形	28×36×12			98		90
269	Jr-73	円形	22×22×9			100		97
270	Jr-73	ほぼ円形	20×19×12			100		97
271	Ir-87・88	楕円形	34×29×22			98		97
272	Iq-88	隅丸方形	25×25×10			98		97
273	Is-88	半円形	32×(22)×45			98		97
274	Ir-87		32×(12)×20			100		97



76-77号土坑 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。

215号ピット C-C'

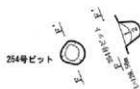
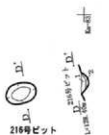
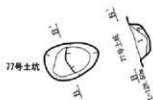
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。

216-234号ピット D-D' E-E'

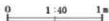
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

254号ピット F-F'

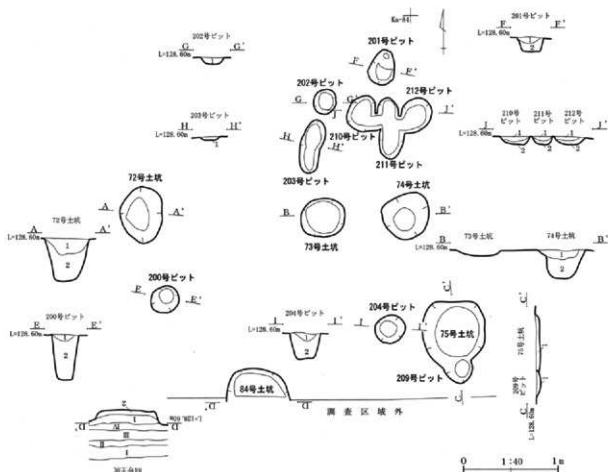
- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを少量含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。



第87図 76-77号土坑、215-216-234-254号ピット



(3) 土坑・ピット



72号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、炭化物、焼土粒子、灰白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物、焼土粒子、灰白色土粒子を含む。

74号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

75号土坑・209号ピット C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。

209号ピット

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物、灰白色土ブロックを含む。

84号土坑南壁 D-D'

- I 水田跡土
 - II 酸化鉄分層
 - III 暗褐色土層 硬い。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - IV 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子を含む。
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、焼土粒子、灰白色土粒子を含む。

200号ピット E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を含む。

201号ピット F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

202-203号ピット G-G' H-H'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

204号ピット I-I'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

210-211-212号ピット J-J'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

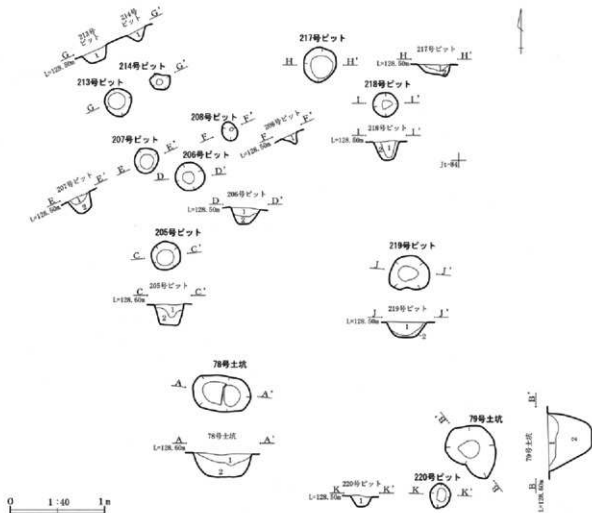
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

第88図 72~75-84号土坑、200~204-209~212号ピット

第2章 0区 検出の遺構



調査区域外

78号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を少量含む。

79号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。

205号ビット C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を含む。

206号ビット D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

207号ビット E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

208号ビット F-F'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

213-214号ビット G-G'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。

217号ビット H-H'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

218号ビット I-I'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を含む。

219号ビット J-J'

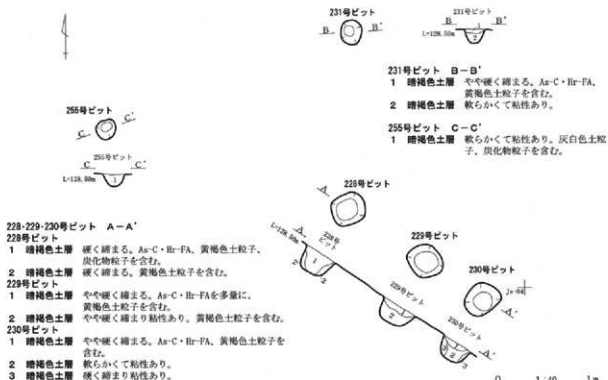
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

220号ビット K-K'

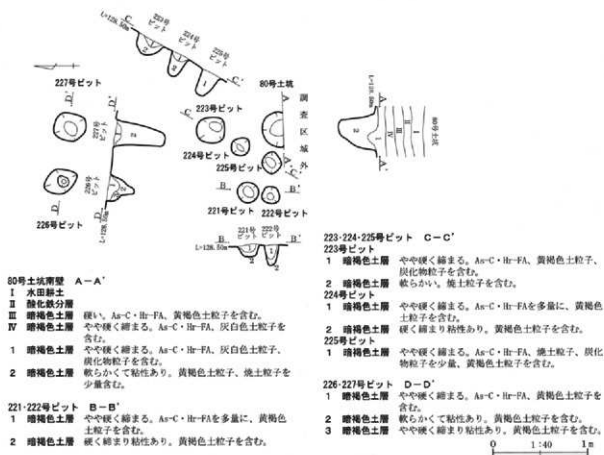
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量、黄褐色土粒子を含む。

第89図 78-79号土坑、205~208・213-214・217~220号ビット

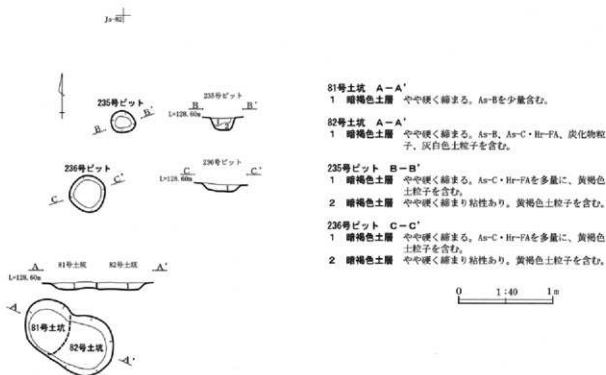
(3) 土坑・ピット



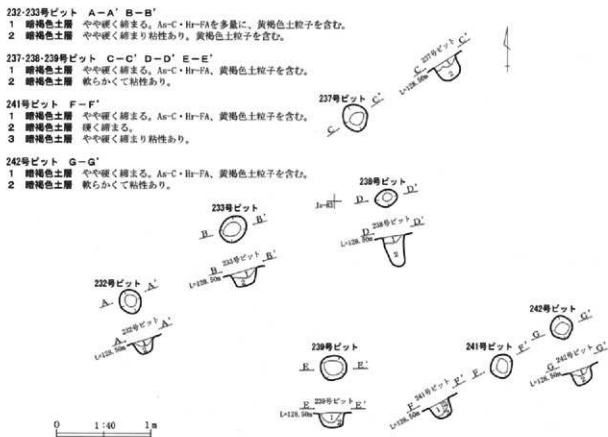
第90図 228～231・255号ピット



第91図 80号土坑、221～227号ピット

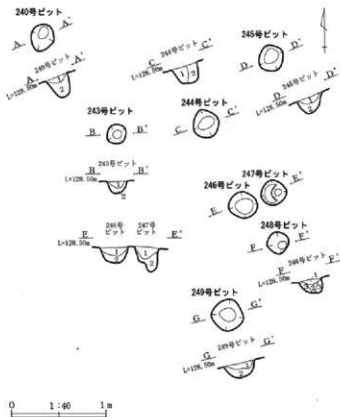


第92図 81・82号土坑、235-236号ビット



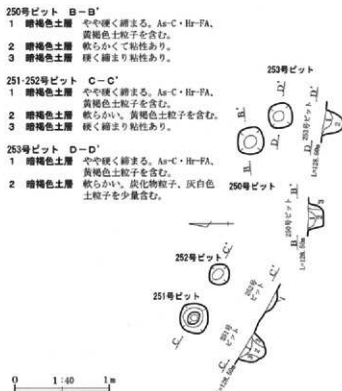
第93図 232-233-237~239-241-242号ビット

(3) 土坑・ピット

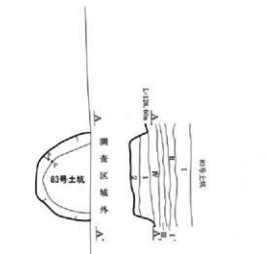


- 240号ピット A-A'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 243号ピット B-B'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 244号ピット C-C'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 245号ピット D-D'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 246-247号ピット E-E'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 248号ピット F-F'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
 - 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。
- 249号ピット G-G'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。

第94図 240-243~249号ピット



- 250号ピット B-B'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
 - 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。
- 251-252号ピット C-C'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。
- 253号ピット D-D'
- 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子、灰白色土粒子を少量含む。



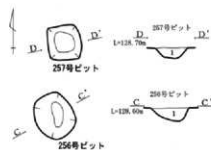
第95図 83号土坑、250~253号ピット

第2章 0区 検出の遺構



85号土坑西壁 A-A'

- I 水田跡土
- II 酸化鉄分層
- III 暗褐色土層 硬い、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- IV 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子を含む。
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。炭化物粒子、黄褐色土粒子を少量含む。



87号土坑



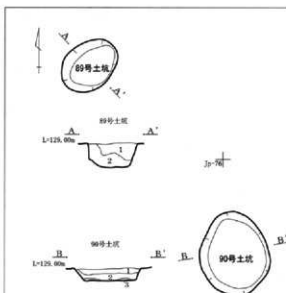
86-87号土坑、256-257号ピット A-A' B-B' C-C' D-D'

- 1 黒褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、灰白色土粒子を含む。



88号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、炭土粒子を少量含む。
- 3 茶褐色土層 硬く締まる。
- 4 黒褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。

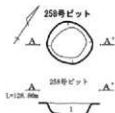


89号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。As-Cを少量含む。

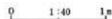
90号土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 灰褐色土層 硬く締まる。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。灰白色土ブロックを含む。

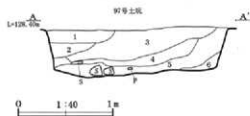
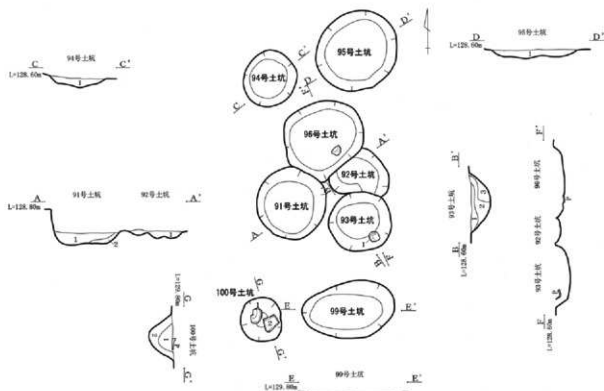


258号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。



第96図 85~90号土坑、256~258号ピット



91-92号土坑 A-A'

91号土坑

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、灰白色土ブロック、焼土粒子を含む。

2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。

92号土坑

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

93号土坑 B-B'

1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土、炭化物を多量に含む。

2 茶褐色土層 硬く締まる。炭化物、焼土粒子を少量含む。

3 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。灰を多量に、焼土粒子、灰白色土ブロックを含む。

94-95号土坑 C-C' D-D'

1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。

99号土坑 E-E'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、焼土粒子、灰白色土粒子を含む。

2 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。灰白色土粒子を含む。

100号土坑 G-G'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。

2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子を少量含む。

97号土坑 A-A'

1 黒色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。

2 黒褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黒色土、黄褐色土を含む。

3 黒褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、灰白色粒子を含む。

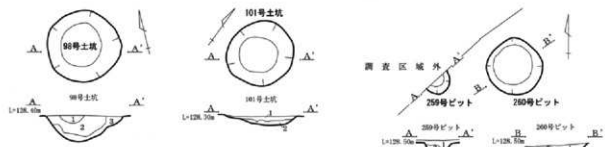
4 黒褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。

5 黒褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック粒子を少量含む。

6 黒褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

第97図 91~97-99-100号土坑

第2章 0区 検出の遺構

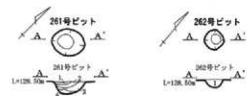


98号土坑 A-A'

- 1 褐色土層 やや硬く締まる。焼土、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロック、炭化物粒子を含む。

101号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 茶褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。



261号ピット A-A'

- 1 黒色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 やや硬く締まる。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 4 黒色土層 軟らかい。

262号ピット A-A'

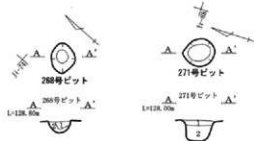
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

259号ピット西壁 A-A'

- 1 黒褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック、黄褐色土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 黒色土を含む。

260号ピット B-B'

- 1 灰褐色土層 黒色土、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロック、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。

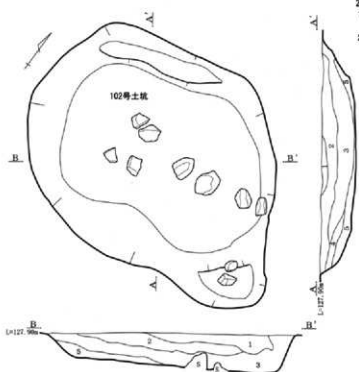


268号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。

271号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。

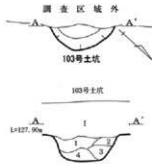


102号土坑 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。

第98図 98・101・102号土坑、259～262・268・271号ピット

(3) 土坑・ピット



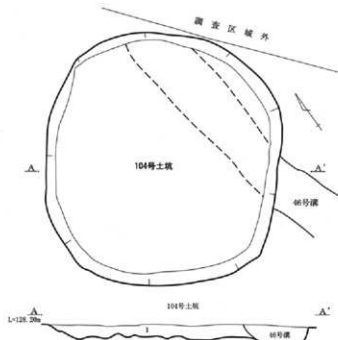
103号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬い、灰白色土ブロックを含む。
- 2 灰白色土層 硬い、灰白色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい、白色ブロックを少量含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬い。



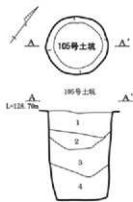
272号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。



104号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。



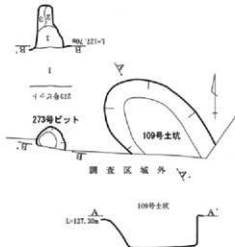
105号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。
- 2 暗褐色土層 軟らかい、1層よりも明るい色調。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。



108号土坑 A-A'

- 溝の覆土 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。
- 1 暗褐色土層 灰白色土ブロックを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。炭化物、灰白色土ブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロック、灰白色土ブロックを含む。
- 4 灰白色土層 軟らかくて粘性高い。



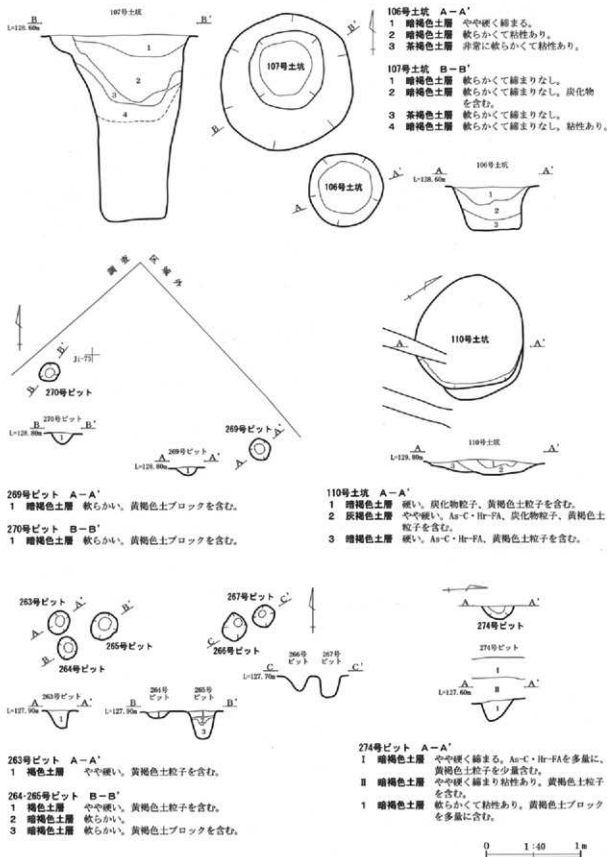
273号ピット南壁 A-A'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。



第99図 103~105・108・109号土坑、272・273号ピット

第2章 0区 検出の遺構



第100図 106-107-110号土坑、263~267-269-270-274号ピット

(4) 溝 (①第101～103図②第95～97図、PL.98・99・

101・102)

0区では、32号及び43号～49号の8条の溝を検出した。溝が掘削された時代は不明であるが、ほとんどの溝の覆土にはAs-C及びHr-FAが含まれており、時代は主に平安時代～中世であると推定される。47号溝の出土遺物である須恵器の埴・坏・壺・蓋・皿・高坏・甕の時代は、7世紀前半～10世紀代に及ぶ。32号溝及び43号溝の覆土は、32号溝では第7層に、43号溝では第1層に砂質の土層が認められたため、水が流れていたことは確かである。しかし、その他の溝では砂質の土層が検出されなかったため、水が流れていた明確な痕跡は認められず、水路なのか何かの区画なのか遺構の性格は確かではない。

しかしながら、47号溝からは、50点以上に及ぶ馬(ウマ)及び牛(ウシ)の歯が検出されており、皮革生産や骨角加工に使用した斃牛馬を解体後に処理

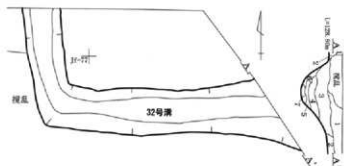
した例や祈雨祭祀のために殉殺した例であると推定される。中には、同一個体と推定される馬歯や牛歯が離れた場所で検出されている例もあるので、当時、恐らく、水が流れていたであろうと推定される。

重複関係が認められる溝として、45号・46号溝、48号・49号溝、45・46号溝と47号溝がある。新旧関係は、45号・46号溝は46号溝の方が先行し、48号・49号溝は48号溝の方が先行し、45・46号溝と47号溝では、47号溝の方が先行していると推定される。

溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
43	Jq-Jr-75・76	3.1×0.66～0.78×0.19			第101図		
32	Je-Jf-76・77	6.6×0.7～1.0×0.58			101		98
44	Jo-88・89	6.0×1.2～1.4×0.46	縄文土器片		102		98
45	Jq-Ir-87・88	11.6×0.4～0.5×0.1～0.2	土師器片・須恵器片		102		98
46	Jq-Ir-85～89	22.0×0.4～0.6×0.25～0.35	土師器片・須恵器片		102		99・101
47	Jo-Ir-87～89	21.5×1.0～3.0×0.3～0.5	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦		103	第96-97図	99-101・102
48	Jd-Je-77・78	(14.0)×0.6～1.0×0.26	土師器片・須恵器片・瓦		101	95	99・102
49	Jd-Je-78	(17.0)×0.56～0.86×0.2			101		99

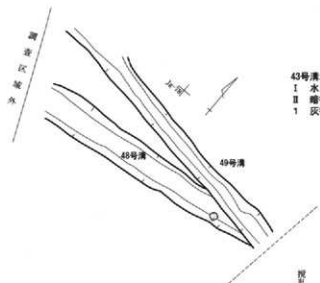
第2章 0区 検出の遺構



32号溝東壁 A-A'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 3 溝底土 軟らかくて締まりなし。
- 4 暗褐色土層 砂利を多量に含む。
- 5 暗褐色砂質土層 黒褐色。
- 6 褐色土層 軟らかくて粘性高い。
- 7 黒褐色砂質土層 As-Bを含む。

0 1:80 2m

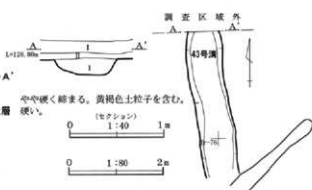


43号溝北壁 A-A'

- I 水田粘土
- II 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
- 1 灰褐色砂質土層 硬い。

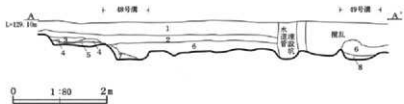
(セクション) 1:40

0 1:80 2m

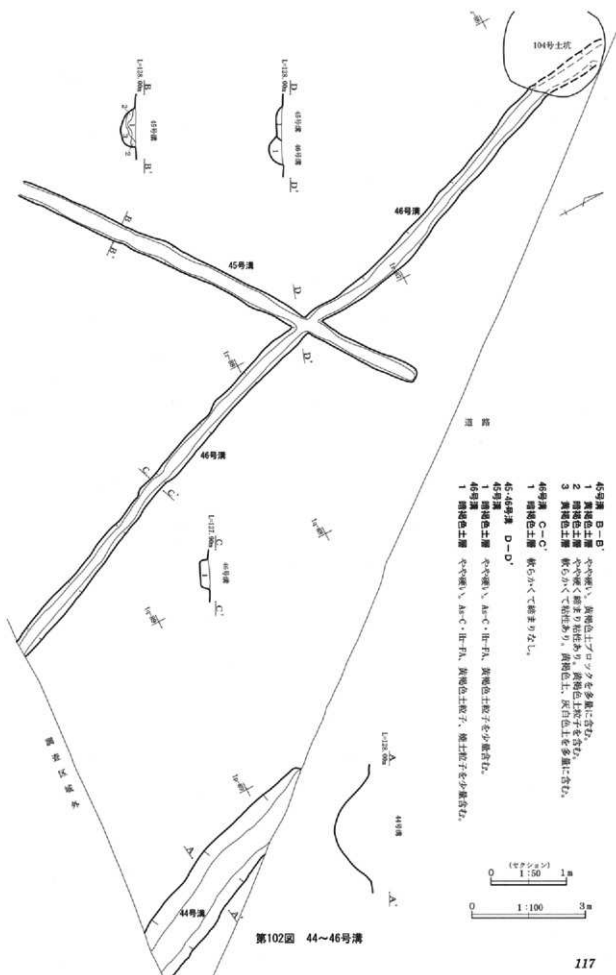


48-49号溝東壁 A-A'

- 1 茶褐色土層 軟らかくて締まりあり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて締まりあり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。
- 4 褐色土層 軟らかくて粘性あり。Hr-FAを少量含む。
- 5 黒色土層 As-Cを含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。
- 7 褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。



第101図 32・43・48・49号溝

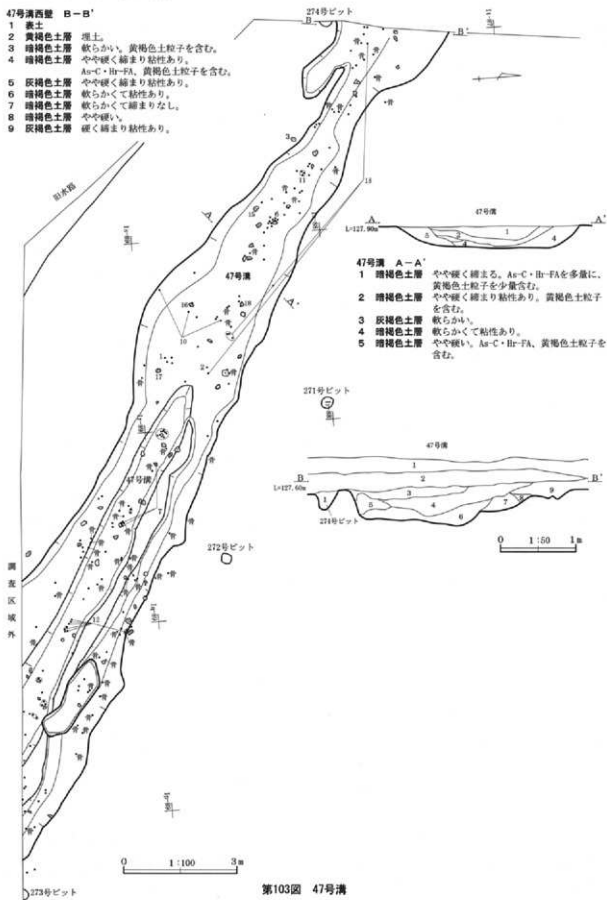


第102図 44~46号溝

第2章 0区 検出の遺構

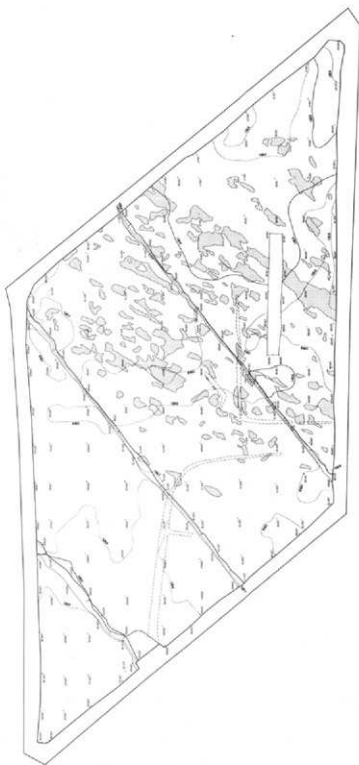
47号溝西壁 B-B'

- 1 黄土 埋土
- 2 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 4 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて締まりなし。
- 8 暗褐色土層 やや硬い。
- 9 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。



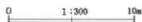
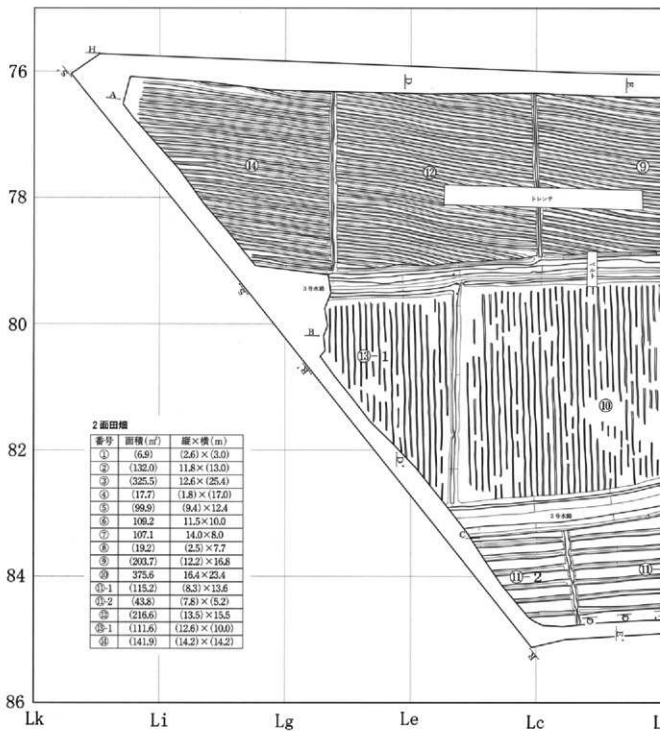
第103図 47号溝

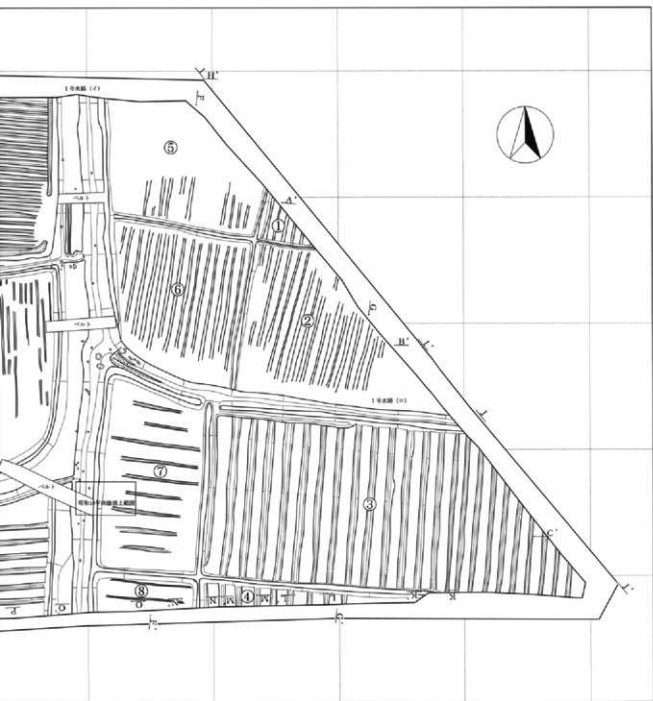
第3章 II区 検出の遺構



第104図 1面全体図

0 1:500 10m





Ks

Kq

Ko

Km

Kk

A'

B'

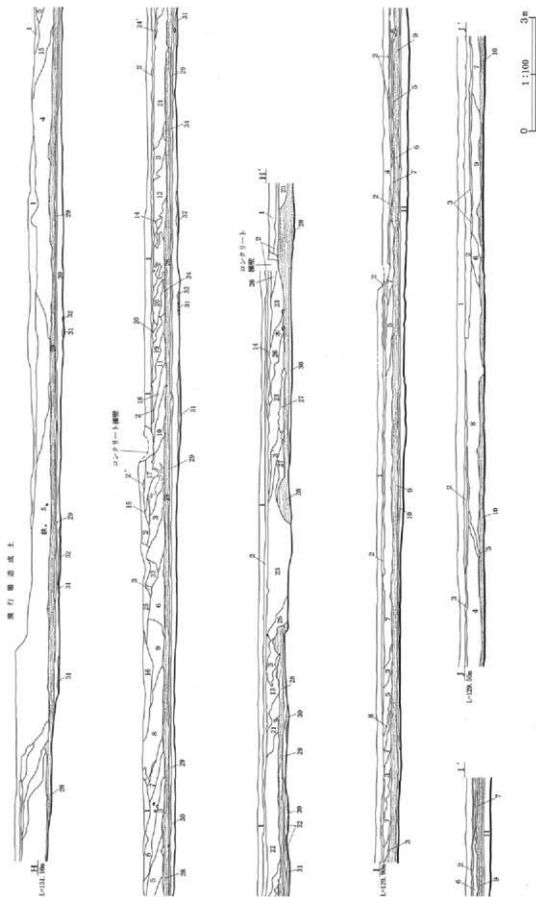
C'

E
L=130.000

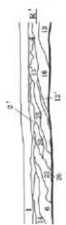
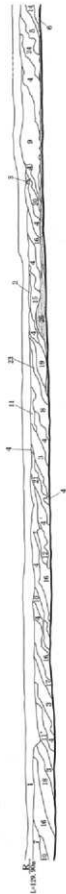
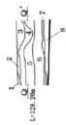
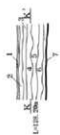
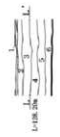
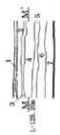
E'

G
L=130.000

G'



第106図 北壁・東壁セクション



(1) 2面



第107図 南壁・西壁セクション

第3章 II区 検出の進捗

北壁 H-H'

- 1 現水田
- 2 酸化鉄分層
- 2' 非常に硬い。(飛行場の面か)
- 3 黄褐色土層 粘性あり。黒色土をわずかに含む。
- 3' 黄褐色・黒色土の混土
- 4 灰褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 5 灰褐色土層 軽石を含む。
- 6 灰褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 7 灰褐色土層 軽石と炭化物粒子を少量含む。
- 8 灰褐色土層 黄褐色土ブロック、軽石を含む。
- 9 灰褐色土層 黄褐色土ブロック、軽石を少量含む。
- 10 灰褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを少量含む。
- 11 灰褐色土層 軟らかい。
- 12 灰褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 13 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土、黒色土ブロックを含む。
- 34 灰褐色土層 黄褐色土を含む。
- 15 暗褐色土層 軽石を含む。
- 16 暗褐色土層 黄褐色土ブロックを含む。
- 17 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、軽石を含む。
- 18 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを少量含む。
- 19 暗褐色土層 黄褐色土、白色粒を含む。
- 20 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、炭化物を少量含む。
- 21 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを含む。
- 22 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 23 茶褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 24 茶褐色土層 硬い。
- 24' 黄褐色土ブロック層
- 25 暗褐色土層 黄褐色土を多量に含む。
- 25' 黒褐色土層
- 26 黒褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 27 灰色土層 茶褐色土を含む。
- 28 灰色土層 茶褐色土を含む。昭和18年田畑の床土の移動部分。
- 29 酸化鉄分層
- 30 灰褐色粘質土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 31 As-B層
- 32 As-Bに伴う反層
- 33 黄褐色土と暗褐色土の混土。
- 34 灰褐色土層

東壁 I-I'

- 1 現水田
- 2 酸化鉄分層
- 3 茶褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 4 灰褐色土層 やや硬く締まる。炭化物、As-C・Hr-FAを含む。
- 5 灰褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 6 灰褐色土層 炭化物、As-C・Hr-FAを含む。
- 7 黒褐色土層
- 8 黄褐色土層
- 9 昭和18年田畑
- 10 酸化鉄分層
- 11 灰褐色粘質土層 As-C・Hr-FAを含む。

東壁 J-J'

- 1 現水田
- 2 戦後水田
- 3 酸化鉄分層
- 4 灰褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 5 灰褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 6 灰褐色土層 As-C・Hr-FAを少量含む。
- 7 灰褐色土層 やや硬い。白色土、黄褐色の軽石をやや含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬い。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬い白色土、黄褐色土、黒色土ブロックを含む。
- 10 昭和18年田畑

4面壁トレンチ K-K'

- 1 As-B下水田
- 2 灰色粘質土層 As-Cを含む。
- 3 黒色粘質土層
- 4 灰白色粘質土層
- 5 黄褐色砂質土層
- 6 灰色砂質土層
- 7 灰白色砂質土層

4面壁トレンチ L-L'

- 1 As-B下水田
- 2 灰色粘質土層 As-Cを含む。
- 3 黒色粘質土層
- 4 灰白色粘質土層
- 5 黄褐色砂質土層 (総社砂層)
- 6 灰色粘質土層 (総社砂層)

4面壁トレンチ M-M'

- 1 As-B下水田
- 2 灰色粘質土層 As-Cを含む。
- 3 黒色土層 As-Cを多量に含む。
- 4 黒色粘質土層
- 5 灰白色粘質土層
- 6 黄褐色砂質土層
- 7 灰色粘質土層

4面壁トレンチ N-N'

- 1 As-B下水田
- 2 灰色粘質土層 As-Cを含む。
- 3 黄褐色砂質土層 洪水層 (下の層よりやや暗い色調)
- 4 黄褐色砂質土層 洪水層。
- 5 黒色土層 As-Cを多量に含む。
- 6 黒色粘質土層
- 7 灰白色粘質土層

4面壁トレンチ O-O'

- 1 As-B下水田
- 2 灰色粘質土層
- 3 黒色土層 (洪層土)
- 4 灰褐色砂質土層 (奈良～平安の洪水層か)
- 5 黒灰色粘質土層
- 6 黒色砂質土層
- 7 黄褐色砂質土層
- 8 青灰色粘質土層
- 9 Hr-FA層
- 10 黒色粘質土層

4面壁トレンチ P-P'

- 1 灰褐色粘質土層 (奈良～平安の洪水層か)
- 2 黄褐色砂質土層 洪水層。
- 3 青灰色粘土層
- 4 Hr-FA層
- 5 黒色土層 As-Cを多量に含む。
- 6 灰白色粘質土層
- 7 青灰色粘質土層

4面壁トレンチ Q-Q'

- 1 黄褐色砂質土層 洪水層。
- 2 灰色粘質土層 As-Cを含む。
- 3 黄褐色砂質土層 洪水層。
- 4 黒色土層 As-Cを多量に含む。
- 5 黒色粘質土層
- 6 灰白色粘質土層
- 7 黒色泥炭層
- 8 青灰色粘質土層

西壁 R-R'

- 1 現水田
- 2 酸化鉄分層
- 3 灰白色土層 やや硬く締まる。
- 4 灰褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを含む。
- 5 黄褐色土層 地山の黄褐色土主体の層。黒色土を含む。
- 6 黄褐色土層
- 7 茶色ブロックを多量に含む。
- 8 灰白色土ブロックを多量に含む。 やや硬く締まる。
- 9 黒褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 10 黒褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 11 黒褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 12 茶褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 13 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック、粒子を多量に含む。
- 14 茶褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 15 茶褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロックを多量に含む。
- 16 茶褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 17 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。

- 18 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。炭化物を極少量含む。
- 19 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを含む。
- 20 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロック粒子を含む。
- 21 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロック、粒子を含む。
- 22 暗褐色土層 灰白色土、黄褐色土を多量に含む。
- 23 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 24 灰白色土層 やや硬く締まる。
- 25 灰白色土層 軟らかい。黒色土を含む。
- 26 昭和18年田畑

西壁 S-S'

- 1 現水田
- 2 酸化鉄分層
- 3 灰褐色土層 やや硬く締まる。粘性あり。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土ブロックを含む。
- 4 暗褐色土層 やや締まり悪い。
- 5 暗褐色土層 土器破片を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 7 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 8 茶褐色土層
- 9 茶褐色土層
- 10 茶褐色土層 褐色土ブロック、燻土粒子、炭化物粒子を含む。
- 11 茶褐色土層 やや硬く締まる。
- 12 昭和18年田畑 黄褐色土ブロックを多量に含む。

Ⅱ区の調査面積は、2,907㎡である。現水田面を掘削し、新たに検出した面を1面(①第104図、P.L.104・105)として調査を始めた。この1面はⅡ区からⅤ区にかけて明瞭に検出された、昭和18(1943)年の飛行場造成面である。

本区では、飛行場造成土が北壁で20~60cm、東壁で10~40cm、西壁で40~70cmの厚さがあった(①第106・107図、P.L.105・106)。そして、その堆積状況は北西から南東にかけて順次整地されていたことを物語っていた。

(1) 2面 (①第105図、P.L.103・107)

飛行場設定直前の田畑と水路などを検出した。Ⅲ区検出の遺構と連続するものである。

1号水路(イ)は(①第108~110図②103~109図、P.L.108~110・115~118)、上幅3~4.6m、下幅0.8~3m、深さ0.4~0.9mである。南北に走行し長さ約41mを検出した。北端から中央部の西側に石敷きが認められた。とりわけ水路が分岐する個所に密集している。

東に分岐する水路を1号水路(ロ)とした。これの規模は、幅0.7~1.3m、深さ0.38~0.6m、長さ約

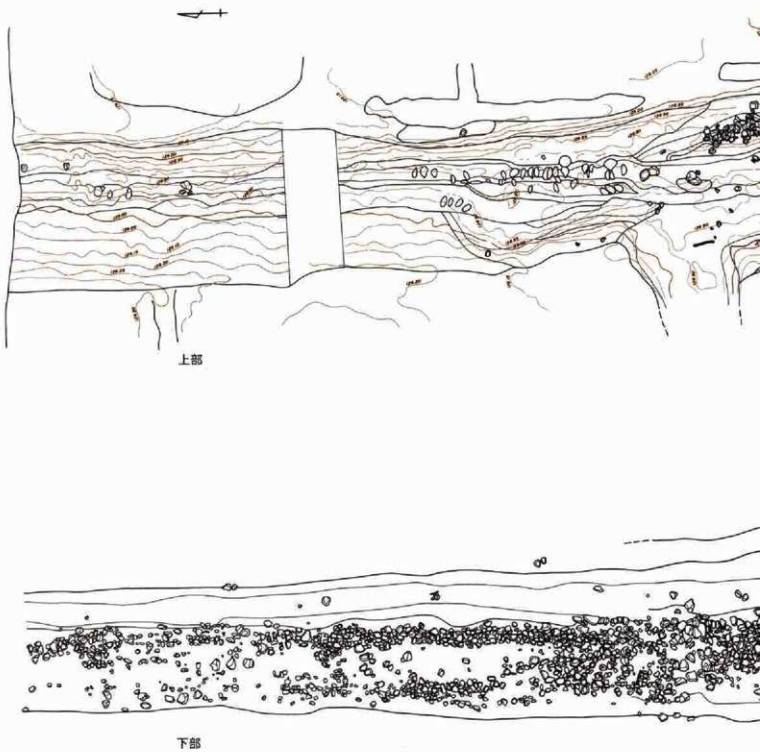
29.9mを検出した。Ⅰ区に延びていることは確実であるが、飛行場設定時に掘削されてしまったために、残存状況は悪かった。その痕跡と思われる溝が検出されている。

1号水路(イ)の覆土中からは、土器や陶磁器、ガラス製品、煙管、櫛、砥石、下駄、古銭などが出土した(①第109図②第103~109図、P.L.115~118)。古銭は底面近くからまとまって出土している。

また、底面には杭が残っていた。出土遺物から判断すると、近世から近代(昭和18年まで)にかけて使用された水路である。

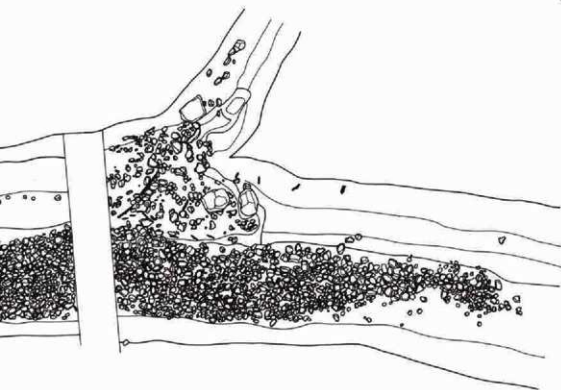
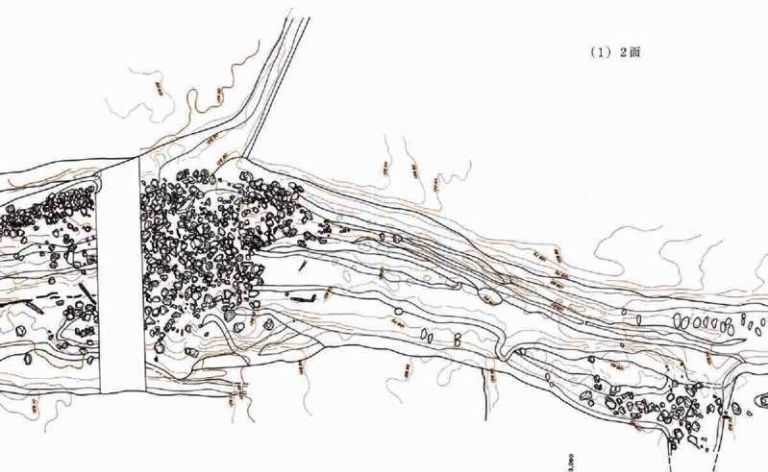
1号水路(ロ)に伴う畦上からガラス製品が出土している(①第111図②第102図、P.L.110・114・115)。また、同水路(イ)の畦から田にかけて焼土の分布と土師器の土器片が認められた(①第112図②102図、P.L.110・114)。これは飛行場設定時、掘削した面に存在した住居跡の竈を壊した結果、その竈焼土が造成土の一部として運び込まれた結果と思われる。

西に分岐する2本の水路の南を2号水路とし、北側を3号水路とした。

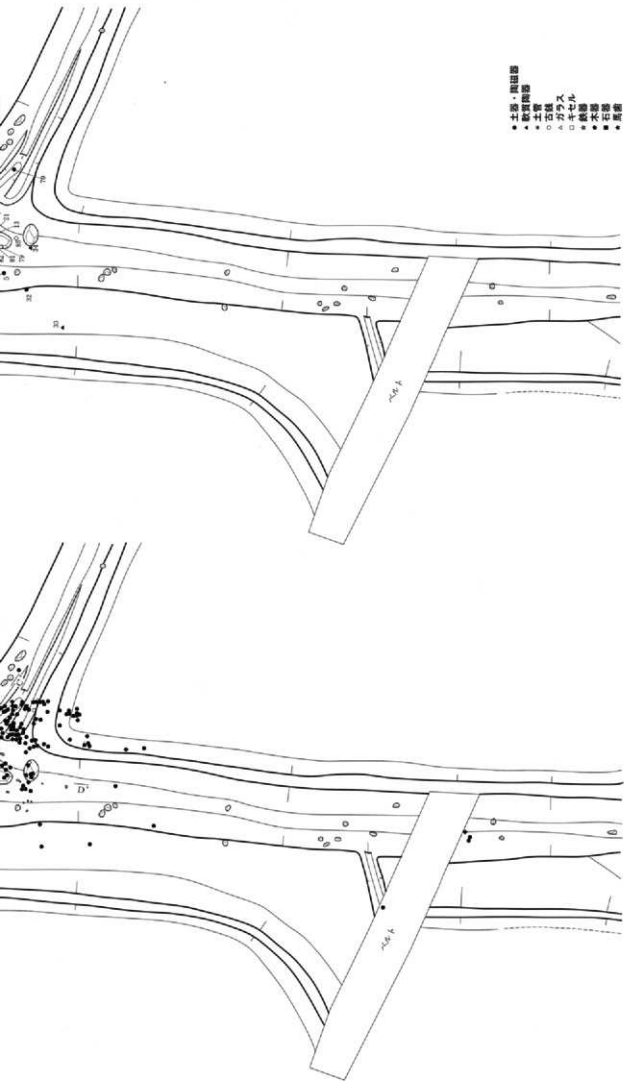


第108図 石敷き

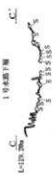
(1) 2面

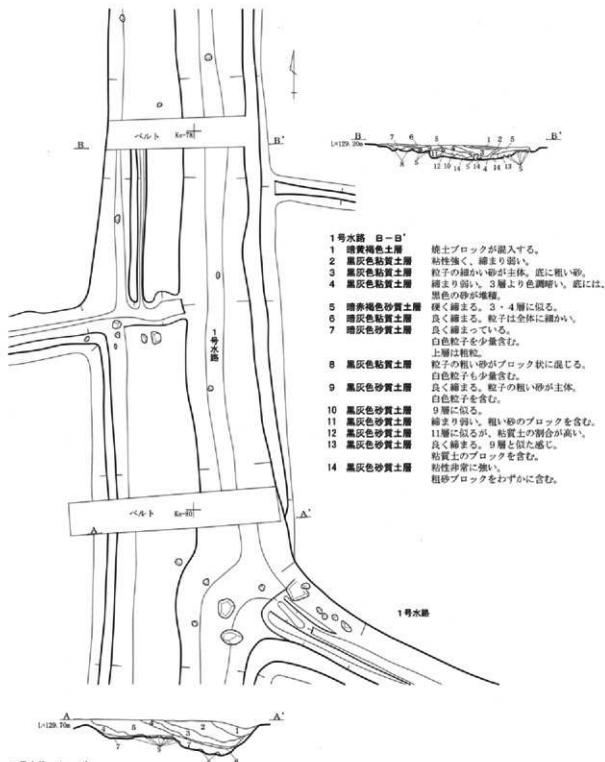






- 土器、甕、土器
- 土器
- 石鏡
- △ 瓦片
- キセリ
- 土器
- 土器
- 土器





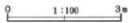
1号水路 B-B'

- 1 暗黄褐色土層 粘土ブロックが混入する。
- 2 黒灰色粘質土層 粘性強く、締まり弱い。
- 3 黒灰色粘質土層 粒子の細かい砂が主体。底に粗い砂、
- 4 黒灰色粘質土層 締まり弱い。3層より色調暗い。底には、
- 5 暗赤褐色砂質土層 硬く締まる。3・4層に似る。
- 6 暗灰色粘質土層 良く締まる。粒子は全体に細かい。
- 7 暗灰色砂質土層 良く締まっている。
- 8 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。
- 9 黒灰色砂質土層 白色粒子を少量含む。
- 10 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。
- 11 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。
- 12 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。
- 13 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。
- 14 黒灰色粘質土層 白色粒子を少量含む。

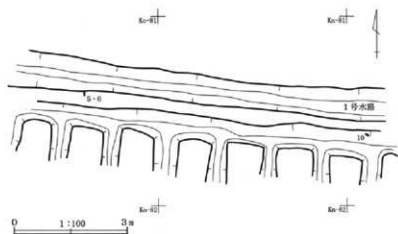


1号水路 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く、黄褐色土粒子、軽石を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。軽石を含む。やや暗い色調。
- 3 暗褐色土層 硬い。黄褐色土ブロック、黒色土ブロックを
- 4 黄褐色土層 含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、
- 6 褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 7 灰色砂質土層 やや硬い。
- 8 砂利を含む。



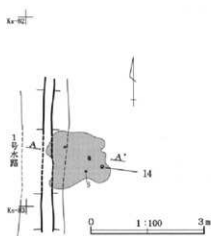
第110図 1号水路



第111図 昭和18年田畑遺物出土状況



昭和18年田畑 積土分布範囲 A-A'
 1 明褐色土層 締まりなし、As-C・Br-FA、焼土を多量に含む。
 1' 明褐色土層 積土ブロックがやや多い。



第112図 昭和18年田畑積土範囲

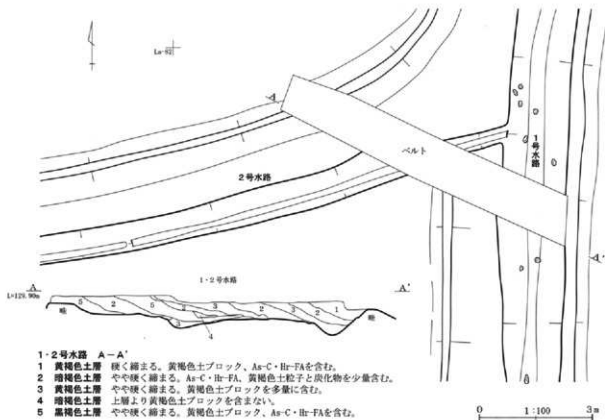
II区水路一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1(イ)	Kr・Ks 76~84	41.0×3.0~4.6×0.4~0.9	土師器片・須恵器片・灰輪陶器・瓦など		第108~110図	第109~109図	108~110 115~118
1(ロ)	Km~Kr 81~80	29.9×0.7~1.3×-					
2	Ks~Ld 82~83	25.0×2.2~2.5×-			113		107
3	Ks~Lf 78~79	34.0×1.4~1.8×0.5			114		107

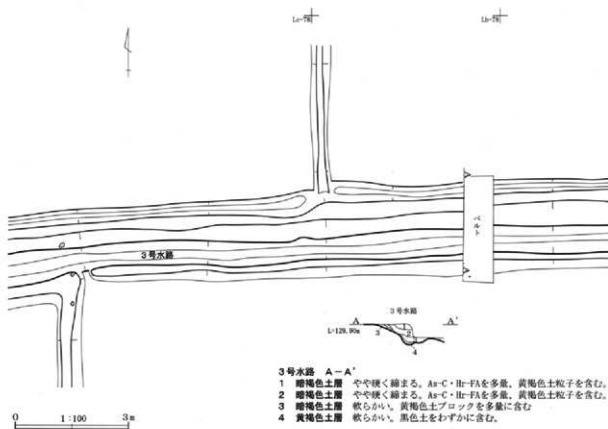
2号水路 (①第113図、P L.107) は、幅2.2~2.5 m、深さ0.2mである。東西に走行し長さ約25mを検出した。さらにⅢ-1区検出の2号水路へと続いている。

3号水路 (①第114図、P L.107) は、幅1.4~1.8 m、深さ0.2mである。東西に走行し長さ約34mを検出した。2号水路と同様にⅢ-1区検出の3号水路へと続いている。

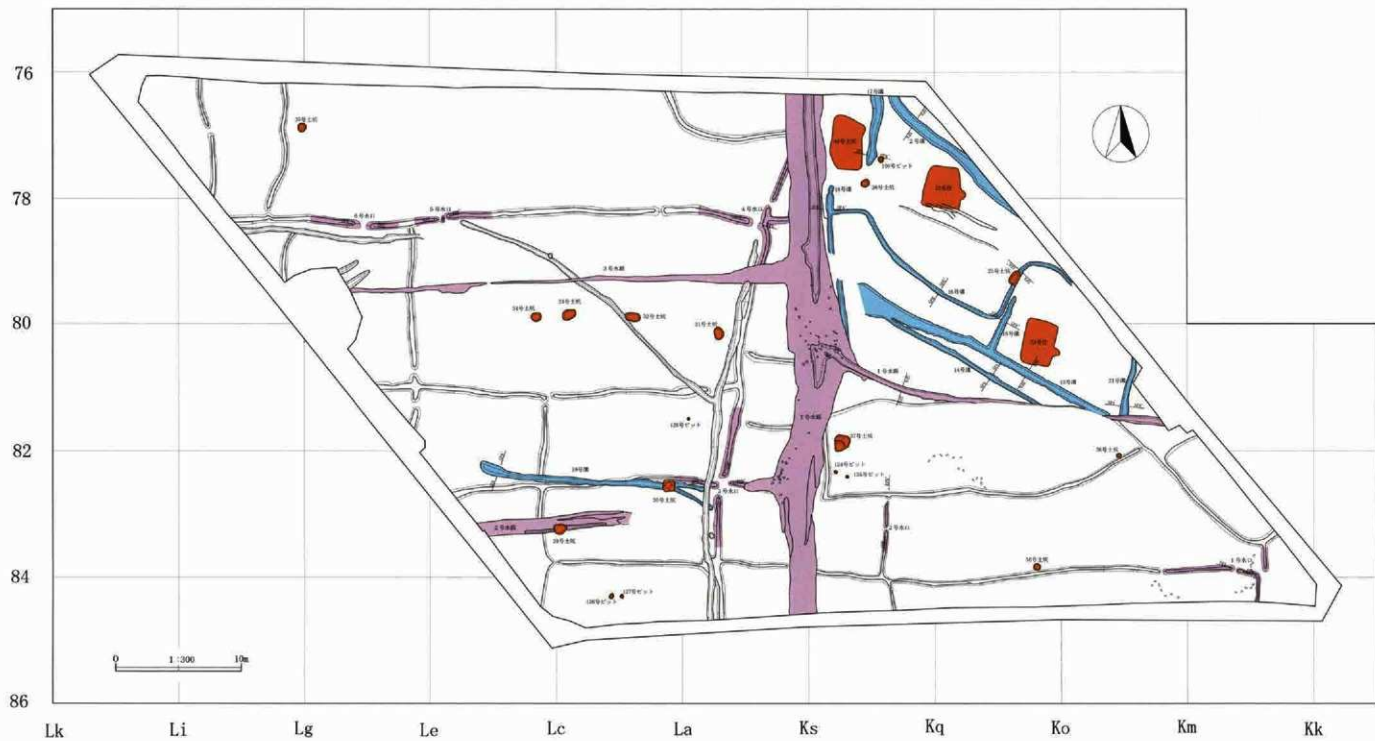
なお、1面・2面検出遺構についての考察は、当事業団刊行の『研究紀要』第24号(2006年)に発表しているのご参照ください。



第113図 2号水路



第114図 3号水路



第115圖 3圖全体圖

(2) 3面

As-B軽石を除去した面である。北東部はⅠ区の集落から継続する微高地で、主に西部、南部にAs-B軽石が見られた。

52号住居跡 (①第116図②第98図、P.L.111・114)

位置 Kp・Kq-77・78グリッドにまたがって検出された。53号住居跡の北西約15mに位置している。
形状 長辺約3.4m、短辺約2.0～2.8mの、やや台形に近い長方形を呈する。

方位 N-12°-W

覆土 地山を彫り込んで壁穴住居跡は構築され、そこに堆積した覆土は10層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より3～5cmで床面に達する。壁は北壁と、東壁・西壁の北半部分で検出されたが、南壁は検出できなかった。

床面 ほぼ平坦である。面積は約8.2㎡である。

周溝 東壁北半から北壁、および西壁の一部で検出された。幅4～10cm、深さ2cmほどである。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られていたものと思われる。規模は煙道方向45cm、両袖方向70cmである。かなり削平を受けており、袖を明瞭に確認することはできなかったが、右袖にあたる部分に、袖石の一部と思われる砂岩を検出した。

柱穴 検出されていない。

貯蔵穴 床面東南隅から検出された。規模は長径110cm、短径90cm、深さ15cmである。

遺物 床面から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が少量出土している。また掘り方中央部の土坑1と南西部の土坑2から、土師器の坏や羽釜、須恵器の坏が出土している。特に土坑1から集中して出土している。

時期 出土遺物より、住居の時期は、10世紀の第2四半期であると推定される。

53号住居跡 (①第117図②第99図、P.L.112・114)

位置 Ko-79・80グリッドにかけて検出された。52号住居跡の南東約15mに位置している。

形状 長辺約3.5m、短辺約2.5mの長方形を呈するものと思われる。

方位 N-8°-E

覆土 掘り方覆土を検出した。

壁高 検出できなかった。

床面 ほぼ平坦である。南に向けて約8cm下がる。周溝なし。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られていたものと思われる。規模は煙道方向60cm、両袖方向85cmである。

柱穴 検出されていない。

貯蔵穴 検出されていない。

遺物 掘方中央やや東寄りに位置する床下土坑から、土師器の坏や甕の破片が出土している。

時期 出土遺物より、住居の時期は、8世紀後半から9世紀の第1四半期であると推定される。

土坑・ピット (①第118～120図、P.L.108・113)

概要 Ⅱ区3面の土坑には、25号、26号、30～40号の13基がある。30～34号が中央付近でほぼ東西に並ぶが、他の土坑は単独で存在する。遺物を伴う土坑はなかったが、形状、覆土とも特異な40号を除いて、いずれも覆土にAs-B軽石が混入しており、中世のものと思われる。

ピットは、100号および124～128号の6基を検出した。124号と125号、126号と127号がそれぞれ近隣に存在するが、100号と128号は単独である。これらの覆土も、土坑と同様にAs-B軽石を含む。



52号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや砂質、粘性なし。焼土わずかに混じる。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- ア 暗灰色砂質土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。粘性ややあり。
- イ 暗褐色土層 焼土粒子を若干含む。粘性ややあり、良く締まる。
- ウ 褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。焼土粒子を若干含む。
- エ 黒褐色土層 粘性あり。焼土粒子をわずかに含む。
- オ 黒褐色土層 粘性強く、締まりあり。焼土粒子をわずかに含む。
- カ 黒褐色土層 粘性あり、良く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- キ 暗褐色土層 粘性なし。焼土粒子を多量に含む。
- ク 暗褐色土層 粘性ややあり。As-C・Hr-FAを非常に多く含む。

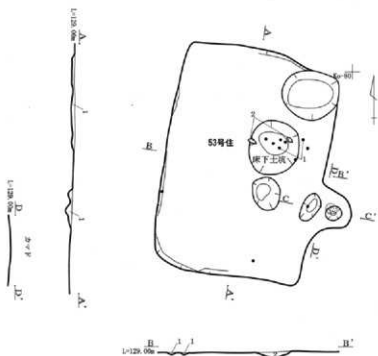


カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや砂質。As-C・Hr-FAをわずかに含む。
- 2 褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に。焼土粒子わずかに含む。

第116図 52号住居跡

0 1:60 1m



カマド A-A'

- 1 黒褐色土層 焼土粒子を多量に含む。
- 2 黄褐色土層
- 3 灰層
- 4 黒褐色土層 良く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 5 黒褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。

53号住居跡 A-A' B-B'

- 1 黒褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 黒褐色土層 良く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を多量に含む。(床下土坑埋戻)

0 1:60 1m

第117図 53号住居跡

II区(3面)土坑一覧表

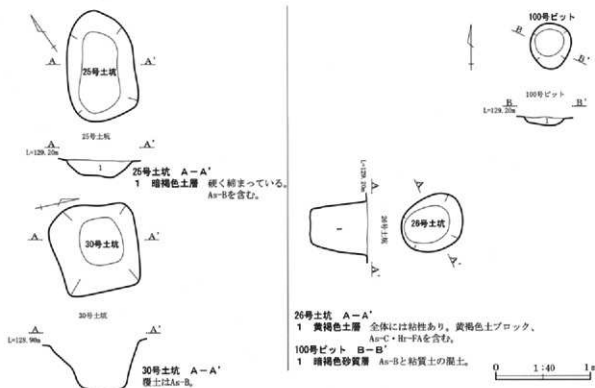
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
25	Ko-79	楕円形	118×71×15			第118図		
26	Kr-77	楕円形	70×56×61			118		108・113
30	La-82	隅丸方形	92×85×55			118		
31	Ki-80	楕円形	100×75×25			119		108
32	La-79	長方形	130×72×19			119		
33	Lb-79	楕円形	115×73×20		34号土坑に近接	119		
34	Lc-79	1212円形	80×70×21			119		
35	Lf・Lg-76	円形	69×61×23			119		
36	Ko-83	円形	54×53×10-15			119		
37	Kr-81	不整形	128×120×21-28	土師器片3・須恵器片2・陶器		119		
38	Kn-82	円形	38×38×30			119		
39	Lb・Lc-83	不整形	100×83×14			119		
40	Kr-76・77	長方形	438×250×50-120	土師器片27・須恵器片28・瓦2		120		113

ビット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
100	Kq-77	ほぼ円形	48×43×9	土師器片3	20号土坑に近接	第118図		113
124	Kr-82	楕円形	28×24×9	土師器片2	37号土坑に近接	119		
125	Kr-82	円形	25×23×18			119		
126	Lb-84	楕円形	45×32×19			120		
127	La-84	不整形	31×30×15			120		
128	Ki-81	円形	30×20×18			120		

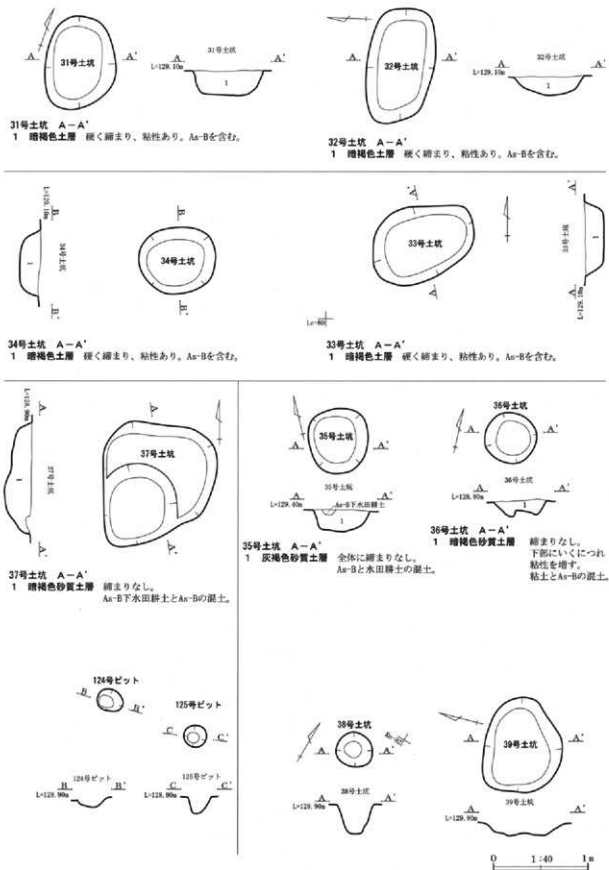
溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物(未掲載遺物)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
13	Km-Kr-81-79	22.5×0.6-0.9×0.35	土師器片・須恵器片		第122図		
14	Ko-kq-81-79	13.5×0.4-0.5×0.2	土師器片・須恵器片		122		
15	Ko-Kp-79・80	5.0×0.4-0.7×0.2	土師器片・灰輪陶器		122		
16	Kn-kr-79・78	26.0×0.3-0.5×0.18			122		
17	Kq-Kr-76・77	5.6×0.5-1.0×0.11	土師器片・須恵器片		121		113
18	Kr-77-80	13.0×0.4-0.6×0.15	須恵器片		122		
19	Ki-Ld-82	19.0×0.4-0.9×0.18	瓦		121		
21	Km-Kn-80-81	4.5×0.38-0.68×0.1			121		

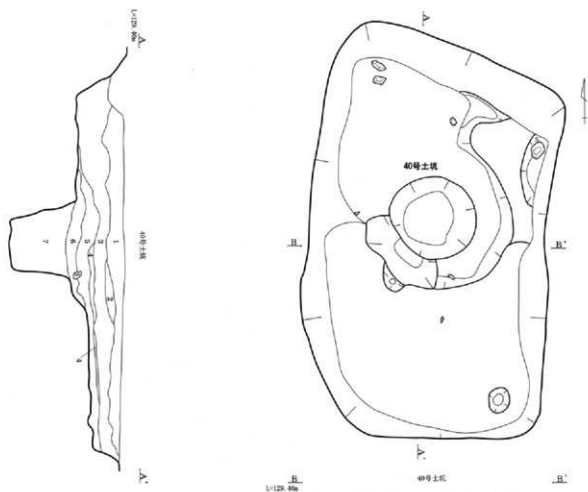


第118図 25・26・30号土坑、100号ビット

第3章 II区 検出の遺構

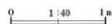
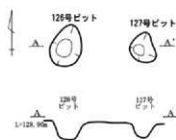


第119図 31~39号土坑、124-125号ピット



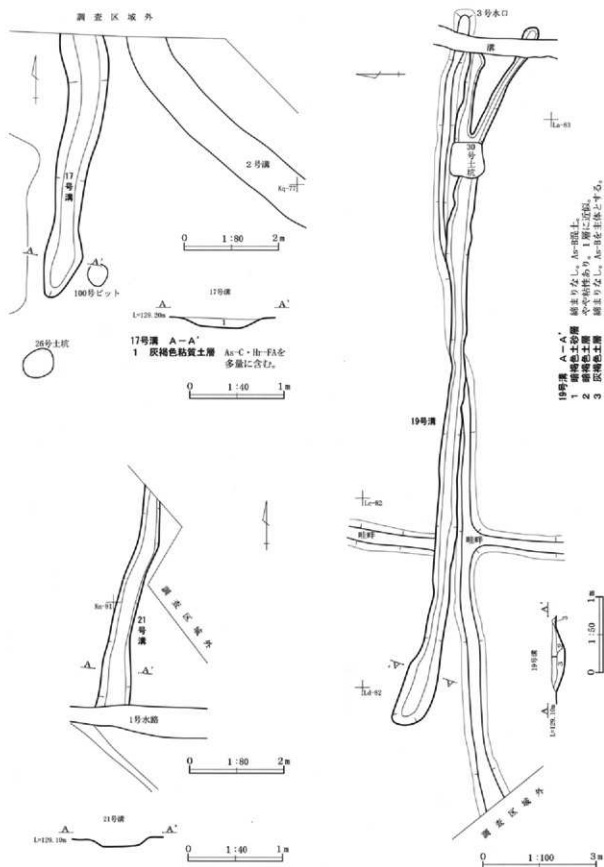
40号土坑 A-A' B-B'

- 1 暗灰褐色砂質土層 暗褐色粘質土ブロック、As-C・Hr-FAを非常に多く含む。
- 2 黒褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 3 暗褐色粘質土層 暗褐色粘質土ブロックを主体とし、1層のAs-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 粘性強く、締まりは弱い。
- 5 灰色粘質土層 締まりなし。
- 6 暗灰色砂質土層 橙白色土ブロック、As-C・Hr-FAをわずかに含む。
- 7 暗褐色土層 粘性強く、締まりは弱い。
- 8 暗褐色粘質土層 粘性ややあり。締まりなし。



第120図 40号土坑、126～128号ピット

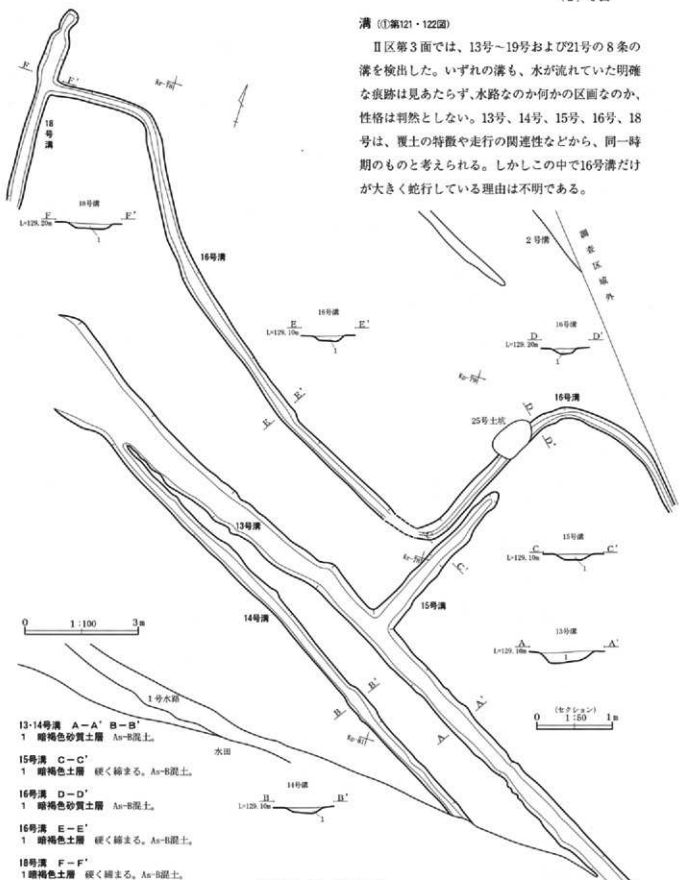
第3章 II区 検出の遺構



第121図 17-19-21号溝

溝 (①第121・122図)

Ⅱ区第3面では、13号～19号および21号の8条の溝を検出した。いずれの溝も、水が流れていた明確な痕跡は見あたらず、水路なのか何かの区画なのか、性格は判然としない。13号、14号、15号、16号、18号は、覆土の特徴や走行の関連性などから、同一時期のものと考えられる。しかしこの中で16号溝だけが大きく蛇行している理由は不明である。



第122図 13～16・18号溝

II区 As-B下水田 (①第123・124図、PL.113)

II区の西側、南側では、As-B軽石の1次堆積層が確認され、その直下から23面の水田面が良好な状況で検出された。52号、53号住居のある北東部は微高地となるため、As-B軽石層の堆積は確認できず、水田も検出できなかった。土坑、ピット、溝、水路などが水田と重複するが、明らかに畦畔を切っているものがあつたり、覆土にAs-Bの1次堆積層が含まれないことなどから、いずれも本水田より後出するものである。

水田面の地形は、概ね北西から南東へと向けて緩やかに下がっている。本水田面で最も標高が高い区画は1号の129.5m、低い区画は21号の128.6mで、その高低差は0.9mを測る。

畦畔方向は、条里制を意識してはほぼ東西南北方向を向いており、各区画は概ね東西に長い長方形を呈する。特にKs-77からKt-84グリッドにかけての南北の畦畔は、軸がやや東にぶれるが直線的に貫通している。また、東西の畦畔ではKs-78からLh-78グリッドにかけてのものと、その約22m南のKm-82からLd-82グリッドにかけての2本が長く通っている。いずれも大アゼといえるような規模ではないが、この3本の畦畔が水田区画の基準となったと思われる。

区画がわかるものは6区画で、面積は13号の34.5㎡から7号の358.7㎡まで大小さまざまであり、平均では136.8㎡となる。検出された中での最大面積は、3号の359.2㎡であった。微高地縁辺部に接する4号や14号、18号などが不整形になるのは、地形の制約によるものと思われる。

畦畔は、大アゼと呼べる規模のものは検出されなかった。残存状況が良好でなかったり、若干小ぶりのももあるが、おおよそ上幅20～40cm、下幅40～80cm、高さ1～15cmといった規模である。

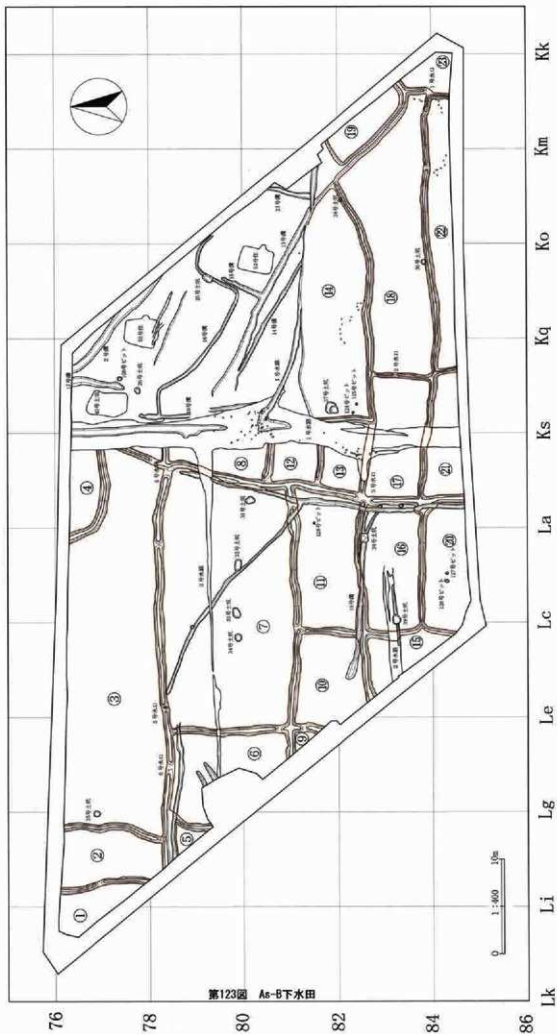
水口はほぼすべての水田に取り付けられており、全部で25ヵ所確認された。特に3号、7号、18号などの比較的大きな区画の水田は取水用、排水用とも複数の水口を有している。用水の動きは、地形に合

わせて北側、西側に接する高位の区画から取水し、南あるいは東隣の区画へ排水する「かけ流し」の方法をとっていたものと思われる。

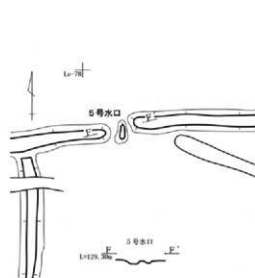
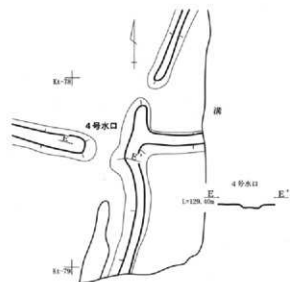
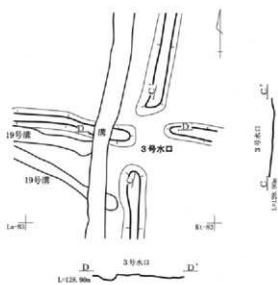
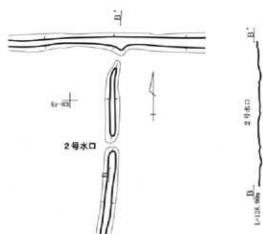
水田面は基本的には平坦面であるが、特に南東部の田面中に足跡や耕作痕のような痕跡や凹凸が見られた。また、耕作土は夾雑物のほとんどない黒色粘質土で、層厚は5～8cmほどである。

II区 3面As-B下水田

番号	面積(㎡)	縦×横(m)
①	(28.4)	(6.5)×(4.7)
②	(55.5)	(10.7)×5.4
③	(359.2)	(9.8)×39.2
④	(26.4)	(3.4)×(8.5)
⑤	(8.7)	(3.6)×(2.5)
⑥	(70.0)	12.2×(9.6)
⑦	358.7	14.0×26.0
⑧	(66.5)	10.7×(6.3)
⑨	(3.2)	(2.3)×(1.8)
⑩	(65.3)	7.1×9.3
⑪	93.4	6.7×14.2
⑫	(20.4)	4.8×(4.2)
⑬	34.5	4.7×7.4
⑭	(150.7)	(6.7)×24.7
⑮	(33.3)	(6.4)×(5.8)
⑯	75.2	5.9×13.6
⑰	73.5	5.6×12.7
⑱	185.3	8.3×26.7
⑲	(26.4)	(6.1)×(4.1)
⑳	(61.3)	(4.7)×13.7
㉑	(43.1)	(3.8)×13.1
㉒	(65.9)	(2.7)×28.7
㉓	(16.3)	(5.4)×(4.2)



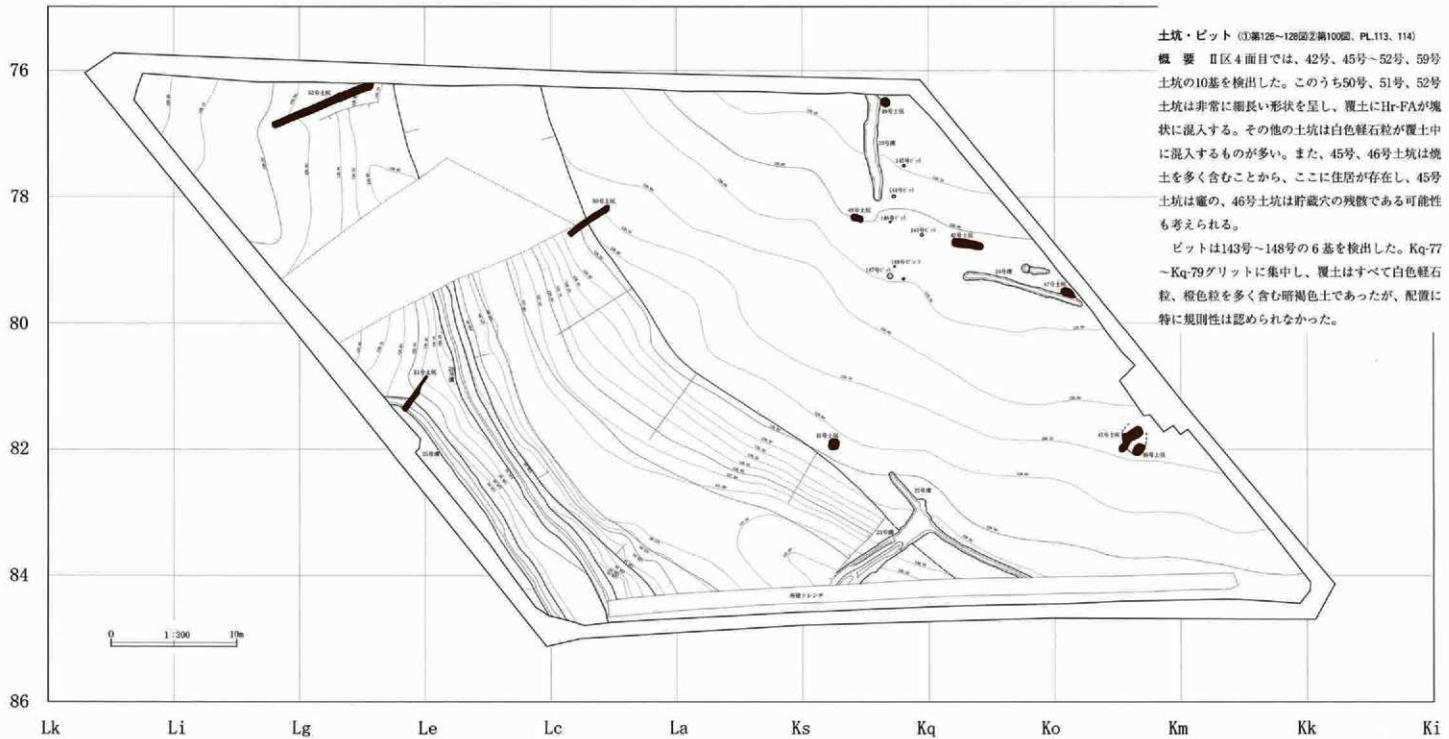
第3章 II区 検出の遺構



第124図 1～6号水口

(3) 4面

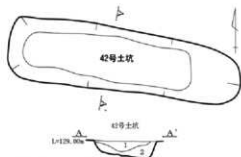
As-B下水田の耕作土およびHr-FAを含む泥流層を除去した後の、粘性のある黒色土の面である。西側から北西から南東に向かう小規模な谷地が形成されている。



土坑・ピット (3第128~128図2第100図、PL.113、114)

概要 II区4面目では、42号、45号~52号、59号土坑の10基を検出した。このうち50号、51号、52号土坑は非常に細長い形状を呈し、覆土にHr-FAが塊状に混入する。その他の土坑は白色軽石粒が覆土中に混入するものが多い。また、45号、46号土坑は焼土を多く含むことから、ここに住居が存在し、45号土坑は竈の、46号土坑は貯蔵穴の残骸である可能性も考えられる。

ピットは143号~148号の6基を検出した。Kq-77~Kq-79グリットに集中し、覆土はすべて白色軽石粒、橙色粒を多く含む暗褐色土であったが、配置に特に規則性は認められなかった。



42号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 粘性ややあり。良く締まる。
As-C・Hr-FAを多量に、黄白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 粘性強い。良く締まる。As-C・Hr-FAを少量。
黄白色土ブロックを含む。



45号土坑 A-A'

- 1 焼土層
- 2 反層
- 3 黒褐色土層 良く締まる。As-C・Hr-FAを多量。
焼土粒子も少量含む。土器等の出土は
ほとんどこの層からである。
- 4 黒褐色粘質土層 良く締まる。As-C・Hr-FA。
焼土粒子を少量含む。
- 5 暗黄褐色粘質土層

46号土坑 B-B'

- 1 黒褐色土層 焼土ブロック、炭化物を多量に含む。
締まりなし。As-C・Hr-FA。
- 2 暗褐色土層 焼土粒子をわずかに含む。
- 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含み、ザラザラしている。
- 4 暗黄褐色粘質土層



47号土坑 A-A'

- 1 灰褐色砂 締まり弱い。As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 黒褐色土層 粘性ややあり。
- 3 暗黄褐色粘質土層 焼土粒子、炭化物をわずかに含む。



48号土坑 A-A'

48号土坑 A-A'

- 1 灰褐色砂層 As-C・Hr-FAを含む。
- 2 黄白色土層 黄白色土ブロックを主体とし、黄色土粒子わずかに含む。
- 3 暗灰褐色砂層 白色土粒子や黒褐色土ブロックを少量含む。
- 4 暗灰褐色砂層 3層に似るが、白色土粒子を含まない。
- 5 暗灰褐色砂層 黄白色土の小ブロックを含む。
- 6 暗灰褐色砂層 粘性あり。締まり弱い。黄白色土を主体とする。



49号土坑 A-A'

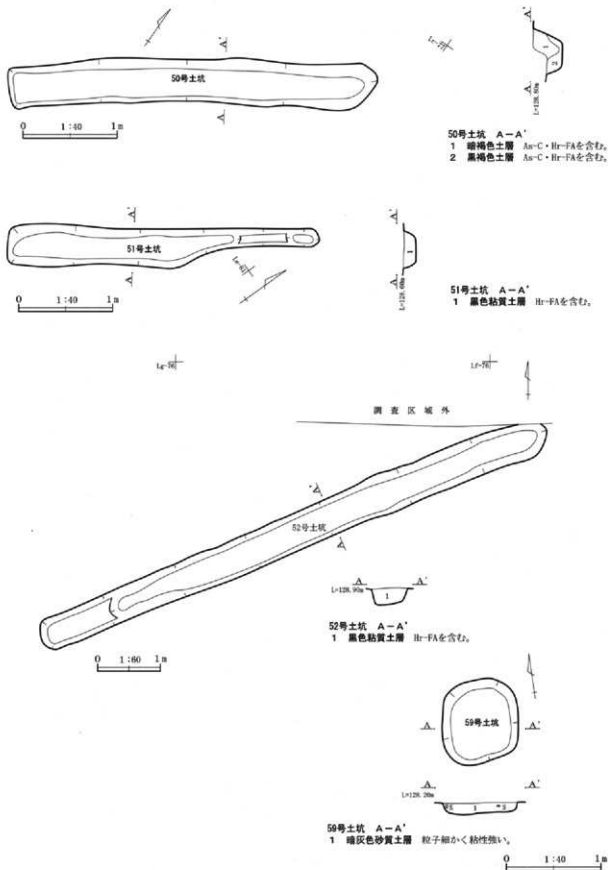
- 1 灰褐色砂層 As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗赤褐色砂層 締まり弱い。



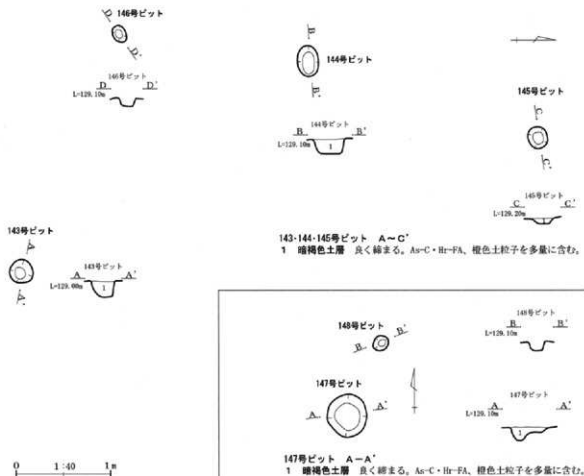
0 1:40 1m

第126図 42-45~49号土坑

第3章 II区 検出の遺構



第127図 50~52・59号土坑



第128図 143～148号ビット

H区(4面)土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
42	Kp-78	長方形	245×65×28			第126図		
45	Km-81	不整形	250×50×19	土師器片37・須恵器片3	46号土坑に近接	126		113
46	Km-81・82	楕円形	104×75×16	土師器片3・須恵器片2		126	第100図	113・114
47	Kn-79	半円形	120×(66)×23	土師器片7	24号溝と重複	126	100	114
48	Kr-78	楕円形	100×50×40			126		
49	Kq-76	円形	78×70×6		33号溝と重複	126		
50	Lb-78	長方形	392×45×15~30			127		
51	Le-80・81	長方形	330×20×14			127		
52	Le~Lp-78	長方形	865×55×26			127		
59	Kr-81	方形	89×81×11			127		

ビット一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
143	Kq-78	円形	25×25×16			第128図		
144	Kq-77・78	楕円形	33×22×15			128		
145	Kq-77	ほぼ円形	23×20×6			128		
146	Kq-78	ほぼ円形	20×14×9			128		
147	Kq-79	円形	45×43×5~15			128		
148	Kq-79	ほぼ円形	18×15×10			128		

第3章 II区 検出の遺構

22号溝 A-A' B-B'

1 黒色粘質土 長く締まっている。As-C・Hr-FA、橙色土粒子、黄白色土ブロックを含む。

23号溝 C-C'

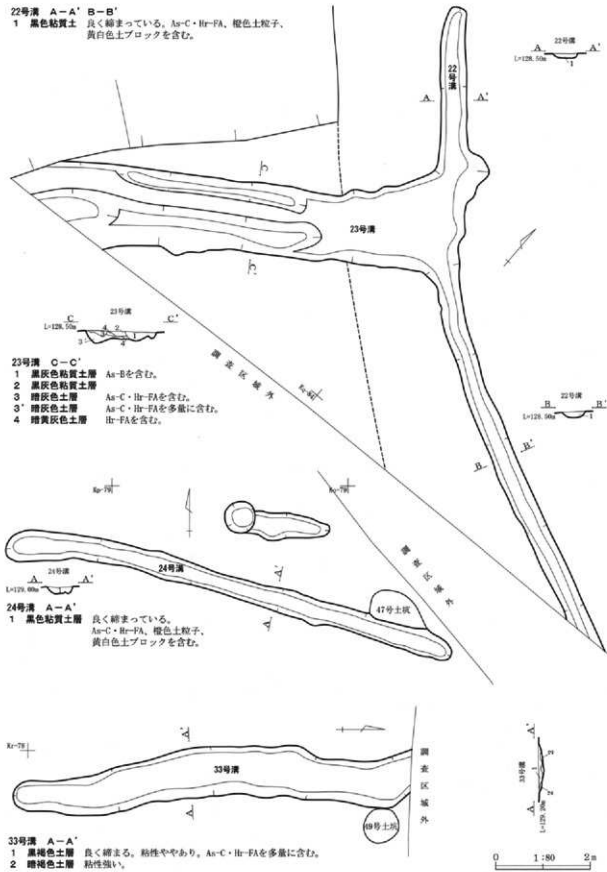
1 黒灰色粘質土層 As-Bを含む。

2 黒灰色粘質土層

3 暗灰色土層 As-C・Hr-FAを含む。

4 暗黄灰色土層 As-C・Hr-FAを多量を含む。

As-Bを含む。



24号溝 A-A'

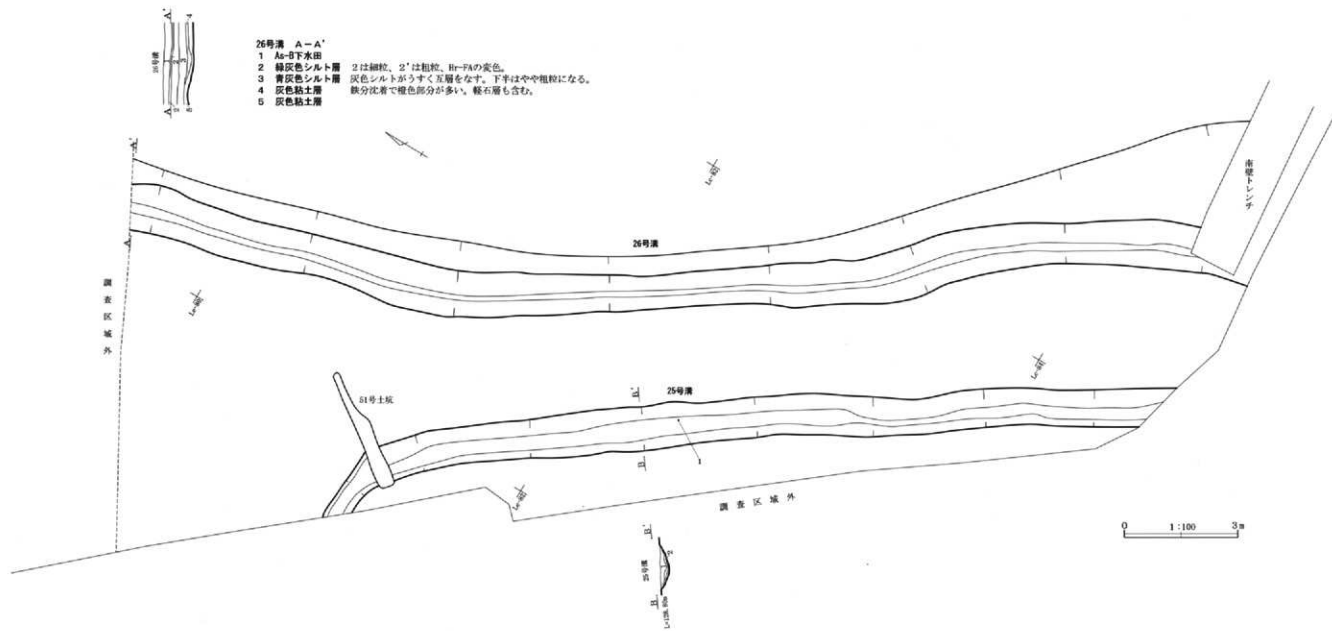
1 黒色粘質土層 長く締まっている。As-C・Hr-FA、橙色土粒子、黄白色土ブロックを含む。

33号溝 A-A'

1 黒褐色土層 長く締まる。粘性ややあり。As-C・Hr-FAを多量を含む。

2 暗褐色土層 粘性強い。

第129図 22~24・33号溝



- 26号溝 A-A'
- 1 As-B下木田
 - 2 緑灰色シルト層
 - 3 黄灰色シルト層
 - 4 灰色粘土層
 - 5 灰色粘土層
- 2は粗粒、2'は粗粒、H-FAの灰色。
 灰色シルトがうすく互層をなす。下層はやや粗粒になる。
 鉄分応着で褐色部分が多い。軽石層も含む。

- 25号溝 B-B'
- 1 Hr-FA層
 - 2 Hr-FA&As-Dの混土。

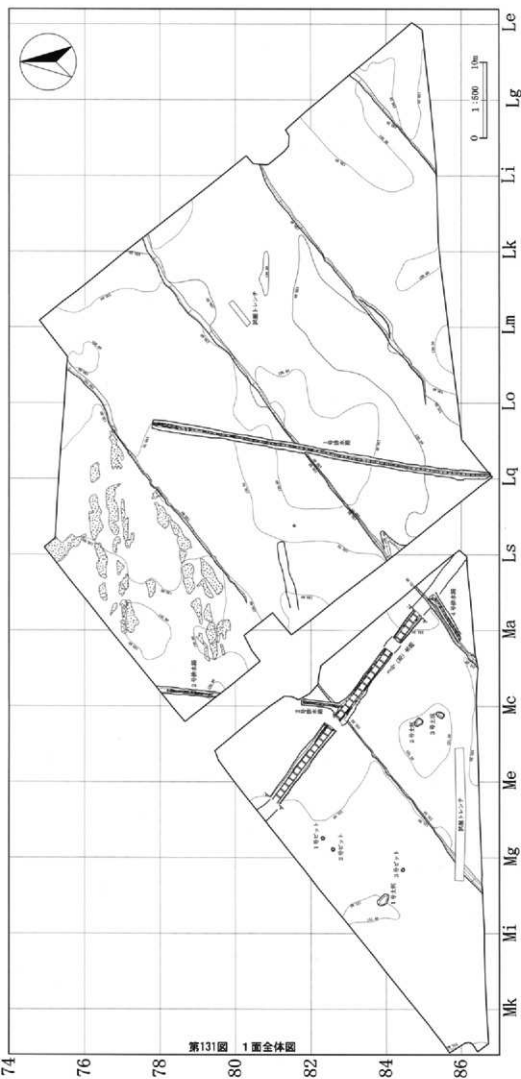
溝・水路 ①第129~130図2欄101図、PL.113・114

Ⅱ区第4面では、22~26号および33号の6条の溝を検出した。いずれの溝も、水が流れていた明確な痕跡は見あたらず、性格は不明である。22号、24号は覆土の特徴などから、同一時期のものと考えられる。

溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物(非拘束遺物)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
22	Ko-Kq-83-82	13.5×0.5-0.6×0.12	土師器片		第129図	第101図	114
23	Kq-h-83-84	8.7×0.4-1.1×0.18-0.27	土師器片・瓦				129
24	Kn-kp-79	9.8×0.45-0.6×0.15	土師器片・須恵器片・軟質陶器				129
25	Lb-Le-84-81	25.0×1.0-1.2×0.24			130	101	113・114
26	Lb-Le-84-79	2.8×1.3-0.24×0.9-0.12			130		
33	Kq-76-78	8.4×0.5-0.8×0.08	土師器片・須恵器片・軟質陶器		129		

第130図 25-26号溝



第131図 1面全体図

第4章 Ⅲ区 検出の遺構

Ⅲ区の調査面積は、4,656㎡である。農道を除いたⅢ-1区が3,318㎡、Ⅲ-2区が1,268㎡であった。現水田面を掘削し、新たに検出した面を1面（①第131図、P.L.120）として調査を始めた。この1面はⅡ区からⅤ区にかけて明瞭に検出された、昭和18（1943）年の飛行場造成面である。

(1) 1面

(a) 土坑・ピット (①第132図、P.L.121・122)

1面は、昭和18(1943)年の飛行場造成面であり、3基の土坑と4基のピット、4基の排水路を検出し

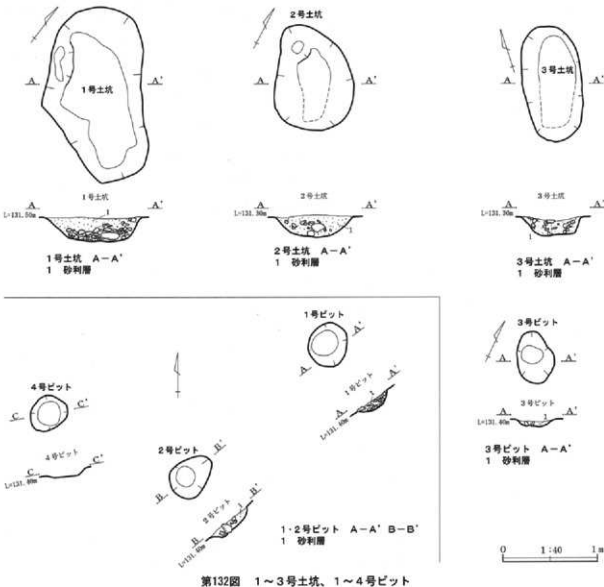
た。土坑とピットの構築時期は、昭和18年以降から戦後にかけてのものと思われる。覆土は砂利と石混じりである。各遺構の規模は次のとおりである。

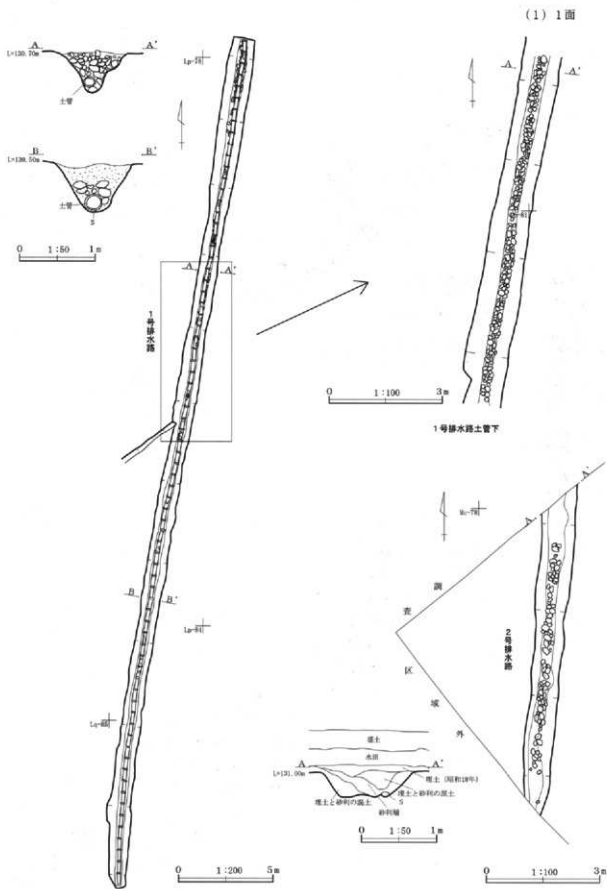
Ⅲ区 (3面) 土坑一覧表

番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Mg-46-63-64	不整形	184×92×25	土師器片7・須恵器片3・陶磁器片3	Ⅲ-2区	第132図		121
2	Mc-84	不整形	116×80×24	須恵器片2・磁器片2・ガラス片1	Ⅲ-2区	132		121
3	Mc-85	楕円形	122×63×18	陶器片1・ビン1	Ⅲ-2区	132		121

ピット一覧表

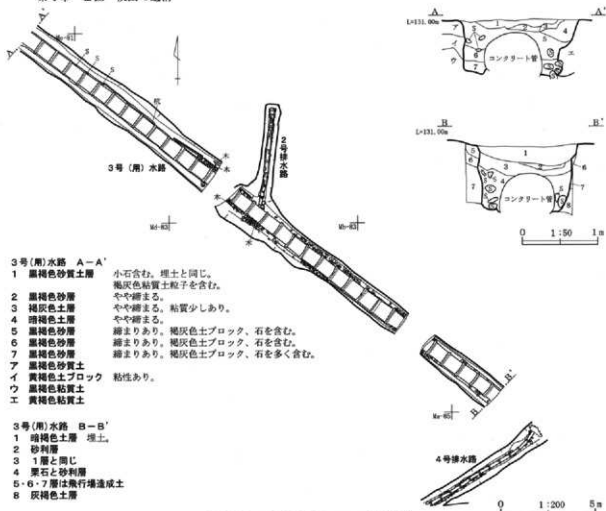
番号	位置	形状	長さ×幅×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Mf-82	楕円形	46×40×10		Ⅲ-2区	第132図		122
2	Mf-82	楕円形	50×38×10	須恵器片2	Ⅲ-2区	132		122
3	Mg-84	楕円形	58×38×10	土師器片1・須恵器片1	Ⅲ-2区	132		122
4	Mg-82	ほぼ円形	40×35×8		Ⅲ-2区	132		122





第133圖 1・2号排水路

第4章 Ⅲ区 検出の遺構



- 3号(用)水路 A-A'
- 1 黒褐色砂質土層 小石含む。埋土と同じ。褐灰色粘質土粒子を含む。
 - 2 黒褐色砂層 やや締まる。
 - 3 褐灰色土層 やや締まる。粘質少しあり。
 - 4 暗褐色土層 やや締まる。
 - 5 黒褐色砂層 締まりあり。褐灰色土ブロック、石を含む。
 - 6 黒褐色砂層 締まりあり。褐灰色土ブロック、石を含む。
 - 7 黒褐色砂層 締まりあり。褐灰色土ブロック、石を多く含む。
 - ア 黒褐色砂質土
 - イ 黄褐色土ブロック 粘性あり。
 - ウ 黒褐色粘質土
 - エ 黄褐色粘質土

- 3号(用)水路 B-B'
- 1 暗褐色土層 埋土。
 - 2 砂利層
 - 3 1層と同じ
 - 4 栗石と砂利層
 - 5・6・7層は飛行場造成土
 - 8 灰褐色土層

第134図 3号(用)水路、2・4号排水路

(b) 排水路 (①第133・134図②第110図、P.L.123・124・136)

3 (1・2・4号) 基の排水路は、Ⅳ区で調査した排水路と同一構造である。いずれも3号(用)水路に接続するものであるが、Ⅲ区2号排水路は、Ⅳ-1区で検出した1基と連なるものである。これらのことから、北西から南東方向に走行する、径70cmのコンクリート管を埋設した3号(用)水路に接続する排水路は、計5基の検出である。

1号排水路は、上幅0.9~1.4m、下幅0.3~0.5m、深さ0.5~0.6m、そして長さ約45.5mを検出した。74本の土管が埋設されているが、それは底面に石を

敷き、その上に配置したものである。そして砂利と石、さらに掘削した飛行場の造成土で埋め戻されている。

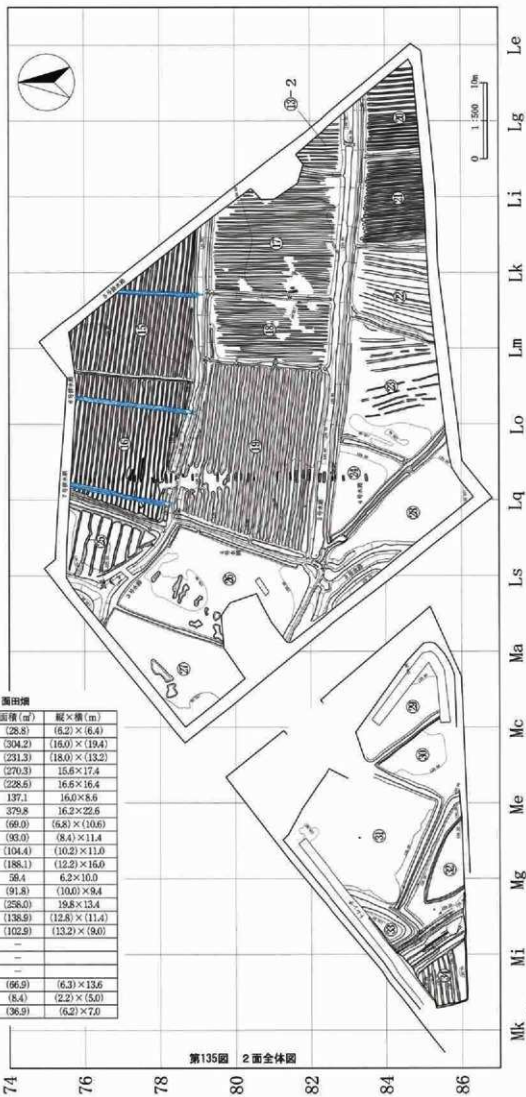
2・4号排水路も1号排水路と同様である。

3号(用)水路は、上幅1.3~2m、下幅1~1.5m、深さ0.7~0.9m、長さ約44mを検出した。コンクリート管を埋設、底面に石や木を敷き、その上に配置したものである。そして砂利と石、さらに掘削した飛行場の造成土で埋め戻されている。いずれも戦後比較的早い段階で構築されたものである。

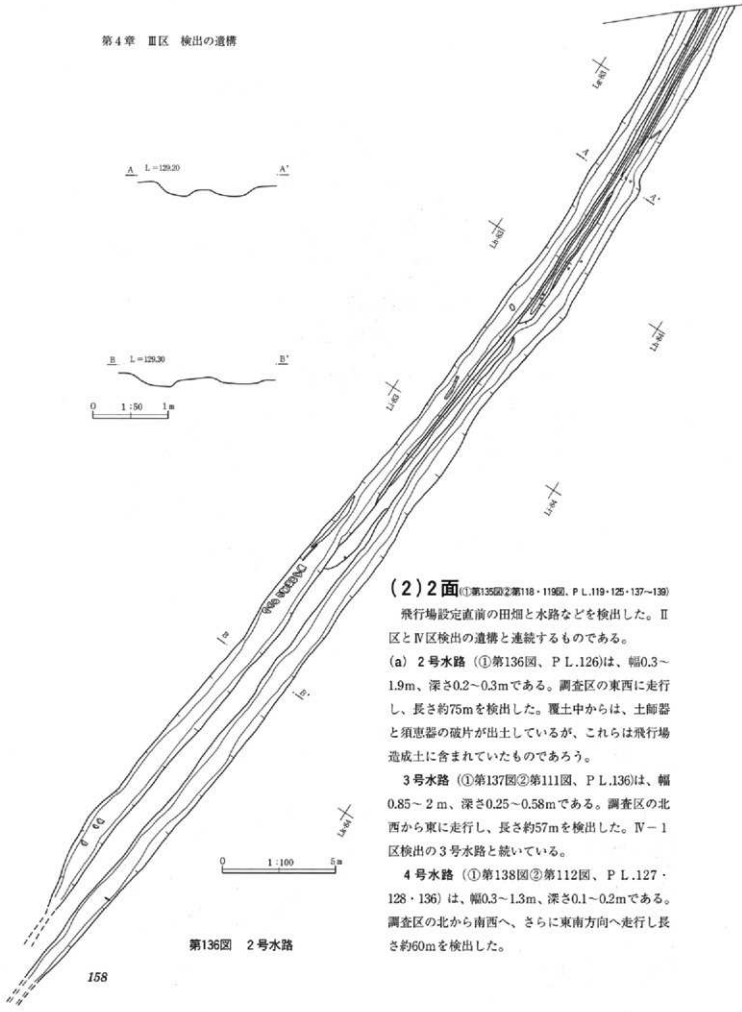
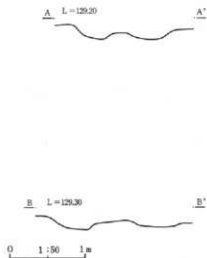
排水路一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図張	遺物図版	写真図版
1	Lp-Lp-76~86	45.5×0.9~1.4×0.5~0.6	土師砂片・灰輪陶器	Ⅲ-1区	第133図		123
2	Mb-78~79	8.5×0.7~0.9×0.4	土師砂片	Ⅲ-1区	133	第110図	124・136
	Mb-78-79 Mc-81-82	5.5×0.7×-		Ⅲ-2区			
3	La-Me-86~80	44.0×1.3~2.0×0.7~0.9		Ⅲ-2区	134		124
4	Lx-Ma-85	7.0×-×-		Ⅲ-2区	134		124

Ⅲ区 2面田簿		
番号	面積(㎡)	縦×横(m)
①-2	28.8	(6.2)×(6.4)
①-1-2	304.2	(16.0)×(19.4)
②	231.3	(18.0)×(13.2)
③	270.3	15.6×17.4
④	228.6	16.6×16.4
⑤	137.1	16.0×8.6
⑥	379.8	16.2×22.6
⑦	69.0	(5.8)×(10.6)
⑧	93.0	(8.4)×11.4
⑨	104.4	(10.2)×11.0
⑩	188.1	(12.2)×16.0
⑪	38.4	6.2×10.0
⑫	91.8	(10.0)×9.4
⑬	256.0	19.8×13.4
⑭	138.9	(12.8)×(11.4)
⑮	102.9	(13.2)×(9.0)
⑯	-	-
⑰	-	-
⑱	-	-
㉑	66.9	(6.3)×13.6
㉒	8.4	(2.2)×(5.0)
㉓	36.9	(6.2)×7.0



第135図 2面全体図



第136図 2号水路

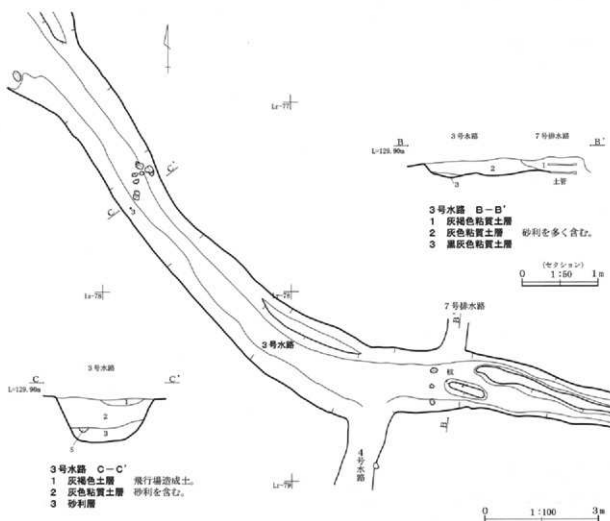
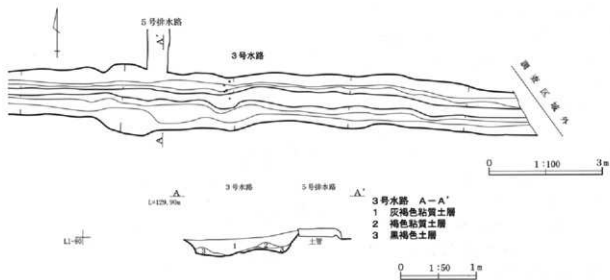
(2) 2面 (①第135図②第118・119図, P.L.119・125・137~139)

飛行場設定直前の田畑と水路などを検出した。II区とIV区検出の遺構と連続するものである。

(a) 2号水路 (①第136図, P.L.126)は、幅0.3~1.9m、深さ0.2~0.3mである。調査区の東西に走行し、長さ約75mを検出した。覆土中からは、土師器と須恵器の破片が出土しているが、これらは飛行場造成土に含まれていたものであろう。

3号水路 (①第137図②第111図, P.L.136)は、幅0.85~2m、深さ0.25~0.58mである。調査区の北西から東に走行し、長さ約57mを検出した。IV-1区検出の3号水路と続いている。

4号水路 (①第138図②第112図, P.L.127・128・136)は、幅0.3~1.3m、深さ0.1~0.2mである。調査区の北から南西へ、さらに東南方向へ走行し長さ約60mを検出した。



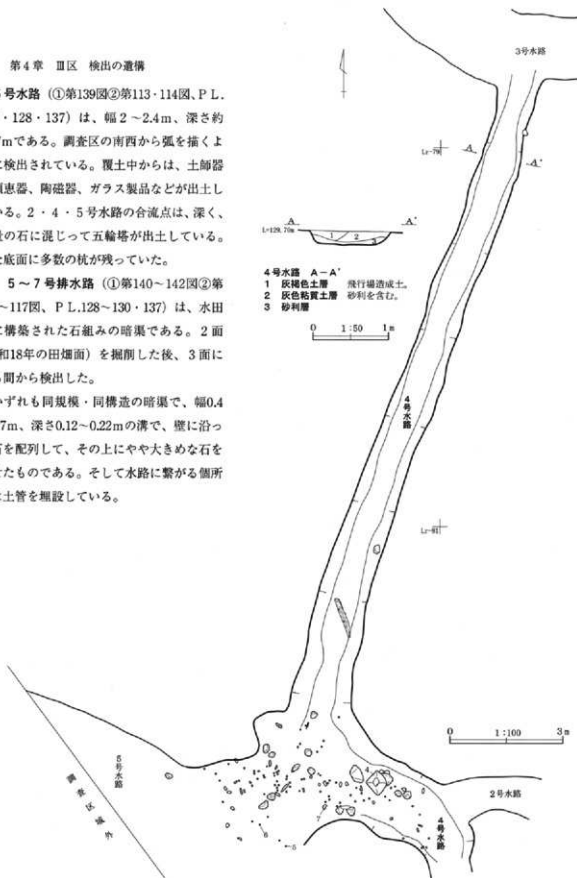
第137图 3号水路(上·東端部、下·西端部)

第4章 Ⅲ区 検出の遺構

5号水路 (①第139図②第113・114図、P.L. 127・128・137) は、幅2～2.4m、深さ約0.57mである。調査区の南西から弧を描くように検出されている。覆土中からは、土師器や須恵器、陶磁器、ガラス製品などが出土している。2・4・5号水路の合流点は、深く、多量の石に混じって五輪塔が出土している。また底面に多数の杭が残っていた。

(b) 5～7号排水路 (①第140～142図②第115～117図、P.L.128～130・137) は、水田下に構築された石組みの暗渠である。2面(昭和18年の田畑面)を掘削した後、3面に至る間から検出した。

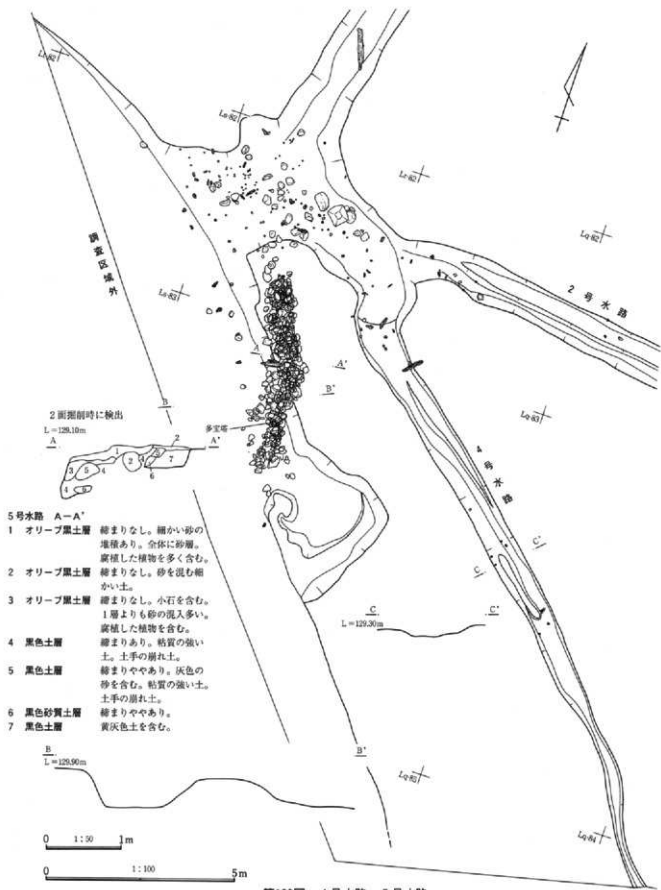
いずれも同規模・同構造の暗渠で、幅0.4～0.7m、深さ0.12～0.22mの溝で、壁に沿って石を配列して、その上にやや大きめの石を乗せたものである。そして水路に繋がる箇所には土管を埋設している。



第138図 4号水路

Ⅲ区(2面)水路一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
2	Lf-Ls-83-81	75.0×0.3-1.9×0.2-0.3	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦・ガラス	Ⅲ-1区	第136図		126
3	Li-Ls-79-76	57.0×0.85-2.0×0.25-0.58	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦・埴輪・土管	Ⅲ-1区	137	第111図	136
4	Lo-Lr-83-75	60.0×0.3-1.3×0.1-0.2	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦・土管	Ⅲ-1区	138	112	127・128・136
5	Lr-Ls-84-82	14.8×2.0-2.4×0.57	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦・ガラス・土管	Ⅲ-1区	139	113-114	127・128・138

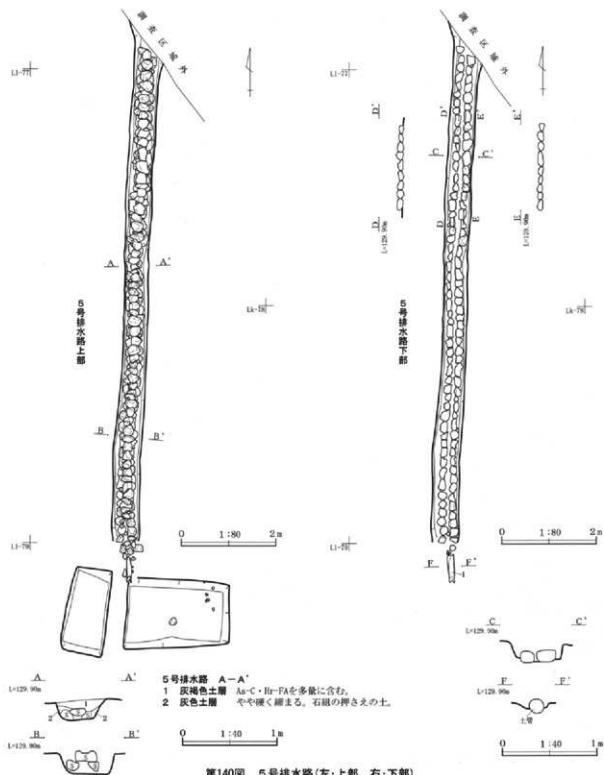


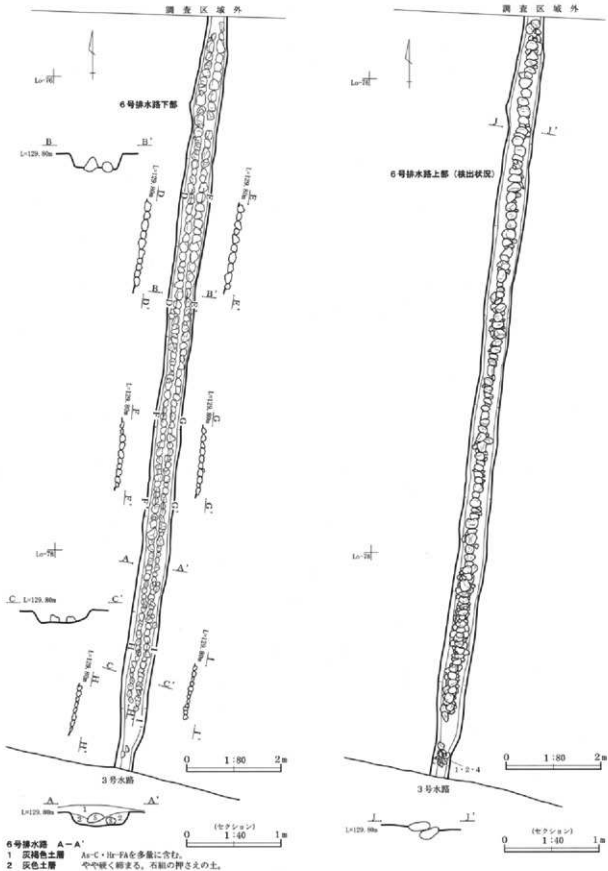
第139図 4号水路・5号水路

第4章 Ⅲ区 検出の遺構

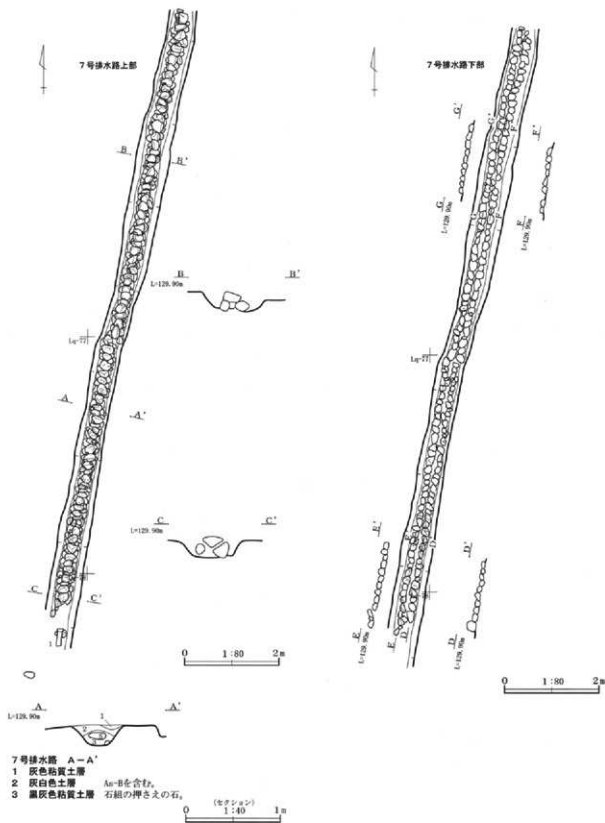
排水路一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
5	Lk-76~78	11.0×0.5~0.6×0.2		Ⅲ-1区	第140図	第115図	128・129・137
6	Lm-75~78	16.0×0.4~0.6×0.12~0.15	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦	Ⅲ-1区	141	116	127・137
7	Lp・Lq-75~78	13.0×0.5~0.7×0.18~0.22	瓦	Ⅲ-1区	142	117	130・137

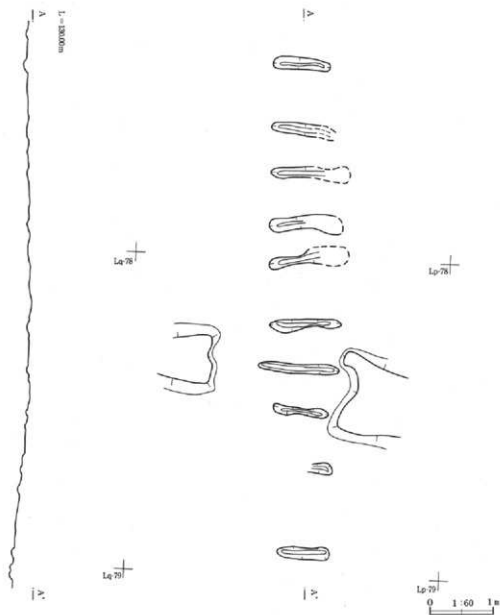




第141図 6号排水路(左・下部、右・上部)



第142図 7号排水路(左・上部、右・下部)



第143図 枕木痕跡

(c) 枕木の痕跡 (①第143図、P.L.126)

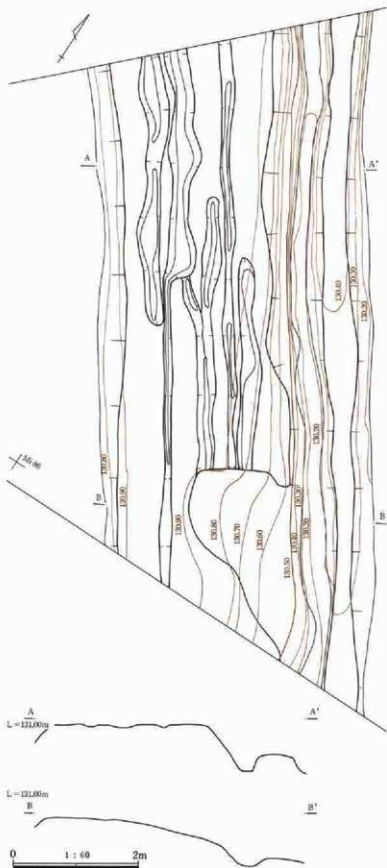
飛行場設定時のトロッコ枕木の痕跡である。長さ80~130cm、幅10~20cm、深さ約5cmの窪みが計33個、間隔80~100cmで延長約39mにわたるものである。北端のLp-75グリッドから南端はLp-83グリッドにかけて、ほぼ直線上に検出した。途中、畦を壊したり、畦上に認められる。

トロッコを使って土を運んだという、証言を裏付ける遺構である。IV区1面(Mi-78グリッド)で出土した鋼鉄製の枕木が、この遺構に該当するものであろう。

(d) 轍跡 (①第144図、P.L.130)

Mh-85、Mi-84・85グリッドにかけて検出した。北西から南東に延びる畦道に轍が認められた。さらに南東隔では畦道が壊されている。これらの痕跡は、飛行場設定に伴う諸作業に由来するもの、すなわち造成土を運び込むための跡であろう。

この畦道はIV-2区につながる。



第144図 昭和18年 隧道に残る遺構

(3) 2～3面

(a) 排水路 (①第145～151図、P.L.131～133)

Ⅲ-2区では、2～3面に至る過程で排水路を検出した。8～14号排水路とそれに付属する1号土坑である。排水路は、木組みの暗渠(8～11・13・14号)と石組み暗渠(12号)である。

8号排水路 (①第146図②第120・121図、P.L.131・132・139)は、幅0.5～0.9m、深さ0.2～0.35mである。東西に走行し長さ約23.5mを検出した。溝の両側に枕を配列して、その上に枕を蓋とした構造である。枕はすべてマツ属複雑管束亜属である。東南隅で9号排水路とつながる。

9号排水路 (①第147図、P.L.131・132)は、幅0.7～1m、深さ0.3～0.35mである。南北に走行し長さ約9.8mを検出した。構造は8号と同様であるが、蓋の遺存は悪かった。

10号排水路 (①第149図②第121図、P.L.132・139)は、幅0.35～0.6m、深さ約5cmである。南西から北東にかけて走行し長さ約8.1mを検出した。8号に接続する。10・11号は木蓋を使用。10号排水路の板は全点がクリに同定された。

11号排水路 (①第150図、P.L.132)は、幅0.25～0.35m、深さ約3cmである。北西から南東に走行し長さ約2.8mを検出した。10号に接続する。

12号排水路 (①第148図P.L.133)は、幅0.25～0.4m、深さ6～18cmである。南北に走行し長さ約2.5mを検出した。10号に接続する、石組みの暗渠である。

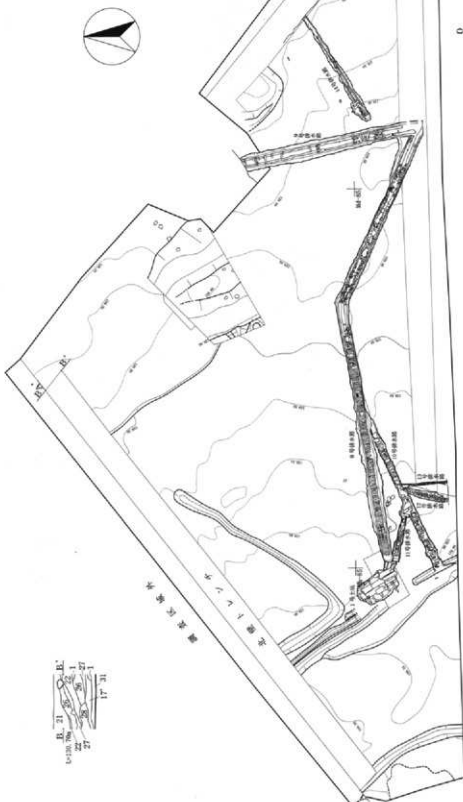
13号排水路 (①第148図、P.L.133)は、幅8～15cm、深さ6cmである。南北に走行し長さ約2.4mを検出した。10号に接続する。

14号排水路 (①第151図②第121図、P.L.133・139)は、幅0.24～0.65m、深さ5～10cmである。南西から北東にかけて走行し長さ約6.5mを検出した。

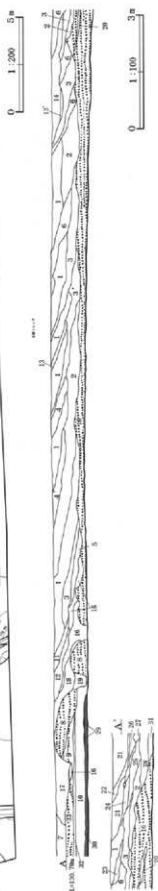
排水路が検出された地形は、西から東に向かって傾斜している。

1号土坑 (①第152図②第122図、P.L.133・140)は、長径266cm、短径135cm、深さ110cmである。土坑の

上縁に6本の杭をわたして木製の蓋で覆っていた。
クリとマツ属複管束重属が杭や板に利用されている。



(3) 2~3面



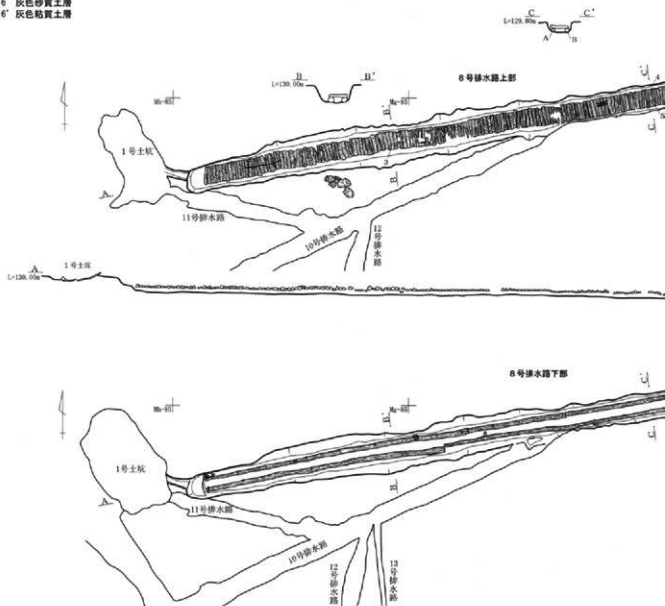
第145図 2~3面の間(Ⅲ-2区)全体図・北壁セクション

第4章 Ⅲ区 検出の遺構

北壁トレンチ A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを含む。
- 2 茶褐色土層 軟らかくてサラサラしている。
- 3 灰褐色土層 軟らかくてサラサラしている。
- 4 暗褐色土層 軽石、炭化物、焼土を含む。
- 4' 暗褐色土層 軽石、炭化物、焼土を含む。
- 5 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物を含む。
- 6 灰褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA含む。
- 7 暗褐色土層 暗褐色土、炭化物粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 軽石を含む。
- 9 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 10 暗褐色土層 As-Bを多量に含む。
- 11 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子を含む。
住居跡の礎土を埋土にしている。
- 12 暗褐色土層 軽石を含む。サラサラしている。
- 13 褐色土層 酸化鉄分、As-C・Hr-FA含む。
- 13' 褐色土層 酸化鉄分。
- 14 灰褐色土層 軽石を含みサラサラしている。
- 15 暗褐色土層
- 16 灰色砂質土層

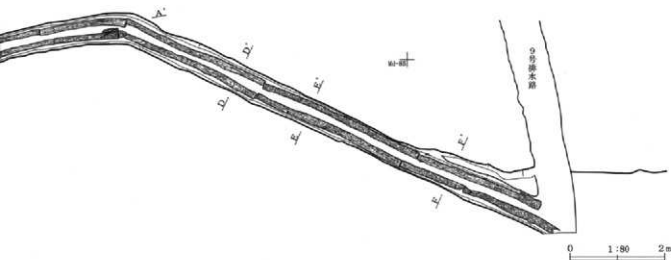
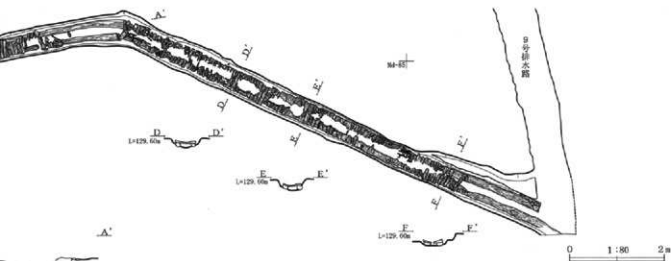
- 17 灰褐色砂質土層
- 17' 灰褐色砂質土層 灰白色粘質土を含む。
- 18 黄褐色土層
- 19 黄褐色粘質土層
- 20 灰色粘質土層 やや硬く締まる。
- 21 黒褐色土層 黒色粘質土ブロックを多量に含む。
- 22 暗褐色土層 軽石を含む。
- 23 茶褐色土層
- 24 茶褐色土層 黒色粘質土ブロックを含む。
- 25 灰褐色粘質土層 黒色土ブロックを含む。
- 26 灰褐色土層 黒色粘質土ブロックを含む。
- 27 黒色粘質土層
- 28 青灰色砂質土層
- 29 As-B層
- 30 As-B下水田
- 31 灰褐色土層
- 32 酸化鉄分層
- 33 昭和18年田畑

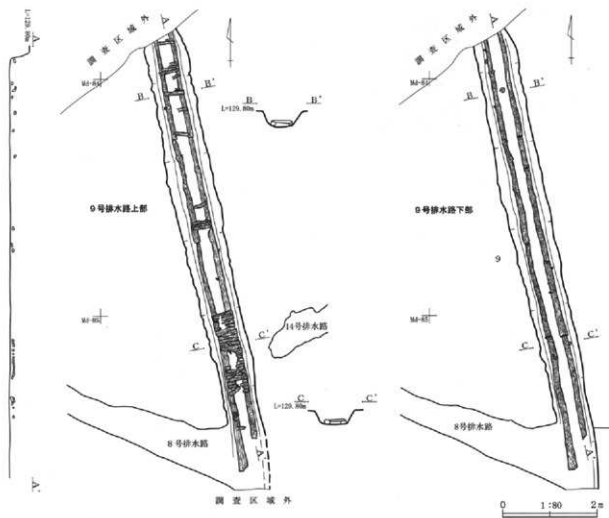


第146図 8号排水路(上・上部、下・下部)

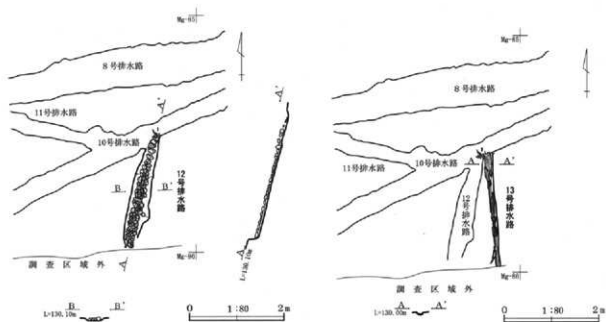
排水路一覽表 (2~3面)

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
8	Mc・Mg-84・85	23.5×0.9~0.5×0.35~0.2	土師器片・須恵器片・瓦	■-2区	第146図	第120-121图	131・132
9	Mc-83~85	9.8×1.0~0.7×0.35~0.3		■-2区	147		131・132
10	Mf・Mg-85	8.1×0.6~0.35×0.05		■-2区	149	121	132・139
11	Mg-85	2.8×0.35~0.25×0.03		■-2区	150		132
12	Mg-85	2.5×0.4~0.25×0.18~0.06		■-2区	148		133
13	Mg-85	2.4×0.15~0.08×0.06		■-2区	148		133
14	Mb・Mc-84・85	6.5×0.65~0.24×0.1~0.05		■-2区	151	121	133・139

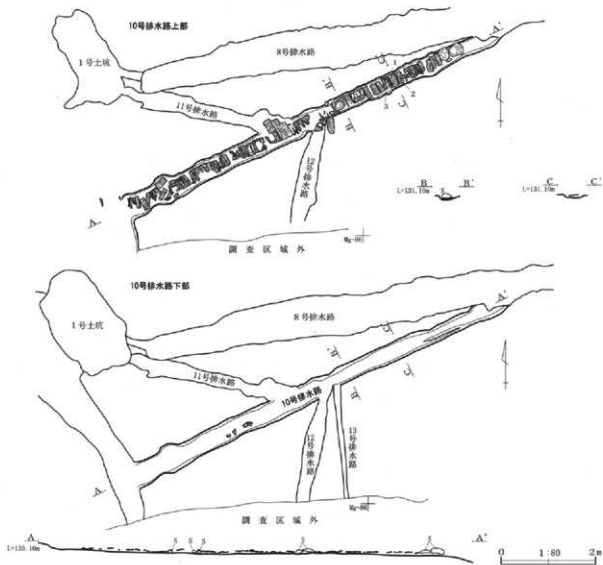




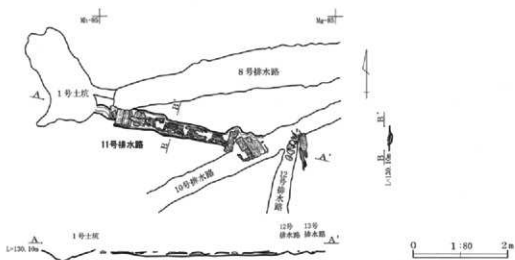
第147図 9号排水路(左・上部、右・下部)



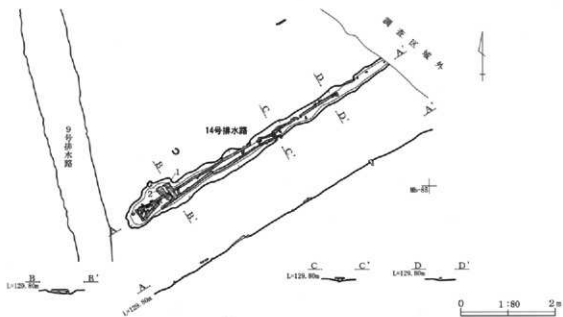
第148図 12・13号排水路(左・12号排水路、右・13号排水路)



第149图 10号排水路(上·上部、下·下部)



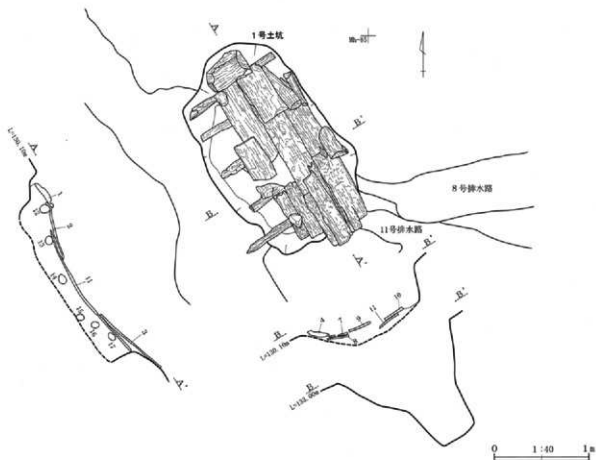
第150图 11号排水路



第151図 14号排水路

III区土坑一覽表

番号	位置	形状	長さ×幅×高さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Mh-65	長方形	226×135×110	須恵器片 2	III-2区	第152図	第122図	133・140

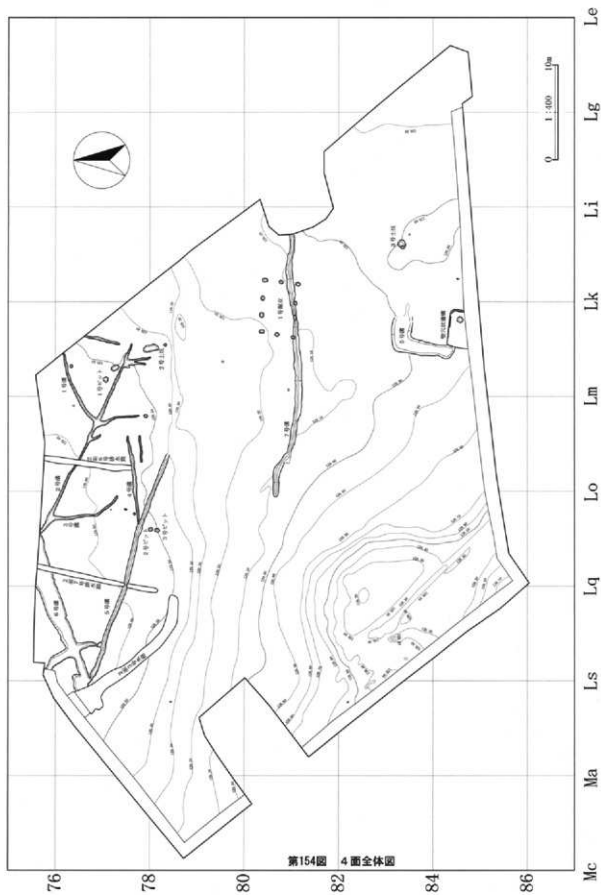


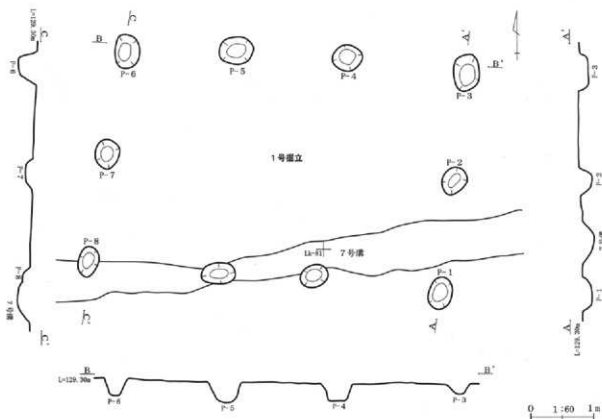
第152図 1号土坑

(b) As-B下水田

Ⅲ区の南東部及び南西部で、As-Bの1次堆積層が確認され、その直下から24号～34号までの11面の水田面が検出された。24号～28号水田は、ほぼ東西に走行する2面の2号水路により切られており、31号及び32号は南側が調査区域外であり、33号及び34号は西側が不明瞭であるため、良好な状態での検出はされていない。したがって、全域が確認できるのはわずかに29号及び30号のみである。29号及び30号の面積は、それぞれ、20.5㎡と10.1㎡であり小区画である。しかしながら、33号及び34号は東西に広がっており、大きな区画の様相を呈しているが、全容は何もない。水田面の地形は、概ね南西から北東にかけて緩やかに下がっている。







第155図 1号掘立柱建物跡

(4) 4面

1号掘立柱建物跡 (①第155図, P.L.135)

Ⅲ区では、Lj-Lk-80・81グリッド内で1号掘立柱建物跡が1棟検出された。大きさは、2間×3間であり、棟間の長さは約3.5m、梁間の長さは約5.5m～5.7mである。ほぼ東西方向に位置する。柱穴は、10基検出されており、形は不整形形及び楕円形である。柱穴の深さは、約10cm～30cmである。柱穴の一部は、7号溝と重複するが、新旧関係は、7号溝の方が新しい。

竪穴状遺構 (①第156図, P.L.135)

Lk-84グリッド内で、竪穴状遺構が1基検出された。しかしながら、南側が調査区域外であるため、全容をうかがうことはできない。現状での大きさは、長径約3.9m・短径約2.2m・深さ約5cmである。残存状態が非常に悪いため、住居かどうか等の遺構の性質は不明である。



第156図 竪穴状遺構

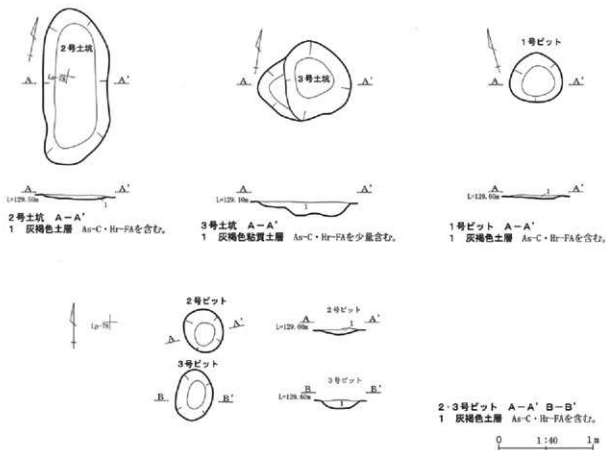
竪穴状遺構 A-A'

1 灰色粘質土層 黄褐色土層を含む。

2 灰褐色粘質土層

0 1:60 1m

第4章 Ⅲ区 検出の遺構



第157図 2・3号土坑、1～3号ピット

土坑 (①第157図、P.L.135)

Ⅲ区から、2号及び3号の2基の土坑が検出された。どちらも、遺物は検出されていない。形状は、2号土坑は楕円形であり、3号土坑は円形である。覆土は、As-C及びHr-FAを含んでいるため、掘削時期は古代以降（正確には、6世紀中葉以降）であると推定される。しかしながら、土坑の性質は不明である。

ピット (①第157図)

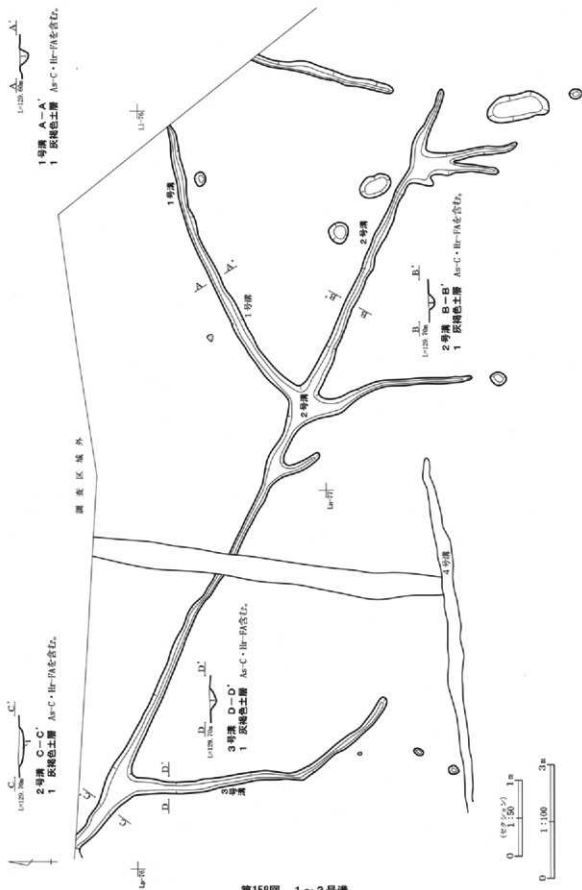
Ⅲ区から、1号～3号の3基のピットが検出された。1号は単独で、2号・3号は隣接して検出されている。いずれも、遺物は検出されていない。形状は、不整形円形である。3基ともに、覆土は灰褐色土層であり、As-C及びHr-FAを含んでいるため、掘削時期は古代以降（正確には、6世紀中葉以降）であると推定される。

Ⅲ区 (4圖) 土坑一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
2	Lk-L177-76	楕円形	164×68×4		Ⅲ-1区	第157図		
3	Ll-83	不整形	98×84×6-15		Ⅲ-1区	157		135

ピット一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Ll-77	ほぼ円形	60×52×8		Ⅲ-1区	第157図		
2	Lp-77-78	ほぼ円形	46×41×6		Ⅲ-1区	157		
3	Lp-78	楕円形	53×38×8		Ⅲ-1区	157		



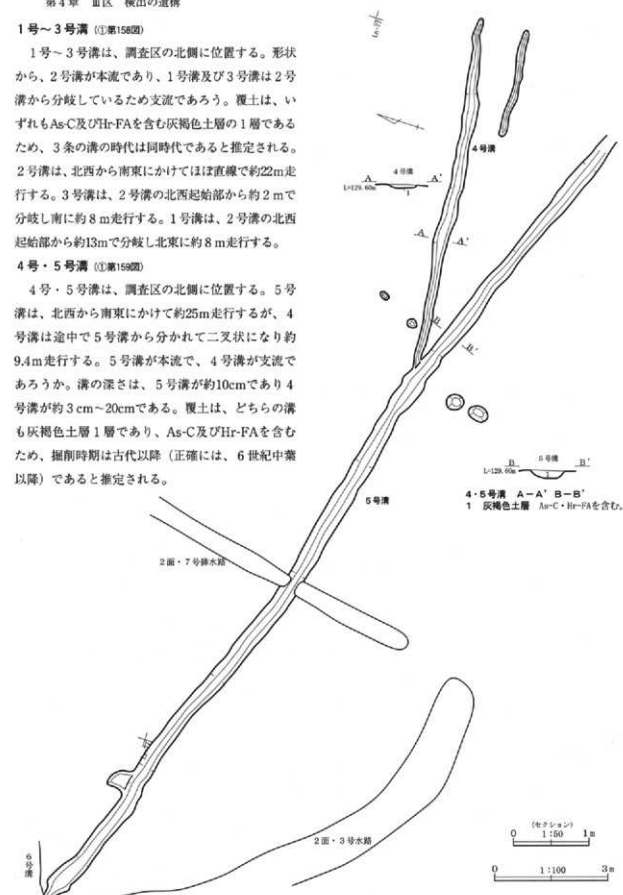
第158図 1、2、3号溝

1号～3号溝 (①第158図)

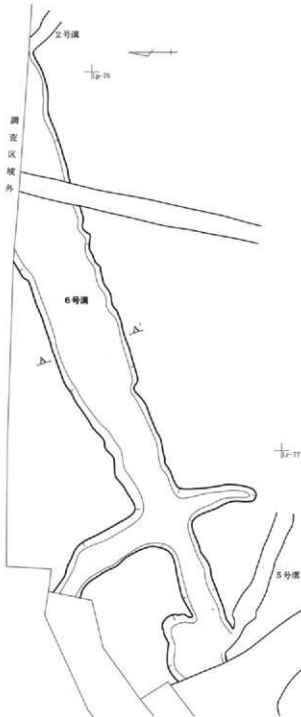
1号～3号溝は、調査区の北側に位置する。形状から、2号溝が本流であり、1号溝及び3号溝は2号溝から分岐しているため支流であろう。覆土は、いずれもAs-C及びHr-FAを含む灰褐色土層の1層であるため、3条の溝の時代は同時代であると推定される。2号溝は、北西から南東にかけてほぼ直線で約22m走行する。3号溝は、2号溝の北西起始部から約2mで分岐し南に約8m走行する。1号溝は、2号溝の北西起始部から約13mで分岐し北東に約8m走行する。

4号・5号溝 (①第159図)

4号・5号溝は、調査区の北側に位置する。5号溝は、北西から南東にかけて約25m走行するが、4号溝は途中で5号溝から分かれて二又状になり約9.4m走行する。5号溝が本流で、4号溝が支流であろうか。溝の深さは、5号溝が約10cmであり4号溝が約3cm～20cmである。覆土は、どちらの溝も灰褐色土層1層であり、As-C及びHr-FAを含むため、掘削時期は古代以降（正確には、6世紀中葉以降）であると推定される。



第159図 4・5号溝



6号溝 A-A'
1 黒色土層 灰褐色粘質土ブロックを含む。



第160図 6号溝



第161図 8号溝

6号溝 (①第160図)

6号溝は、調査区の北側に位置し、北東から南西にかけて約13.5m走行する。北東部で2号溝とまた南西部で5号溝と重複する。その規模は、幅約75cm～2mでありやや大きい。深さは2cm～6cmと浅い。溝の性質は不明である。

8号溝 (①第161図、P.L.135)

8号溝は、調査区の南側に位置し、L字型の形状を呈する。南部で竪穴状遺構と重複する。なぜ、L字型に走行するのか、また竪穴状遺構との関係も不明である。

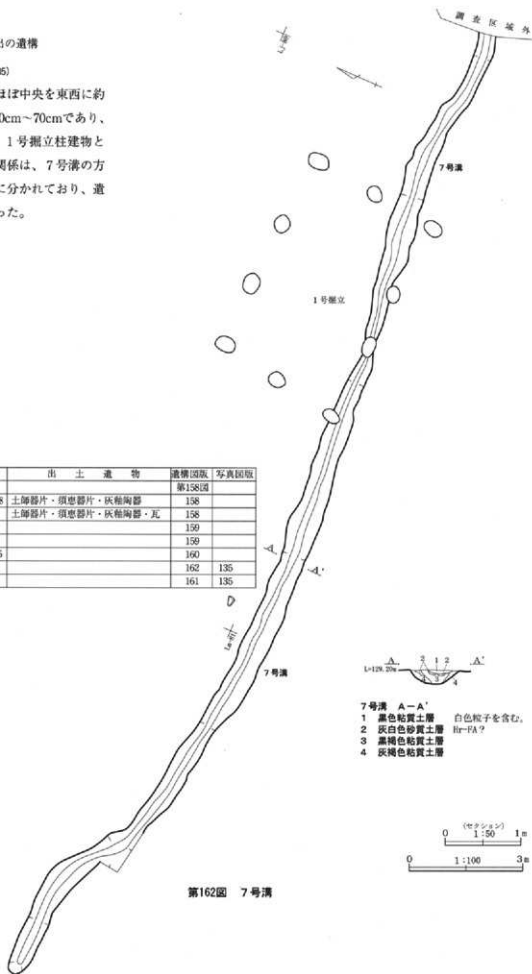
第4章 Ⅲ区 検出の遺構

7号溝 (①第162図・P.L.135)

7号溝は、調査区のはほぼ中央を東西に約28m走行する。幅は約40cm～70cmであり、深さは約20cmである。1号掘立柱建物と一部重複するが、新旧関係は、7号溝の方が新しい。覆土は4層に分かれており、遺物は特に検出されなかった。

溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物	遺構図版	写真図版
1	Lj-76・77	12.5×0.2～0.35×0.11		華158図	
2	Lh～Lo-77～75	22.5×0.18～0.5×0.06～0.08	土師器片・須恵器片・灰釉陶器	158	
3	Lo-76・77	7.8×0.15～0.4×0.08	土師器片・須恵器片・灰釉陶器・瓦	158	
4	Lm・Ls-77	9.4×0.2～0.4×0.03		159	
5	Ln～lr-78～76	25.0×0.35～0.58×0.1		159	
6	Lo～Ls-75・76	13.5×0.75～2.06×0.02～0.06		160	
7	Lj～Lo-80・81	26.4×0.4～0.7×0.2		162 135	
8	Lk・Lj-83・84	8.5×1.1～2.18×0.18		161 135	

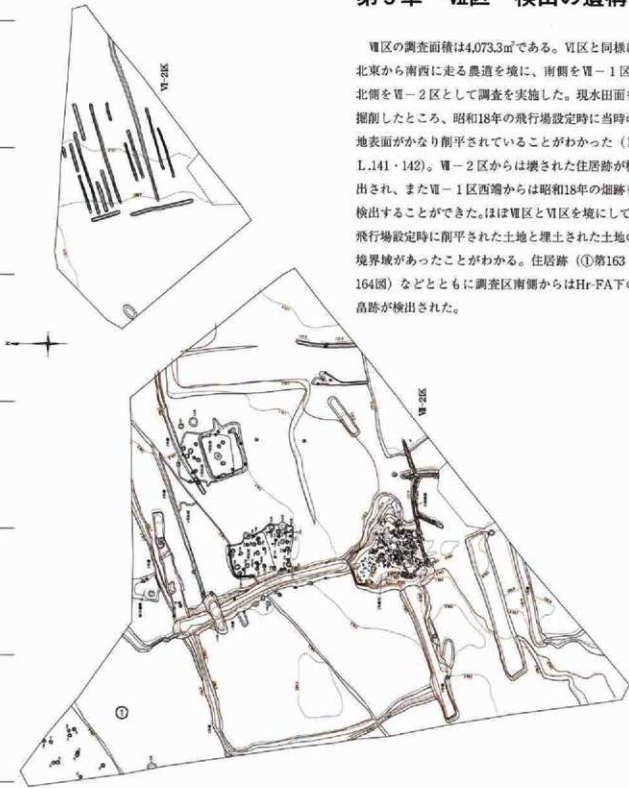


- 7号溝 A-A'
- 1 黒色粘質土層 白色粒子を含む。
 - 2 灰白色粘質土層 Br-PA?
 - 3 黒褐色粘質土層
 - 4 灰褐色粘質土層

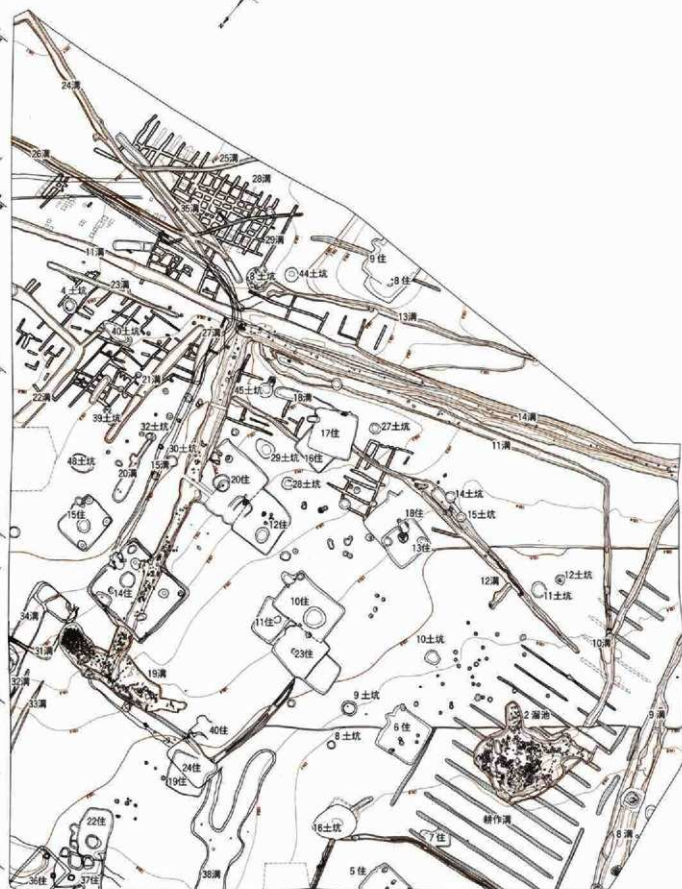
第162図 7号溝

第5章 VI区 検出の遺構

Ⅵ区の調査面積は4,073.3㎡である。Ⅵ区と同様に北東から南西に走る農道を境に、南側をⅥ-1区、北側をⅥ-2区として調査を実施した。現水田面を掘削したところ、昭和18年の飛行場設定時に当時の地表面がかなり削平されていることがわかった（P.L.141・142）。Ⅵ-2区からは壊された住居跡が検出され、またⅥ-1区西端からは昭和18年の畑跡を検出することができた。ほはⅥ区とⅤ区を境にして、飛行場設定時に削平された土地と埋土された土地の境界線があったことがわかる。住居跡（①第163・164図）などとともに調査区南側からはHr-FA下の高跡が検出された。



第163図 全体図（Ⅵ-2区）（1/300）



(1) 竪穴住居跡

1号住居跡 (①第165図②第123図、P.L.143・198)

位置 Oo-76グリッドにおいて検出された。3号住居跡の西約5mの所に位置している。

形状 長辺約3.5m、短辺約2.8~3.3mの方形。

方位 N-67°-E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は2層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約4~14cmで床面に達する。壁は北壁・西壁、そして東壁のごく一部で検出されたが、南壁では検出できなかった。

床面 やや凹凸がある。面積は約10.6m²。

周溝 北壁から西壁の一部で検出された。幅2~

5cm、深さ3cmである。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られていたものと思われる。規模は煙道方向110cm、両袖方向70cmである。袖石2個が現存していた。

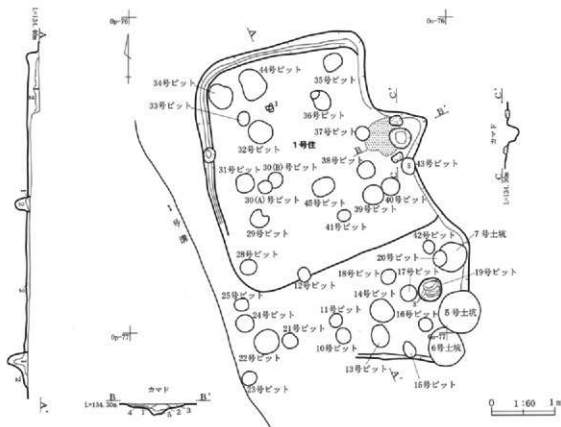
柱穴 検出できなかった。床面上にみられるピットは、住居跡の覆土中から掘られたものである。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 8世紀。

備考 当住居跡は昭和18年の飛行場造成時に一部削平されたものと思われる。



1号住居跡 A-A'

1 灰褐色土層 Au-C・Hr-FAを含む。

2 黒色土層 Au-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。

カマド B-B'

1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰白色土ブロック、焼土粒子、炭化物を含む。

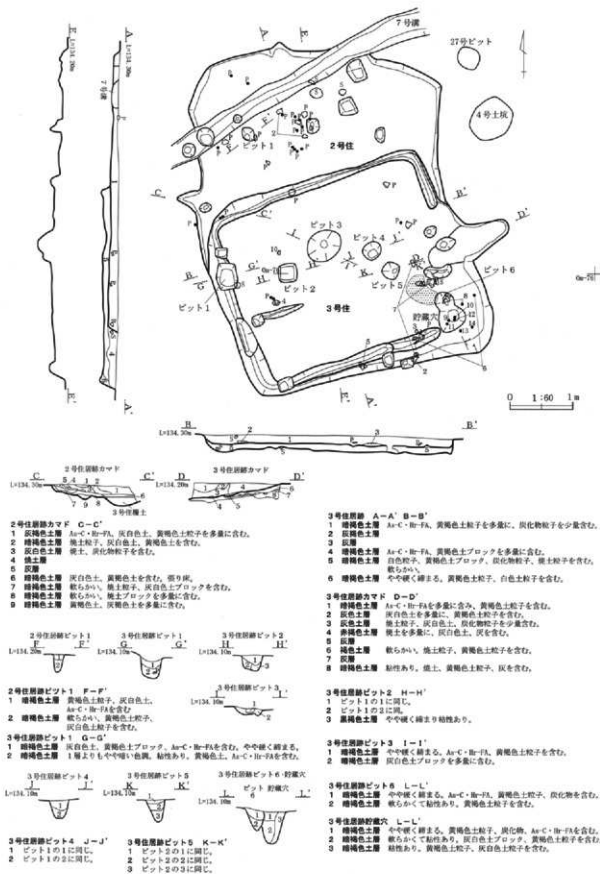
2 灰褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子を含む。

3 暗褐色土層 やや硬く締まる。白色粒子、黄褐色土粒子を含む。

4 灰層

5 暗褐色土層 灰白色土を多量に含む。

第165図 1号住居跡



第166図 2号住居跡・3号住居跡

2号住居跡 (①第166図②第124図、P.L.144・196)

位置 Om・On-75グリッドにかけて検出された。

3号住居跡と重複している。また、7号溝によって、住居の一部が壊されている。

形状 現状では北壁で約3.8m、西壁で約4.2mを測り、長方形を呈するものと思われる。

方位 N-94°-W。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層である。

壁高 住居跡確認面より約8~16cmで床面に達する。壁は北壁・西壁、そして東壁の一部で検出されたが、南壁は明瞭に確認することはできなかった。

床面 ほぼ平坦である。

溝 検出できなかった。

竪穴 西壁に位置し、燃焼部は壁面を掘り込んで造られていたものと思われる。規模は煙道方向50cm、両袖方向30cmである。

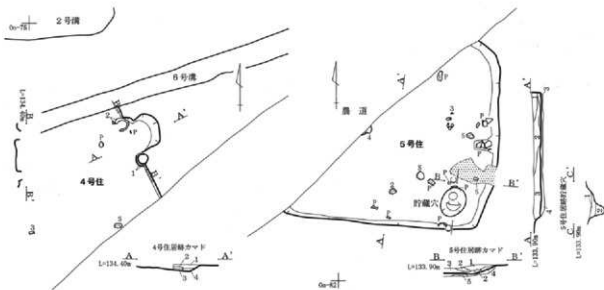
柱穴 ビット1個が検出された。長径22cm、短径18cm、深さ28cmである。他のビットは住居に伴うものではない。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面から少量の土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片が出土している。

時期 7世紀。

備考 当住居跡は3号住居跡よりも新しい。



4号住居跡カマド A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、白色粒子、黄褐色土粒子、灰を含む。
- 2 焼土層
- 3 黒褐色土層 焼土、黄褐色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土粒子を含む。

5号住居跡カマド B-B'

- 1 灰褐色土層 軟らかい、焼土、灰白色土、As-C・Hr-FA、灰化物、灰を多量に含む。
- 2 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、As-C・Hr-FA、灰化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 5 灰褐色土層 4層より軟らかくて粘性あり。

5号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、白色粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土ブロック、白色土粒子、灰化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを含む。

5号住居跡貯蔵穴 C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土粒子を含む。

0 1:60 1m

第167図 4号住居跡・5号住居跡

3号住居跡 (①第166図2第125・126図、P.L.144・145・198)

位置 Om・On-75・76グリッドにかけて検出された。2号住居跡と重複している。

形状 長辺4m、短辺3.3mの方形を呈している

方位 N-72° -E。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3(4~6)層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。床面からほぼ垂直に立ち上がる。

床面 やや凸凹が認められる。面積は約11.3㎡。

周溝 東壁の一部と北壁から西壁、南壁にかけて検出された。幅10~20cm、深さ10cmである。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向140cm、両袖方向48cmである。

柱穴 ビット6個が検出されたが、住居に伴うものかどうかは不明である。

貯蔵穴 長径48cm、短径40cm、深さ50cmを測る。ビット6によって壊されている。

遺物 貯蔵穴周辺から遺物が出土している。土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。古銭は覆土中からの出土である。

時期 6世紀後半。

備考 当住居跡は2号住居跡よりも古い。

4号住居跡 (①第167図2第127図、P.L.145・198)

位置 On・Oo-75グリッドにかけて検出された。2号住居跡の西約1.6mの所に位置している。

形状 竈周辺のみ検出された。

方位 N-66° -E。

覆土 竈覆土のみ検出された。

壁高 はほとんど検出できなかった。

床面 はほぼ平坦と思われる。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置している。焼部の多くは壁面を掘り込んで造られていたものと思われる。規模は煙道方向60cm、両袖方向48cmである。胴下半分欠損の土師器の甕2個が軸として使用されていた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 床面から土師器の坏や甕、須恵器の坏などが少量出土している。

時期 7世紀。

備考 当住居跡は昭和18年の飛行場造成時に大部分削平されたものと思われる。

5号住居跡 (①第167図2第128図、P.L.146・198)

位置 On・Oo-81グリッドにかけて検出された。7号住居跡の北約3mの所に位置している。

形状 現状では、東壁で約3m、南壁で約3mを測る。農道確保のために全掘できなかった。

方位 N-95° -E。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層である。

壁高 住居跡確認面より約10cmで床面に達する。床面 はほぼ平坦である。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置しているが、明瞭に検出できなかった。床面に灰が分布していた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径48cm、短径37cm、深さ22cmを測る。

遺物 覆土中から少量の遺物が出土している。土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 7世紀前半。

6号住居跡 (①第168図2第129図、P.L.147・199)

位置 Om-83グリッドにおいて出された。5号住居跡の南東約8mの所に位置している。

形状 長辺約3.7m、短辺約3.4mの方形。

方位 N-80° -E。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は6層に分かれた

壁高 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。床面から緩やかに立ち上がる。

床面 はほぼ平坦である。面積は約10.6㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向82cm、両袖方向40cmである。

柱穴 検出できなかった。床面上にみられるピットは、住居跡の覆土中から掘り込まれたものである。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が少量出土している。

時期 7世紀。

7号住居跡 (I第169図2第1302号、P.L.148・199)

位置 On・Oo-82グリッドにかけて検出された。

5号住居跡の南約3mの所に位置している。

形状 住居跡の北壁・西壁の一部が検出された。

方位 不明。

覆土 現状で掘り方覆土2層確認できた。

壁高 ほとんど検出できなかった。

床面 凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

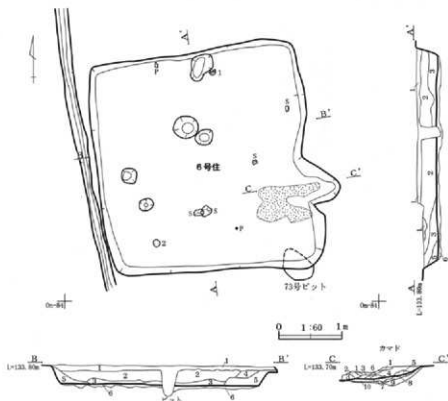
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片が少量出土している。

時期 8世紀前半。

備考 当住居跡は昭和18年の飛行場造成時に大部分削平されたものと思われる。



6号住居跡 A-A' B-B'

- 1 灰褐色土層 軟らかくて締まりよい。As・C・Hr-PAを少量含む。
- 2 黒褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As・C・Hr-PA、白色粒子を多量に含み、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい。白色粒子、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 As・C・Hr-PA、白色粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかい。As・C・Hr-PA、白色粒子を含む。3層よりも暗い色調。
- 6 黒色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、白色粒子を含む。掘り方覆土。

73号ピット

- 暗褐色土層 やや硬く締まる。白色粒子、黄褐色土粒子を含む。(上層)
- 暗褐色土層 1層より暗い色調。軟らかい。黄褐色土を含む。(下層)

第168図 6号住居跡、73号ピット

- 6号住居跡カマド C-C'
- 1 暗褐色土層 白色粒子、灰白色土を含む。
 - 2 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土、プロロツクを含む。
 - 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。カマド構築材。
 - 4 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土を多量に、白色粒子を含む。
 - 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰白色土を含む。
 - 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。カマド構築材。
 - 7 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。カマド構築材。
 - 8 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を多量に含む。
 - 9 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を含む。
 - 10 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。焼土を含む。

8号住居跡 (①第169図②第131図, P.L.148・149・199)

位置 Oh・Oi-88・89グリッドにかけて検出された。9号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.5m、短辺約2.6mの長方形を呈する。

方位 N-90°-E。

覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。

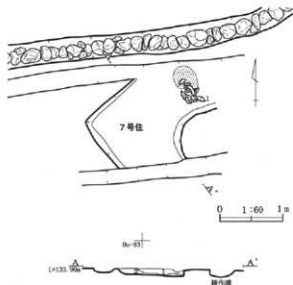
床面 やや凹凸がある。面積は約7.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向64cm、両袖方向42cmである。

8号住居跡カマド C-C'

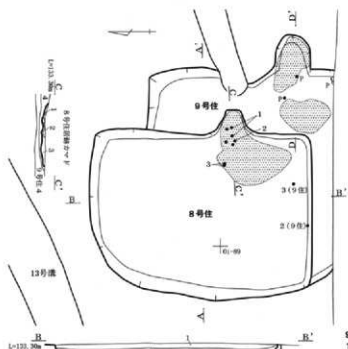
- 1 焼土層
- 2 灰層
- 3 灰褐色土層 焼土ブロック、炭化物、灰を多量に含む。
- 4 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。



7号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 粘性少しあり、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、灰白色土、黒色土を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より明るい色調、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

* 7号住居跡は削平されていて、掘り方の一部が検出されている。
1, 2層は掘り方覆土に作る。

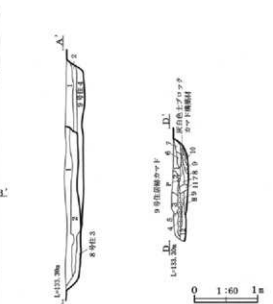


8号住居跡 A-A'

- 1 灰褐色土層 軟らかい、灰白色土、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、灰白色土を含む。

9号住居跡 B-B'

- 1 灰褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 1層より明るい色調、軟らかくてサラサラしている。
- 3 灰白色土層 軟らかくて粘性非常にあり、焼土を含む。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを多量に含む。



9号住居跡カマド D-D'

- 1 赤褐色土層 焼土と灰を多量に含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかい、炭化物、灰を含む。
- 3 暗褐色土層 黄褐色土粒子、灰褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかい、炭化物、灰褐色土ブロックを含む。
- 5 灰層
- 6 炭化物層
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり、焼土、灰を含む。
- 8 黒色土層 軟らかい、焼土、灰を含む。
- 9 灰層 焼土を多量に含む。
- 10 灰白色土層 軟らかくて粘性あり、炭化物を含む。
- 11 暗褐色土層 軟らかい、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 12 灰褐色土層 軟らかい、焼土粒子、灰を含む。

第169図 7号住居跡・8号住居跡・9号住居跡

柱 穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺 物 竈周辺から土師器の坏や甕、須恵器の坏が出土している。

時 期 9世紀前半。

備 考 当住居跡は9号住居跡よりも新しい。

9号住居跡 (①第169図2第132図, P.L.148・149・199)

位 置 Oh・Oi-88・89グリッドにかけて検出され

た。8号住居跡と重複している。

形 状 南側で約3.4m、現状の東壁で約2.9m。

方 位 N-92° -E。

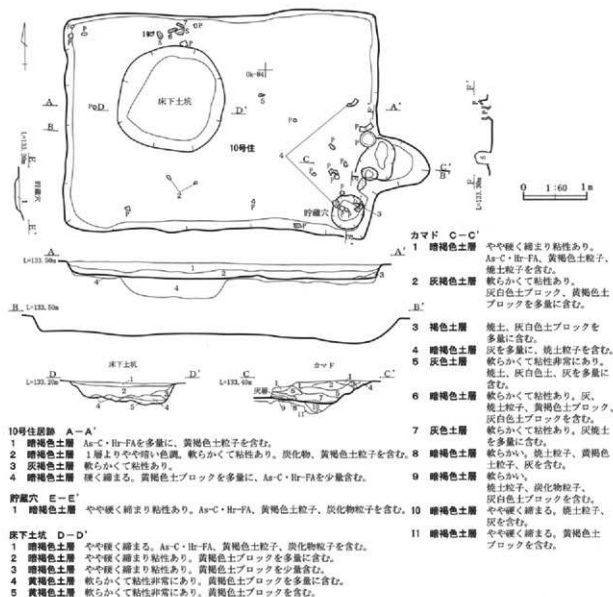
覆 土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

壁 高 住居跡確認面より約28cmで床面に達する。

床 面 ほほ平坦である。

周 溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り



第170図 10号住居跡

込んで造られている。規模は煙道方向84cm、両袖方向46cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 8世紀後半。

備考 当住居跡は8号住居跡よりも古い。

10号住居跡 (①第170図②第133・134図、P.L.150・151・199)

位置 Oj・Ok-83・84グリッドにかけて検出された。11号・23号住居跡と重複している。

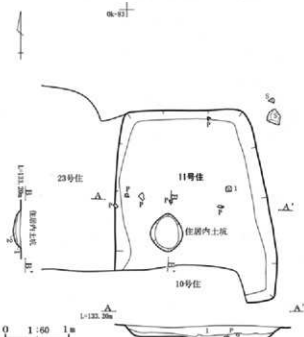
形状 長辺約5m、短辺約3.5mの長方形を呈する。

方位 N-89°-E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は約15.5m²。長径166



11号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Ih-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より明るい色調。As-C・Ih-FAを少量、炭化物粒子を含む。

住居内土坑 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Ih-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。炭化物粒子を含む。

第171図 11号住居跡

cm、短径162cm、深さ30cmの床下土坑が検出された。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁面を掘り込んで造られている。規模は煙道方向148cm、両袖方向55cmである。袖に石1個と土師器の厨下半分欠損の甕が使用されている。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径54cm、短径50cm、深さ6cmである。

遺物 竈と貯蔵穴周辺、北壁下から、土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 8世紀前半。

11号住居跡 (①第171図②第135図、P.L.151・199)

位置 Oj・Ok-83グリッドにかけて検出された。

10号住居跡、23号住居跡と重複している。

形状 現状で長辺約3.1m、短辺約2.2mの長方形を呈するものと思われる。

方位 不明。

覆土 現状で2層確認できた。

壁高 住居跡確認面より約15~22cmで床面。

床面 やや凹凸がある。長径60cm、短径50cm、深さ10cmの土坑が検出された。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 8世紀。

備考 竈が検出されていないことから考えれば、当遺構は住居跡と判断することは難しい。

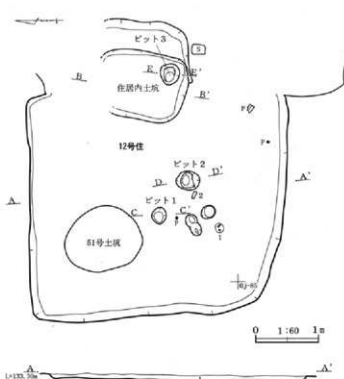
12号住居跡 (①第172図②第136図、P.L.152・199)

位置 Oi・Oj-84・85グリッドにかけて検出された。20号住居跡と重複している。

形状 長辺約4.1m、短辺約3.6mの方角を呈するものと思われる。

方位 不明。

(1) 竪穴住居跡



12号住居跡 A-A'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色粒子を含む。



ピット1 C-C'

1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

ピット2 D-D'

1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
2 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。



ピット3 E-E'

1 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土粒子を少量含む。



住居内土坑 B-B'

1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土、灰白色土ブロックを含む。
2 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土、黄褐色土ブロックを含む。

第172図 12号住居跡

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は1層である。

壁高 住居跡確認面より約6～12cmで床面。

床面 やや凹凸がある。現状での面積は約15㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。東壁に存在していたのであろうか。

柱穴 ピット3個が検出された。1は長径28cm、短径22cm、深さ35cm。2は長径36cm、短径30cm、深さ32cm。3は長径32cm、短径30cm、深さ20cmである。しかし柱穴であるかどうかは不明である。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕、さらに縄文土器片が出土している。

時期 不明。

備考 当住居跡は20号住居跡よりも古い。住居内土坑とした遺構は、当住居跡に伴うものか判然としない。

13号住居跡 (①第173図2第137図, P.L.153・199)

位置 Ok-85・86グリッドにかけて検出された。18号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.2m、短辺約2.9mの方形を呈する。

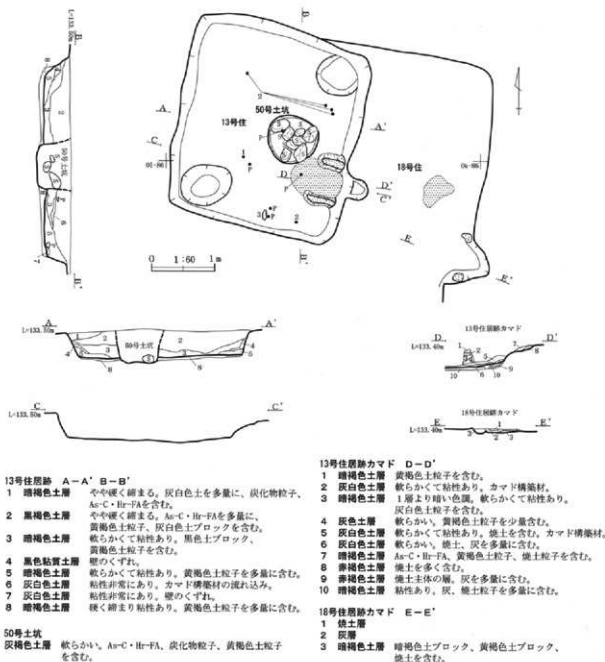
方位 N-105°-E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は8層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約40cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。面積は約7.4㎡。50号土坑によって一部壊されている。

周溝 検出できなかった。



第173図 13号住居跡・18号住居跡、50号土坑

電 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは床面に構築されている。規模は煙道方向126cm、両袖方向66cmである。

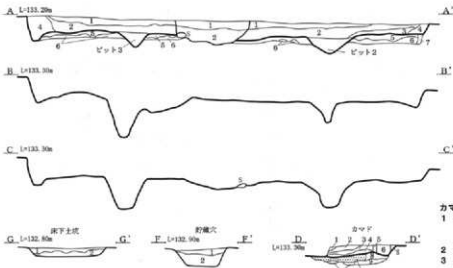
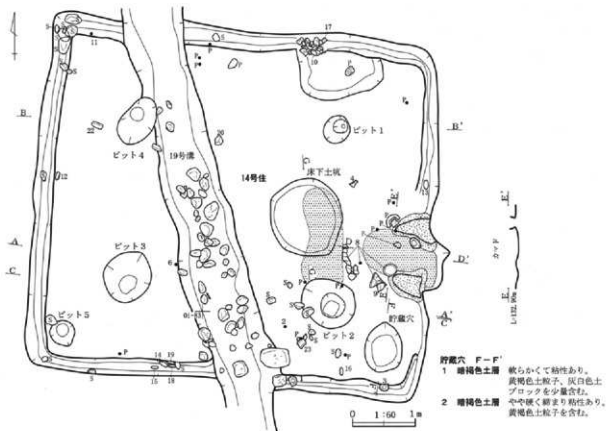
柱 穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 8世紀。

備考 当住居跡は18号住居跡よりも新しい。



14号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりやや軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土を多量に含む。
- 4 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。カマド構築材。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-Aを少量含む。黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 6 黄褐色土層 硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土主体の層。黒色土を含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-A、黄褐色土粒子を含む。

床下土坑 G-G'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。炭化物、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 2 黄褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを含む。

カマド D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土ブロックを含む。
- 2 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを多量に、焼土ブロックを含む。軟らかくて締まりよい。焼土、灰を含む。
- 4 灰白色土層
- 5 焼土層
- 6 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。焼土粒子、灰白色土ブロックを多量に含む。
- 7 灰層
- 8 赤褐色土層 軟らかく、焼土と灰を多量に含む。
- 9 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、灰を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかく、焼土粒子、灰を含む。

第174図 14号住居跡

14号住居跡 (①第174図2第138~140図, P.L.154・155・200)

位置 Oh・Oi-82・83グリッドにかけて検出された。19号溝により住居跡の中央部が壊されている。形状 長辺約6.3m、短辺約5.6mの方形を呈する。方位 N-95°-E。覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約14~30cmで床面。床面 やや凹凸がある。面積は約33.3m²。床下土坑は長径126cm、短径114cm、深さ14cmである。周溝 ほぼ全周している。幅8~26cm、深さ10cm。竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは床面に構築されている。規模は煙道方向132cm、両軸方向65cmである。

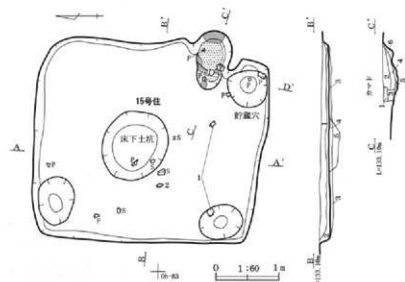
柱穴 4個のピットが検出された。1は長径46cm、短径40cm、深さ30cm。2は長径90cm、短径74cm、深さ40cm。3は長径84cm、短径74cm、

深さ50cm。4は長径80cm、短径50cm、深さ60cmである。

貯蔵穴 長径80cm、短径60cm、深さ28cmを測る。遺物 竈周辺や床面上から土師器の坏や甕、須恵器の坏・埴や甕の破片が出土している。時期 7世紀後半。

15号住居跡 (①第175図2第141図, P.L.156・200)

位置 Og-83・84グリッドにかけて検出された。14号住居跡の東約2mの所に位置している。形状 長辺約3.7m、短辺約3.2mの方形を呈する。方位 N-93°-E。覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。壁高 住居跡確認面より約8~18cmで床面。床面 ほぼ平坦である。面積は約10.1m²。周溝 検出できなかった。



カマド C-C'	
1 暗褐色土層	やや硬く締まる。As-C・Ih-FAを多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
2 灰褐色粘質土層	炭化物粒子、焼土粒子を含む。(カマド構築材)。
3 暗褐色土層	軟らかくて粘性あり。焼土ブロック、灰を含む。
4 灰褐色粘質土層	非常に軟らかい。焼土、灰を多量に含む。
5 灰褐色粘質土層	非常に軟らかく粘性に富む。灰、焼土を含む。
6 焼土層	灰を含む。

貯蔵穴 D-D'	
1 暗褐色土層	やや硬く締まり粘性あり。As-C・Ih-FAを多量に含む。粘性あり。焼土、炭化物を含む。
2 灰白色土層	軟らかくて粘性あり。焼土、灰白色土を含む。
3 暗褐色土層	やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、白色粒子を少量含む。
4 灰褐色土層	

- 15号住居跡 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Ih-FAを多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 1層に比べて軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
 - 3 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。As-C・Ih-FA、黄褐色土層を多量に含む。
 - 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Ih-FAを多量に、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
 - 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、白色粒子を少量含む。

第175図 15号住居跡

(1) 竪穴住居跡

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向92cm、両袖方向46cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径64cm、短径60cm、深さ26cmを測る。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 7世紀。

16号住居跡 (①第176図、P.L.157)

位置 Oi-85・86グリッドにかけて検出された。

17号住居跡と重複している。

形状 現状で北壁約2.9m、東壁で約1.8mを確認できる。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3(3~5)層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約26cmで床面に達する。

床面 は平坦である。現状での面積は約3.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から須恵器の甕の破片が出土。

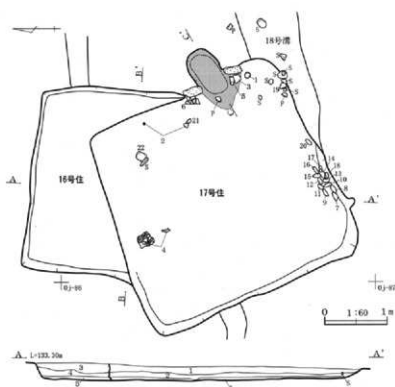
時期 不明。

備考 17号住居跡によって壊されている。

17号住居跡 (①第176図2第142~144図、P.L.157・158・200・201)

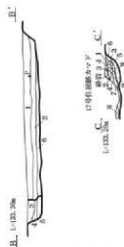
位置 Oi・Oj-86グリッドにかけて検出された。

16号住居跡と重複している。



16-17号住居跡 A-A' B-B'

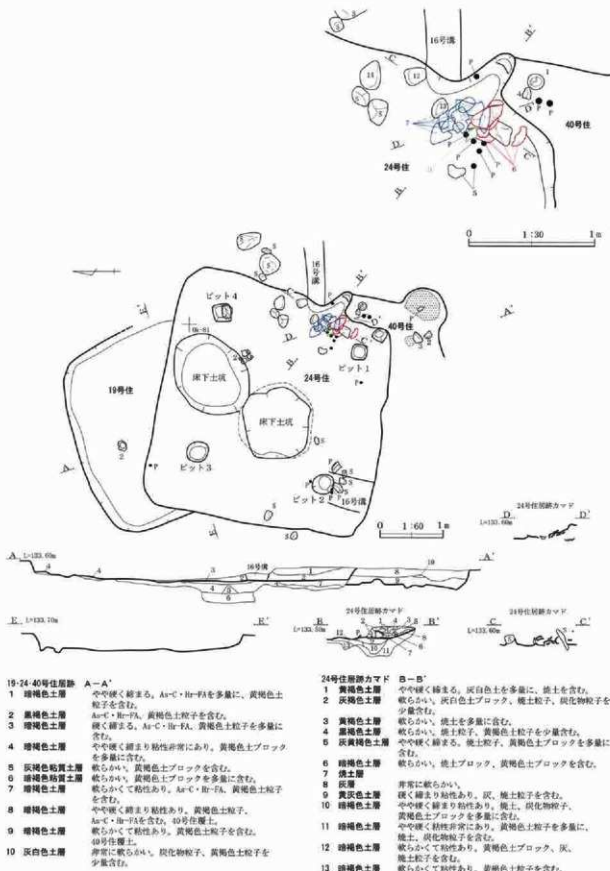
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、黒色粘質土ブロックを含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、黒色粘質土ブロックを少量含む。
- 3 灰褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。16号住居跡覆土。
- 4 灰褐色土層 軟らかい。灰白色土ブロックを含む。16号住居跡覆土。
- 5 暗褐色土層 硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。16号住居跡覆土。
- 6 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土ブロックを多量を含む。



17号住居跡カマド C-C'

- 1 灰褐色土層 炭土粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 2 白色土層 軟らかい。
- 3 灰褐色土層 軟らかい。粘土、灰を多量に含む。
- 4 黄土層
- 5 灰層
- 6 灰褐色土層 炭土粒子を含む。
- 7 黄土層
- 8 灰層 粘土、炭化物を多量に含む。やや硬く締まる。
- 9 暗褐色土層 炭土粒子、炭化物粒子を少量含む。

第176図 16号住居跡・17号住居跡



第177図 19号住居跡・24号住居跡・40号住居跡

形状 長辺約3.6m、短辺約3.4mの方形を呈する。

方位 N-63°-E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3(1・2・6)層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約25cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約11.1㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向106cm、両袖方向46cmである。袖石が残る。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片、南壁

下にも編石が集中して出土している。

時期 7世紀後半。

備考 当住居跡は16号住居跡よりも新しい。

18号住居跡 (①第173図, P.L.153・158)

位置 Oj・Ok-85・86グリッドにかけて検出された。13号住居跡と重複している。

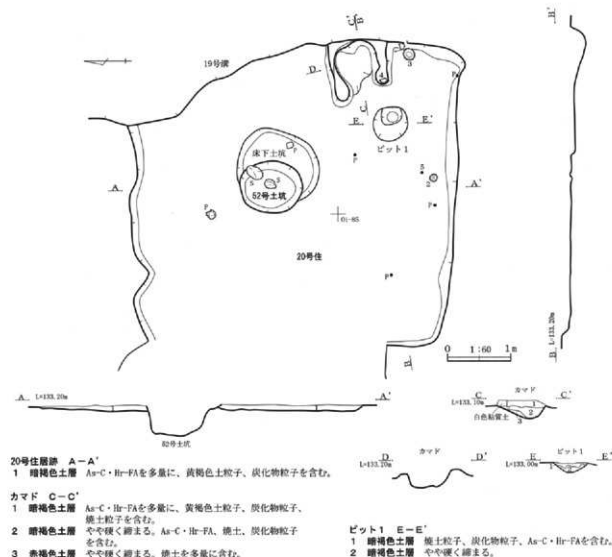
形状 現状で東壁約4m、北壁で約2.7mを確認できる。

方位 N-110°-E。

覆土 ほとんど確認できなかった。

壁高 ほとんど確認できなかった。

床面 ほぼ平坦と思われる。



第178図 20号住居跡、52号土坑

周溝 検出できなかった。
竈 東壁で検出された。燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、両袖方向52cmである。袖石が残る。
柱穴 検出できなかった。
貯蔵穴 検出できなかった。
遺物 出土していない。
時期 不明。
備考 13号住居跡によって壊されている。

19号住居跡 (①第177図②第145図、P.L.151・201)

位置 Oj-80、Ok-80・81グリッドにかけて検出された。24号住居跡と重複している。
形状 現状で東壁約1.6m、北壁で約3.1mを確認できる。
方位 不明。
覆土 地山を掘り込んで堅穴住居跡は構築されている。
壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。
床面 やや凹凸が認められる。
周溝 検出できなかった。
竈 検出できなかった。
柱穴 検出できなかった。
貯蔵穴 検出できなかった。
遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。
時期 8世紀。
備考 24号住居跡によって壊されている。

20号住居跡 (①第178図②第146図、P.L.159・201)

位置 Oh・Oi-84・85グリッドにかけて検出された。19号溝・52号土坑によって壊されている。
形状 現状で南壁約4.7m、西壁で約4.8mを確認できる。
方位 N-94° - E。
覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は1層である。
壁高 住居跡確認面より約3~10cmで床面。

床面 ほぼ平坦と思われる。

周溝 検出できなかった。
竈 東壁の南に位置している。燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向77cm、両袖方向38cmである。
柱穴 ビット1個が検出された。長径54cm、短径52cm、深さ13cmである。
貯蔵穴 検出できなかった。
遺物 土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片が出土している。
時期 8世紀前半。

22号住居跡 (①第179図②第147図、P.L.160・202)

位置 Oj-78・79、Ok-79グリッドにかけて検出された。37号住居跡に接している。
形状 長辺約4m、短辺約2.5mの長方形を呈する。
方位 N-62° - E。
覆土 地山を掘り込んで堅穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。
壁高 住居跡確認面より約18cmで床面に達する。
床面 やや凹凸がある。面積は約8.7㎡。床下土坑は長径122cm、短径100cm、深さ18cmである。
周溝 検出できなかった。
竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向76cm、両袖方向44cmである。袖石が残る。
柱穴 検出できなかった。
貯蔵穴 検出できなかった。
遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏・埴や甕の破片が出土している。
時期 8世紀。
備考 54号土坑によって一部壊されている。

23号住居跡 (①第180図②第148図、P.L.151・202)

位置 Ok-83グリッドにおいて検出された。
形状 長辺約3.6m、短辺約3.4mの方形を呈する。
方位 N-101° - E。

(1) 竪穴住居跡



22号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子、As-C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 粘床
- 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 4 灰層
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかい、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。
- 7 暗褐色土層 非常に軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。

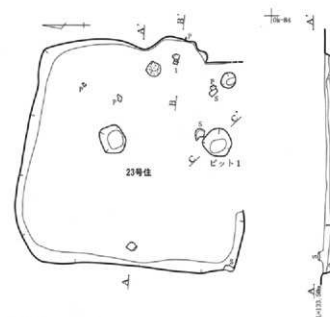
カマド C-C'

- 1 赤褐色土層 やや硬く締まる。焼土ブロックを多量に、黄褐色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、灰、黄褐色土、白色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかい、灰を多量に、焼土、黄褐色土ブロックを含む。

54号土坑 D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 非常に軟らかい、焼土ブロック、黄褐色土ブロック、炭化物を多量に含む。

第179図 22号住居跡、54号土坑



23号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子を多量に、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 3 灰白色土層 カマド構築材を主体とする。焼土を含む。

カマド B-B'

- 1 灰白色土層 カマド構築材を主体とする。焼土を含む。
- 2 赤褐色土層 焼土を主体とし、灰を含む。
- 3 灰層
- 4 灰褐色土層 焼土、灰、灰白色土を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 黄褐色土粒子を多量に、As-C・Hr-FAを少量含む。

ピット1 C-C'

- 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子も含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 黄褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土を多量に含む。

第180図 23号住居跡

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約18cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。面積は約10.7㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の南に位置し、燃焼部の一部は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向97cm、両袖方向82cmである。

柱穴 ビット1個が検出された。長径46cm、短径44cm、深さ30cmである。

貯蔵穴 不明瞭。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の甕の破片が出土している。

時期 7世紀。

24号住居跡 (①第177図②第149～151図、P.L.161・202・203)

位置 Oj・Ok-80・81グリッドにかけて検出された。19号・40号住居跡、16号溝と重複している。

形状 長辺約3.7m、短辺約3.6mの方形を呈する。

方位 N-97°-E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約19cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約12㎡。床下土坑2個が検出された。

周溝 不明である。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向94cm、両袖方向38cmである。

柱穴 ビット4個が検出された。1は長径25cm、短径24cm、深さ36cm。2は長径36cm、短径32cm、深さ25cm。3は長径36cm、短径32cm、深さ32cm。4は長径30cm、短径28cm、深さ29cmである。

貯蔵穴 長短ともに径20cm、深さ26cmを測る。

遺物 竈周辺に遺物が集中している。土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 8世紀前半。

備考 16号溝によって壊されている。

36号住居跡 (①第181図②第152図、P.L.162・203)

位置 Oj-78グリッドにおいて検出された。37号住居跡と重複している。

形状 現状で長辺約4.1m、短辺約3mの長方形を呈するものと思われる。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は2層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約10～22cmで床面。

床面 ほぼ平坦である。現状での面積は約9.9㎡。

周溝 全周しているものと思われる。幅12～18cm、深さ4cmである。

竈 検出できなかった。

柱穴 ビットは4個検出されているが、住居に伴うものか不明である。

遺物 南壁周辺から出土している。

時期 遺構の形状から判断すると、当住居跡は弥生時代の住居跡になるかもしれない。出土遺物は37号住居跡に帰属するものと思われる。

37号住居跡 (①第181図②第152図、P.L.162・203)

位置 Oj・Ok-78・79グリッドにかけて検出された。36号・22号住居跡と重複している。

形状 不明。

方位 不明。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3層確認できた。

壁高 住居跡確認面より約4cmで床面に達する。

床面 凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

竈 検出できなかった。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 7世紀後半～8世紀。

備考 床下土坑が検出されている。

40号住居跡 (①第177図2第153図, P.L.162・203)

位置 Oj・Ok-81グリッドにかけて検出された。

24号住居跡と重複している。

形状 不明。

方位 N-100° -E。

覆土 地山を掘り込んで竪穴住居は構築され、そこに堆積した覆土は3(8~10)層確認できた。

壁高 住居跡確認面より約25cmで床面に達する。

床面 凹凸がある。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向60cm、両袖方向54cmである。

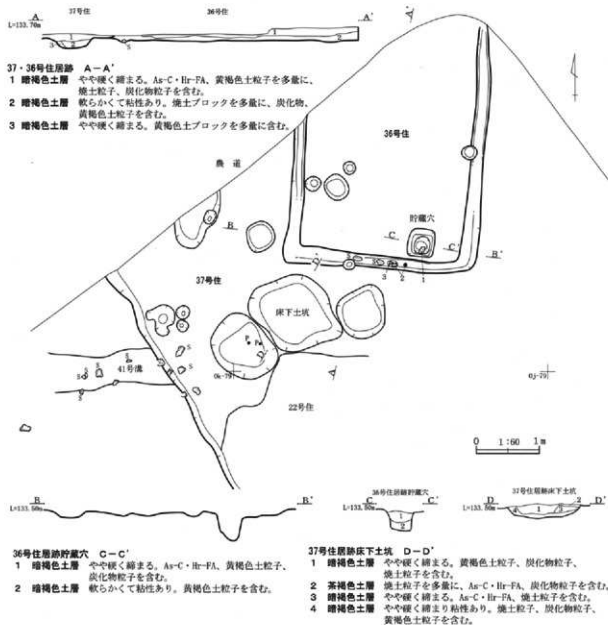
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏の破片が出土している。

時期 7世紀前半。

備考 明瞭に検出できなかった。



第181図 36号住居跡-37号住居跡

(2) 土坑・ピット

土坑 (①第182~185図②第154~156図, P.L.163~168・203・204)

Ⅷ区から検出した土坑は、計52基である。この中で、覆土中に石を伴う土坑は、11基(12・18~21・24・25・42・43・46・59号)である。ただし、42号土坑の石の出土状況は、他の土坑と異なる。また、46・

59号土坑の形状は、楕円形で規模もほぼ同一である。このほかに円筒形の土坑が比較的多く検出されている。

ピット (①第182・183・186~189図②第157図, P.L.169~172・204)

ピットは総計109基を検出した。詳細は一覧表を参照されたい。

土坑一覧表

番号	位 置	形 状	長さ×幅×深さ(cm)	出 土 遺 物 (未掲載遺物の点数)	備 考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Op-75・76	長方形	350×120×50	土師器片23・須恵器片4		第190図		163
2	Oq-74	円形	100×98×10	土師器片9・須恵器片10		182		163
3	Or-74	円形か	71×(40)×12	土師器片8・須恵器片1		182		163
4	Omr-75	円形	71×60×21	須恵器片2		182		163
5	On・Oo-76	円形	69×68×31	土師器片2・須恵器片2	6号土坑と近接	182		163
6	Os・Oo-76	楕円形	60×53×20	須恵器片1		182		163
7	On・Oo-76	円形	43×40×20	土師器片1・須恵器片11	20号ピットと重複	182	第154図	163・203
8	Or-82	円形	60×60×20	土師器片1・須恵器片2				163
9	Or-83	円形	120×120×60	土師器片6・須恵器片4・灰輪陶器片1				163
10	Omr-84	ほぼ円形	110×100×20	土師器片3				164
11	Oo-86	円形	108×110×68	土師器片26・須恵器片12		183	154	164・203
12	Oo-86・87	ほぼ円形	78×74×62	土師器片11・須恵器片2・軟質陶器片1		183		164
13	Oo-84	楕円形	54×46×18		53号ピットに近接	183		164
14	Or-86	ほぼ円形	88×84×62	土師器片28・須恵器片13	12号溝と重複	183	154	164・203
15	Or-86	円形	74×72×52		12号溝と重複	183		164
16	Ma-81・82	楕円形	334×254×128	土師器片8・須恵器片4・軟質陶器片2・陶磁器片4		211	154	164・203
17	Om・Oo-85	楕円形	50×42×10			183		164
18	Oq-83	円形か	78×(48)×40	土師器片1・須恵器片1		183		164
19	Oq-83・84	不整形	(90)×84×18	土師器片1		183		165
20	Os・Oo-84・85	円形	172×180×100	土師器片27・須恵器片25・灰輪陶器片2	8号溝と重複	183		165
21	Oo-84・85	楕円形	114×(64)×70	土師器片121・須恵器片138・灰輪陶器片1		183	154	165・203
22	Ik-85・86	楕円形	60×54×34	土師器片1		184		165
23	Jj-86	円形	54×52×40	土師器片4		184		165
24	Jj-85	楕円形	90×76×54	土師器片4・須恵器片1・軟質陶器片1		184		165
25	Oy-84	楕円形	80×68×46	土師器片34・須恵器片12・軟質陶器片1		184	154	165・203
27	Oy-86・87	楕円形	86×74×40	須恵器片3・灰輪陶器片1		184	155	165・204
28	Or-85	円形	102×102×50	土師器片13・須恵器片8		184		166
29	Oh・Oo-85	円形	136×134×54	土師器片25・須恵器片11		184		166
30	Og・Oh-84	円形	92×84×20	土師器片3		184		166
31	Og・Oh-84	円形	58×60×32	土師器片6・須恵器片2		184		166
32	Og-84	楕円形	72×68×32	土師器片27・須恵器片3	20号溝と重複	184		166
33	Oh-85	円形	58×60×32			184		166
34	Og-83・84	楕円形	60×50×20			184		166
35	Og-85	円形	66×60×28	土師器片5・須恵器片3		184		166
36	Og-85	楕円形	52×48×26	土師器片3		184		167
37	Og-84	方形	36×28×12			184		167
38	Or-84	方形	56×50×18			184	155	167・203
39	Of-84	隅丸方形	90×88×44			201		167
40	Oo・Of-85	長方形	268×106×32	土師器片32・須恵器片2	22号溝と重複	185	155	167・204
41	Of-84	隅丸長方形	252×70×20			185		167
42	Og-87	円形	200×180×60	土師器片41・須恵器片12		185	155	167・204
43	Oo-86	円形	120×110×40	土師器片9・須恵器片7		185		167
44	Og-87・88	円形	112×108×68	土師器片23・須恵器片2		185		168
45	Oh-86	円形	104×108×64	土師器片23・須恵器片16	46号土坑と重複	185		168
46	Oh-86	楕円形	82×60×26		45号土坑と重複	185		168
48	Of・Og-83	楕円形	186×132×22	土師器片32・須恵器片3		185		168

(2) 土坑・ピット

土坑一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
50	Om-85・86	円形	82×65×35		13号住居と重複	第173図		168
51	Om-84	楕円形	84×68×54	土師器片14・須恵器片1			185	168
52	Om-84	楕円形	100×82×50	土師器片6	20号住居と重複		178	159
53	Om-85	円形	72×72×68	土師器片30・須恵器片12			185 第156図	168・204
54	Om-78・79	楕円形	90×65×35	土師器片9・須恵器片1	22号住居と重複		179	160
59	Om-81	楕円形	80×60×22	土師器41・須恵器片4			185	168

ピット一覧表

番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物(未掲載遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Om-73	円形	28×30×12		2号ピットに近接	第186図		169
2	Om-73	円形	28×30×28	土師器片1	1号ピットに近接			169
3	Om-73	円形	30×28×22				186	169
4	Om-73	楕円形	30×26×12		47号ピットに近接		186	169
5	Om-73	楕円形	30×22×38				186	169
6	Om-73	楕円形	30×24×12		7号ピットに近接		186	169
7	Om-73	楕円形	28×22×14		6号ピットに近接		186	169
8	Om-73	楕円形	30×26×12				186	169
9	Om-74	円形	28×28×10	土師器片1			186	169
10	Om-76・77	円形	26×24×16		11号ピットに近接		182	169
11	Om-76・77	円形	22×22×24	土師器片2			182	169
12	Om-76	円形	22×20×12				186	169
13	Om-76・77	楕円形	32×28×4	土師器片1			182	169
14	Om-76	楕円形	39×32×40	土師器片2			182	169
15	Om-77	楕円形	28×20×12		6号ピットに近接		182	169
16	Om-76	円形	22×22×22		6号ピットに近接		182	169
17	Om-76	円形	26×26×24	土師器片1・須恵器片2			182	169
18	Om-76	円形	26×24×10	土師器片2・須恵器片2			182	169
19	Om-76	円形	36×36×14	土師器片1	5号ピットに近接	第157図	182	169・204
20	Om-76	円形	24×22×50	土師器片3・須恵器片2	7号土坑と重複		182	169
21	Om-77	円形	24×24×24				182	169
22	Om-76・77	円形	38×38×28				182	169
23	Om-77	円形	26×22×22		1号溝に近接		182	169
24	Om-76	円形	28×28×30				182	169
25	Om-76	円形	22×18×12				182	169
26	Op-76	円形	36×36×22				186	169
27	Om-75	円形	36×32×28				186	169
28	Om-76	円形	24×26×18				186	169
29	Om-76	不整形	28×28×14				186	170
30A	Om-76	円形	20×22×10				186	170
30B	Om-76	円形	24×24×16				186	170
31	Om-76	円形	28×30×28				186	170
32	Om-76	円形	36×38×6				186	170
33	Om-76	楕円形	22×18×4				186	170
34	Om-76	不整形	38×38×10				186	170
35	Om-76	横丸方形	32×24×24				186	170
36	Om-76	楕円形	34×26×24				186	170
37	Om-76	円形	22×22×10	土師器片1・須恵器片1			186	170
38	Om-76	円形	26×26×26				186	170
39	Om-76	円形	30×32×20				186	170
40	Om-76	円形	30×28×52				186	170
41	Om-76	円形	20×18×28				186	170
42	Om-76	楕円形	22×18×42		7号土坑に近接		182	170
43	Om-76	楕円形	26×22×38	土師器片5			186	170
44	Om-76	不整形	60×36×24				186	143
45	Om-76	楕円形	36×28×36				186	170
46	Om-73	円形	36×24×8				187	170
47	Om-73	円形	24×24×8				186	170
48	Om-85	円形	22×24×8	土師器片1			187	170
49	Om-84	楕円形	36×34×6				187	
50	Om-84	楕円形	24×22×6				187	
51	Om-84	円形	32×30×8				187	

第5章 VI区 検出の遺構

ピット一覧表

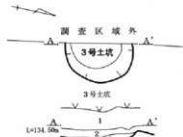
番号	位置	形状	長径×短径×深さ(cm)	出土遺物(未記載遺物の点数)	備考	遺構図取	遺物図取	写真図取
52	Om-84	円形	22×22×14	須恵器片1		第187図		
53	Om-84	円形	24×24×18		13号土坑に近接	183		170
54	Om-84	円形	24×24×14			187		170
55	Om-84	円形	18×18×14			187		
56	Om-84	円形	28×28×16			187		170
57	Om-85	円形	26×24×14	須恵器片2		187		170
58	Om-85	円形	26×24×10	土師器片3・須恵器片2		187		170
59	Om-85	円形	30×28×14			187		170
60	Om-85	楕円形	28×24×18			187		170
61	Om-84	円形	26×22×18			187		
62	Om-84	楕円形	28×24×18			187		170
63	Om-85	円形	30×30×20			187		170
64	Om-84-85	楕円形	30×24×16			187		170
65	Om-85	円形	34×36×16			187		170
66	Om-85	円形	20×18×8			187		170
67	Om-84	円形	24×24×4			187		170
68	Om-84	円形	28×26×10			187		
69	Om-84	隅丸方形	34×36×16		13号土坑に近接	183		170
70	Om-85	円形	30×28×16			187		170
71	Om-85	円形	28×26×6			187		170
72	Om-85	楕円形	38×32×18			187		170
73	Om-83	不整形	(55)×(40)	灰輪陶器片1・須恵器片1	6号住居と重複	168		170
74	Om-84	楕円形	14×12×8			187		170
75	Og-84	円形	38×36×20	土師器片9		187		
76	Ok-84	楕円形	32×25×13				第157図	204
81	Ik-85	楕円形	42×34×50	須恵器片1・土師器片2	82号ピットと重複	188		170
82	Ik-85	楕円形	40×40×10		81号ピットと重複	188		170
83	Il・Ik-85	不整形	(38)×(26)×(20)	土師器片2	84号ピットと重複	188		170
84	Il・Ik-85	楕円形	70×60×18	土師器片1	83号ピットと重複	188		170
85	Oj-85	楕円形	84×42×24		86号ピットと重複	188		170
86	Oj-85	楕円形	84×42×24	土師器片2	85号ピットと重複	188		170
87	Oj-85	円形	44×44×32	土師器片1・須恵器片1	88号ピットと重複	188		171
88	Oj-85	楕円形	(44)×34×26		87号ピットと重複	188		171
89	Oj-85	楕円形	62×40×24	土師器片2・須恵器片1		188		171
90	Oj-84	円形	42×38×34	土師器片1・須恵器片1		188		171
91	Oj-86・85	隅丸方形	48×46×32	土師器片6・須恵器片1		188		171
92	Ik-85	不整形	64×52×20	土師器片2		188		171
93	Oi-85	円形	32×32×18			188		171
94	Og-84	円形	40×38×26			188		171
95	Oh-85	円形	36×34×12			188		171
96	Og-84	円形	24×24×4	土師器片5・灰輪陶器片1		188		171
97	Og-85	楕円形	(36)×34×10	土師器片4	98号ピットと重複	189		171
98	Og-85	楕円形	46×38×20	土師器片5	97号ピットと重複	189		171
99	Og-85	方形	38×38×30	土師器片2		189		171
100	Og-84	円形	26×26×8			189		171
101	Oj-86	円形	34×32×50	土師器片1	91号ピットに近接	188		171
102	Og-85	円形	28×28×16	土師器片2	96号土坑に近接	189		171
103	Og-84	楕円形	38×24×18			189		171
104	Of-84	楕円形	50×38×16		21号溝に近接	189		172
105	Of-84	方形	40×38×24			189		172
106	Of-85	円形	28×28×18	土師器片1		189		
107	Of-85	方形	40×38×28	土師器片5・須恵器片1		189		
119	Of-85	円形	34×34×28	土師器片2		189		172
120	Of-85	楕円形	28×24×26			189		172
121	Of-86	円形	24×24×28	土師器片1・須恵器片1		189		172
122	Of-86	円形	24×22×24			189		172
123	Of-86	方形	24×22×24			189		172

(2) 土坑・ピット



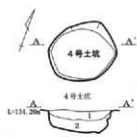
2号土坑 A-A'

- 1 黄褐色土層 地山を多量に含む。
2 黒色土層 硬く締まる。白色粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。



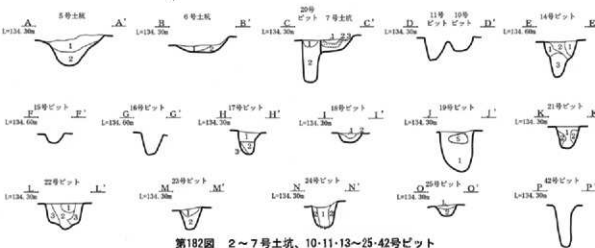
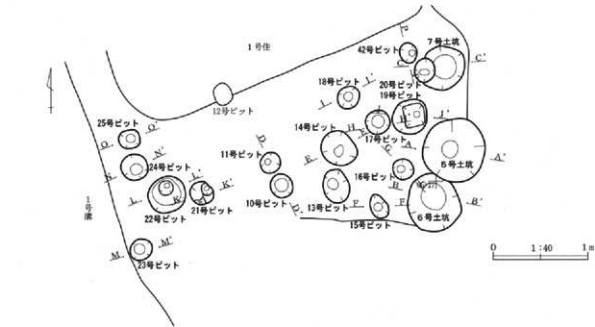
3号土坑 A-A'

- 1 現水田耕作土
2 酸化鉄分層
3 黒色土層 軟らかい。白色粒子、黄褐色土粒子を含む。



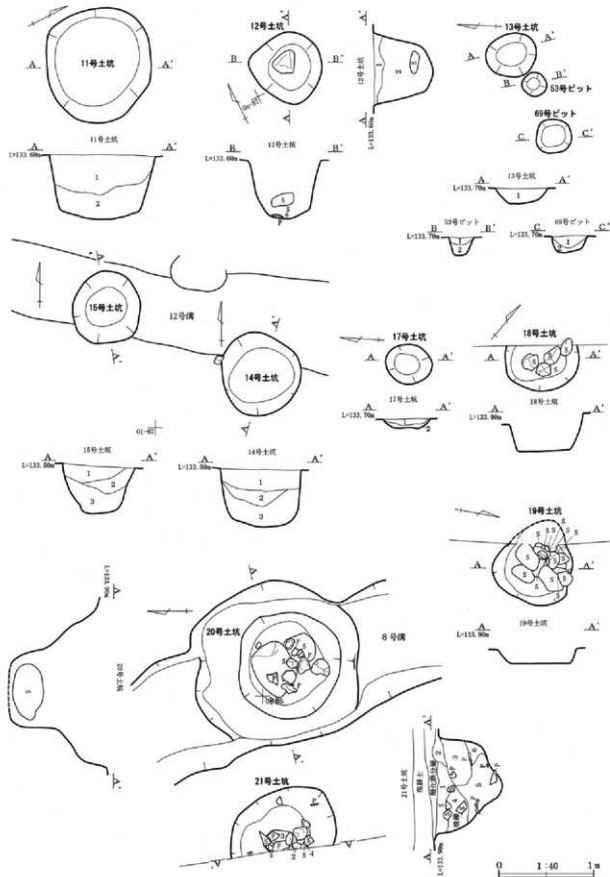
4号土坑 A-A'

- 1 灰色砂質土層 白色粒子、黄褐色土粒子を含む。
2 灰褐色土層 軟らかい。



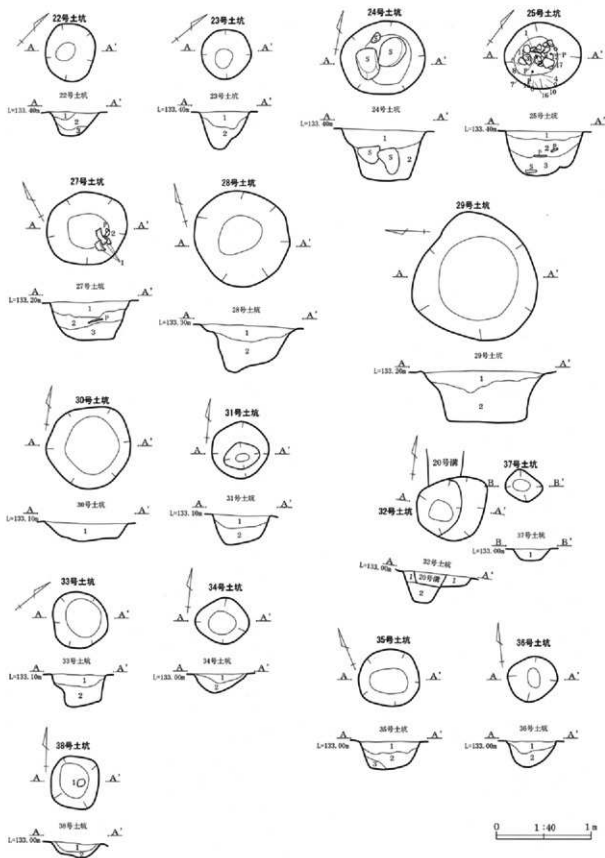
第182図 2～7号土坑、10・11・13～25・42号ピット

第5章 Ⅵ区 検出の遺構



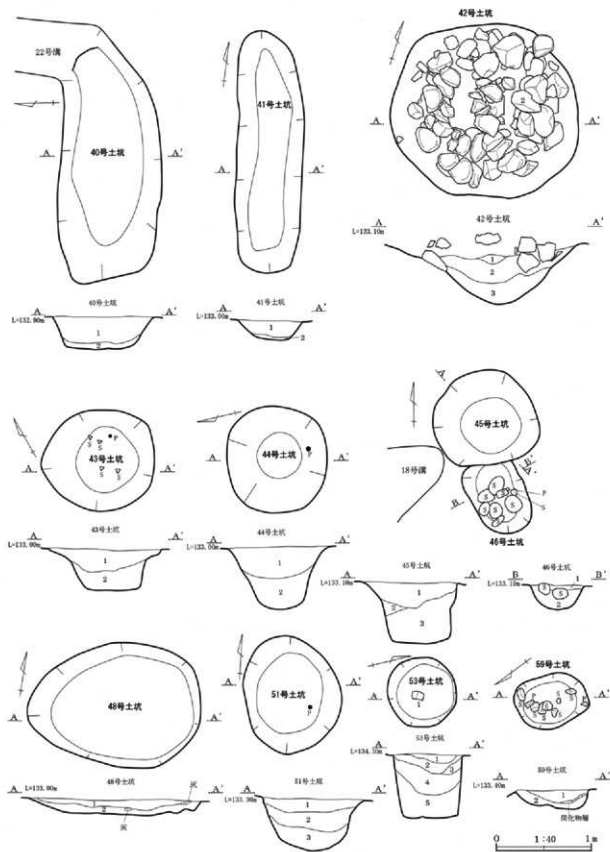
第183図 11~15・17~21号土坑、53・69号ピット

- 5号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 炭化物粒子、焼土粒子、地山粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。地山粒子。As-C・Hr-FAを含む。
- 6号土坑 B-B'
 1 暗褐色土層 炭化物粒子、焼土粒子、地山粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。地山粒子。As-C・Hr-FAを含む。
- 20号ピット C-C'
 1 暗褐色土層 灰白色土、焼土粒子、炭化物粒子、灰白色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 地山に灰白色土を多量に含む。
- 7号土坑 C-C'
 1 暗褐色土層 炭化物、白色粒子、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 灰層
 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。
- 14号ピット E-E'
 1 暗褐色土層 灰白色土を多量に含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。白色粒子、炭化物粒子、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
 3 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 17号ピット H-H'
 1 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。炭化物を含む。
 3 暗褐色土層 地山を多量に含む。粘性あり。
- 18号ピット I-I'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、炭化物を含む。
 2 暗褐色土層 灰白色土を含む。
- 19号ピット J-J'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-FA、炭化物を含む。
- 21号ピット K-K'
 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、白色粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。地山の灰白色土を多量に含む。
- 22号ピット L-L'
 1 暗褐色土層 やや締まる。白色粒子、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、灰白色土ブロックを含む。
 3 暗褐色土層 粘性あり。地山を多量に含む。
- 23~25号ピット M-O-M'~O'
 1 暗褐色土層 白色土粒子、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を含む。
- 11-12号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 軟らかくてサラサラしている。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。1層より暗い色調で黄褐色土粒子を含む。
- 13号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 53-69号ピット B-B' C-C'
 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 14-15号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 軟らかくサラサラしている。黒色土ブロック、白色粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくサラサラしている。As-C・Hr-FAを含む。
 3 暗褐色土層 1・2層よりやや硬い。
- 17号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 22号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含み、やや硬い。
 2 黄褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含み、軟らかい。
 3 暗褐色土層 軟らかい。
- 21号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 やや砂質。
 2 黒色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
 3 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、褐色粒子を含む。
- 4 灰白色砂質土層
 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 6 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。As-C・Hr-FAを少量含む。
- 23-24号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。
- 25号土坑 A-A'
 23号土坑1・2と同じ。
 3 黒褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 27号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 軟らかくサラサラしている。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性少しあり。炭化物を含む。
 3 暗褐色土層 1・2層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。
- 28号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。
- 29号土坑 A-A'
 1 褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 30号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 As-B?、炭化物を多量に含む。
- 31号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。1層より層入物少ない。
- 32号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 軟らかくて締まり良い。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 33号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子、灰白色土粒子を含む。
- 34号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 33号土坑の1と同じ。
 2 暗褐色土層 33号土坑の2と同じ。
- 35号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子を含む。
 3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。
- 36-38号土坑 A-A'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子を含む。
- 37号土坑 B-B'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。



第184図 22~25・27~38号土坑

(2) 土坑・ピット



第185図 40~46・48・51・53・59号土坑

第5章 Ⅵ区 検出の遺構

40-41号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。As・C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子灰白色土ブロックを含む。

42号土坑 A-A'

- 1 灰色土層 粘性あり。
- 2 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 3 灰色土層 軟らかくて粘性あり。

43号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。As・C・Hr-FAを含む。
- 2 灰褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。

44号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まる。炭化物粒子、焼土粒子、As・C・Hr-FAを含む。
- 2 灰褐色土層 1層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。

45号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 黄褐色粒子、As・C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層
- 3 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。

46号土坑 A-A'

- 1 茶褐色土層 軟らかい。
- 2 灰褐色土層 軟らかい。

48号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 As・C・Hr-FA、灰を多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より暗い色調。灰、黄褐色土粒子、As・C・Hr-FAを少量含む。

51号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 黄褐色土ブロック粒子、As・C・Hr-FA、炭化物粒子を多量を含む。
- 3 暗褐色土層 粘性非常にある。黄褐色土粒子を含む。

53号土坑 A-A'

- 1 黒褐色土層 As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FAを少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。粘性あまりない。As・C・Hr-FAを少量含む。
- 5 暗褐色土層 4層より暗い色調。軟らかくて粘性あり。

59号土坑 A-A'

- 1 暗褐色土層 締まりよい。炭化物、黄褐色土粒子を少量含む。
- 2 暗褐色土層 1層より明るい色調。炭化物、黄褐色土を少量含む。

1・4・6号ピット

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、白色粒子を多量に含む。
- 2 灰褐色土層 黄褐色土ブロックを多量に含む。

2・5号ピット

- 1 号ピットの1・2と同じ。
- 2 黄褐色土層 地山を多量に混入。
- 4 暗褐色土層 黄褐色土粒子を含む。

3・7号ピット

- 1 暗褐色土層 黄褐色土粒子、白色粒子、As・C・Hr-FAを多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As・C・Hr-FA (FP?) を少量含む。

47号ピット C-C'

- 1 黄褐色土層 地山を多量に含む。
- 2 黒色土層 軟らかい。黄褐色土粒子、白色粒子を含む。

8・9号ピット

- 1 灰褐色土層 黄褐色土粒子を含む。
- 2 黒色土層 黄褐色土粒子を含む。

26号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 地山の灰白色土ブロックを多量に含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかい。地山を多量に含む。

27号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。白色土粒子、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 暗砂質土層 軟らかくサラサラしている。
- 3 暗褐色土層 粘性あり。軟らかい。地山の灰白色土ブロックを多量に含む。

12号ピット A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As・C・Hr-FA、炭化物を含む。

28号ピット B-B'

- 1 黒褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、灰白色土ブロックを含む。

29号ピット C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰ブロック、黄褐色土ブロック、As・C・Hr-FAを含む。

30A号ピット 32-33号ピット D-D' F-F' 6-6' K-K'

- 1 暗褐色土層 地山の灰白色土、黄褐色土を多量に含む。

30B号ピット 35-39号ピット D-D' I-I' M-M'

- 1 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。

31号ピット E-E'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、白色粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。黄褐色土粒子を少量含む。

34号ピット H-H'

- 1 30Aピット1に同じ。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロックを多量に含む。

36号ピット J-J'

- 1 30A号ピット1に同じ。
- 2 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。地山の白色土を多量に含む。

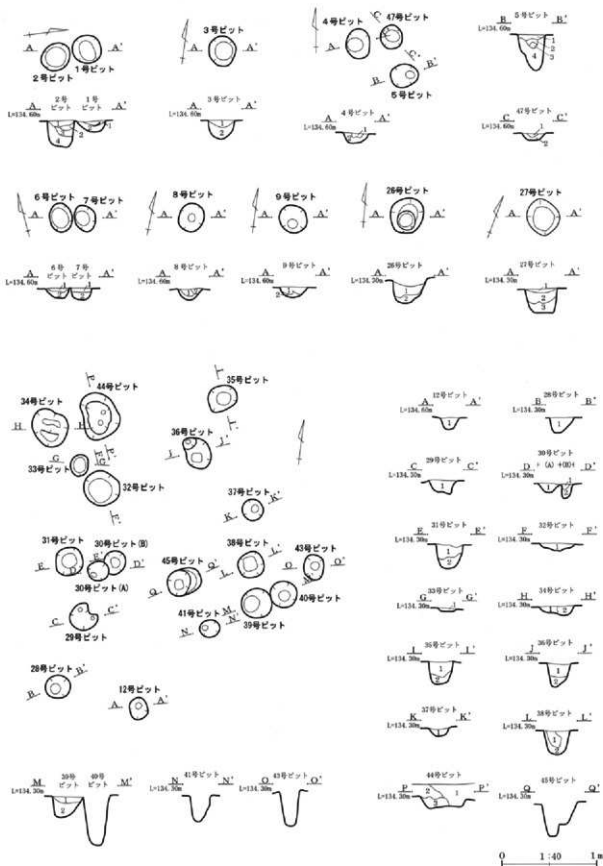
38号ピット L-L'

- 1 灰褐色土層 地山の灰白色土を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを含む。

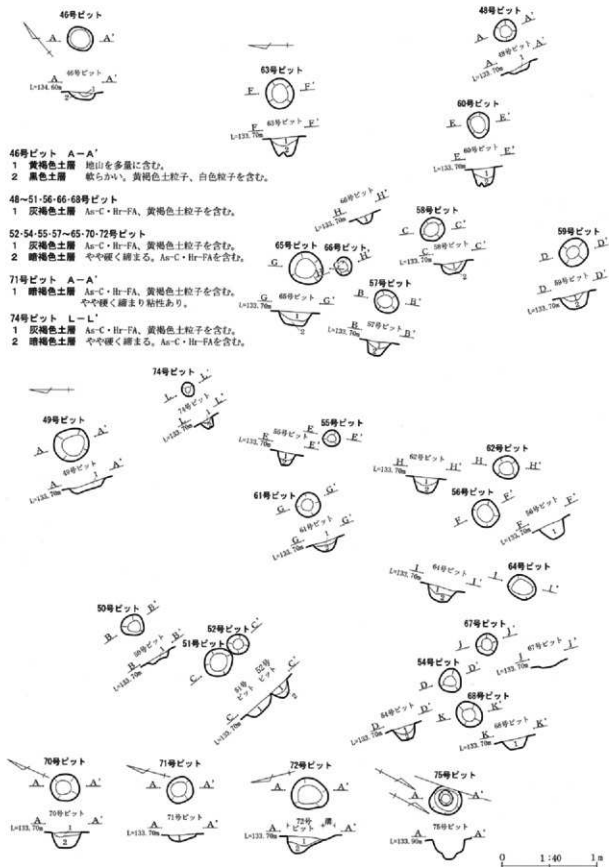
44号ピット P-P'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、白色粒子、黄褐色土粒子を多量に、焼土粒子を少量含む。
- 2 黒褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、黄褐色土粒子、灰白色土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr-FA、白色粒子を多量に、灰白色土ブロックを含む。

(2) 土坑・ピット



第186図 1~9・12・26~41・43~45・47号ピット



第187図 46-48~52-54~68-70~72-74-75号ビット

(2) 土坑・ピット

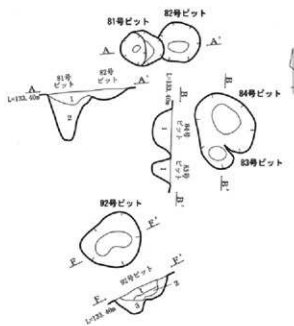
82~84号ピット A-A' B-B'

1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物を少量含む。

81-87~89-91-101号ピット A-A' C-E-C' ~E' G-G'

1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物を少量含む。

2 灰褐色土層 1層より粘性があり硬い。



90・92号ピット A-A' F-F'

1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、炭化物を少量含む。

2 灰褐色土層 1層より粘性があり硬い。

3 灰褐色土層 軟らかい。1層に比べ黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。

85号ピット A-A'

1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

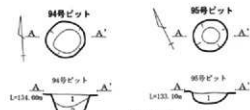
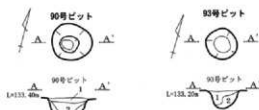
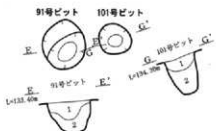
2 灰褐色土層 1層より軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を少量含む。

86号ピット A-A'

1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

2 黒褐色土層 硬く締まる。黄褐色土ブロック、As-C・Hr-FAを含む。

3 灰褐色土層 軟らかい。1層に比べ黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。



95号ピット A-A'

1 灰褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。

96号ピット A-A'

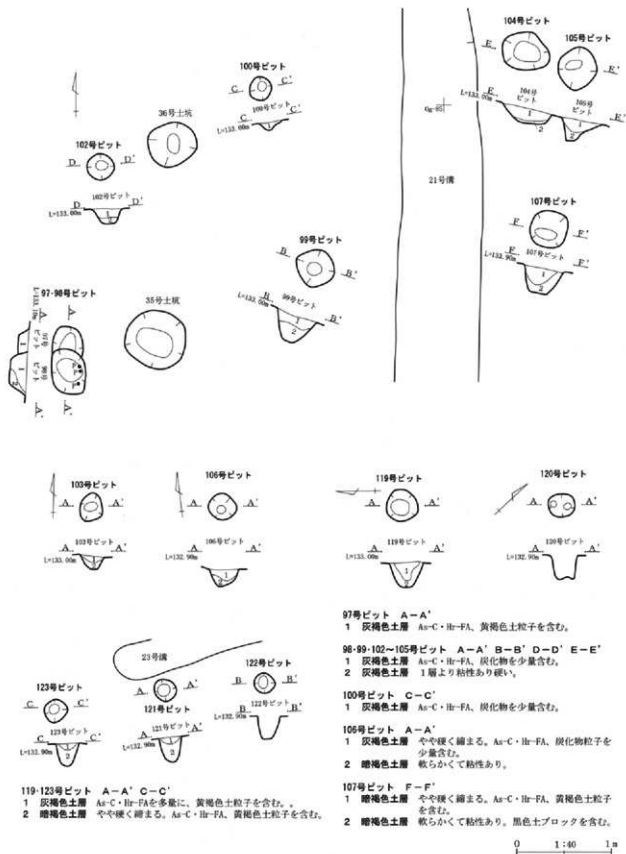
1 灰褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。

93-94号ピット A-A'

1 灰褐色土層 軟らかい。
2 黒褐色土層 軟らかい。黄褐色土ブロックを含む。

0 1:40 1m

第188図 81~96・101号ピット



第189図 97~100-102~107-119~123号ビット

(3) 溝

Ⅳ区・Ⅵ区・Ⅶ区では、合計72条の溝が検出された。記載するのは、その内の56条である。それぞれの溝については、方向と位置、個々の溝の形態、埋没土と出土遺物とに留意しながら、分類・記述してゆく。

検出された溝群の中には、埋没土と出土遺物からみて、中世（主に15世紀頃）の溝と考えられる一群がある。それらの溝群は、同一方向の直線を呈している。それらは2つの方向があり、互いに直行し合う関係にある。つまり、方形の区画を指向したものと考えられる。

本遺跡の位置は榛名山の南東域にあたり、北西方向から南東方向に向かって傾斜している。遺跡の北にある染谷川も北西から南東方向に流れている。本遺跡の調査区の区割で言えば、西側のⅣ区が一番標

高が高く、東に向かってⅥ区、Ⅶ区、Ⅳ区、Ⅲ区の順番に低く傾斜している。溝の記述については、Ⅳ区から行う方が自然であろう。

1. 走向が近似する溝による分類

ここでは走向が近似する溝群のまとまりごとに記述する。つまり、走向が方形を指向する中世の溝群を中心に記述する。中世の溝群は、 $N-10^{\circ}$ ～ 20° 、 $N-70^{\circ}$ ～ 80° 、 E の2つの走向を明確に示している。その溝群は、直角に交わるものと直角に折れるものがある。そこで、各区ごとに上に記したように中世の溝群を中心として下記の4つの走向に分類して記述する。

- (1) $N-10^{\circ}$ ～ 20° -W走向の溝
- (2) $N-70^{\circ}$ ～ 80° -E走向の溝
- (3) 直角方向に曲がる溝
- (4) その他の走向の溝

溝一覧表

番号	位置	長さ×幅×深さ(m)	出土遺物(未開軌遺物の点数)	備考	遺構図版	遺物図版	写真図版
1	Op-74-Oo-77	14.6×0.1-0.22×0.28-0.40			第190図		173
2	Oo-74-Oq-79	36.0×0.4-1.3×0.18-0.22			191	第158図	174・204
3	Oo-76-Oo-79	11.4×0.4-1.3×0.18-0.22			192		158・175・204
4	Oo-80-Oo-81	11.9×0.5-1.0×0.1-0.12			193	159	175・205
5	Om-74-Oo-76	13.5×0.3-0.7×0.08			191	159	176
6	Om-74-Oo-75	12.5×0.26-0.4×0.18			194		176
7	Oo-74-Oo-75	10.3×0.3-0.5×0.2			194		176
8	Oa-83-Oo-86	14.8×0.5-1.6×0.3			195	160	205
9	Oq-83-Oo-87	20.5×0.5-2.2×0.3			195	161	177・205
10	Oo-85-Oo-89	19.0×0.4-1.2×0.14			195	161	178・205
11	Oo-86-Oo-85	40.7×0.3-1.5×0.1			196	162	178・205
12	Oo-86-Oo-86	24.0×0.3-1.5×0.16			196	162	179・205
13	Og-87-Oo-89	21.6×0.3-0.7×0.1-0.24			197		179
14	Og-86-Oo-89	36.3×0.9-2.0×1.0-1.1	石田川土器片1		196	163-164	189-205-206
15	Oo-83-Oo-86	43.3×0.5-1.0×0.15-0.2			198	165	181・206
16	Oo-81-Oo-83	9.2×0.5-0.7×0.06-0.1			199	165	181・206
17	Oo-85-Oo-86	6.2×0.3-0.5×0.2			199		182
18	Oo-86-Oo-86	5.2×0.9×0.1			199		182
19	Oo-81-Oo-81	42.5×0.9-3.6×0.2-0.3			200	165-171	18-18-18-18
20	Og-83-Og-84	5.5×0.4-1.1×0.1			201	172	186・208
21	Og-84-Og-86	11.8×0.5-1.1×0.26			201	172-173	186・208
22	Oo-83-Oo-85	17.0×0.5-1.0×0.04-0.7			202		187
23	Oo-85-Oo-86	11.0×0.3-0.6×0.1			202		187
24	Og-87-Oo-88	30.0×0.4-0.9×0.3			203	174-175	188・208
25	Oo-87-Oo-89	13.0×0.02-0.4×0.11			204		189
26	Oo-86-Og-87	22.0×0.4-0.6×0.3			205	176	189・208
27	Og-85-Og-86	4.6×0.6-0.8×0.08			201		189
28	Oo-87-Og-88	8.6×0.2×0.06			206		190
29	Og-87-Og-88	5.4×0.03×0.04			206		190
31	Og-80-Oo-81	4.8×0.02-0.05×0.05			207		190
32	Oo-79	3.5×0.02-0.05×0.04			207		191
33	Oo-79	3.5×0.02-0.05×0.05			207		191
34	Og-80-Oo-81	11.0×1.7×0.16			207		
35	Oo-87-Oo-88	12.5×0.04-0.06×0.31			208		
38	Oo-79-Oo-Oo-81	17.5×0.09-4.3×0.2			208	177	191・209

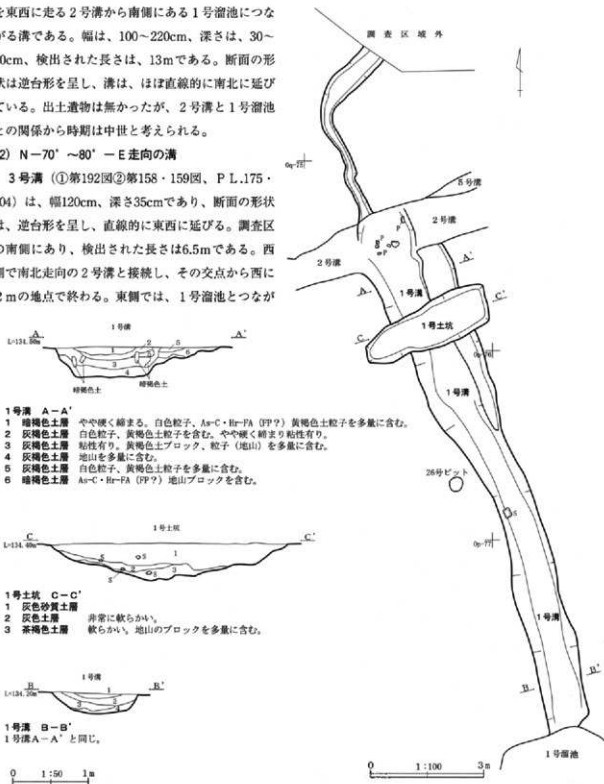
Ⅶ-1区

(1) N-10° ~ 20° -W走向の溝

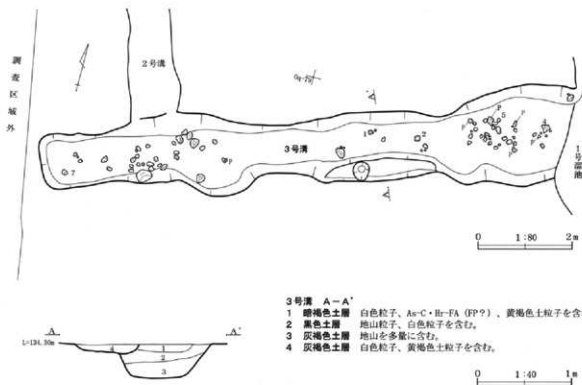
1号溝 (①第190図, P.L.173) は、調査区北側を東西に走る2号溝から南側にある1号溜池につながる溝である。幅は、100~220cm、深さは、30~40cm、検出された長さは、13mである。断面の形状は逆台形を呈し、溝は、ほぼ直線的に南北に伸びている。出土遺物は無かったが、2号溝と1号溜池との関係から時期は中世と考えられる。

(2) N-70° ~ 80° -E走向の溝

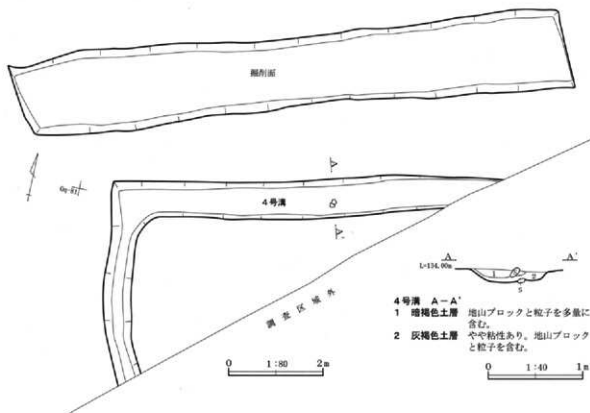
3号溝 (①第192図②第158・159図, P.L.175・204) は、幅120cm、深さ35cmであり、断面の形状は、逆台形を呈し、直線的に東西に伸びる。調査区の南側にあり、検出された長さは6.5mである。西側で南北走向の2号溝と接続し、その交点から西に2mの地点で終わる。東側では、1号溜池とつなが



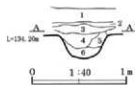
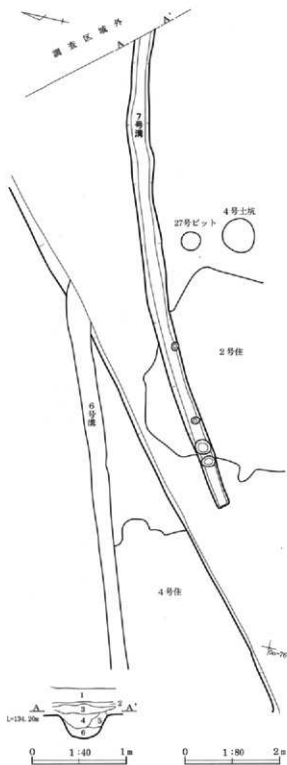
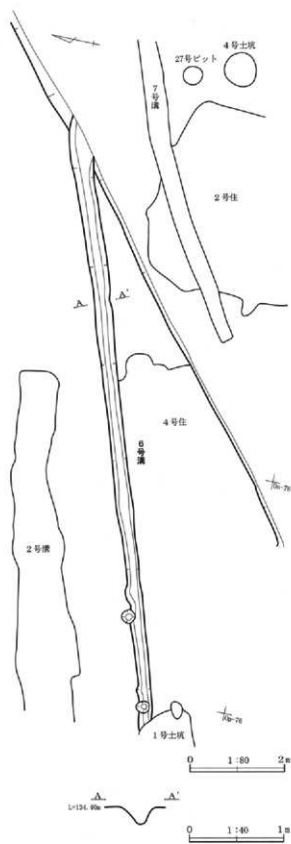
第190図 1号溝、1号土坑



第192図 3号溝

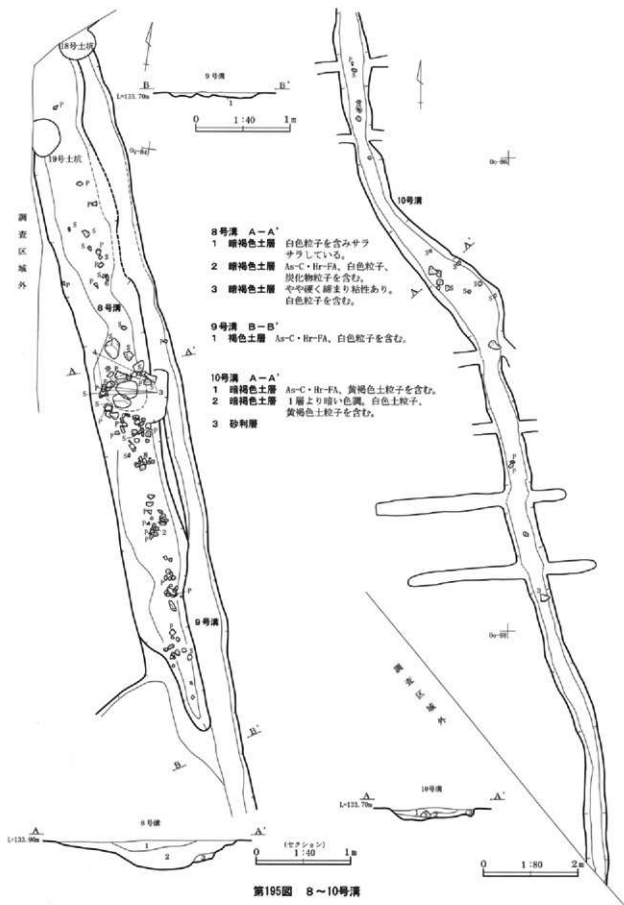


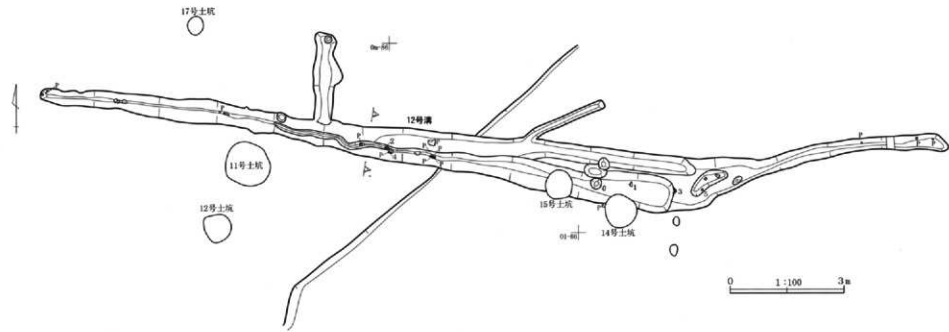
第193図 4号溝



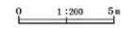
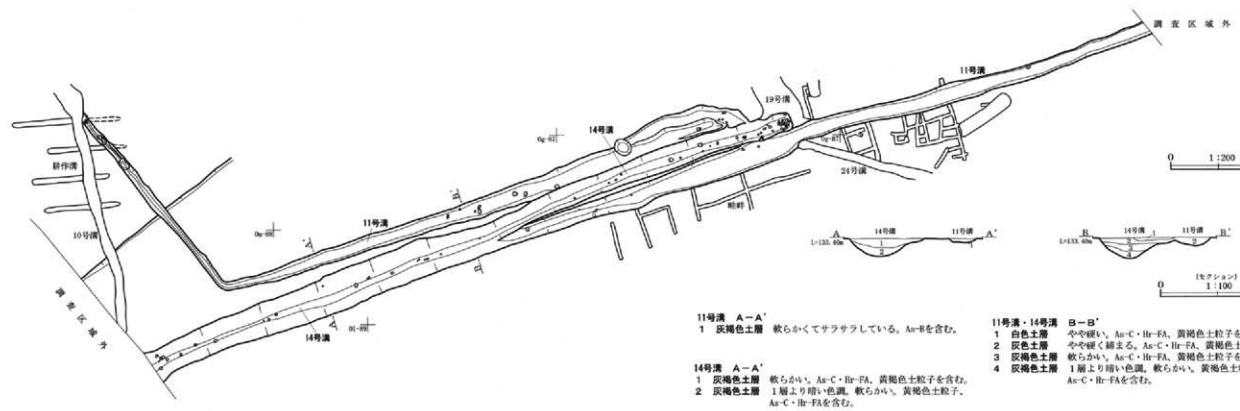
- 7号溝 A-A'
- 1 水田耕作土
 - 2 酸化鉄分層
 - 3 暗褐色土層 As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子を含む。
 - 4 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 - 5 暗褐色土層 白色粒子、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。
 - 6 灰褐色土層 黄褐色土粒子、白色粒子を多量に含む。

第194図 6・7号溝





12号溝 A-A'
 1 褐色土層 As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 0 1:50 1m

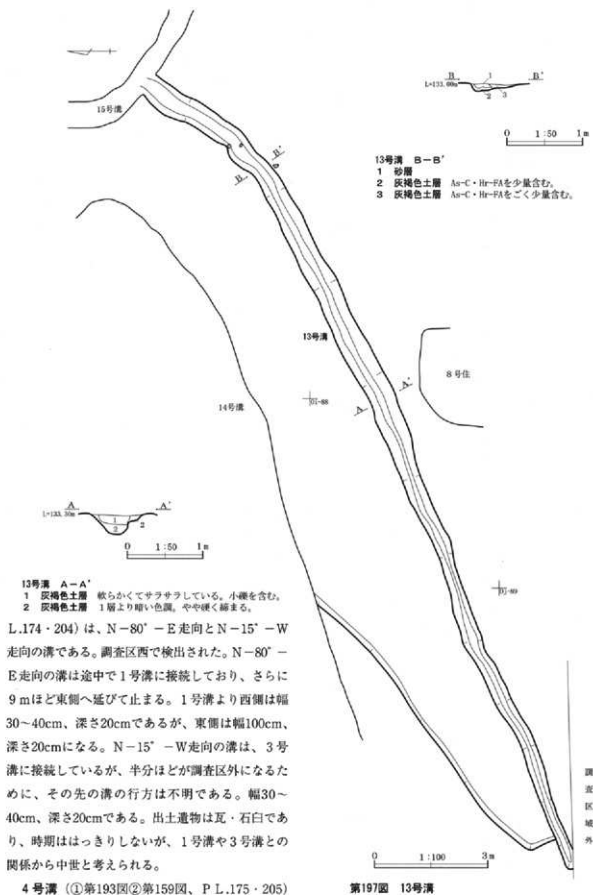


11号溝 A-A'
 1 灰褐色土層 軟らかくてサラサラしている。As-Bを含む。

14号溝 A-A'
 1 灰褐色土層 軟らかい、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 灰褐色土層 1層より暗い色調。軟らかい、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。

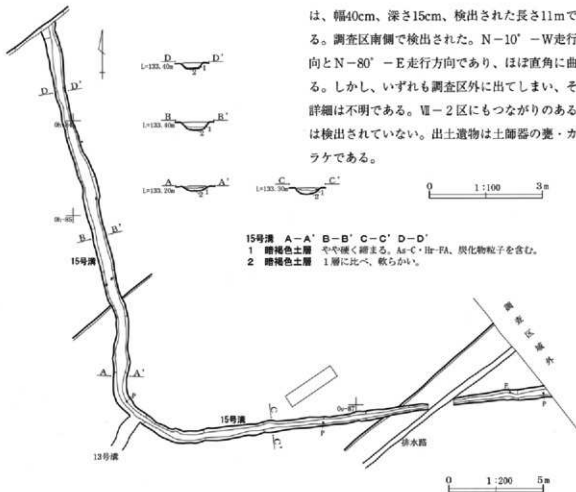
11号溝・14号溝 B-B'
 1 白色土層 やや硬い、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 2 灰色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 3 灰褐色土層 軟らかい、As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 4 灰褐色土層 1層より暗い色調。軟らかい、黄褐色土粒子、As-C・Hr-FAを含む。

第196図 11-12・14号溝



L.174・204) は、N-80°-E走向とN-15°-W走向の溝である。調査区西で検出された。N-80°-E走向の溝は途中で1号溝に接続しており、さらに9mほど東側へ延びて止まる。1号溝より西側は幅30~40cm、深さ20cmであるが、東側は幅100cm、深さ20cmになる。N-15°-W走向の溝は、3号溝に接続しているが、半分ほどが調査区外になるために、その先の溝の行方は不明である。幅30~40cm、深さ20cmである。出土遺物は瓦・石臼であり、時期ははっきりしないが、1号溝や3号溝との関係から中世と考えられる。

4号溝 (①第193図②第159図、P.L.175・205)



15号溝 A-A' B-B' C-C' D-D'
 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As・C・Hr・FA、炭化物粒子を含む。
 2 暗褐色土層 1層に比べ、軟らかい。

第198図 15号溝

Ⅶ-2区

(1) N-10° ~ 20° -Wの方向の溝

8号溝 (①第195図②第160図、P L.205) は、幅200cm、深さ30cm、検出された長さ15mである。調査区西で検出された。9号溝を重なるように壊している。北側と南側は調査区外に延びる。出土遺物は、須恵器の坏・埴・壺、瓦丸、石臼である。

9号溝 (①第195図②第161図、P L.177・205) は、幅100cm、深さ10cm、検出された長さ20mである。調査区西で検出された。北と南は調査区外になる。8号溝に壊されている。出土遺物は丸柄だけであり、詳細は不明である。

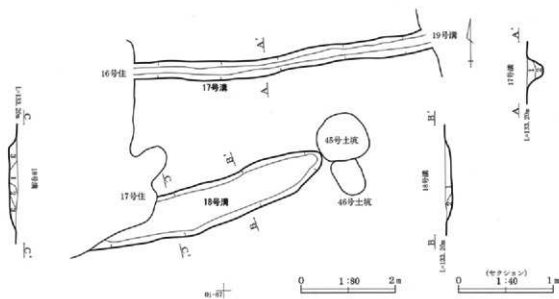
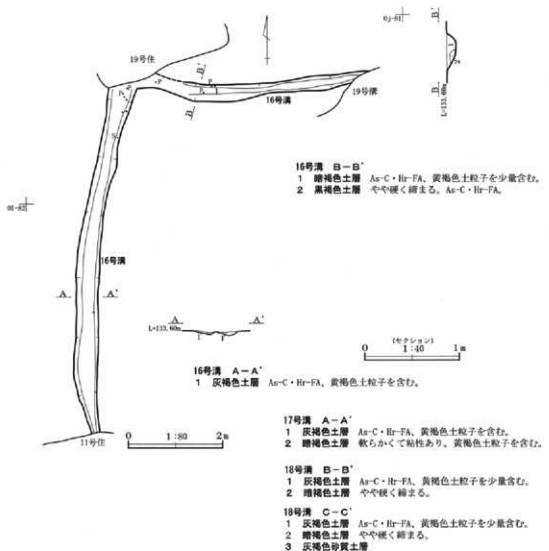
10号溝 (①第195図②第161図、P L.178・205) は、幅100cm、深さ10cm、検出された長さ20mである。調査区西で検出された。南側は調査区外となるが、2号溜池から蛇行しながら14号溝に続くと推

は、幅40cm、深さ15cm、検出された長さ11mである。調査区南側で検出された。N-10° -W走行方向とN-80° -E走行方向であり、ほぼ直角に曲がる。しかし、いずれも調査区外に出てしまい、その詳細は不明である。Ⅶ-2区にもつながりのある溝は検出されていない。出土遺物は土師器の甕・カワラケである。

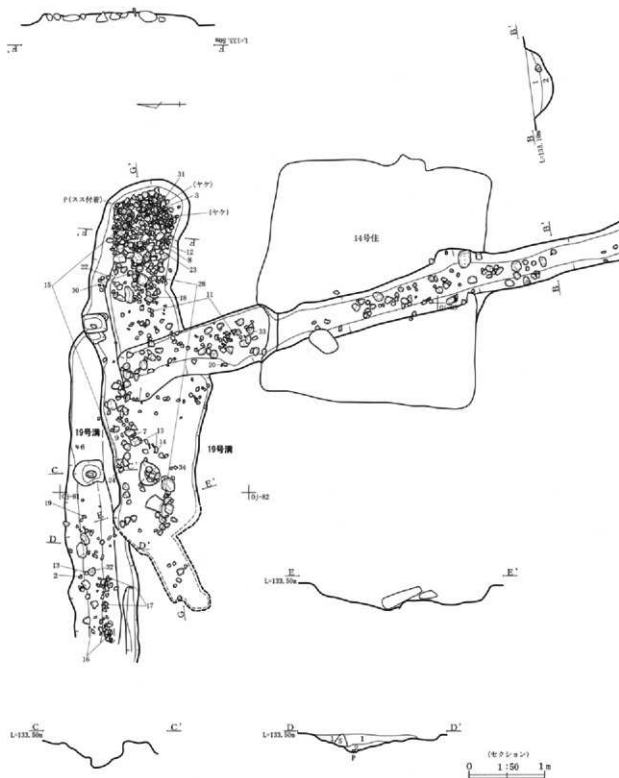
定される。出土遺物は須恵器の蓋・短頸壺、軟質陶器播り鉢であり、時期は中世と考えられる。埋没土の底に砂利層がある。2号溜池と14号溝をつなぐ水路であろう。

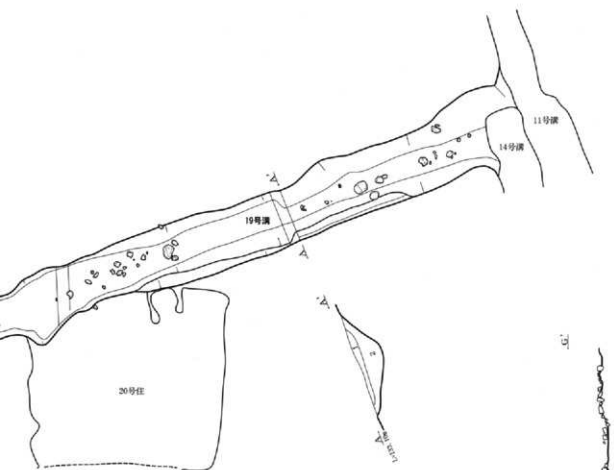
19号溝 (①第200図②第166~171、P L.183~185・206~208) は、幅100~150cm、深さ60cmである。調査区東側で検出された。北の石の集積部分から14号溝につながり、石の集積部分からは31号溝が延びている。石の集積部分は長さ11m、幅2.5m、深さ0.5mであり、ここに水を溜めた様子が伺える。溜井の可能性も考えられる。19号溝は全体を通して、至る所に礫があり、明らかに水路といえよう。出土遺物は、須恵器の埴・壺・甕、多くの軟質陶器内耳鍋や播り鉢、砥石・石鉢・茶臼・石臼・磨石・凹石等があり、時期は14世紀末から15世紀と考えられる。

20号溝 (①第201図②第172図、P L.186・208)



第199図 16~18号溝

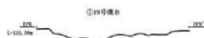




19号溝 A-A' B-B' D-D'

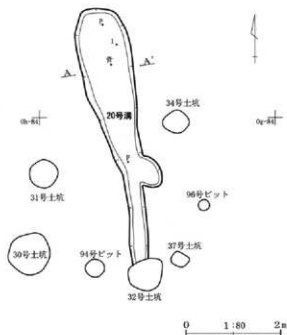
1 灰褐色土層 As-C・If-Fa, 黄褐色土粒子, 炭化物粒子を含む。

2 灰褐色土層 1層より暗い色調, As-C・If-Fa, 黄褐色土粒子, 炭化物粒子を含む。



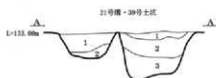
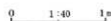
第200図 19号溝

第5章 VI区 検出の遺構



20号溝 A-A'

- 1 灰褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、粘土粒子を含む。



21号溝 A-A'

- 1 暗褐色砂質土層 砂利を多量に含む。
2 灰褐色土層 軟らかくて非常に粘性あり。

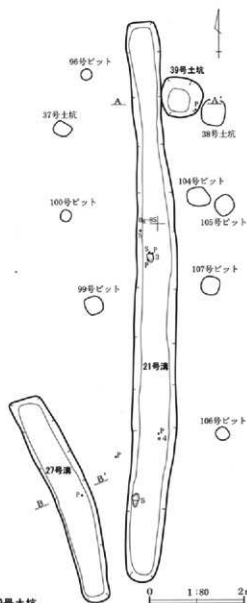
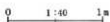
39号土坑 A-A'

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子を含む。
3 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。



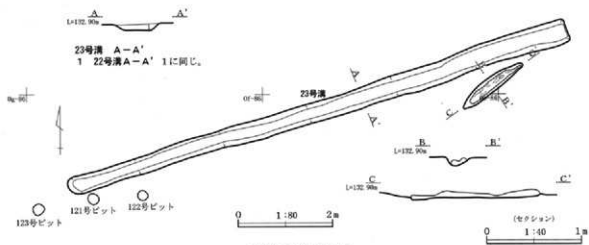
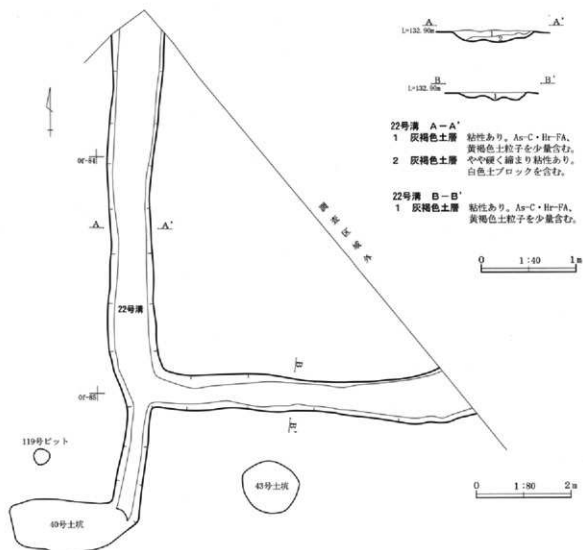
27号溝 B-B'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土ブロックを多量に含む。



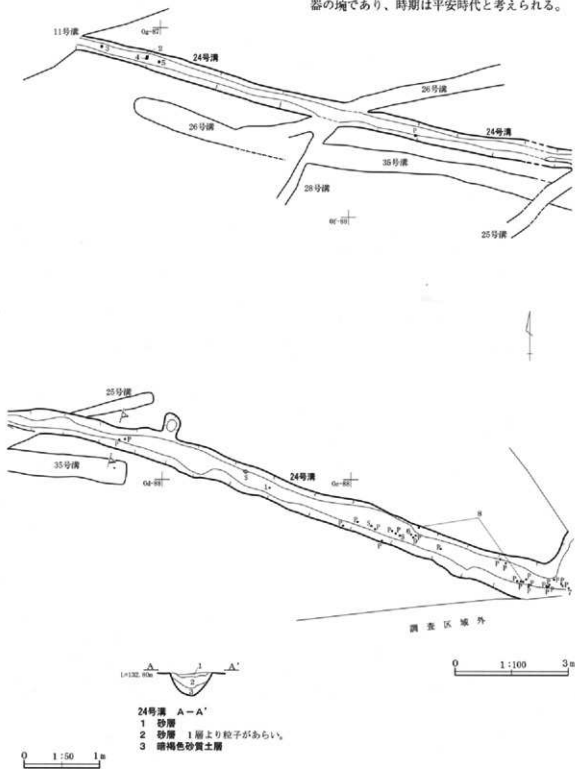
第201図 20・21・27号溝、39号土坑

(3) 溝

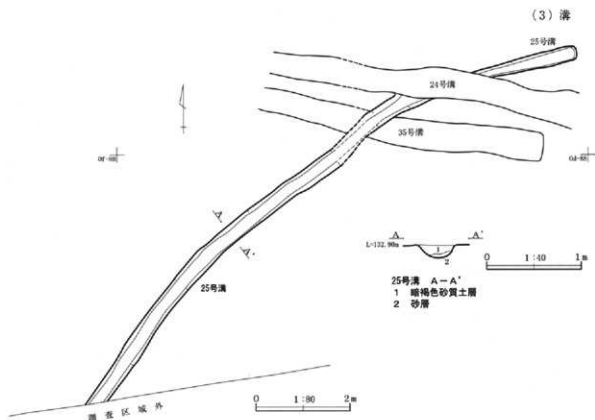


第202図 22-23号溝

は、幅100cm、深さ10cm、検出された長さは5mである。調査区東側で検出された。出土遺物は須恵器の埴であり、時期は平安時代と考えられる。



第203図 24号溝



31号溝 ①第207図、P L.190)は、幅30~40cm、深さ10cm、検出された長さは4mである。調査区北東側で検出された。19号溝の石集積部に接続して、そこから2m北上し(N-15°-W)、東方向(N-75°-E)に直角に曲がり、34号溝と重複している。出土遺物は無いが、19号溝と34号溝との関係から時期は中世と考えられる。

32号溝 ①第207図、P L.191)は、幅50cm、深さ10cm、検出された長さは3mである。調査区北東側で検出された。北方向に延び調査区外となる。出土遺物は無し。

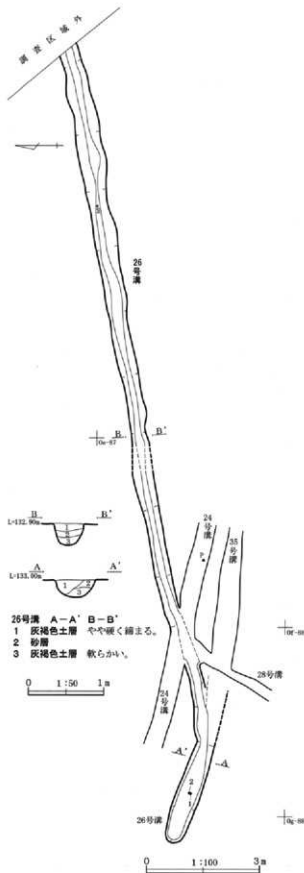
33号溝 ①第207図、P L.191)は、幅40cm、深さ10cm、検出された長さは5.4mであり、32号溝と同様に北方向に延びて調査区外となる。32号溝のすぐ西側にある。出土遺物は無し。32号溝と平行している。また、34号溝とも同方向である。

34号溝 ①第207図)は、幅120~170cm、深さ15~40cm、32号溝・33号溝と平行して北に延びている。この溝は、調査区の東端で検出され、VI-2区

西側をかすめるようにして延び、さらにVI-1区の中央を北上する。VI-1区の南側には石の集積があり、また、埋没土には砂層の存在も認められることから、この溝は水路であると考えられる。北側のVI-1区からVI-2区・VII-2区を通して推定約43mの長さになる。溝の南側でやや膨らみを持つ部分があり、砂礫等もあることからここは水を溜める施設があったとも想定される。出土遺物は、軟質陶器の内耳鍋・摺り鉢、茶臼・石鉢・磨石・凹石であり、時期は15世紀と考えられる。

38号溝 ①第208図②第177図、P L.191・209)は、調査区の北側で検出された。幅100~150cm、深さ20cm、北方向は調査区外に延び、南側では北から2.4m付近で2つに分かれる。西側は3.5mの地点で止まり、東側の溝は19号溝につながる。全体的にだらっとした溝であり、溝内に遺物片や石が散乱している。出土遺物は、軟質陶器の内耳鍋、北宋銭、蔽石・凹石であり、時期は、15世紀と考えられる。

(2) N-70°~80°-Eの方向の溝



第205図 26号溝

13号溝 (①第197図, P L.179) は、調査区南側で検出された。幅70cm、深さ30cm、検出された長さは22mであり、出土遺物は無い。46号土坑に接続している。

14号溝 (①第196図②第163・164図, P L.180・205・206) は、調査区の南側で検出された。幅100~200cm、深さ50cm、調査区を西から東へと横切るように延びる。Ⅵ-2区の36号溝につながる同一の溝と思われる。19号溝が北から流れ込んでいる。10号溝も北からつながると推定される。出土遺物は土師質の灯明皿、軟質陶器の播り鉢、茶臼・磨石である。時期は15世紀と考えられる。埋没土から水路であるといえる。10号溝や19号溝との関係から、また直線状に延びる形状から、この溝はこの地区の15世紀段階の幹線的な水路と考えられる。

23号溝 (①第202図, P L.187) は、調査区南東側で検出された。幅40cm、深さ10cm、検出された長さは11mである。出土遺物は無く、詳細は不明である。

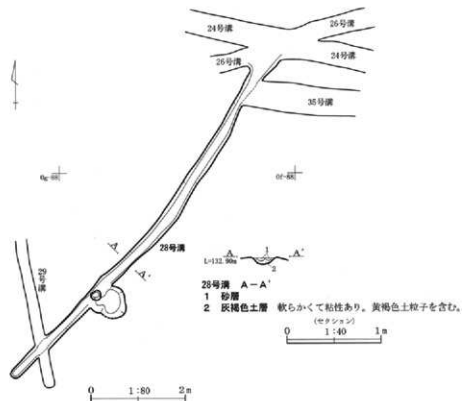
26号溝 (①第205図②第176図, P L.189・208) は、調査区南東側で検出された。幅40~50cm、深さ20~30cm、検出された長さは15mである。15号溝と28号溝に壊されている。出土遺物は土師器の坏である。時期は古墳時代後期と考えられる。

(3) 直角方向に曲がる溝

22号溝 (①第202図, P L.187) は、調査区東側で検出された。幅70~100cm、深さ5~10cm、検出された長さは17mである。調査区の東端にあり、調査区外から9m南下し(N-0°-E)、東方向に(N-90°-E)ほぼ直角に曲がり、7mで調査区外となる。出土遺物は無く、詳細は不明である。

(4) その他の方向の溝

11号溝 (①第196図②第162図, P L.178・205) 位置: 調査区南。幅100cm。深さ50cm。検出された長さは41m。走向・形状、北西より南東に下り(N-130°-E)、12mのところで折れ北東に(N-70°-E)、30m延びる。出土遺物は、耳皿、須恵器・短頸壺。重複: 10号溝、14号溝に壊される。



時期：平安時代。

12号溝 (①第196②第162図、P L.179・205) 位置：調査区中央。幅70cm。深さ20cm。検出された長さは24.5m。出土遺物：土師器の坏・須恵器の壺。時期：古墳時代後期。走向：N-75°-W。

15号溝 (①第198図②第165図、P L.181・206) 位置：調査区南東。幅50cm。深さ40cm。検出された長さは44m。出土遺物：ガラス製おはじき。時期：近代。走向：N-15°-E。

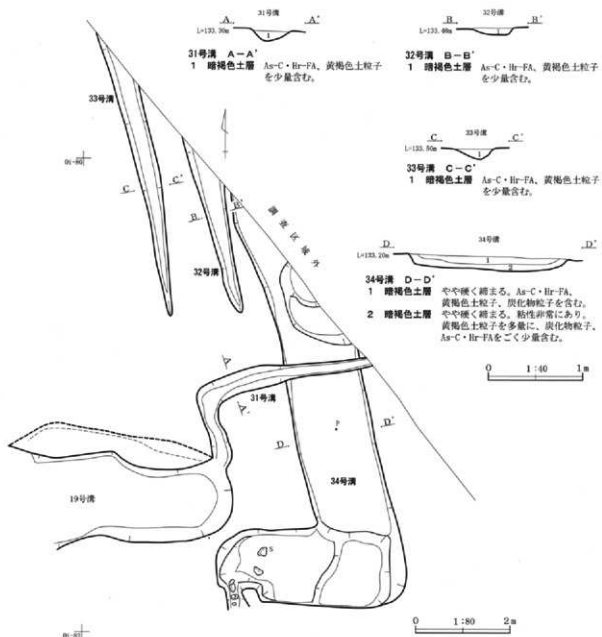
16号溝 (①第199図②第165図、P L.181・206) 位置：調査区北。幅50cm。深さ50cm。検出された長さは9m。出土遺物：軟質陶器の内耳鍋・カワラケ。時期：中世。走向：N-10°-E。

17号溝 (①第199図、P L.182) 位置：調査区南。幅30cm。深さ30cm。検出された長さは3.2m。出土遺物：無し。時期：不明。走向：N-90°-E。

18号溝 (①第199図、P L.182) 位置：調査区南。幅100~150cm。深さ80cm。検出された長さは5m。出土遺物：無し。時期：不明。走向：N-60°-E。

21号溝 (①第201図②第172・173図、P L.186・208) 位置：調査区南東。幅50cm。深さ20cm。検





第207図 31～34号溝

出された長さは12m。出土遺物：須恵器の高坏・埵・皿、砥石・台石・打製石斧。時期：中世。走向：N-0°-E。

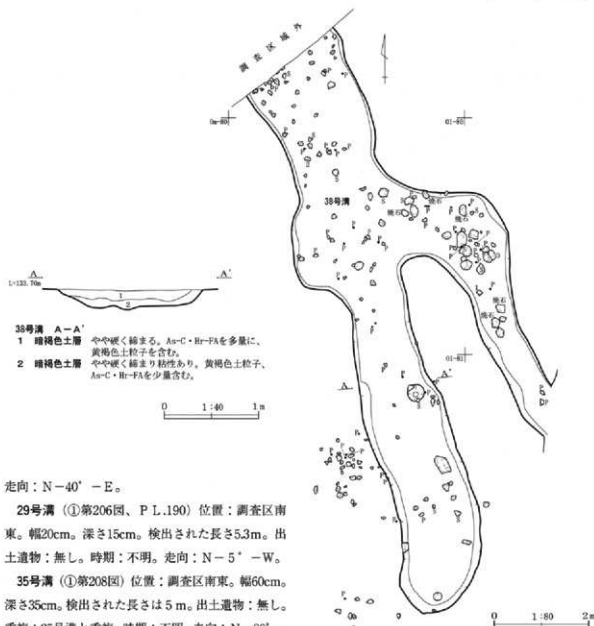
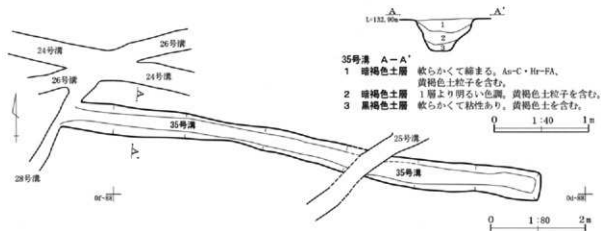
24号溝 (①第203図②第174・175図、P L.188・206) 位置：調査区南東。幅50～80cm。深さ30cm。検出された長さは29m。形状：U字形。出土遺物：土師器の坏・須恵器の甕・土師質の灯明皿。時期：平安。走向：N-60°-W。

25号溝 (①第204図、P L.189) 位置：調査区南東。

幅40cm。深さ10cm。検出された長さは12m。出土遺物：無し。重複：35号溝・24号溝と重複。時期：不明。砂層あり、水路か。走向：N-50°-E。

27号溝 (①第201図、P L.189) 位置：調査区南東。幅80cm。深さ10cm。検出された長さ4.4m。出土遺物：無し。時期：不明。走向：N-30°-W。

28号溝 (①第206図、P L.190) 位置：調査区南東。幅20cm。深さ5cm。検出された長さは8.4m。出土遺物：無し。時期：不明。砂層あり、水路か。



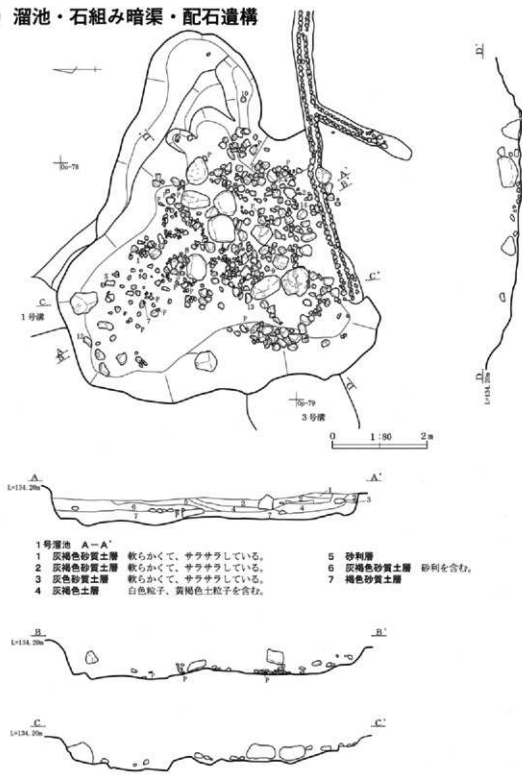
走向：N-40°-E。

29号溝 (①第206図、P.L.190) 位置：調査区南東。幅20cm。深さ15cm。検出された長さ5.3m。出土遺物：無し。時期：不明。走向：N-5°-W。

35号溝 (①第208図) 位置：調査区南東。幅60cm。深さ35cm。検出された長さは5m。出土遺物：無し。重複：25号溝と重複。時期：不明。走向：N-80°-W。

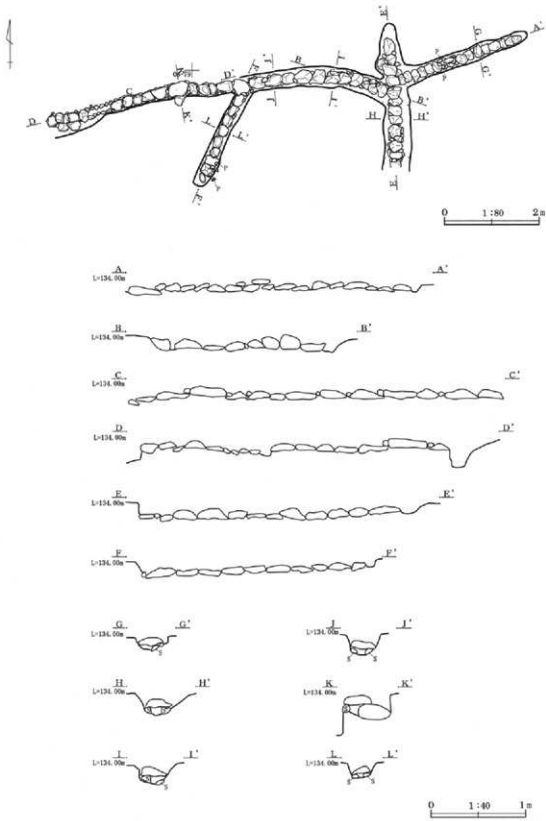
第208図 35-38号溝

(4) 溜池・石組み暗渠・配石遺構

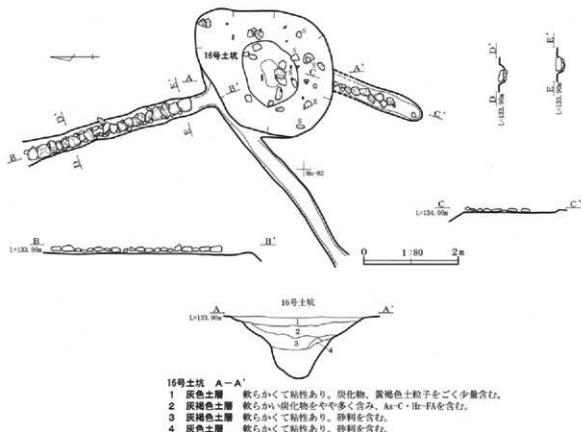


第209図 1号溜池

(4) 溜池・石組み暗渠・配石遺構



第210圖 石組み暗渠



第211図 16号土坑、石組み暗渠

1号溜池 (①第209図②第178・179図, P.L.192~194・209)

位置 On・Oo-78・78グリッドにかけて検出された。1号溝と北側で繋がり、また3号溝とは西側で、さらに南側で石組みの暗渠が繋がっている。

形状 東西で3.7~7.9m、南北約6mの不整形を呈する。北側では狭く、南に向かって広がっている。面積は約33.5㎡である。

深さ 確認面より約30~70cmで底面に達する。底面からなだらかに立ち上がっている。

覆土 7層に分かれた。

底面 凹凸がある。

遺物 覆土注や底面から多量の石が出土している。この中には石臼や砥石の破片もある。また、中世から近世の遺物、さらに土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 中世~近世。

石組み暗渠 (①第209~211図, P.L.192~194)

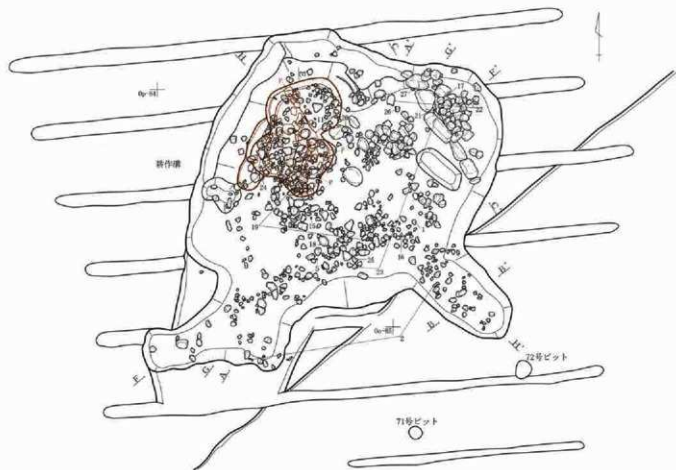
位置 VII-2区ではOm・On-78・79グリッドにかけて、VII-1区ではOm-80~82グリッド、南西に延びる暗渠はOm-81、On~Op-82グリッドにかけて検出された。

形状 幅26~56cmで、北端の東西に走行する暗渠の長さは約10.4m、南北に走行する暗渠は約18m、南西に走行する暗渠は約14mである。コの字状に繋がっている。

構造 溝の壁の両端に石を配列してその上に蓋石を乗せたものである。蓋石はやや大きめの石が選定されている。仕様された石材は圧倒的に安山岩が多かった。

時期 近世~近代か。

(4) 溜池・石組み暗渠・配石遺構



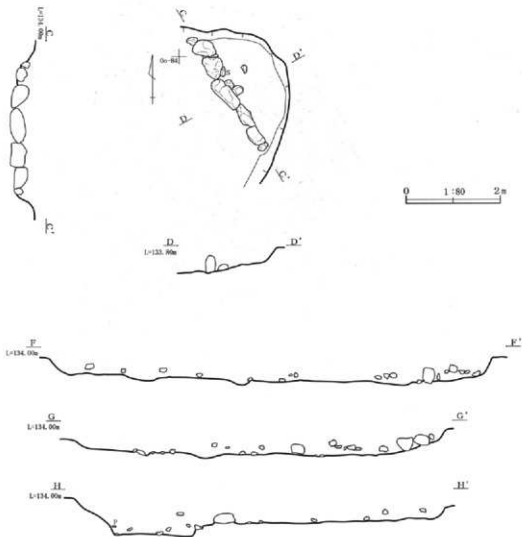
2号溜池 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 黒色土ブロックを多量に含む。As-C・Hr-Fhを含む。人為的埋土。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり、黒色土ブロック、As-C・Hr-Fh、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性有り。
- 4 灰色粘質土層 石を多量に含んでいる。
- 5 砂利層



0 1:80 2m

第212図 2号溜池(1)



第213図 2号溜池(2)

16号土坑 (①第211図②第154図、P.L.164・203)

位置 Om-81・82グリッドにかけて検出された。

形状 長径3.3m、短径2.7mの楕円形を呈する。

深さ 確認面より約1.3mで底面に達する。

覆土 4層までを確認したが、最下層については湧水のために確認することはできなかった。

遺物 壁面中断から杭を検出した。

備考 石組み暗渠が南北に連結し、また南西方向に同様な暗渠が続いている。

時期 近世～近代か。

2号溜池 (①第212・213図②第180～183図、P.L.195・196・210・211)

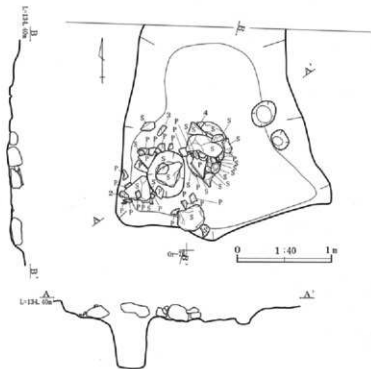
位置 On・Oo-83～85、Op-85グリッドにかけて検出された。1号溜池の南約23mの所に位置している。

形状 東西約6m、南北約6mの方形を基調として、南東部と南西部に張り出し部がある。南東部は長径2.2m、短径1.4mの楕円形を呈し、南西部は幅0.8～2mを測る。面積は約36.6㎡である。

深さ 確認面より約26～60cmで底面に達する。底面からなだらかに立ち上がっている。

覆土 5層に分かれた。

底面 凹凸がある。北西部に土坑状の落ち込みがある。



第214図 配石遺構

遺物 覆土中や底面から多量の石が出土している。とりわけ石臼が多かった。

時期 中世～近世。1号溜池と同一時期の遺構である。

配石遺構 (Ⅰ第214図2第184図、P.L.197・211)

位置 Co・Op-74グリッドにかけて検出された。

形状 現状での長辺約2.3m、短辺約1.6～2.2mの不整形を呈する。

深さ 確認面より約14～20cmで底面に達する。壁はなだらかに立ち上がっている。

底面 凹凸がある。1基の土坑を検出した。規模は長径50cm、短径49cm、深さ53cmである。土坑覆土最上層に石が配置されていた。

遺物 底面から26点の石と22点の土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 不明。

第6章 VI区 検出の遺構



VI区の調査面積は4,702㎡である。北東から南西に走る農道を境に、南側をVI-1区、北側をVI-2区として調査を実施した。現水田面を掘削し、新たに検出した面を1面（P.L.213）として調査を始めた。飛行場造成土の痕跡はわずかなもので、すでに2面（①第309図、P.L.213）が姿を見せていた。この2面の調査は、田畑の図化を中心として実施した。

2面掘削後、住居跡（①第215図、P.L.213）などの調査に入った。調査区南側からはHr-FA下の畝跡が検出された。

第215図 全体図（1/400）



(1) 竪穴住居跡

25号住居跡 (①第216・217図②第185図、P.L.215・277)

位置 Oe-79~80・81、Of-80グリッドにかけて検出された。61号土坑によって竈の一部が壊される。

形状 一辺約4.6~4.8mのはほぼ正方形を呈する。

方位 N-68°-E。

覆土 13層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約30~42cmで床面。

床面 やや凹凸がある。面積は約20㎡。掘り方面中央に長径178cm、短径150cm、深さ14cmの土坑。

周溝 ほぼ全周していたものと思われる。幅10~24cm、深さ8~10cm。

竈 東壁のほぼ中央に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。現状での規模は煙道方向130cm、両袖方向100cmである。

柱穴 ビット4個が検出された。1は長径34cm、短径32cm、深さ35cm。2は長径38cm、短径34cm、深さ26cm。3は長径44cm、短径40cm、深さ58cm。4は長径34cm、短径30cm、深さ20cmである。

貯蔵穴 長径82cm、短径62cm、深さ26cmを測る。

貯蔵穴をかこうように床面の高まりが認められる。

遺物 竈周辺から土師器の坏や甕が出土している。紡錘車は北壁寄りから出土。

時期 7世紀前半。

備考 覆土中から縄文土器片も出土。

26号住居跡 (①第218図②第186図、P.L.216・277)

位置 Ob・Oc-80グリッドにかけて検出された。

39・44号溝と重複している。

形状 長辺約3.7m、短辺約3.2mの方形を呈する。

方位 N-116°-W。

覆土 4層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約28~40cmで床面。

床面 ほぼ平坦である。現状での面積は約10㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 西壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向102cm、両袖方向58cmである。支脚(石)が残っていた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径52cm、短径34cm、深さ15cmを測る。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 6世紀後半。

27号住居跡 (①第219図②第187~190図、P.L.217・277・278)

位置 Oa・Ob-74・75グリッドにかけて検出された。32号住居跡と重複、また完掘できなかった。

形状 長辺(東西)約3.8m、南北現状で約3.4mを測る。方形を呈するものと思われる。

方位 N-90°-E。

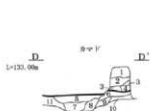
覆土 7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約40~56cmで床面。

床面 やや凹凸がある。現状での面積は約12.1㎡。掘り方面から4個の土坑が検出された。

周溝 検出できなかった。

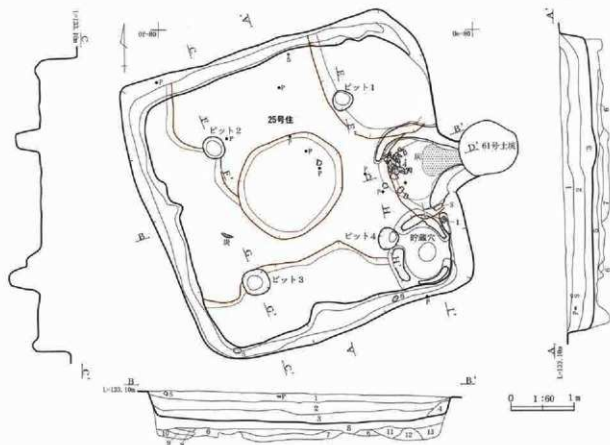
竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多く



カマド D-D'

- | | | |
|----|-------|-----------------------------------|
| 1 | 暗褐色土層 | 住居1層と同じ。焼土を含む。 |
| 2 | 暗褐色土層 | 粘性あり。焼土を含む。 |
| 3 | 灰褐色土層 | 焼土を含む。 |
| 4 | 橙褐色土層 | 灰と焼土の混ざり。 |
| 5 | 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。焼土を多量に、灰白色土ブロックを含む。 |
| 6 | 赤褐色土層 | 焼土を多量に、灰白色土ブロックを含む。 |
| 7 | 灰褐色土層 | 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土ブロックを含む。 |
| 8 | 灰白色土層 | 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土を多量に含む。 |
| 9 | 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。焼土粒子、炭化物、灰白色土ブロックを含む。 |
| 10 | 暗褐色土層 | やや硬く締まる。黄褐色土粒子、As-C・Hr-Fsを含む。 |
| 11 | 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性非常にあり。灰白色土ブロックを含む。 |

第216図 25号住居跡カマド



25号住居跡 A-A' B-B'

- | | |
|------------|--|
| 1 暗褐色土層 | やや硬く締まる。As-C・H・I, 黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。 |
| 2 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。 |
| 3 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、灰白色ブロックを含む。 |
| 4 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。 |
| 5 灰褐色土層 | 硬く締まる。灰白色土ブロックを多量に含む。肥り灰。 |
| 6 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを多量に含む。 |
| 7 灰褐色粘質土層 | 黄褐色土ブロックを含む。 |
| 8 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子を含む。 |
| 9 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを含む。 |
| 10 暗褐色粘質土層 | 灰白色土ブロックを多量に含む。 |
| 11 暗褐色土層 | やや硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを含む。 |
| 12 暗褐色土層 | 11層よりも明るい色調。灰白色土ブロックを含む。 |
| 13 暗褐色土層 | 粘性あり。黄褐色土ブロック、灰白色土ブロックを少量含む。 |



ビット1 E-E'

- | | |
|---------|------------------|
| 1 暗褐色土層 | 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。 |
| 2 灰褐色土層 | 灰白色土を含む。 |



ビット2 F-F'

- | | |
|---------|------------------|
| 1 暗褐色土層 | 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 灰白色土を含む。 |



ビット3 G-G'

- | | |
|---------|-------------------|
| 1 暗褐色土層 | 粘性あり。灰白色土粒子を少量含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 粘性あり。 |



ビット4 H-H'

- | | |
|---------|----------------------------|
| 1 暗褐色土層 | 粘性あり。灰白色土ブロック、灰白色土粒子を少量含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 黒色土に灰白色土の混入。 |



貯蔵穴 1-1'

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1 暗褐色土層 | 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。 |
| 2 暗褐色土層 | 粘性あり。灰白色土粒子を少量含む。 |
| 3 暗褐色土層 | 粘性あり。黒色土、灰白色土ブロックを含む。 |

第217図 25号住居跡

は壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向70cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径70cm、短径60cm、深さ16cmを測る。

遺物 竈周辺や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏・埴や甕が出土している。

時期 8世紀前半。

28号住居跡 (①第220図②第191図、P.L.218・279)

位置 Nt-75、Oa-75・76グリッドにかけて検出された。

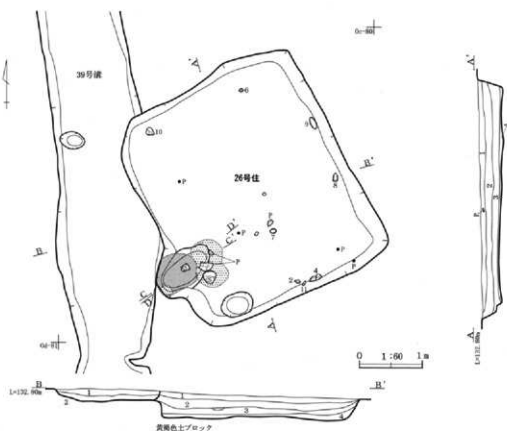
形状 長辺約4m、短辺約3.6mの方形を呈する。

方位 N-83°-E。

覆土 7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約40cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約11.7㎡。土坑1基が検出された。長径62cm、短径54cm、深さ



26号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子をやや多く含む。
- 2 暗褐色土層 1層よりも軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、黄褐色土ブロックを多量に含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子をやや多く含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 灰褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に、灰を含む。
- 4 灰白色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に含む。
- 5 灰褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に含む。

39号溝

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 1層よりも軟らかい。黄褐色土粒子を含む。



第218図 26号住居跡



第219図 27号住居跡・掘り方

20cmである。

周溝 北壁を除いて検出できた。幅8～17cm、深さ3～6cmである。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向138cm、両袖方向30cmである。

柱穴 ビット4個が検出された。1は長径34cm、短径32cm、深さ33cm。2は長短径30cm、深さ40cm。3は長径25cm、短径20cm、深さ37cm。4は長短径20cm、深さ45cmである。

貯蔵穴 長径56cm、短径40cm、深さ32cmを測る。

遺物 覆土や床面上から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 6世紀後半。

備考 弥生土器片や古墳時代前期の土器片も出土。

29号住居跡 (①第221図②第192・193図、P.L.219・279)

位置 Oa・Ob-78グリッドにかけて検出された。

38号住居跡の南東約2.5mのところら位置する。

形状 長辺約4.2m、短辺約3.6～3.9mの方形を呈する。

方位 N-62°-E。

覆土 7層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約20～30cmで床面。

床面 やや凹凸がある。面積は約14.4m²。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向42cmである。甕の脚部が据えられていた。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 竈周辺や床面上から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 6世紀後半。

30号住居跡 (①第222図②第194図、P.L.220・221・279)

位置 Nt-81、Oa-80・81グリッドにかけて検出

された。51号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.6m、短辺約3.1mの方形を呈する。

方位 N-80°-E。

壁高 住居跡確認面より約20cmで床面に達する。

床面 やや凹凸がある。面積は約9.6m²。掘り方面から土坑を検出。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向122cm、両袖方向40cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径58cm、短径52cm、深さ16cmを測る。

遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 8世紀後半。

備考 調査の過程では重複関係を明瞭に把握することはできなかった。

51号住居跡 (①第222図②第211図、P.L.220・283)

位置 Nt-81・81、Oa-80・81グリッドにかけて

検出された。30号・52号住居跡と重複している。

形状 長辺約4.1m、短辺約3.2mの長方形を呈す。

方位 N-104°-E。

覆土 3層検出できた。

壁高 住居跡確認面より約18～26cmで床面。

床面 やや凹凸がある。面積は約10.5m²。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央南に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向90cm、両袖方向36cmである。

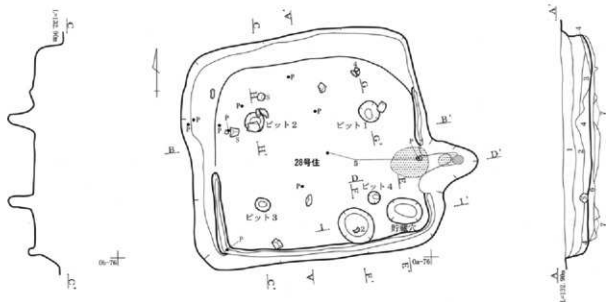
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 30号住居跡の竈のところら検出されたビットが貯蔵穴になるかもしれないが判然としない。

遺物 覆土中から遺物はほとんど出土していない。

時期 7世紀。

備考 2軒と重複しているため、明瞭に把握することはできなかった。



28号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く締まり良い、粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを少量含む。
- 3 灰褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。黄褐色土ブロック、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 硬く締まる。灰白色土ブロックを多量に含み、炭化物粒子を少量含む。
- 7 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。灰白色土ブロックを含む。

カマド D-D'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 茶褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを含む。
- 4 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 5 灰褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。黄褐色土ブロック・粒子を含む。
- 6 黒褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 3層よりもやや軟らかい。
- 8 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 9 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。黄褐色土ブロック、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

貯蔵穴 E-E'

- 1 暗褐色土層 粘性あり。灰白色土粒子、炭化物、黒色粘質土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 1層より砂状、灰白色土ブロックを含む。

住居内土坑 F-F'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。炭化物、黒色粘土ブロック、灰白色土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくボンボンしている。黄褐色土ブロックを含む。



ピット1 G-G'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる、粘性なし。灰白色土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくボンボンしている。灰白色土ブロックを含む。



ピット2 H-H'

- 1 暗褐色土層 硬く締まる。灰白色土ブロックを含む。
- 2 暗褐色土層 灰白色土粒子を多量に含む。
- 3 暗褐色土層 硬く締まる。灰白色土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 黒色粘質土を含む。

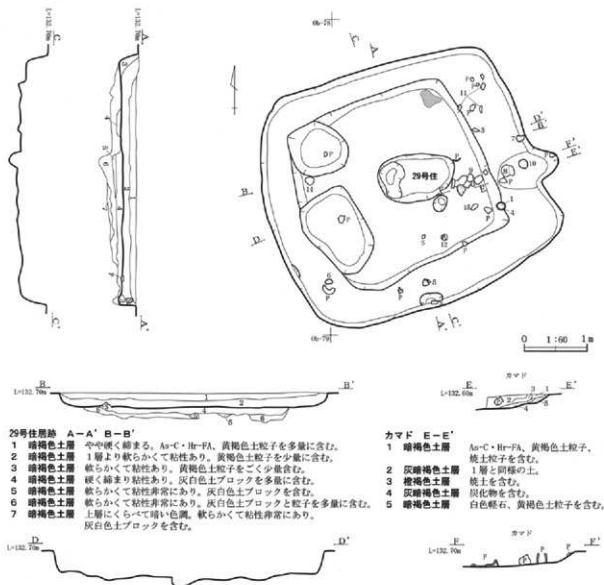


I-I'

0 1:60 1m

第220図 28号住居跡

第6章 VI区 検出の遺構



第221図 29号住居跡

52号住居跡 (①第222図②第212図、P.L.220・283)

位置 Oa-80グリッドにおいて検出された。51号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.9m、短辺約2.5mの長方形を呈す。

方位 N-89° - E。

覆土 4層検出できた。

壁高 住居跡確認面より約10~16cmで床面。

床面 やや凹凸がある。面積は約8.4㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向80cm、

両袖方向40cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

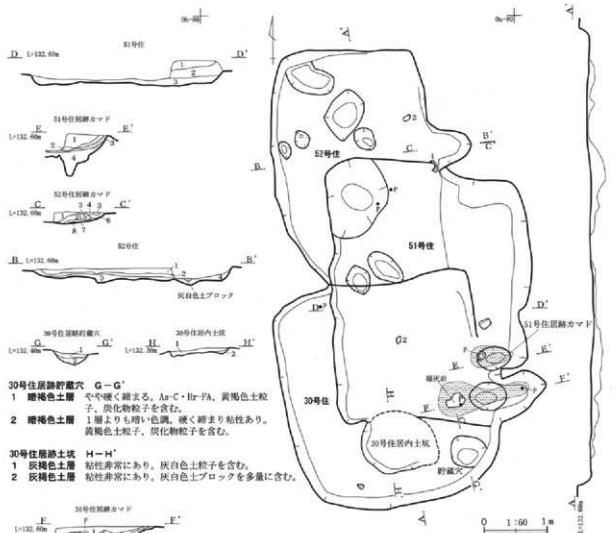
遺物 覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏の破片が少量出土している。

時期 8世紀。

備考 遺存状態が悪かった。。

31号住居跡 (①第223・224図②第195~197図、P.L.222・280)

位置 Of・Og-77・78、Oh-77グリッドにかけて検出された。81号住居跡と接している。



- 30号住居跡貯蔵穴 G-G'**
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 1層よりも暗い色調。硬く締まり粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。

- 30号住居跡土坑 H-H'**
- 1 灰褐色土層 粘性非常にあり。灰白色土粒子を含む。
 - 2 灰褐色土層 粘性非常にあり。灰白色土ブロックを多量に含む。



- 30号住居跡カマド F-F'**
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰、黄褐色土ブロックを含む。
 - 3 灰層
 - 4 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰を含む。
 - 5 暗褐色土層 軟らかい。焼土、灰を含む。
 - 6 暗褐色土層 軟らかい。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰を多量に含む。
 - 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 9 暗褐色土層 灰白色土、灰、焼土粒子を多量に含む。
 - 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロックを少量含む。
 - 11 暗褐色土層 焼土粒子、灰白色土粒子を含む。

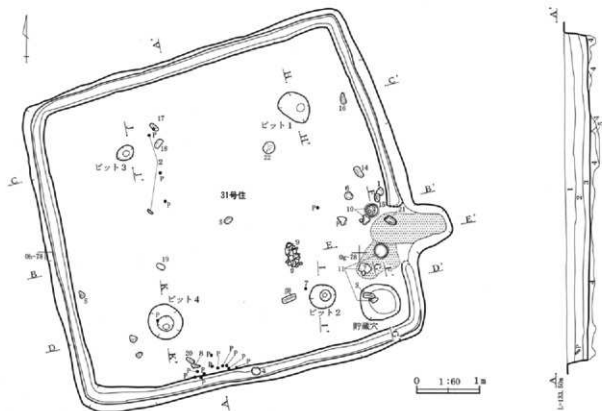
- 51号住居跡 D-D'**
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子を少量含む。
 - 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。黄褐色土ブロックを多量に含む。

- 52号住居跡 B-B'**
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 1層よりやや軟らかい。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子を少量含む。
 - 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック含む。
 - 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物粒子を含む。

- 52号住居跡カマド C-C'**
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 - 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
 - 3 焼土層
 - 4 灰白色土層
 - 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子・炭化物。灰白色土粒子を含む。
 - 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。粘性あり。焼土を含む。
 - 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。灰、焼土、炭化物を多量に含む。
 - 8 焼土層

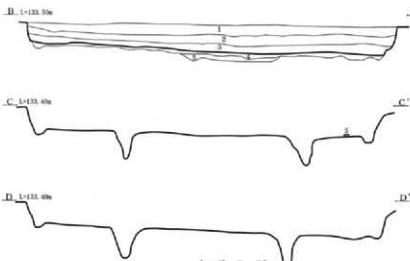
- 51号住居跡カマド E-E'**
- 1 暗褐色土層 硬く締まる。As-C・Hr-FA、灰白色土粒子を含む。
 - 2 赤褐色土層 焼土を多量に含む。
 - 3 灰層
 - 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。

第222図 30号住居跡・51号住居跡・52号住居跡



31号住居跡 A-A' B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土、灰色土ブロックを多量に含む。炭化物粒子を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロック、灰色土ブロックを含む。



カマド E-E'

- 1 灰褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 2 灰褐色土層 軟らかく粘性あり。焼土粒子、灰、黄褐色土粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。焼土ブロック、炭化物粒子、灰を含む。
- 4 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子を多量に、灰を含む。
- 5 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土を少量含む。
- 6 灰褐色土層 軟らかく粘性あり。焼土、灰を含む。
- 7 灰褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。灰を多量に、焼土粒子、黄褐色土ブロックを含む。
- 9 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。灰、焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 10 暗褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 11 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、黄褐色土粒子を含む。

第223図 31号住居跡

(1) 竪穴住居跡



貯蔵穴 G-G'

- 1 暗褐色土層 粘性あり。黄褐色土粒子を多量に、As-C・Hr-Fs、炭化物粒子を含む。
 2 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
 3 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子を含む。

ビット1 H-H'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を多量に含む。
 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土ブロックを多量に含む。

ビット2 I-I'

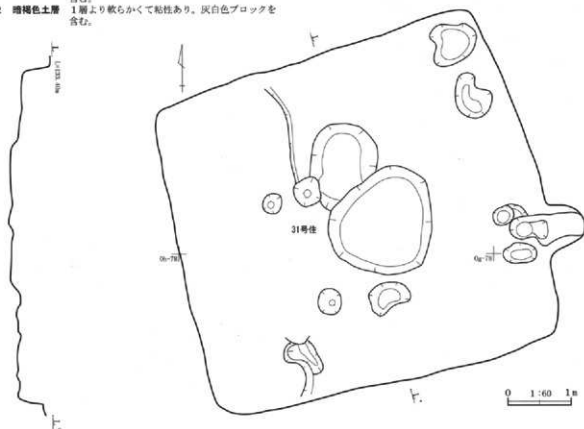
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を多量に含む。
 2 暗褐色土層 1層より軟らかくて粘性あり。灰白色ブロックを含む。

ビット3 J-J'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を多量に含む。
 2 暗褐色土層 1層より軟らかくて粘性あり。灰白色土ブロックを含む。
 3 暗褐色土層 軟らかくて粘性非常にあり。灰白色土ブロックを多量に含む。

ビット4 K-K'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を多量に含む。
 2 暗褐色土層 1層より軟らかくて粘性あり。灰白色ブロックを含む。



第224図 31号住居跡掘り方

形状 長辺約5.6~5.9m、短辺約5.1~5.5mの方形を呈する。

方位 N-76°-E。

覆土 5層に分かれた。

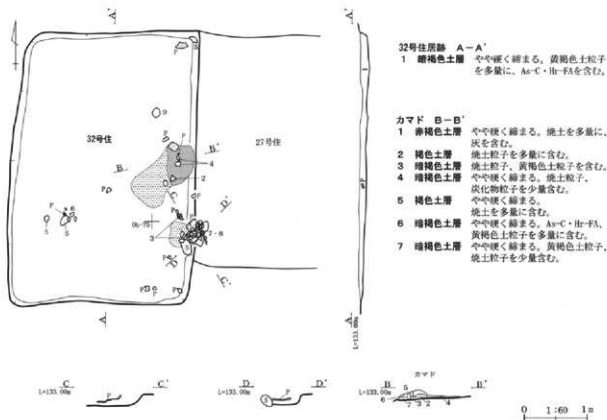
壁高 住居跡確認面より約32~42cmで床面。

床面 ほほ平坦である。面積は約28.5㎡。

周溝 全周している。幅14~18cm、深さ6~10cmである。

竈 東壁の中央より南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向130cm、両袖方向52cmである。土師器の甕(10・11)を袖として使用。

柱穴 ビット4個が検出された。1は長径54cm、短径40cm、深さ20cm。2は長径42cm、短径38cm、深さ12cm。3は長径30cm、短径22cm、深さ28cm。4は長径56cm、短径52cm、深さ30cmである。



第225図 32号住居跡

貯蔵穴 長径70cm、短径62cm、深さ36cmを測る。
遺物 竈周辺や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。
時期 7世紀前半。

32号住居跡 (①第225図②第196・199図、P.L.223・281)

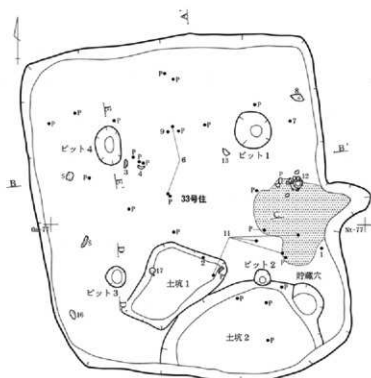
位置 Oa・Ob-74・75グリッドにかけて検出された。27号住居跡と重複している。
形状 長辺約4.4m、短辺約3mの長方形を呈する。
方位 N-88°-E。
覆土 1層確認できた。
壁高 住居跡確認面より約6~18cmで床面に達す。
床面 やや凹凸がある。面積は約11.4㎡。
周溝 検出できなかった。
竈 東壁の中央に位置し、燃焼部の多くは床面に造られている。規模は煙道方向62cm、両袖方向50cmである。袖石が残る。

柱穴 検出できなかった。
貯蔵穴 検出できなかった。
遺物 竈周辺や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏・壺や甕が出土している。
時期 9世紀前半。

33号住居跡 (①第226図②第200・201図、P.L.224・281)

位置 Nt・Oa-76・77グリッドにかけて検出された。43号・44号住居跡に近接している。
形状 長辺約5.2m、短辺約4.7mの方角を呈する。
方位 N-77°-E。
覆土 11層に分かれた。
壁高 住居跡確認面より約30~36cmで床面。
床面 ほほ平坦である。面積は約22.2㎡。
周溝 検出できなかった。
竈 東壁のほほ中央に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向110cm、両袖方向46cmである。
柱穴 ビット4個が検出された。1は長径60cm、

(1) 竪穴住居跡

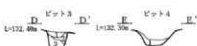


- 33号住居跡 A-A' B-B'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄色土粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。
 - 2 暗褐色土層 1層より軟らかくて粘性あり。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。非常に軟らかく、焼土粒子を含む。
 - 3 灰層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。焼土粒子を少量含む。
 - 4 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。焼土粒子を少量含む。
 - 5 暗褐色土層 軟らかくて締まりあり。粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
 - 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。白色土粒子を少量含む。
 - 8 暗褐色土層 硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子を多量に含む。
 - 9 灰褐色粘質土層 硬く締まる。黄褐色土粒子を含む。
 - 10 灰褐色粘質土層 硬く締まる。灰白色土粒子を多量を含む。
 - 11 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。炭化物粒子、焼土粒子を少量含む。

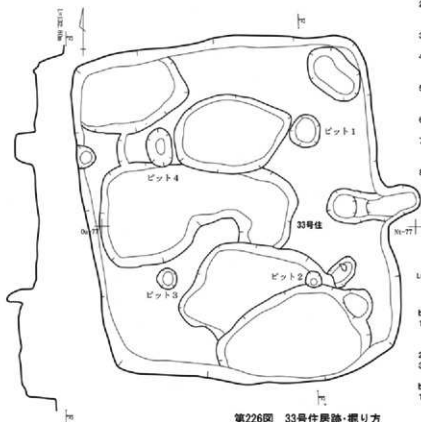
0 1:60 1m

カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 軟らかくて締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 3 暗褐色土層 軟らかく、黄褐色土粒子、焼土粒子を含む。
- 4 暗褐色土層 非常に軟らかく粘性あり。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を少量含む。
- 5 褐色土層 非常に軟らかく粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、灰を含む。
- 6 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土、灰、黄褐色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 8 灰褐色粘質土層 硬く締まる。灰白色土粒子を多量を含む。



- ピット3 D-D'
- 1 暗褐色土層 やや硬く締まり粘性あり。灰白色土粒子、黄褐色土粒子を多量に、炭化物粒子を少量含む。
 - 2 灰白色土層 軟らかく粘性あり。
 - 3 灰褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。
- ピット4 E-E'
- 1 灰褐色土層 軟らかく粘性非常にあり。



第226図 33号住居跡・掘り方

第6章 VI区 検出の遺構

短径58cm、深さ30cm。2は長径28cm、短径26cm、深さ49cm。3は長径32cm、短径30cm、深さ28cm。4は長径62cm、短径42cm、深さ28cmである。

貯蔵穴 長径66cm、短径52cm、深さ19cmを測る。

遺物 竈周辺や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が出土している。

時期 8世紀前半。

備考 土坑2は別遺構と思われる。

34号住居跡 (①第227図②第202図、P.L.225・282)

位置 Od-77、Oe-76・77グリッドにかけて検出された。55号土坑によって一部壊されている。

形状 長辺約2.9m、短辺約2.8mのほぼ正方形。

方位 不明。

覆土 2層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約10cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約6.7㎡。土坑1基が検出された。長径80cm、短径74cm、深さ18cmを測る。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁南に灰の分布が認められることから、東壁の南に位置していた可能性がある。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から遺物の出土はほとんどなかった。

時期 9世紀後半。

35号住居跡 (①第228図、P.L.226)

位置 Nr・Ns-77・78グリッドにかけて検出された。44号住居跡に近接している。

形状 長辺約4.3m、短辺約3.8mの方形を呈する。方位不明。

覆土 8層に分かれた。

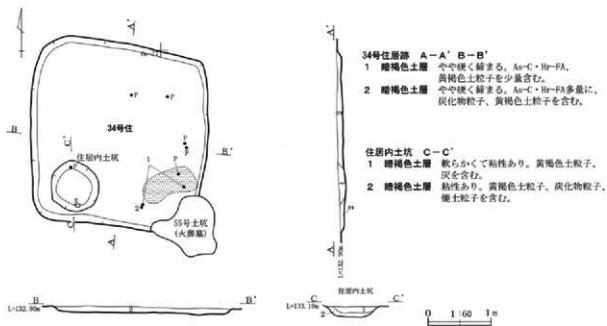
壁高 住居跡確認面より約30cmで床面に達する。

床面 ほぼ平坦である。面積は約13.8㎡。

周溝 東壁から北壁にかけて部分的に検出。幅22cm、深さ1～6cmを測る。

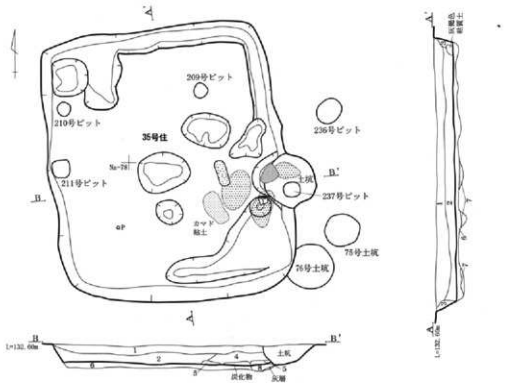
竈 東壁の中央やや南に位置していたものと思われるが、土坑によって壊されている。

柱穴 検出できなかった。



第227図 34号住居跡

(1) 竪穴住居跡



35号住居跡 A-A' B-B'

- | | |
|-----------|--|
| 1 暗褐色土層 | やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。 |
| 2 灰褐色土層 | やや硬く締まる。粘性あり。黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。 |
| 3 暗褐色土層 | やや硬く締まる。黄褐色土粒子を少量含む。 |
| 4 暗褐色土層 | 粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子、灰白色土粒子を含む。 |
| 5 茶褐色土層 | 軟らかく粘性あり。炭化物粒子を含む。 |
| 6 灰褐色土層 | やや硬く締まり粘性非常にあり。黄褐色土ブロック、灰褐色土ブロックを多量に含む。 |
| 7 黒褐色粘質土層 | 黄褐色土ブロックを含む。 |
| 8 暗褐色土層 | 軟らかくて粘性あり。焼土を含む。 |

第228図 35号住居跡

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から少量土師器の坏や甕、須恵器の坏・埴や甕が出土している。

時期 不明。

38号住居跡 (①)第229図②第203・204図、P.L.227・282)

位置 Ob・Oc-76・77グリッドにかけて検出された。42号溝によって壊されている。

形状 長辺約5m、短辺約4.2mの方形を呈する。

方位 N-77°-E。

覆土 5層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約34~46cmで床面。

床面 はほぼ平坦である。面積は約19.6㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向194cm、両袖方向60cmである。袖石1個が残る。

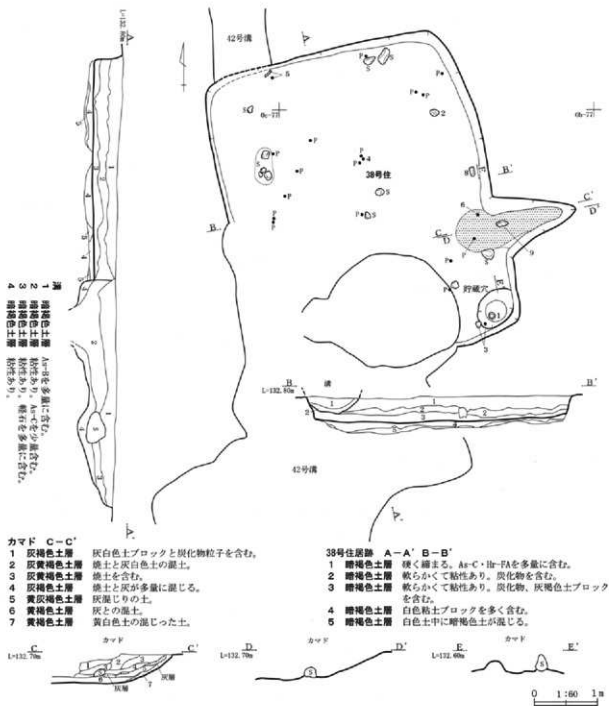
柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 長径72cm、短径52cm、深さ10cmを測る。

遺物 竈周辺や貯蔵穴、覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕が出土している。

時期 8世紀前半。

備考 第二分冊第203図7は42号溝出土遺物である。



第229図 38号住居跡

39号住居跡 (①第230図②第205図、P.L.228・282)

位置 Nr・Ns-79・80グリッドにかけて検出された。45号住居跡に近接している。

形状 長辺約3.9m、短辺約3mの長方形を呈する。

方位 N-88°-E。

覆土 3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約16~24cmで床面。

床面 ほゞ平坦である。面積は約11m²。

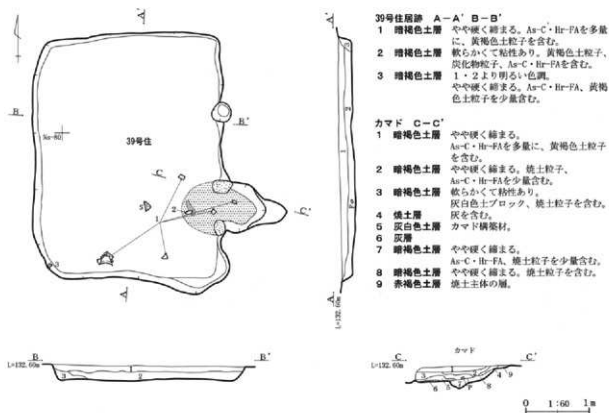
周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向164cm、両袖方向88cmである。袖石2個が残る。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

(1) 竪穴住居跡



第230図 39号住居跡

遺物 竈周辺や覆土中から土師器の坏や甕、須恵器の坏や甕の破片が少量出土している。

時期 8世紀前半。

41号住居跡 (①第231図②第206図、P.L.228・282)

位置 Nt-80グリッドにおいて検出された。42号・49号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.8m、短辺約2.5mの長方形を呈す。

方位 N-105° -E。

覆土 3層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約8~12cmで床面。

床面 ほほ平坦である。面積は約7.6㎡。灰が広範囲に分布していた。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向88cm、両軸方向38cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。

遺物 覆土中から少量の遺物が出土している。

時期 7世紀。

42号住居跡 (①第231図②第206図、P.L.228・282)

位置 Nt-80・81、Oa-80グリッドにかけて検出された。41号・51号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.8m、短辺約2.6mの長方形を呈す。

方位 N-72° -E。

覆土 8(1~7・10)層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約8~20cmで床面。

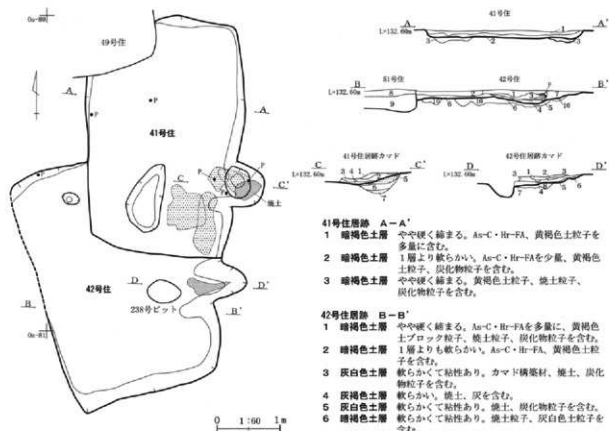
床面 やや凹凸がある。現状での面積は約6.7㎡。

周溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向92cm、両軸方向28cmである。

柱穴 検出できなかった。

貯蔵穴 検出できなかった。



42号住居跡カマド D-D'

- 1 灰白色土層 カマド構築材。炭化物、焼土粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかい。炭化物粒子を多量に含む。焼土粒子を含む。
- 3 灰白色土層 軟らかい。カマド構築材。焼土粒子、炭化物を含む。
- 4 褐色土層 軟らかい。焼土粒子を多量に含む。
- 5 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 7 褐色土層 焼土粒子を多量に含む。炭化物粒子、黄褐色土粒子を含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。焼土粒子、灰白色土ブロックを含む。

41号住居跡 A-A'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を多量に含む。
- 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。

42号住居跡 B-B'

- 1 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを多量に、黄褐色土ブロック粒子、焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 2 暗褐色土層 1層より軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒子を含む。
- 3 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。カマド構築材、焼土、炭化物粒子を含む。
- 4 灰褐色土層 軟らかい。焼土、炭を含む。
- 5 灰白色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物粒子を含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、灰白色土粒子を含む。
- 7 暗褐色土層 やや硬く締まる。灰白色土ブロック、焼土粒子を多量に含む。
- 8 暗褐色土層 やや硬く締まる。As-C・Hr-FAを少量、黄褐色土粒子を含む。(51号住履土)
- 9 暗褐色土層 上層より軟らかい。As-C・Hr-FA、黄褐色土粒、炭化物粒子、焼土粒子を含む。(51号住履土)
- 10 暗褐色土層 やや硬く締まる。黄褐色土粒子、炭化物粒子、焼土粒子を含む。

41号住居跡カマド C-C'

- 1 暗褐色土層 焼土粒子、炭化物粒子、As-C・Hr-FAを含む。
- 2 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土粒子、炭化物粒子を含む。
- 3 灰白色土層 カマド構築材。
- 4 暗褐色土層 軟らかい。焼土粒子、炭を多量に含む。
- 5 灰層 軟らかい。焼土を多量に含む。
- 6 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、炭化物、灰白色土ブロックを含む。
- 7 暗褐色土層 軟らかくて粘性あり。焼土、灰白色土粒子を含む。

第231図 41号住居跡・42号住居跡

遺物 覆土中から少量の遺物が出土している。

時期 7世紀。

43号住居跡 (①第232図・第206図、P.L.229・282)

位置 Ns-76・77、Nt-76グリッドにかけて検出された。44号住居跡と重複している。

形状 長辺約3.6m、短辺約3mの長方形を呈す。

方位 N-76°-E。

覆土 6層に分かれた。

壁高 住居跡確認面より約36cmで床面に達する。

床面 ほほ平坦である。面積は約9.2㎡。

溝 検出できなかった。

竈 東壁の中央やや南に位置し、燃焼部の多くは壁を掘り込んで造られている。規模は煙道方向100cm、両袖方向48cmである。

柱穴 検出できなかった。